

令和 7 年 9 月 1 日
政策経営部広報広聴課

令和 7 年度 世田谷区民意識調査の結果について

1 調査目的

区民が、区政に対してどのような意見・要望を持っているかを把握し、今後の区政運営の基礎資料とする。

2 調査概要

- (1) 調査期間 令和 7 年 5 月 14 日～6 月 4 日
- (2) 対 象 満 15 歳以上の区内在住者（外国籍含む） 5,000 人（無作為抽出）
- (3) 調査方法 郵送配布・回収またはインターネットによる回答
- (4) 回収結果 有効回収数 2,214 人 回収率 44.3%
(内訳：郵送回収 1,377 通・62.2%、インターネット回収 837 通・37.8%)
- (5) 調査項目 19 項目（全 58 問 ※枝問含む）

1. 定住性	2. 区政	3. 職員応対	4. 広報	5. 福祉と医療	6. 災害時の備え
7. 防犯	8. 地域コミュニティ	9. 文化活動	10. 多文化共生	11. 男女共同参画	
12. 健康づくり	13. スポーツ	14. たばこマナー	15. 就職活動		
16. 都市デザイン	17. 交通	18. せたがや Pay	19. 図書館		

経年調査質問（18 問）単年調査質問（40 問）※下線は令和 7 年度新規項目

3 調査結果

別添「世田谷区民意識調査 2025（概要版）」及び「世田谷区民意識調査 2025」のとおり

4 今後のスケジュール

- 9 月 2 日 区ホームページに「世田谷区民意識調査 2025」及び「概要版（日本語版・英語版・テキストデータ）」を掲載
- 9 月 2 日 区政情報センター（区政情報コーナー）、図書館で区民向けに閲覧開始
- 9 月 15 日 区のおしらせ「せたがや」9 月 15 日号に調査結果の一部を掲載

世田谷区民意識調査 2025

(概要版)

区民意識調査概要版は、令和7年5月に実施した「世田谷区民意識調査2025」を要約したもので、広く区民の方にその内容を知っていただくために作成しました。

今回の調査は、「定住性」「職員応対」など経年的な変化を把握するための調査項目に加え、「広報」「文化活動」「男女共同参画」などに関する項目を調査対象といたしました。

これらの調査結果については、区政を推進するための基礎資料として活用してまいります。

また、詳しく知りたい方は、世田谷区の区政情報センター、区政情報コーナー、区のホームページで「世田谷区民意識調査2025」をご覧ください。

調査の概要

対象者	世田谷区在住の満15歳以上の男女
対象数	5,000人 (内訳／日本国籍4,832人、外国籍168人)
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	郵送配布・回収またはインターネットによる回答
調査期間	令和7年5月14日～6月4日
有効回収数	2,214人 (内訳／日本国籍2,185人、外国籍29人)
有効回収率	44.3% (内訳／郵送回収1,377通・62.2%、 インターネット回収837通・37.8%)

(令和7年5月実施)

回答者の属性

- 1 定住性
- 2 区政
- 3 職員応対
- 4 広報
- 5 福祉と医療
- 6 災害時の備え
- 7 防犯
- 8 地域コミュニティ
- 9 文化活動
- 10 多文化共生
- 11 男女共同参画
- 12 健康づくり
- 13 スポーツ
- 14 たばこマナー
- 15 就職活動
- 16 都市デザイン
- 17 交通
- 18 せたがやPay
- 19 図書館

令和7年9月



世田谷区

今回の調査項目は次のとおりです。このうち★印のある項目をこの概要版に掲載しています。

1 定住性

- (1) 居住年数
- ★ (2) 暮らしの満足度
- ★ (3) 住みやすさ
- ★ (4) 定住意向
- (5) 定住意向理由
- (6) 非定住意向理由
- ★ (7) 地域における日常生活での困りごと

2 区政

- ★ (1) 区が積極的に取り組むべき事業

3 職員対応

- ★ (1) 窓口対応
- ★ (2) 印象が良かった点
- ★ (3) 印象が悪かった点
- ★ (4) 職員対応での注意点

4 広報

- ★ (1) 区の取り組みや地域の情報の入手経路
- (2) 広報紙の配布・閲覧方法
- (3) 区公式ホームページのトップページの利便性
- (4) 区公式ホームページの使いやすい・使ってみたい機能やサービス
- (5) 区公式ホームページで重要だと思う情報

5 福祉と医療

- (1) 「福祉の相談窓口」の認知度
- (2) 「在宅医療」の認知度
- ★ (3) 「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度
- ★ (4) 認知症についての印象

6 災害時の備え

- ★ (1) 大地震の際の避難行動
- (2) 災害時にできる住民同士の助け合い
- (3) 水や食料の備蓄について
- (4) 非常用電力の備蓄について
- (5) 携帯トイレの備蓄について
- (6) 自宅の水害リスクの把握度

7 防犯

- ★ (1) 不安に感じている犯罪
- (2) 日頃から心がけている防犯
- (3) 自宅の防犯対策

8 地域コミュニティ

- ★ (1) 地域活動への参加経験・参加意向

9 文化活動

- ★ (1) 区立の文化施設の認知度
- (2) イーグレットホールへ行ってみたいと思うイベント

10 多文化共生

- ★ (1) 区の多文化共生社会への進捗状況
- (2) 外国人等に対する生活支援の充実状況
- (3) 外国人等の地域活動への参加の進捗状況
- (4) 区内の外国人等への偏見や差別の改善状況

11 男女共同参画

- ★ (1) 性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策の必要性
- (2) 「世田谷区パートナーシップの宣誓の取り組み」の認知度

12 健康づくり

- ★ (1) 1日の歩行時間

13 スポーツ

- (1) この1年間に行ったスポーツや運動
- ★ (2) この1年間に行ったスポーツや運動の回数
- (3) スポーツや運動をより頻繁に行うきっかけ

14 たばこマナー

- ★ (1) 居住地域におけるたばこマナーの満足度

15 就職活動

- ★ (1) 就職活動における情報収集方法
- (2) 就職先選びで重視すること

16 都市デザイン

- ★ (1) ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み
- (2) 区内の風景への興味・関心
- (3) やってみたい風景づくり活動

17 交通

- ★ (1) 区の交通手段の満足度
- (2) 自転車利用時のヘルメット着用状況
- (3) ヘルメットを着用しない理由
- (4) 自転車損害賠償保険等への加入状況
- (5) 自転車損害賠償保険等へ加入していない理由

18 せたがやPay

- ★ (1) せたがやPayの認知・利用度
- (2) せたがやPayに期待すること

19 図書館

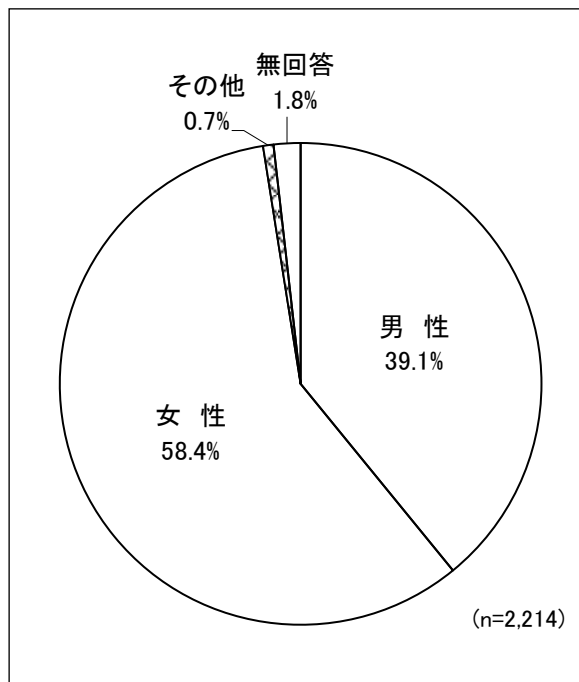
- ★ (1) 「図書館ブックボックス」の認知・利用度
- (2) 「図書館ブックボックス」があれば利用したい場所

グラフの見方

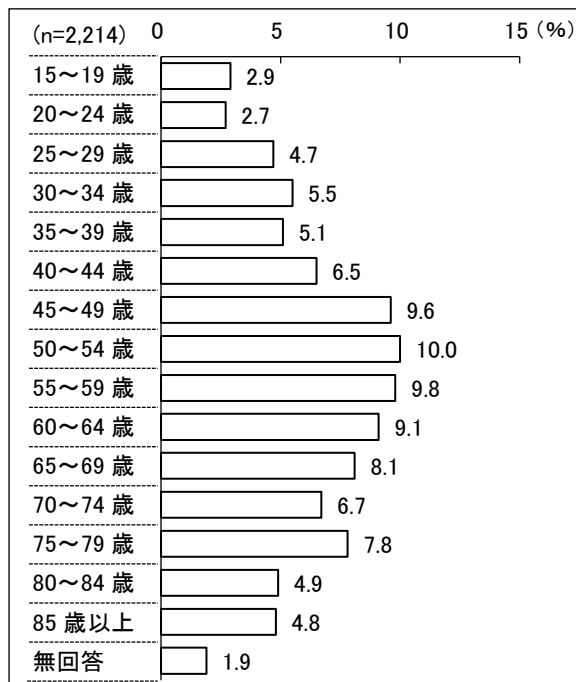
- 1 (複数回答) と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないものがあります。
- 3 複数回答の設問については、合計が100.0%を超えることがあります。
- 4 グラフ中のnは、設問の回答者数を表します。

回答者の属性

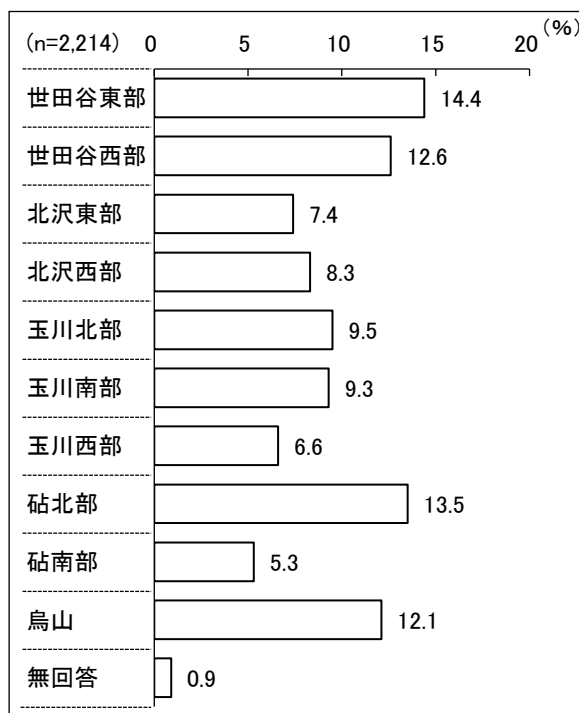
(1) 性別



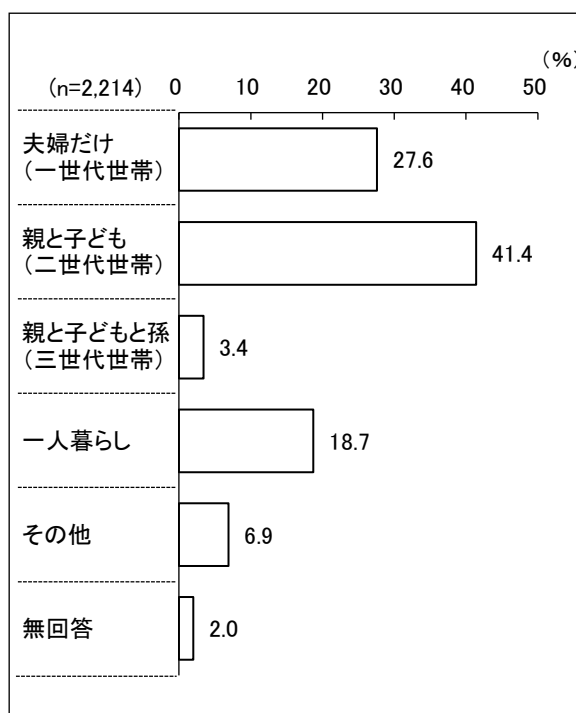
(2) 年齢



(3) 居住地区



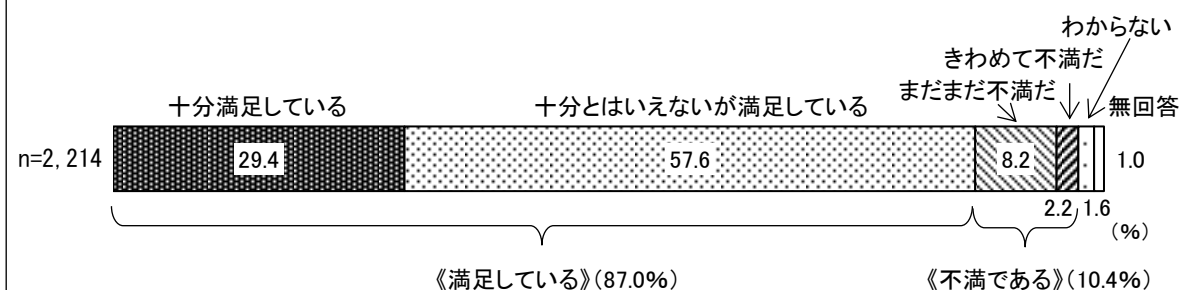
(4) 世帯構成



1. 定住性

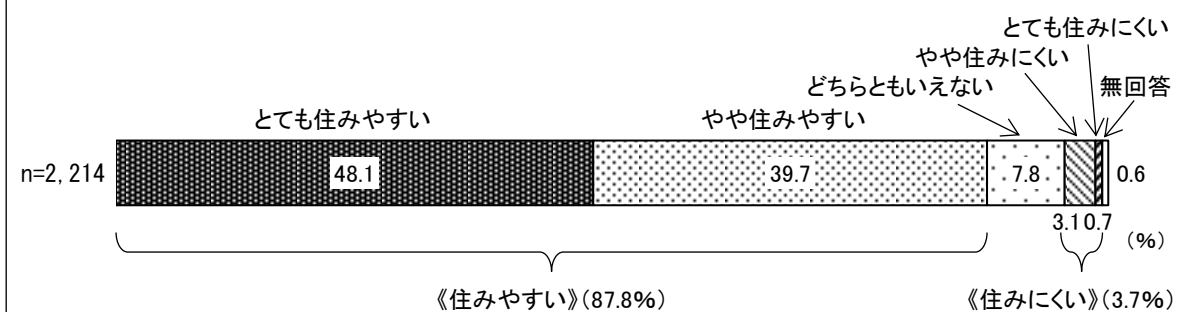
●暮らしの満足度

現在の暮らしについて、《満足している》と感じている方は87.0%となっています。



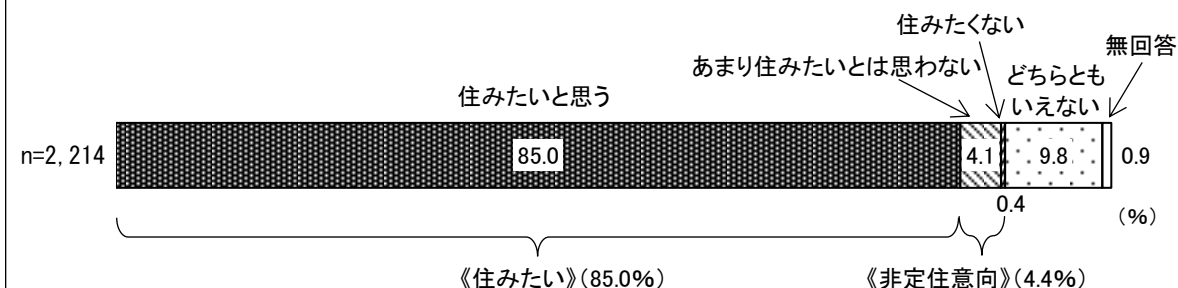
●住みやすさ

《住みやすい》と感じている方は87.8%となっています。



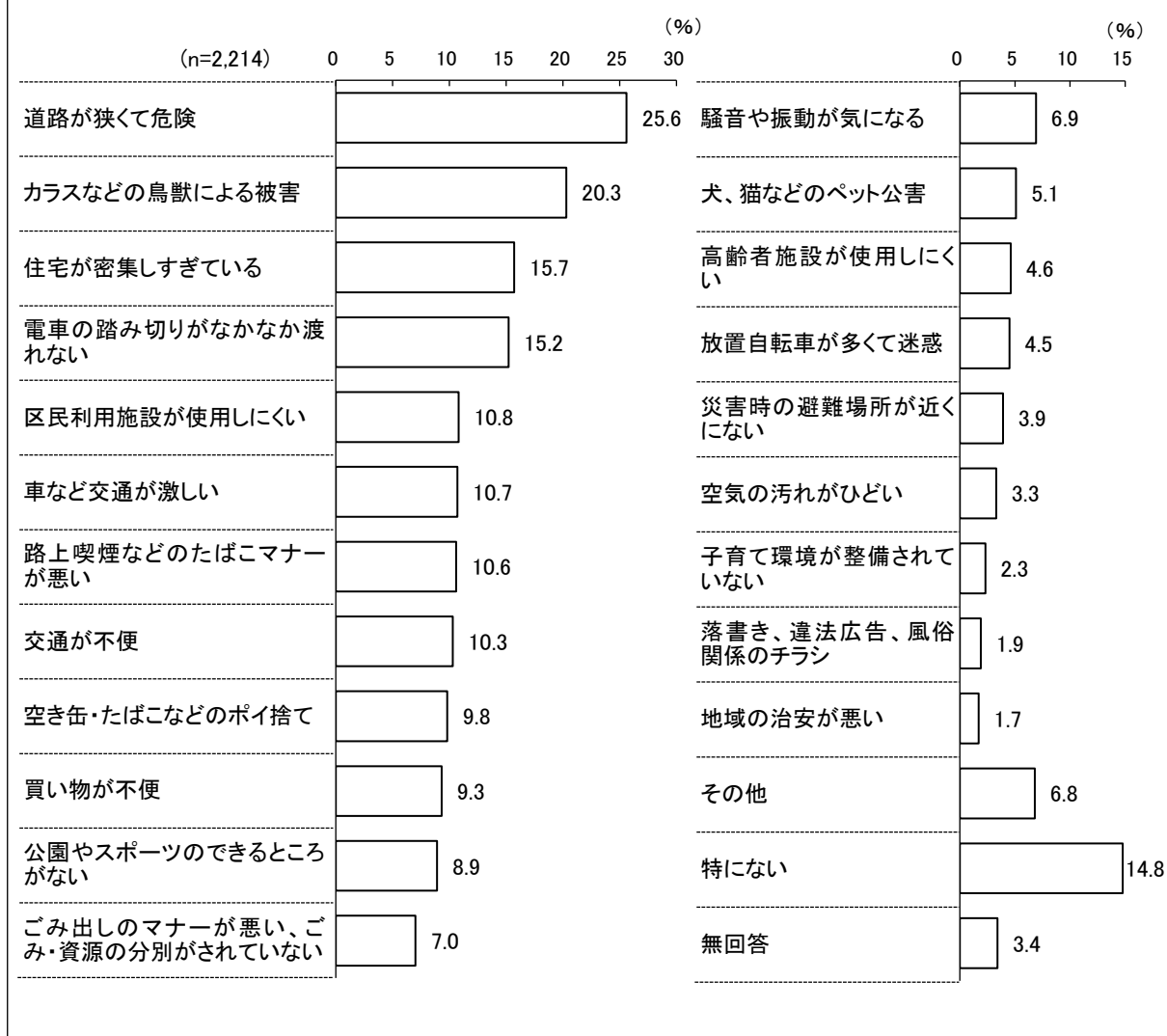
●定住意向

今後も世田谷区に「住みたいと思う」方は85.0%となっています。



●地域における日常生活での困りごと（複数回答）

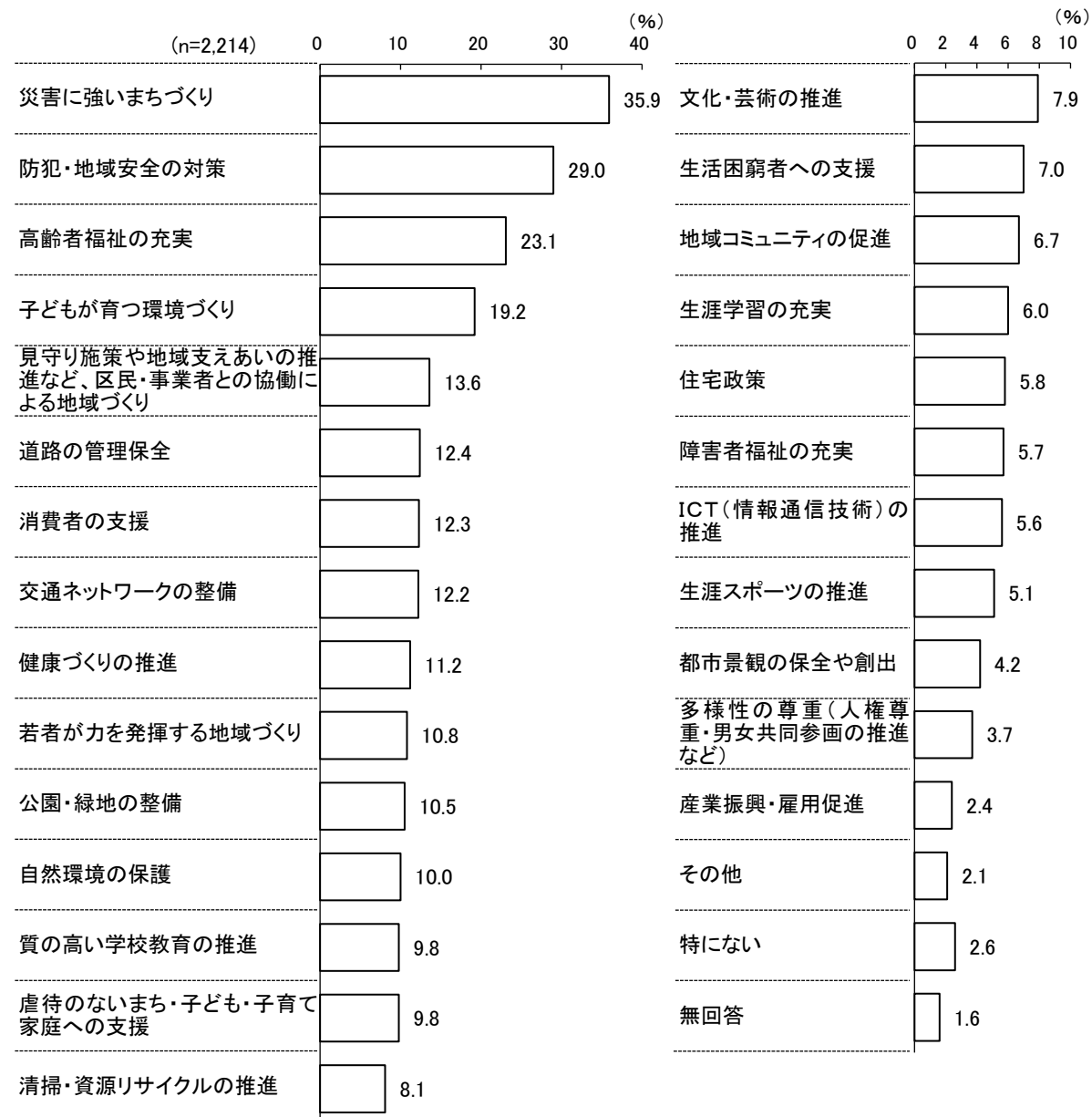
「道路が狭くて危険」が25.6%で最も高く、以下、「カラスなどの鳥獣による被害」、「住宅が密集しすぎている」などと続いています。



2. 区政

●区が積極的に取り組むべき事業（複数回答）

「災害に強いまちづくり」が35.9%で最も高く、以下、「防犯・地域安全の対策」、「高齢者福祉の充実」などと続いています。

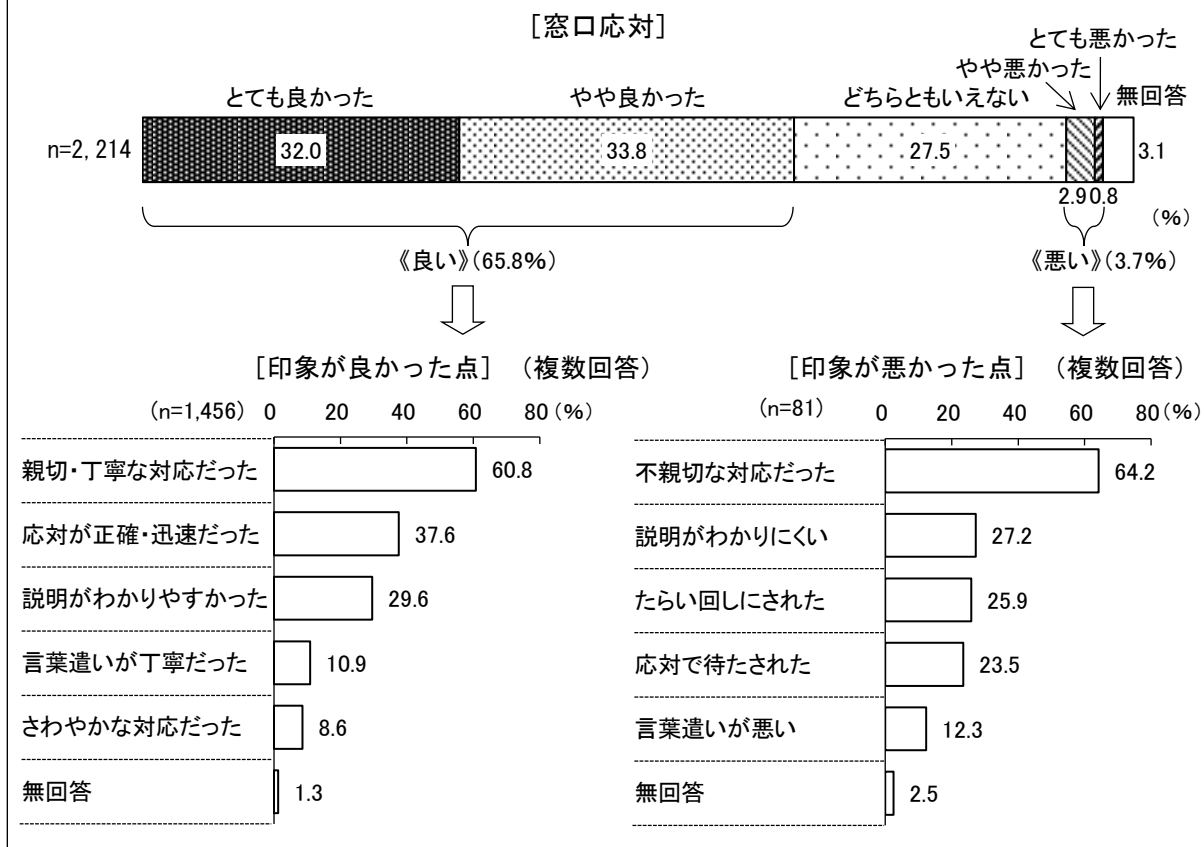


3. 職員応対

●窓口対応と印象が良かった点・悪かった点

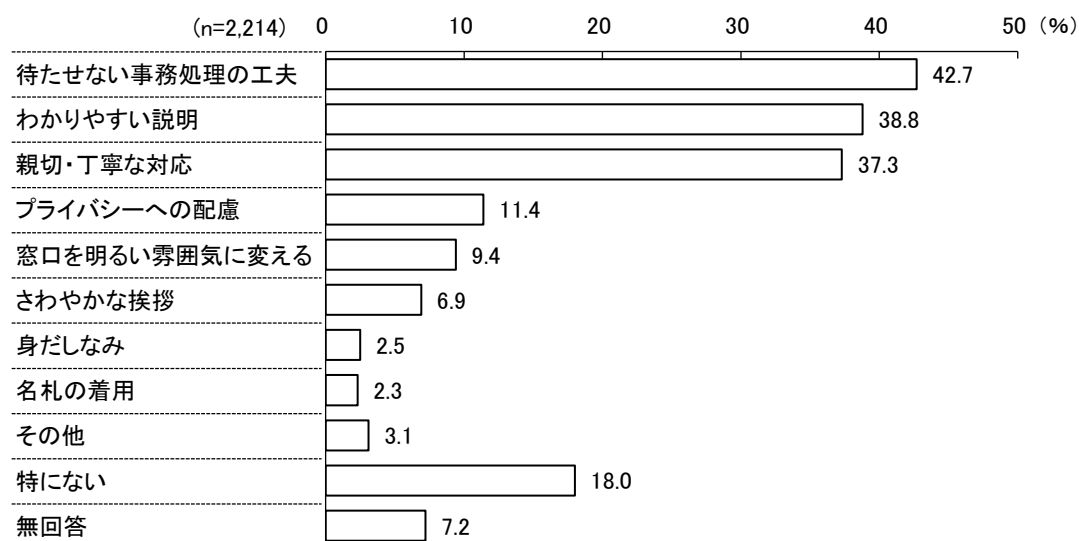
窓口対応は65.8%の方が《良い》と感じています。

親切・丁寧な対応だったかどうか、評価のポイントになっています。



●職員応対での注意点 (複数回答)

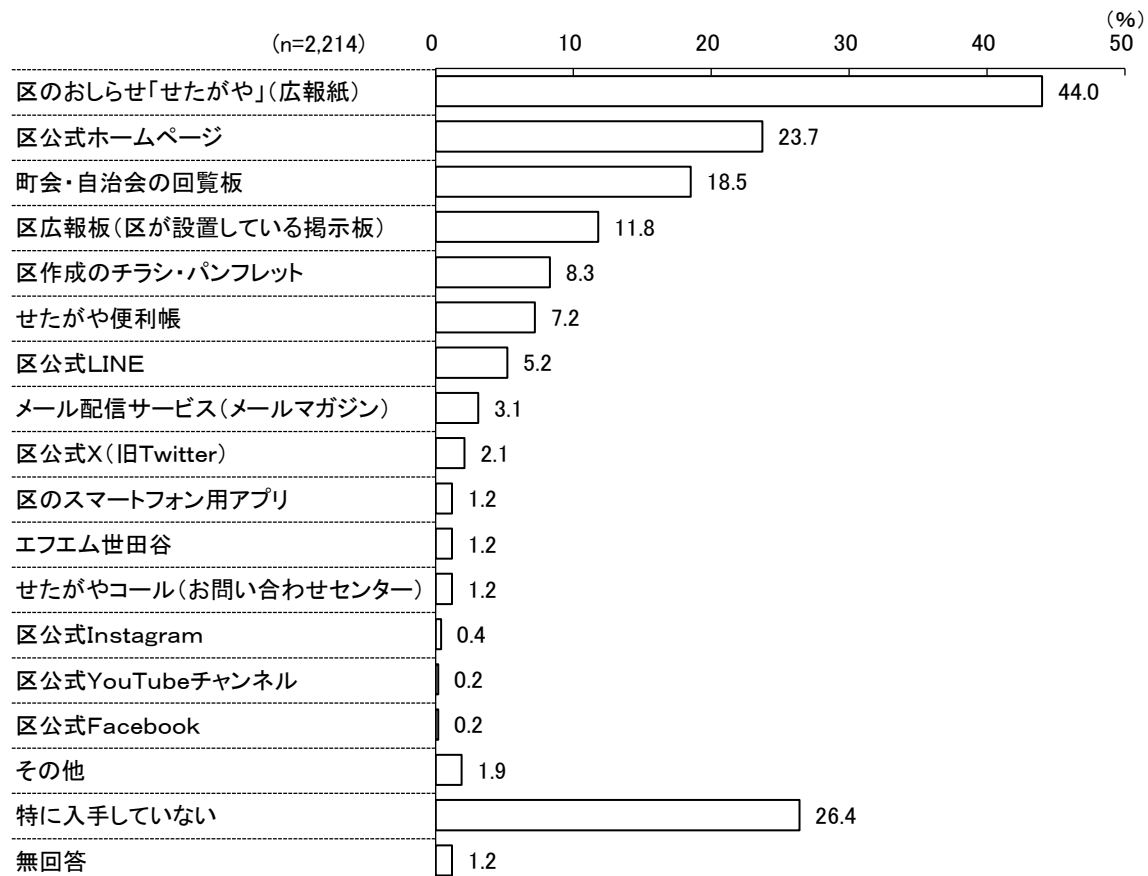
「待たせない事務処理の工夫」が42.7%で最も高く、以下、「わかりやすい説明」、「親切・丁寧な対応」などと続いています。



4. 広報

●区を取り組みや地域の情報の入手経路（複数回答）

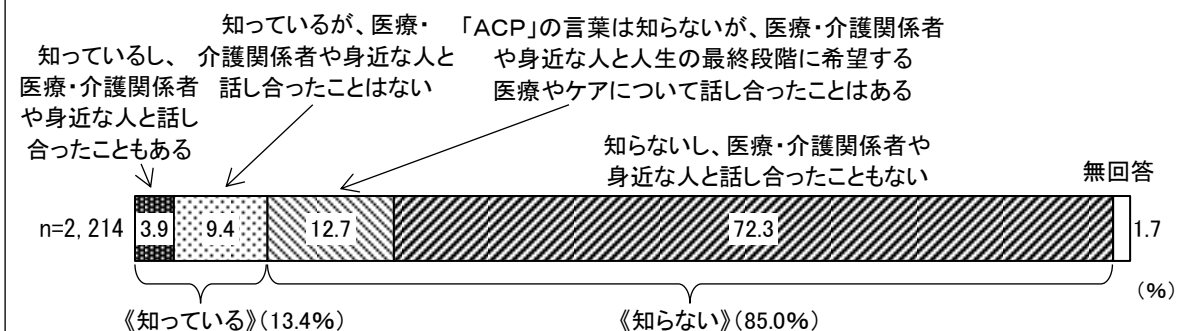
区を取り組みや地域の情報の入手経路を聞いたところ、「区のおしらせ「せたがや」（広報紙）」が44.0%で最も高く、以下、「区公式ホームページ」、「町会・自治会の回覧板」、「区広報板（区が設置している掲示板）」などと続いています。一方、「特に入手していない」は26.4%となっています。



5. 福祉と医療

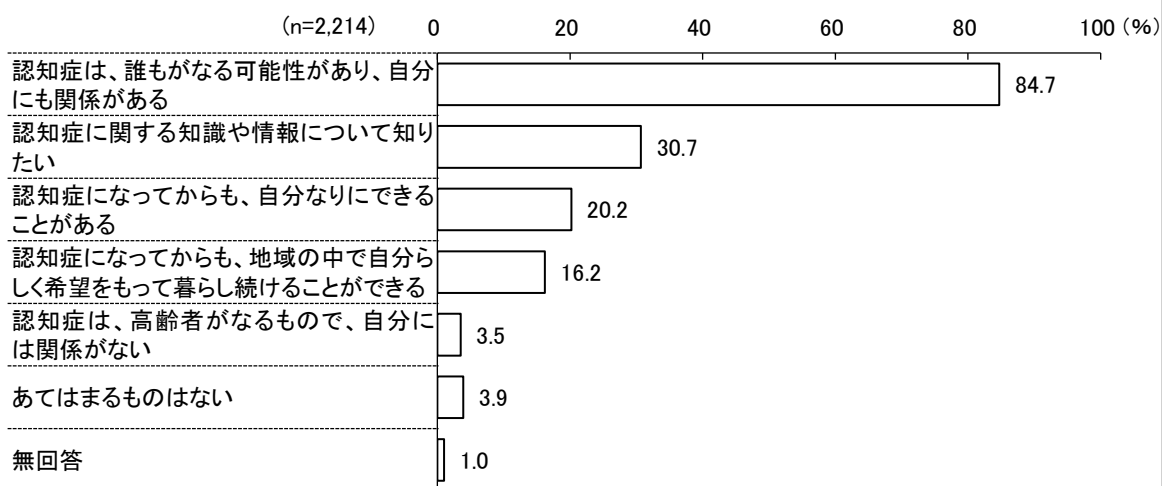
●「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度

「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度を聞いたところ、「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」（3.9%）と「知っているが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはない」（9.4%）を合わせた《知っている》が13.4%、「「ACP」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と人生の最終段階に希望する医療やケアについて話し合ったことはある」（12.7%）、「知らないし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともない」（72.3%）を合わせた《知らない》が85.0%となっています。



●認知症についての印象（複数回答）

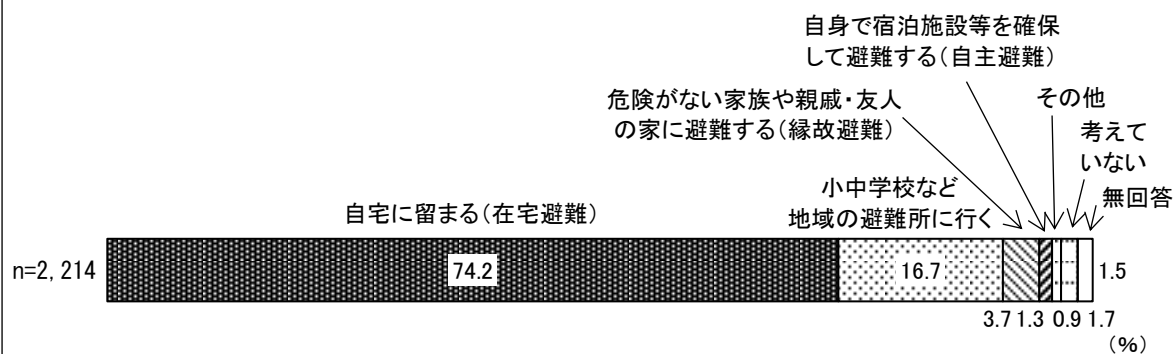
認知症についての印象を聞いたところ、「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」が84.7%で最も高く、以下、「認知症に関する知識や情報について知りたい」、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」、「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」などと続いています。



6. 災害時の備え

●大地震の際の避難行動

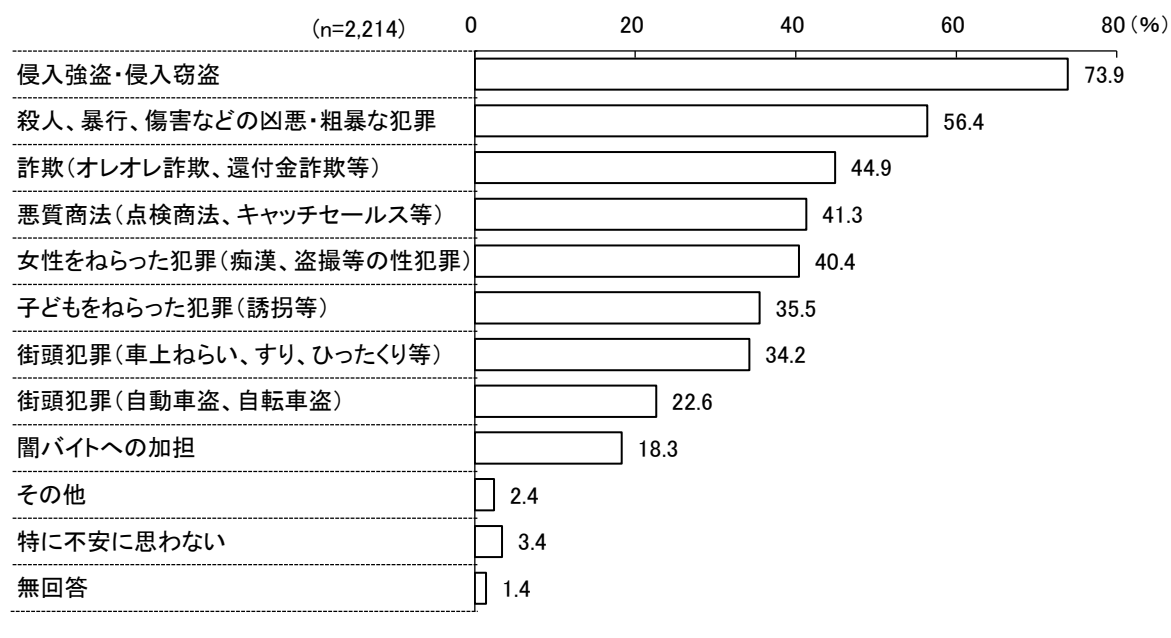
大地震の際の避難行動を聞いたところ、「自宅に留まる（在宅避難）」が74.2%で最も高く、以下、「小中学校など地域の避難所に行く」、「危険がない家族や親戚・友人の家に避難する（縁故避難）」などと続いています。



7. 防犯

●不安に感じている犯罪（複数回答）

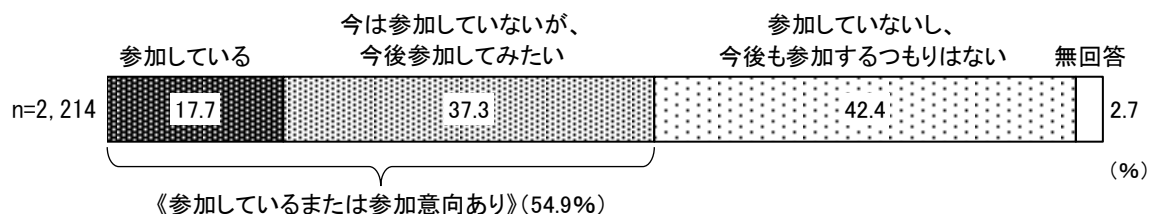
不安に感じている犯罪について聞いたところ、「侵入強盗・侵入窃盗」が73.9%で最も高く、以下、「殺人、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪」、「詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺等）」などと続いています。



8. 地域コミュニティ

●地域活動への参加経験・参加意向

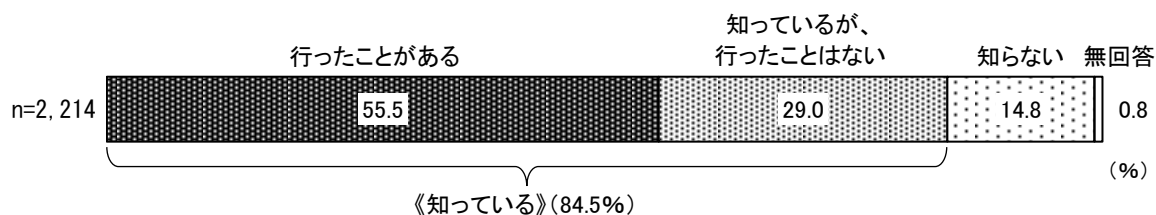
身近な地域の活動に参加しているかどうか聞いたところ、「参加している」(17.7%)と「今は参加していないが、今後参加してみたい」(37.3%)を合わせた《参加しているまたは参加意向あり》が54.9%となっています。「参加していないし、今後も参加するつもりはない」が42.4%となっています。



9. 文化活動

●区立の文化施設の認知度

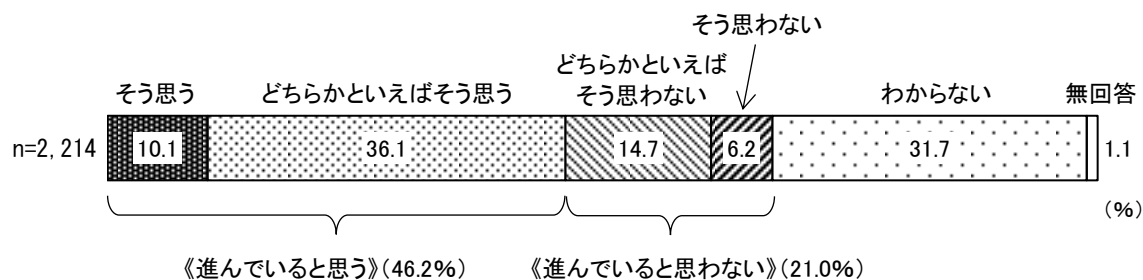
区立の文化施設の認知度を聞いたところ、「行ったことがある」(55.5%)と「知っているが、行ったことはない」(29.0%)を合わせた《知っている》が84.5%となっています。「知らない」が14.8%となっています。



10. 多文化共生

●区の多文化共生社会への進捗状況

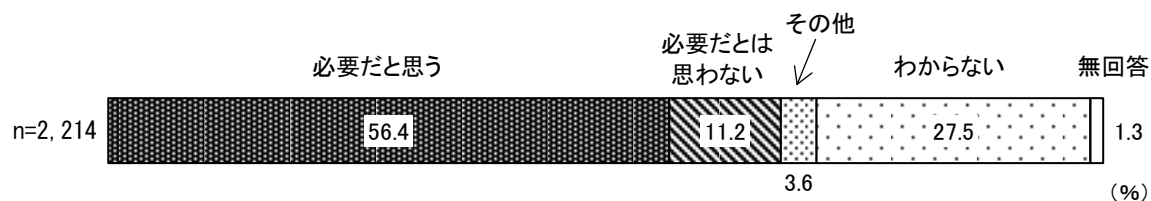
区の多文化共生社会への進捗状況を聞いたところ、《進んでいると思う》が46.2%、《進んでいると思わない》が21.0%となっています。



11. 男女共同参画

●性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策の必要性

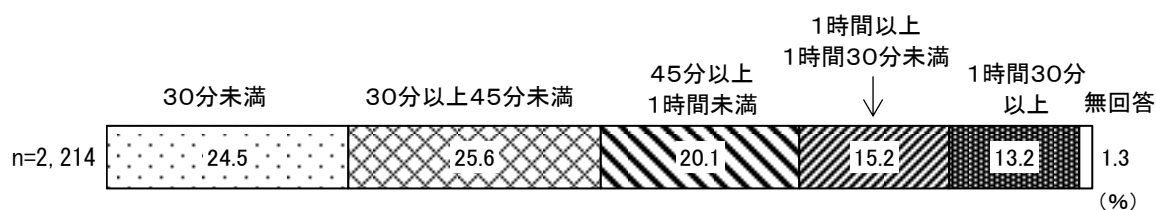
性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策の必要性を聞いたところ、「必要だと思う」が56.4%、「必要だとは思わない」が11.2%となっています。「わからない」は27.5%となっています。



12. 健康づくり

●1日の歩行時間

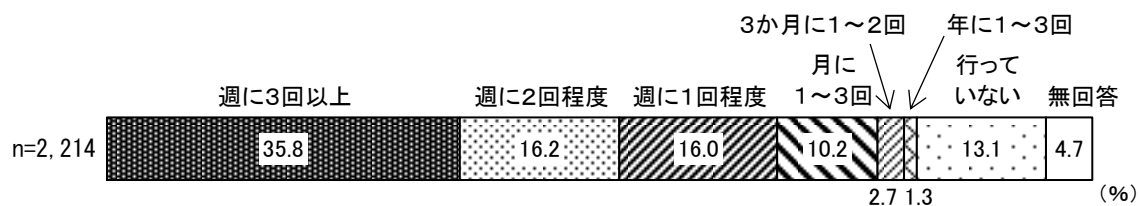
1日の歩行時間を聞いたところ、「30分以上45分未満」が25.6%で最も高く、次いで「30分未満」が24.5%となっています。以下、「45分以上1時間未満」、「1時間以上1時間30分未満」、「1時間30分以上」と続いています。



13. スポーツ

●この1年間に行ったスポーツや運動の回数

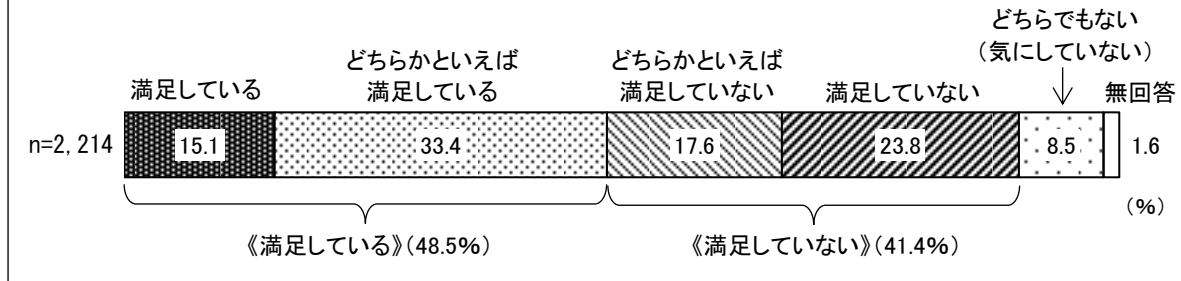
この1年間に行ったスポーツや運動の回数を聞いたところ、「週に3回以上」が35.8%で最も高く、以下、「週に2回程度」、「週に1回程度」、「行っていない」などと続いています。



14. たばこマナー

●居住地域におけるたばこマナーの満足度

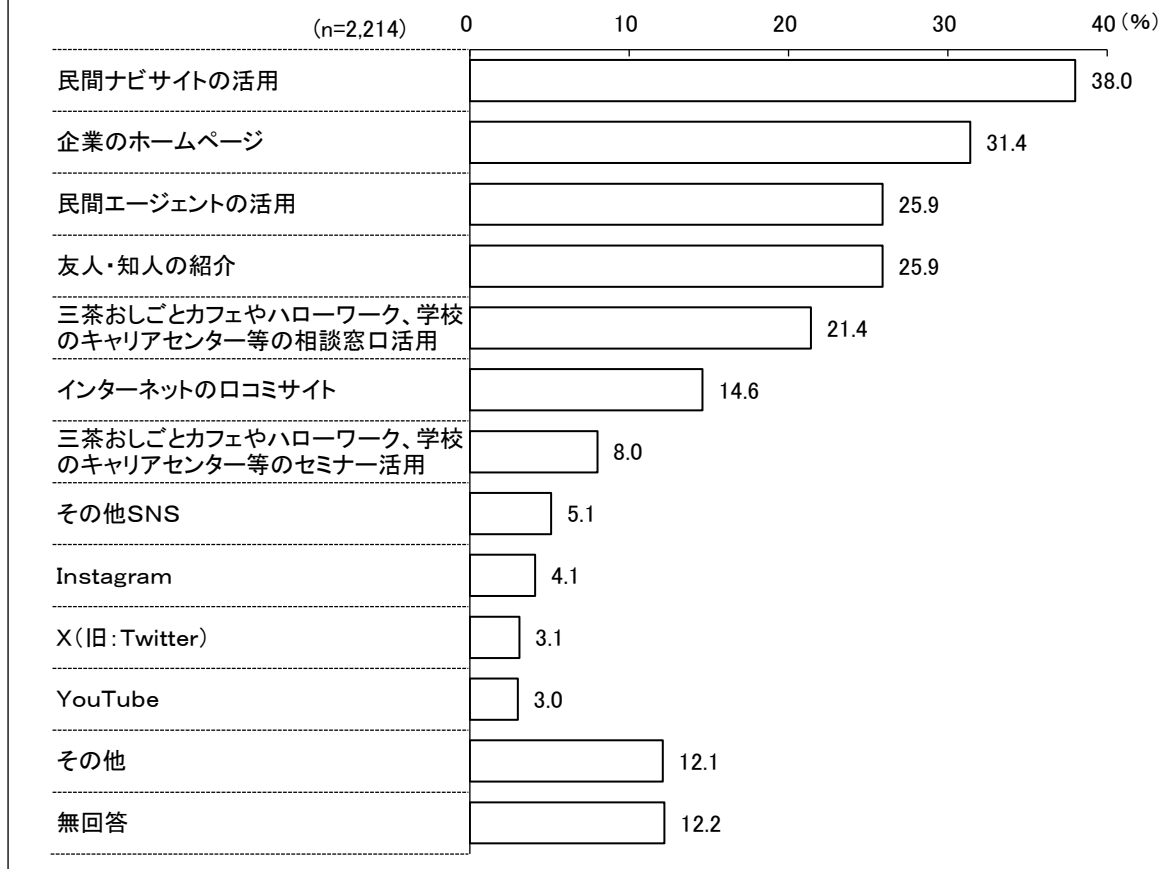
居住地域におけるたばこマナーの満足度を聞いたところ、《満足している》が48.5%、《満足していない》が41.4%となっています。



15. 就職活動

●就職活動における情報収集方法（複数回答）

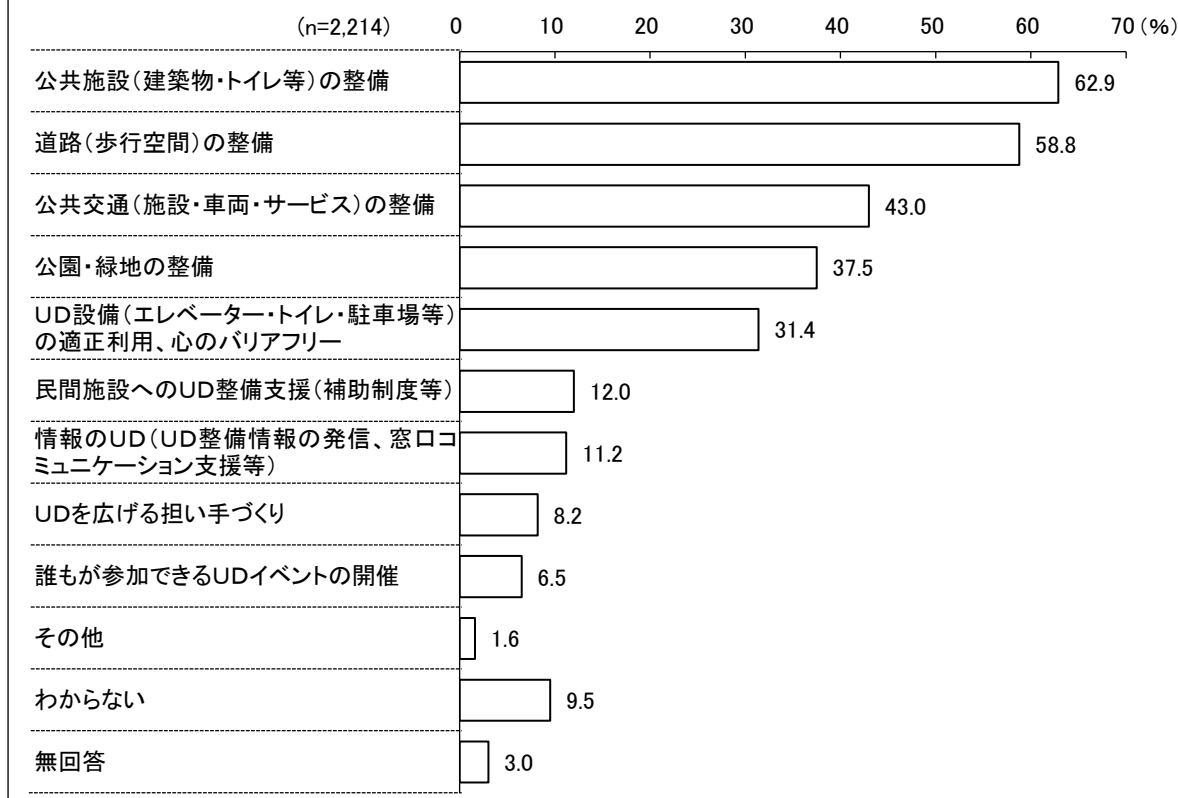
就職活動における情報収集方法を聞いたところ、「民間ナビサイトの活用」が38.0%で最も高く、以下、「企業のホームページ」、「民間エージェントの活用」、「友人・知人の紹介」などと続いています。



16. 都市デザイン

●ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み（複数回答）

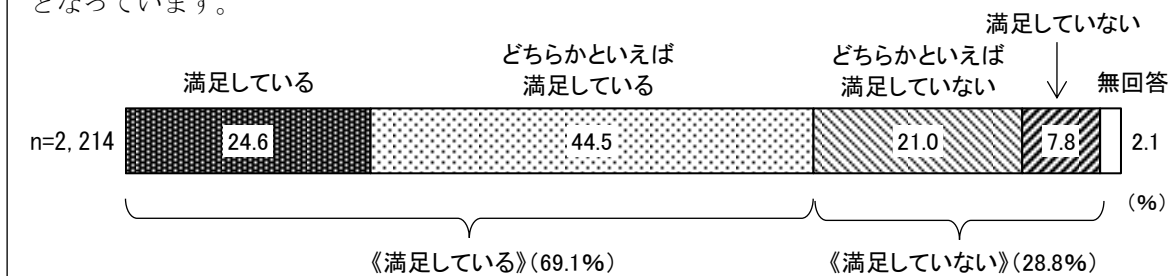
ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組みを聞いたところ、「公共施設（建築物・トイレ等）の整備」が62.9%で最も高く、以下、「道路（歩行空間）の整備」、「公共交通（施設・車両・サービス）の整備」などと続いています。



17. 交通

●区交通手段の満足度

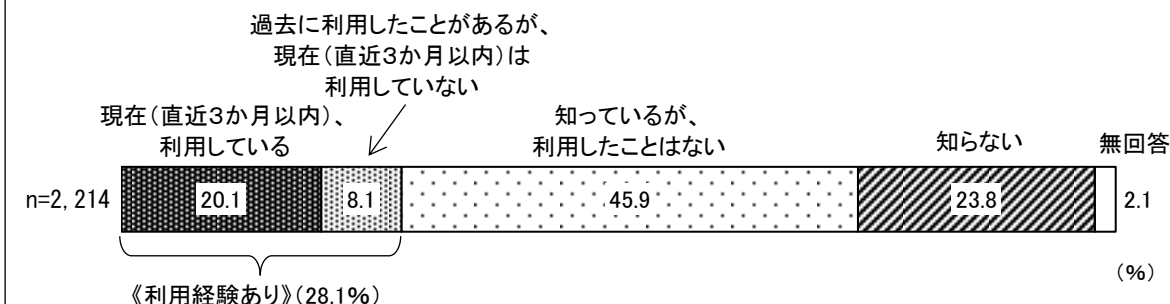
区の交通手段の満足度について聞いたところ、「満足している」(24.6%)と「どちらかといえば満足している」(44.5%)を合わせた《満足している》が69.1%、「どちらかといえば満足していない」(21.0%)と「満足していない」(7.8%)を合わせた《満足していない》が28.8%となっています。



18. せたがや Pay

●せたがや Pay の認知・利用度

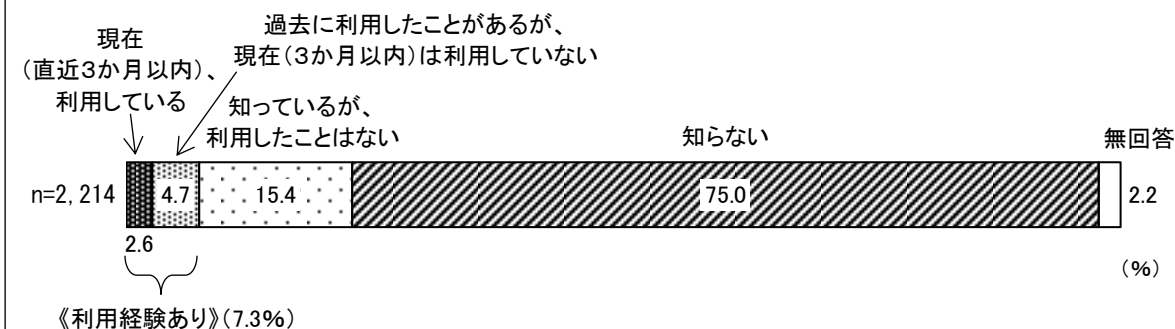
せたがやPayの認知・利用度を聞いたところ、「知っているが、利用したことはない」が45.9%で最も高くなっています。「現在（直近3か月以内）、利用している」（20.1%）と「過去に利用したことがあるが、現在（直近3か月以内）は利用していない」（8.1%）を合わせた《利用経験あり》は28.1%となっています。



19. 図書館

●「図書館ブックボックス」の認知・利用度

「図書館ブックボックス」の認知・利用度を聞いたところ、「知らない」が75.0%で最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が15.4%となっています。「現在（直近3か月以内）、利用している」（2.6%）と「過去に利用したことがあるが、現在（3か月以内）は利用していない」（4.7%）を合わせた《利用経験あり》は7.3%となっています。



世田谷区民意識調査2025（概要版）

令和7年9月発行（広報印刷物登録番号 No. 2397）

発行 世田谷区政策経営部広報広聴課

東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号

電話：03（5432）2014

ファクシミリ：03（5432）3001

実施 株式会社アダムスコミュニケーション

東京都杉並区上高井戸1丁目8番17号 ブライトコアビル新館6階

電話：03（6847）5757

ファクシミリ：03（6847）5756

世田谷区民意識調査 2025

(令和7年5月実施)



世田谷区

は じ め に

世田谷区では、日頃より、様々な形で区民の皆様から区政に対するご意見・ご要望をお聴かせいただいています。

区民意識調査も、こうした広聴事業のひとつとして、区政に対するニーズや意識とその変化を把握するために毎年実施しているもので、今回で51回目となります。

本書は、本年実施した区民意識調査の結果を取りまとめたものです。今回の調査は、「定住性」「職員応対」など経年的な変化を把握するための調査項目に加え、「広報」「文化活動」「男女共同参画」などに関する項目を調査対象といたしました。

この調査結果を今後の事業の見直しや政策立案の参考とさせていただくとともに、引き続き区民の皆様へのわかりやすい情報提供・情報発信に努め、行政への理解や関心を深めていただき、区民参加を更に推進してまいります。

最後に、調査実施にあたりまして、ご協力いただきました区民の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和7年9月

世田谷区

目 次

調査概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査設計	3
4. 標本設計	3
5. 回収結果	6
6. この報告書のみかた	7
7. 標本誤差	7
標本構成	9
1. 標本構成	11
質問と回答	15
調査結果	37
1. 定住性	39
(1) 居住年数	39
(2) 暮らしの満足度	43
(3) 住みやすさ	49
(4) 定住意向	54
(5) 定住意向理由	60
(6) 非定住意向理由	65
(7) 地域における日常生活での困りごと	67
2. 区政	72
(1) 区が積極的に取り組むべき事業	72
3. 職員対応	76
(1) 窓口対応	76
(2) 印象が良かった点	79
(3) 印象が悪かった点	82
(4) 職員対応での注意点	84

4. 広報	87
(1) 区の取り組みや地域の情報の入手経路	87
(2) 広報紙の配布・閲覧方法	89
(3) 区公式ホームページのトップページの利便性	91
(4) 区公式ホームページの使いやすい・使ってみたい機能やサービス	93
(5) 区公式ホームページで重要だと思う情報	95
5. 福祉と医療	97
(1) 「福祉の相談窓口」の認知度	97
(2) 「在宅医療」の認知度	100
(3) 「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の認知度	103
(4) 認知症についての印象	106
6. 災害時の備え	109
(1) 大地震の際の避難行動	109
(2) 災害時にできる住民同士の助け合い	112
(3) 水や食料の備蓄について	115
(4) 非常用電力の備蓄について	118
(5) 携帯トイレの備蓄について	121
(6) 自宅の水害リスクの把握度	124
7. 防犯	127
(1) 不安に感じている犯罪	127
(2) 日頃から心がけている防犯	130
(3) 自宅の防犯対策	133
8. 地域コミュニティ	137
(1) 地域活動への参加経験・参加意向	137
9. 文化活動	141
(1) 区立の文化施設の認知度	141
(2) イーグレットホールへ行ってみたいと思うイベント	143
10. 多文化共生	146
(1) 区が多文化共生社会への進捗状況	146
(2) 外国人等に対する生活支援の充実状況	149
(3) 外国人等の地域活動への参加の進捗状況	152
(4) 区内の外国人等への偏見や差別の改善状況	155

11. 男女共同参画	158
(1) 性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策の必要性	158
(2) 「世田谷区パートナーシップの宣誓の取り組み」の認知度	160
12. 健康づくり	162
(1) 1日の歩行時間	162
13. スポーツ	166
(1) この1年間に行ったスポーツや運動	166
(2) この1年間に行ったスポーツや運動の回数	168
(3) スポーツや運動をより頻繁に行うきっかけ	172
14. たばこマナー	174
(1) 居住地域におけるたばこマナーの満足度	174
15. 就職活動	177
(1) 就職活動における情報収集方法	177
(2) 就職先選びで重視すること	179
16. 都市デザイン	181
(1) ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み	181
(2) 区内の風景への興味・関心	183
(3) やってみたい風景づくり活動	186
17. 交通	188
(1) 区交通手段の満足度	188
(2) 自転車利用時のヘルメット着用状況	191
(3) ヘルメットを着用しない理由	193
(4) 自転車損害賠償保険等への加入状況	195
(5) 自転車損害賠償保険等へ加入していない理由	197
18. せたがや Pay	199
(1) せたがや Pay の認知・利用度	199
(2) せたがや Pay に期待すること	202
19. 図書館	204
(1) 「図書館ブックボックス」の認知・利用度	204
(2) 「図書館ブックボックス」があれば利用したい場所	207

調 査 概 要

1. 調査目的

この調査は、区民が区政に対してどのような意見・要望を持っているかを把握し、今後の区政を進めていくうえでの基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査項目

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 定住性 | (11) 男女共同参画 |
| (2) 区政 | (12) 健康づくり |
| (3) 職員応対 | (13) スポーツ |
| (4) 広報 | (14) たばこマナー |
| (5) 福祉と医療 | (15) 就職活動 |
| (6) 災害時の備え | (16) 都市デザイン |
| (7) 防犯 | (17) 交通 |
| (8) 地域コミュニティ | (18) せたがや Pay |
| (9) 文化活動 | (19) 図書館 |
| (10) 多文化共生 | |

3. 調査設計

- | | |
|----------|------------------------------------|
| (1) 調査対象 | 世田谷区在住の満 15 歳以上の男女 |
| (2) 対象数 | 5,000 人（内訳／日本国籍 4,832 人、外国籍 168 人） |
| (3) 抽出方法 | 層化無作為抽出法 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布・回収またはインターネットによる回答 |
| (5) 調査期間 | 令和 7 年 5 月 14 日～6 月 4 日 |
| (6) 調査機関 | 株式会社アダムスコミュニケーション |

4. 標本設計

- | | |
|----------|--------------------|
| (1) 母集団 | 世田谷区在住の満 15 歳以上の男女 |
| (2) 対象数 | 5,000 人 |
| (3) 抽出方法 | 層化無作為抽出法 |

【層 化】

世田谷区内を町丁目単位として、次の10地域に分類しそれぞれを層として計10層とした。



【標本数の配分】

各地域（層）における15歳以上の人口数（令和7年4月1日現在）により、5,000の標本数を配分した。

【抽 出】

1 地域ごとに「標本数の配分」にて設定した標本数を無作為抽出した。

地 域 別 町 丁 名 一 覧 表

地域	町丁目	地域	町丁目
世田谷東部	池尻 1～4丁目	玉川南部	奥沢 1～8丁目
	下馬 1～6丁目		東玉川 1～2丁目
	三宿 1～2丁目		玉川田園調布 1～2丁目
	太子堂 1～5丁目		等々力 1～8丁目
	三軒茶屋 1～2丁目		尾山台 1～3丁目
	野沢 1～4丁目		玉堤 1～2丁目
	若林 1～5丁目	玉川西部	中町 1～5丁目
	上馬 1～5丁目		野毛 1～3丁目
	駒沢 1～2丁目		瀬田 1～5丁目
世田谷西部	世田谷 1～4丁目		上野毛 1～4丁目
	弦巻 1～5丁目		玉川 1～4丁目
	宮坂 1～3丁目	砧北部	船橋 1～7丁目
	桜 1～3丁目		千歳台 1～6丁目
	経堂 1～5丁目		祖師谷 1～6丁目
	桜丘 1～5丁目		砧 1～8丁目
北沢東部	北沢 1～5丁目		成城 1～9丁目
	代沢 1～5丁目	砧南部	大蔵 1～6丁目
	大原 1～2丁目		砧公園
	羽根木 1～2丁目		岡本 1～3丁目
	代田 1～6丁目		鎌田 1～4丁目
北沢西部	松原 1～6丁目		喜多見 1～9丁目
	梅丘 1～3丁目		宇奈根 1～3丁目
	豪徳寺 1～2丁目	烏山	八幡山 1～3丁目
	赤堤 1～5丁目		南烏山 1～6丁目
	桜上水 1～5丁目		粕谷 1～4丁目
玉川北部	駒沢公園		北烏山 1～9丁目
	駒沢 3～5丁目		給田 1～5丁目
	新町 1～3丁目		上祖師谷 1～7丁目
	深沢 1～8丁目		上北沢 1～5丁目
	桜新町 1～2丁目		
	用賀 1～4丁目		
	上用賀 1～6丁目		
	玉川台 1～2丁目		

5. 回収結果

(1) 有効回収数 2,214 人 (内訳／日本国籍 2,185 人、外国籍 29 人)

(2) 有効回収率 44.3%

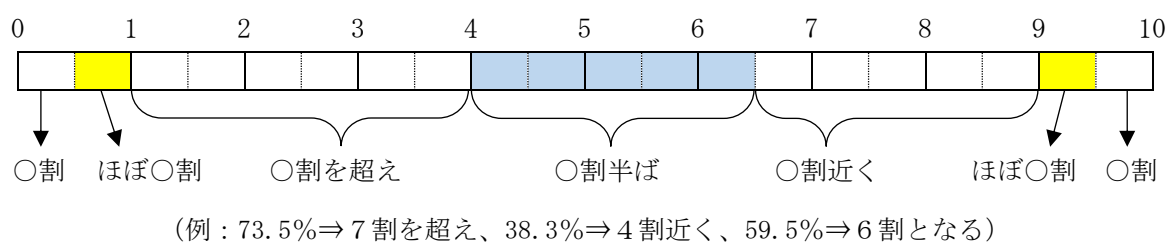
(内訳／郵送回収 1,377 通・62.2%、インターネット回収 837 通・37.8%)

回収結果内訳 (人口は令和 7 年 4 月 1 日現在)

			標本数A	15歳以上の人口数(母集団)	回収数B	回収率 C=B/A
全体			5,000	822,968	2,214	44.3%
地区	世田谷	東部	818	134,768	318	38.9%
		西部	573	94,314	279	48.7%
	北沢	東部	415	68,267	163	39.3%
		西部	440	72,451	184	41.8%
	玉川	北部	465	76,503	211	45.4%
		南部	430	70,760	207	48.1%
		西部	331	54,457	147	44.4%
	砧	北部	615	101,207	299	48.6%
		南部	260	42,715	118	45.4%
	烏山		653	107,526	268	41.0%
	無回答		-	-	20	-
性別×年齢	男性	計	2,331	385,471	865	37.1%
		10歳代・20歳代	497	79,674	100	20.1%
		30歳代	352	58,755	88	25.0%
		40歳代	408	67,853	117	28.7%
		50歳代	390	71,043	167	42.8%
		60歳代	318	48,682	174	54.7%
		70歳代	235	35,629	138	58.7%
		80歳以上	131	23,835	79	60.3%
		無回答	-	-	2	-
	女性	計	2,669	437,497	1,294	48.5%
		10歳代・20歳代	511	81,468	124	24.3%
		30歳代	371	64,839	143	38.5%
		40歳代	484	74,767	233	48.1%
		50歳代	474	77,508	270	57.0%
		60歳代	285	50,903	205	71.9%
		70歳代	274	43,114	181	66.1%
		80歳以上	270	44,898	135	50.0%
		無回答	-	-	3	-
	その他		-	-	16	-
	無回答		-	-	39	-

6. この報告書のみかた

- (1) 百分比は回答者数（該当設問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字はすべて小数点第2位を四捨五入してある。したがって、比率の合計が必ずしも 100.0%にならない場合がある。同様に、複数の回答の合計値も図表の数字が一致しない場合がある。
- (2) 設問中に特に指示がない限り、回答は1つである。
- (3) 複数回答の設問は、すべての比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- (4) 設問に対して無回答があったクロス集計による分析では、各回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない。
- (5) 基数が 30 に満たないデータについては参考値とする。
- (6) 数値を考察するにあたり、割合の表現は以下のとおりとしている。



7. 標本誤差

下記は標本誤差算出の数式である。

(標本誤差)
$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団（世田谷区全体）
n=比率算出の基礎（サンプル数）
p=回答比率

Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ とみなすことができるので、標準誤差の範囲は、次の

標本誤差早見表のとおり求められる。

標 本 誤 差 早 見 表

回答比率(p) 基数(n)			10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後	
総数			2,214	± 1.3%	± 1.7%	± 1.9%	± 2.1%	± 2.1%
地域	世田谷	東部	318	± 3.4%	± 4.5%	± 5.1%	± 5.5%	± 5.6%
		西部	279	± 3.6%	± 4.8%	± 5.5%	± 5.9%	± 6.0%
	北沢	東部	163	± 4.7%	± 6.3%	± 7.2%	± 7.7%	± 7.8%
		西部	184	± 4.4%	± 5.9%	± 6.8%	± 7.2%	± 7.4%
	玉川	北部	211	± 4.1%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.7%	± 6.9%
		南部	207	± 4.2%	± 5.6%	± 6.4%	± 6.8%	± 7.0%
		西部	147	± 4.9%	± 6.6%	± 7.6%	± 8.1%	± 8.2%
	砧	北部	299	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
		南部	118	± 5.5%	± 7.4%	± 8.4%	± 9.0%	± 9.2%
	烏 山		268	± 3.7%	± 4.9%	± 5.6%	± 6.0%	± 6.1%
性別	男 性		865	± 2.0%	± 2.7%	± 3.1%	± 3.3%	± 3.4%
	女 性		1,294	± 1.7%	± 2.2%	± 2.5%	± 2.7%	± 2.8%
年代	10・20歳代		228	± 4.0%	± 5.3%	± 6.1%	± 6.5%	± 6.6%
	30歳代		235	± 3.9%	± 5.2%	± 6.0%	± 6.4%	± 6.5%
	40歳代		355	± 3.2%	± 4.2%	± 4.9%	± 5.2%	± 5.3%
	50歳代		439	± 2.9%	± 3.8%	± 4.4%	± 4.7%	± 4.8%
	60歳代		380	± 3.1%	± 4.1%	± 4.7%	± 5.0%	± 5.1%
	70歳代		320	± 3.4%	± 4.5%	± 5.1%	± 5.5%	± 5.6%
	80歳以上		216	± 4.1%	± 5.4%	± 6.2%	± 6.7%	± 6.8%

回答比率(p) 基数(n)		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
n = 2,500 の場合	(2,500)	± 1.2%	± 1.6%	± 1.8%	± 2.0%	± 2.0%
n = 2,000 の場合	(2,000)	± 1.3%	± 1.8%	± 2.0%	± 2.2%	± 2.2%
n = 1,500 の場合	(1,500)	± 1.5%	± 2.1%	± 2.4%	± 2.5%	± 2.6%
n = 1,000 の場合	(1,000)	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.2%
n = 800 の場合	(800)	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.5%	± 3.5%
n = 600 の場合	(600)	± 2.4%	± 3.3%	± 3.7%	± 4.0%	± 4.1%
n = 400 の場合	(400)	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
n = 200 の場合	(200)	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
n = 100 の場合	(100)	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%

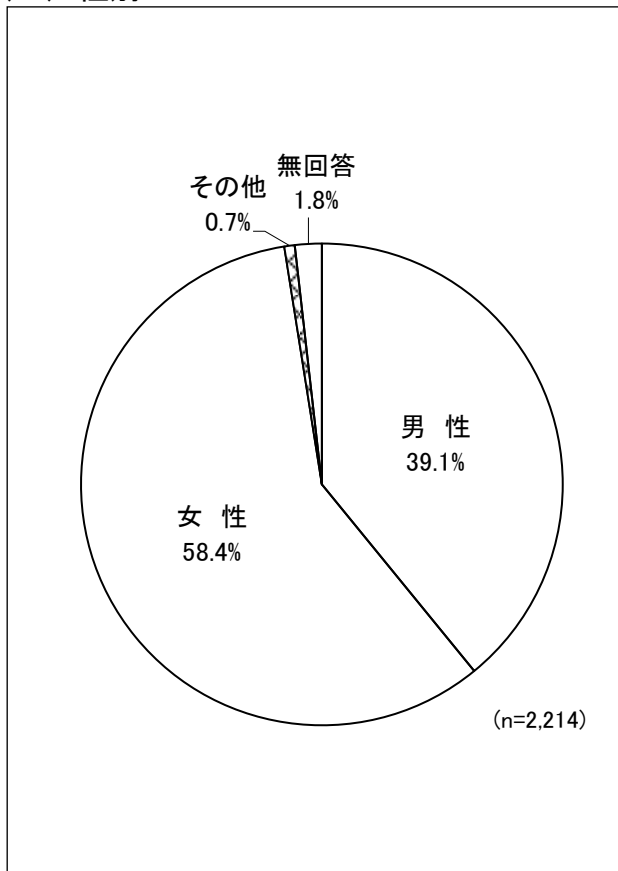
(注) この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答数が2,214人であり、その設問の選択肢の回答比率が40.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高で±2.1%である。」

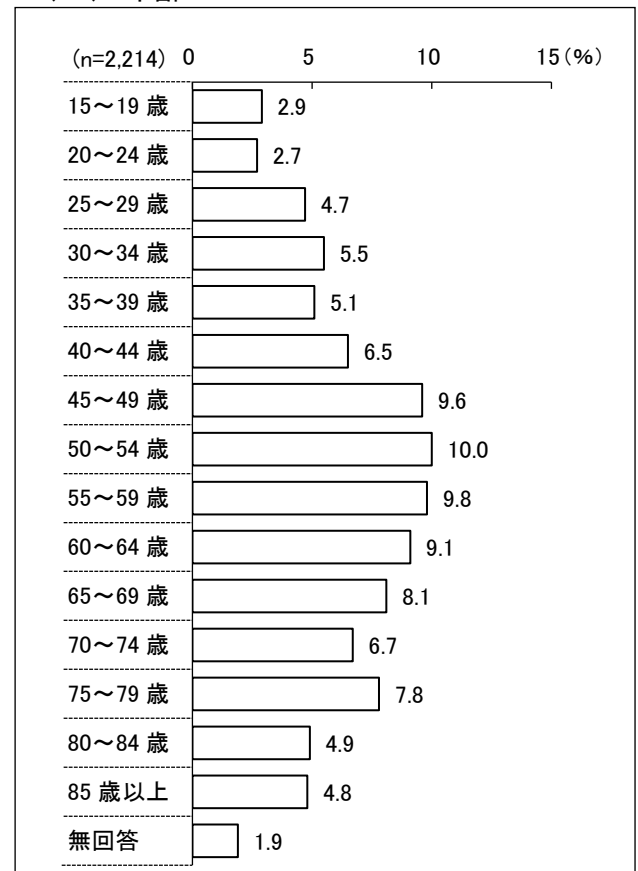
標 本 構 成

1. 標本構成

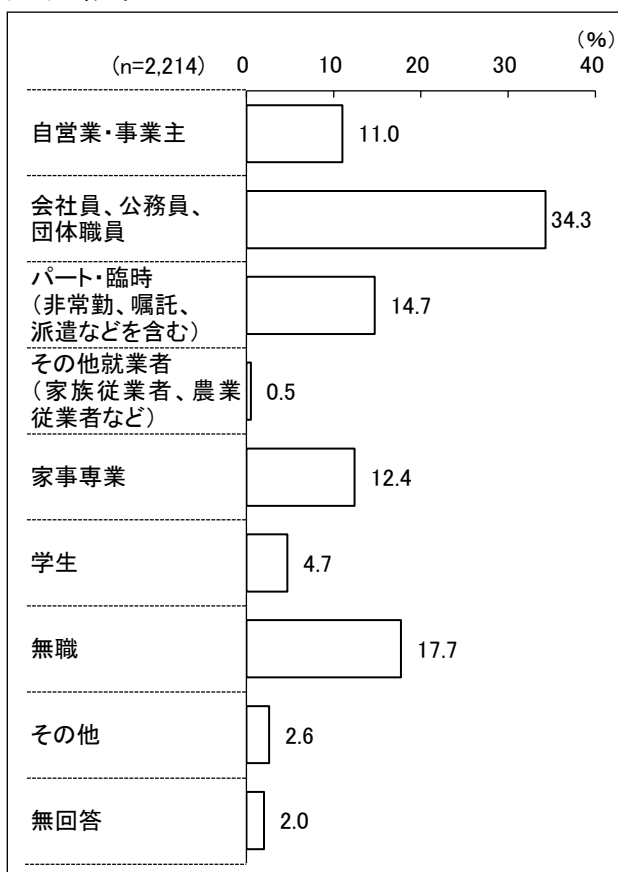
(1) 性別



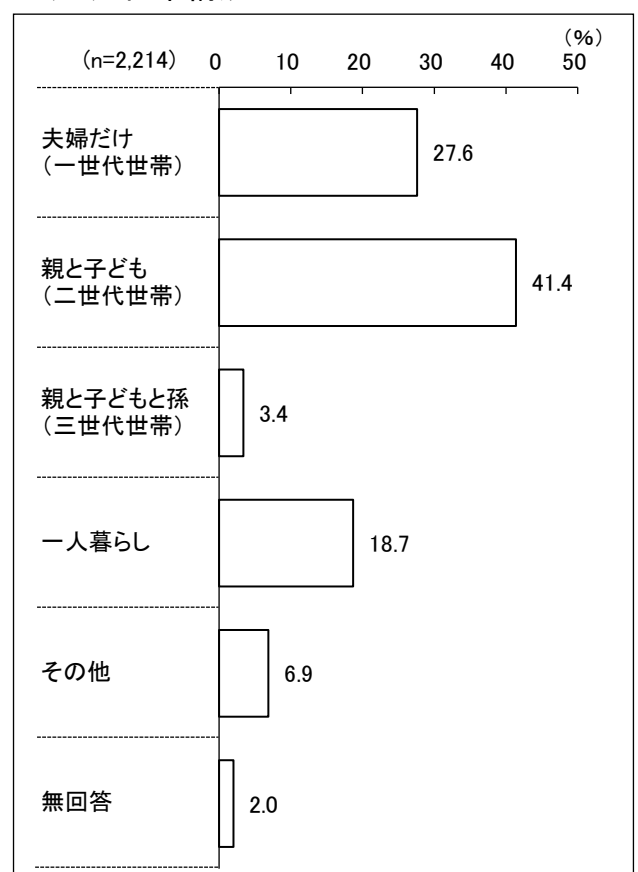
(2) 年齢



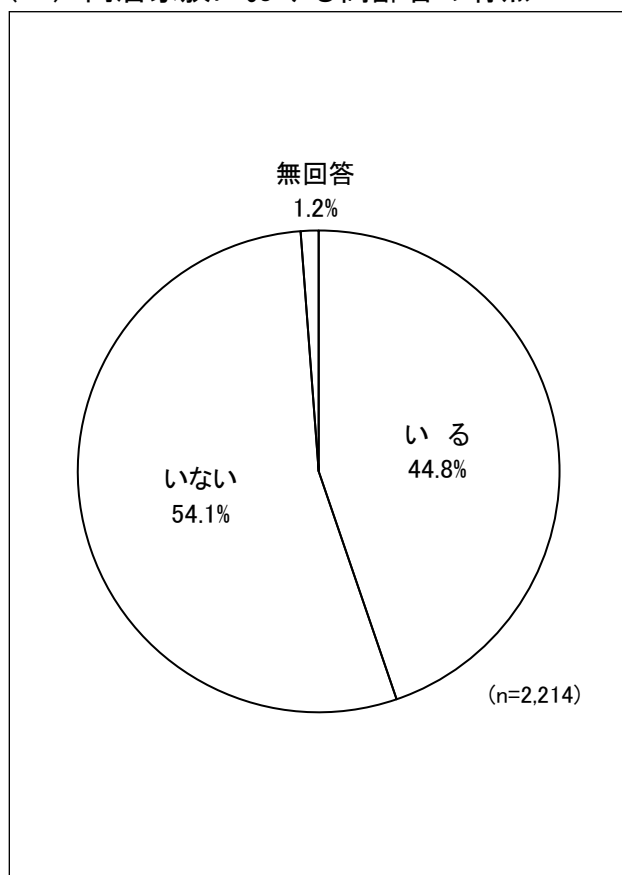
(3) 職業



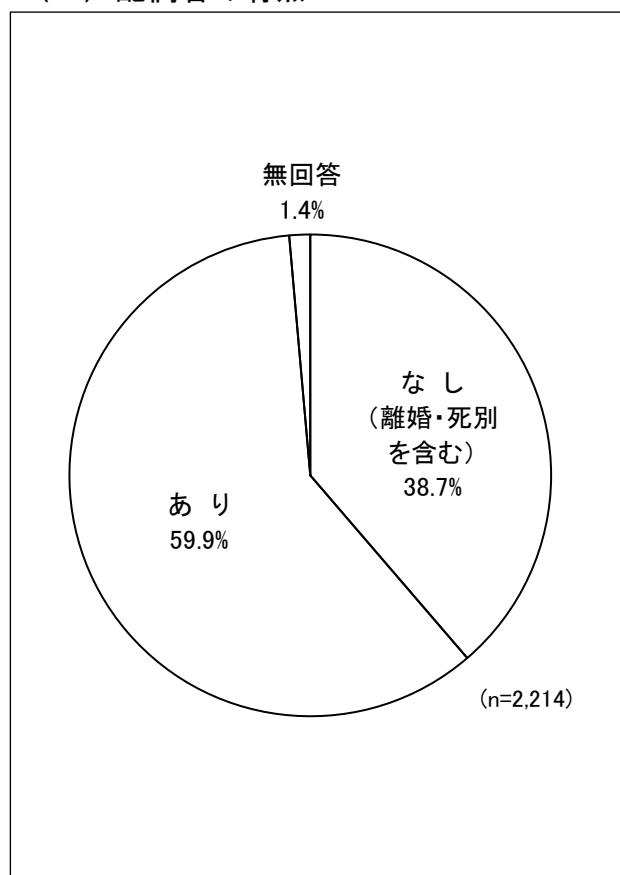
(4) 世帯構成



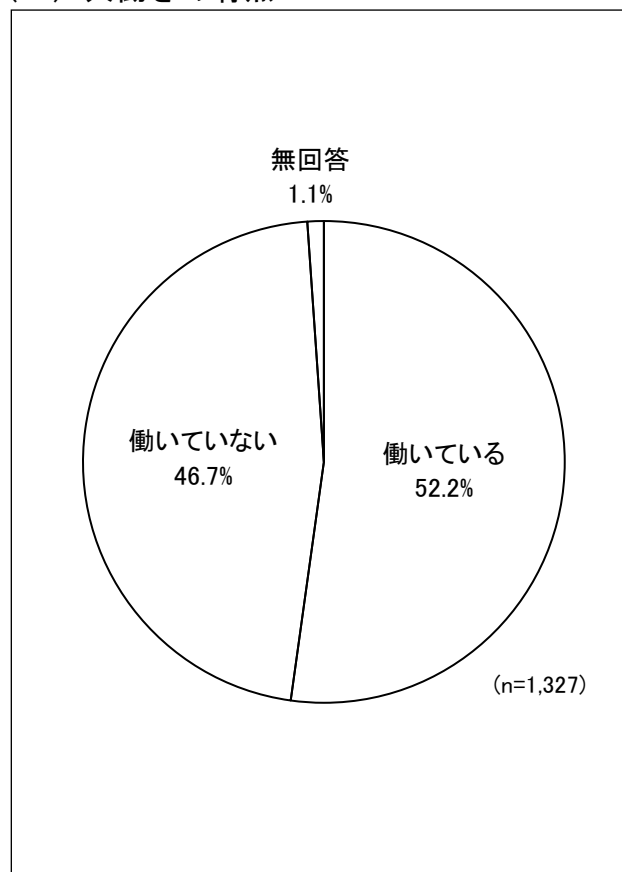
(5) 同居家族における高齢者の有無



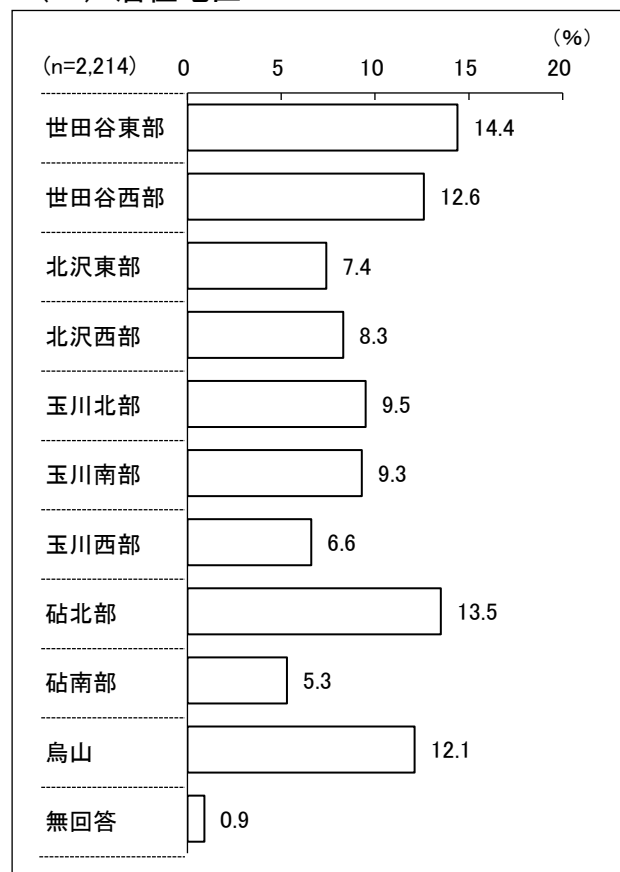
(6) 配偶者の有無



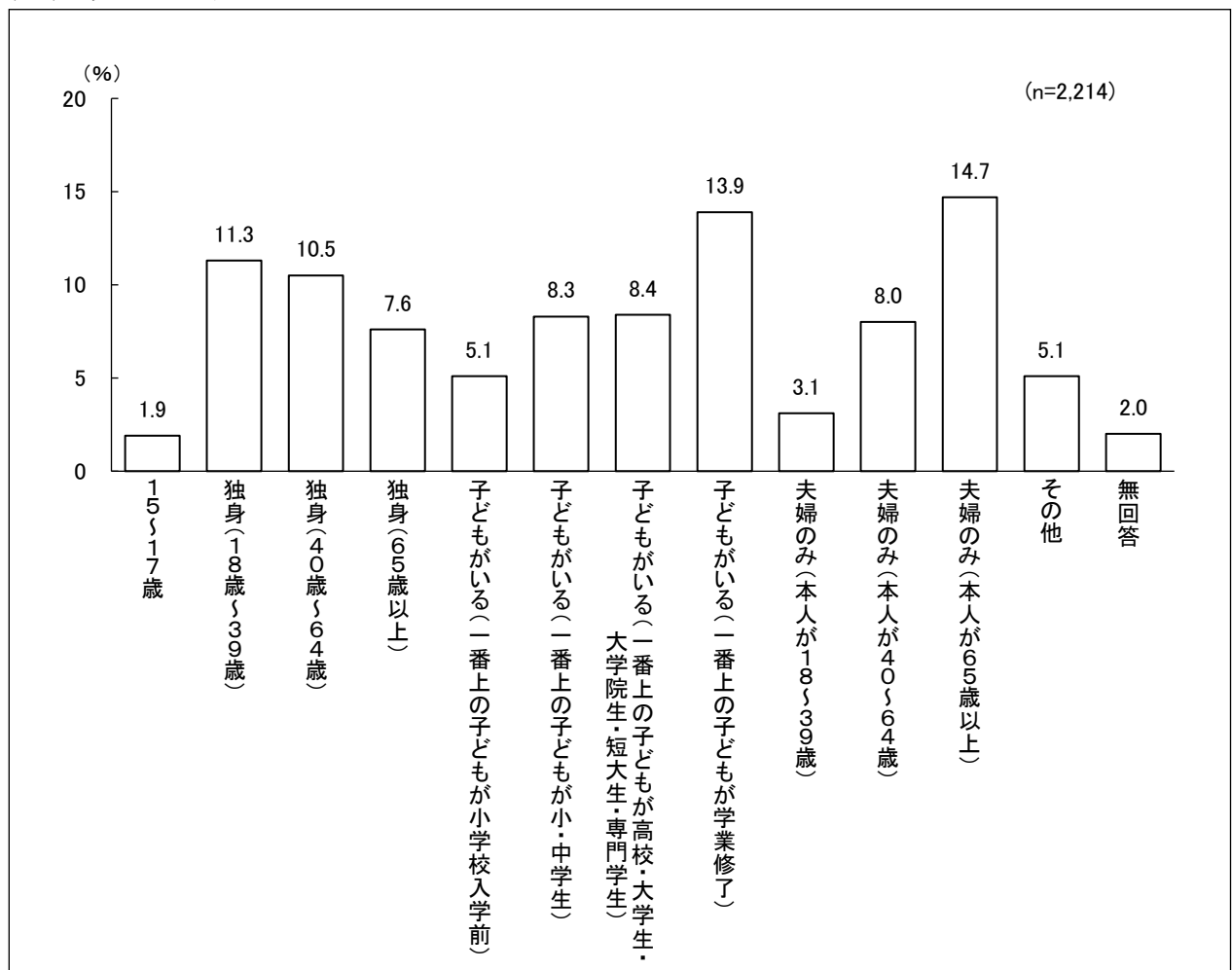
(7) 共働きの有無



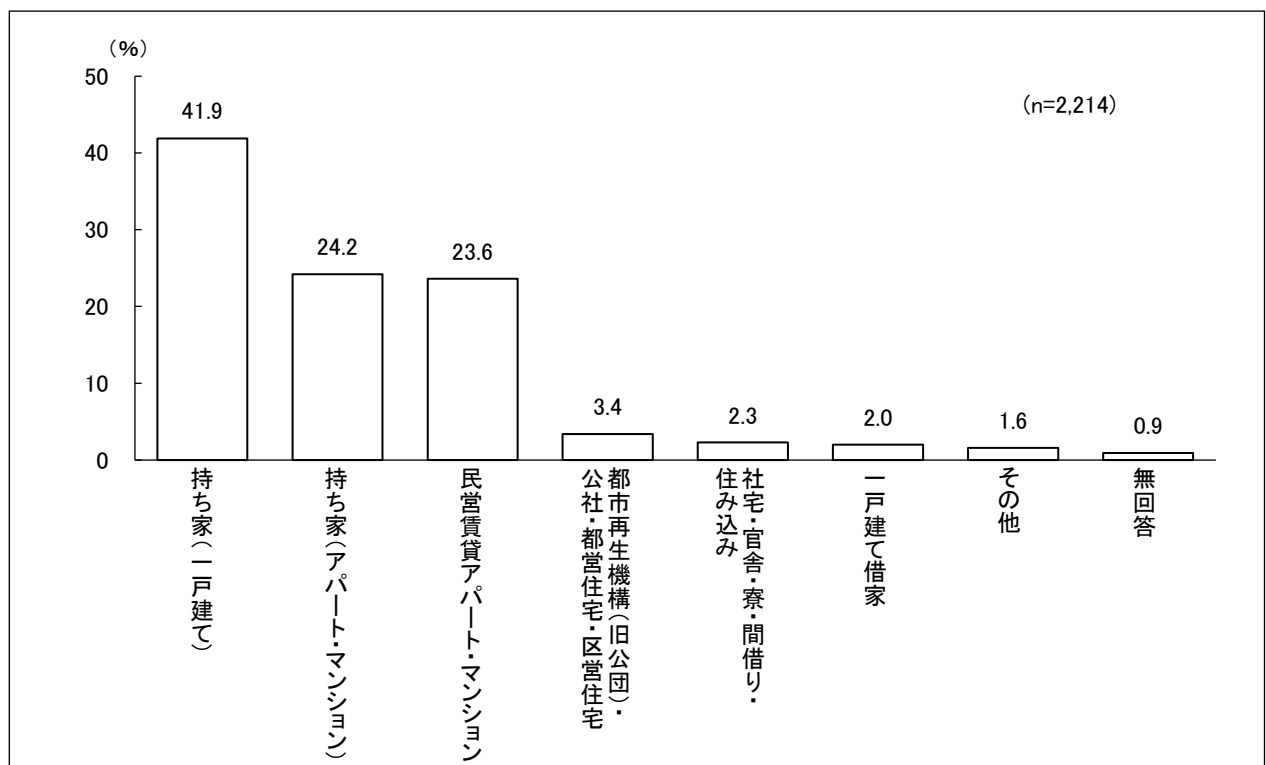
(8) 居住地区



(9) ライフスタイル



(10) 住宅形態



質 問 と 回 答

この調査は世田谷区役所が実施しています

令和 7 年度 世田谷区民意識調査 調査票

【ご回答にあたってのお願い】

1. 封筒の宛名に書かれているご本人がお答えください。
ただし、事情によりご本人による記入やインターネット操作が難しい場合は、ご家族の方が代わりに行っていただいても構いません。
2. 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。
3. 質問によって、○をつける数を（1つ）（いくつでも）などと指定していますので、その範囲内でお答えください。
4. わからないときや答えたくない質問は、飛ばしていただいても構いません。
5. 回答は郵送またはインターネットで行うことができます。

6月4日（水）までに、ご回答いただくようお願いいたします。

≫≫調査の内容などについては下記へお問い合わせください。

せたがやコール

電話 03-5432-3333

午前8時～午後9時（年中無休）

≫≫調査主体 世田谷区 政策経営部 広報広聴課

郵送による回答方法

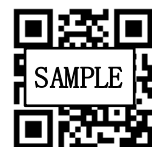
1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
2. 回答のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストに投函してください。

インターネットによる回答方法（文面は日本語と英語です）

パソコン、スマートフォンからご回答いただけます。

URL : <https://00000/>

あなたのID番号 : a12345



1. 回答を途中で終了した場合も、再度、IDでログインすることで、続きから回答を再開できます。
2. このIDは無作為に配布していますので、個人を特定するものではありません。どなたがどのIDであるかは照合できません。
3. インターネットで回答した場合は調査用紙の提出は不要です。

＜インターネットによる回答の手順＞

- ①この調査票の表紙に書かれているURLまたは二次元コードから回答ページにアクセスしてください。
- ②画面上に表示する言語は、画面右上の「日本語」または「English」の文字をクリックすると変更することができます。
- ③表紙に書かれている「あなたのID番号」を入力して、画面右下の「次へ」ボタンをクリックしてください。
- ④画面の指示に従って回答してください。全ての質問を回答後、「送信」ボタンを押すと、回答が完了します。

[スマートフォン]

[パソコン・タブレット]

n=2, 214

定 住 性

(全員の方に)

問 1 あなたは、世田谷区に住んで何年くらいになりますか。(○は1つ)

1	1 年未満	3. 0	5	1 0 ～ 1 8 年未満	16. 7
2	1 ～ 3 年未満	6. 0	6	1 8 ～ 3 0 年未満	21. 1
3	3 ～ 6 年未満	6. 2	7	3 0 年以上	39. 6
4	6 ～ 1 0 年未満	7. 3		(無回答)	0. 2

(全員の方に)

問 2 あなたは、現在の暮らしについてどのように思っていますか。(○は1つ)

1	十分満足している	29. 4	3	まだまだ不満だ	8. 2
2	十分とはいえないが満足している	57. 6	4	きわめて不満だ	2. 2
			5	わからない	1. 6
				(無回答)	1. 0

(全員の方に)

問 3 あなたは、世田谷区は住みやすいところだと思いますか。それとも住みにくいところだと思いますか。(○は1つ)

1	とても住みやすい	48. 1	4	やや住みにくい	3. 1
2	やや住みやすい	39. 7	5	とても住みにくい	0. 7
3	どちらともいえない	7. 8		(無回答)	0. 6

(全員の方に)

問 4 あなたは、これからも世田谷区に住みたいと思いますか。(○は1つ)

1	住みたいと思う	85. 0	問 4-1 にお答えください。		
2	あまり住みたいとは思わない	4. 1	→ 問 4-2 にお答えください。		
3	住みたくない	0. 4	→ 問 5 にお答えください。		
4	どちらともいえない	9. 8			
	(無回答)	0. 9			

▼ (問 4 で「1」と答えた方に) (n=1, 881)

問 4-1 これからも世田谷区に住みたいと思う理由はどんなことですか。(○はいくつでも)

1	住み慣れているから	70. 7	8	人間関係がよいから	17. 1
2	生まれた時からずっと住んでいるから	14. 9	9	教育や文化、その他の社会施設などがよく整備されているから	20. 7
3	自分の土地(住宅)だから	36. 3	10	仕事や商売の関係で	7. 0
4	住まいが広いなど住宅事情がよいから	9. 1	11	家賃など経済的負担が適当だから	2. 6
5	自然や街並みなど生活環境がよいから	50. 1	12	子育てがしやすいから	10. 5
6	交通や買物など生活に便利だから	63. 4	13	その他	2. 9
7	通勤・通学など交通の便がよいから	37. 2	14	わからない	0. 1
				(無回答)	0. 2

(問 4 で「2～3」と答えた方に) (n=98)

問 4-2 世田谷区に住みたくない理由はどんなことですか。(○はいくつでも)

1	土地柄になじめないから	12. 2	8	地域・近隣との交流がほとんどないから	10. 2
2	生まれ育った土地ではないから	18. 4	9	教育や文化、その他の社会施設などが整備されていないから	11. 2
3	自分の土地(住宅)でないから	10. 2	10	仕事や商売の関係で	4. 1
4	住まいが狭いなど住宅事情が悪いから	39. 8	11	家賃など経済的負担が多いから	37. 8
5	自然や街並みなど生活環境が悪いから	22. 4	12	子育てがしにくいから	11. 2
6	交通や買物など生活に不便だから	20. 4	13	その他	13. 3
7	通勤・通学など交通の便が悪いから	15. 3	14	わからない	0. 0
				(無回答)	1. 0

(全員の方に)

問5 あなたは、普段生活している地域でどんなことにお困りですか。(〇は3つまで)

《街づくり・暮らし》		《交通》			
1	公園やスポーツのできる場所がない	8.9	11 交通が不便	10.3	
2	住宅が密集しすぎている	15.7	12 車など交通が激しい	10.7	
3	放置自転車がなくて迷惑	4.5	13 電車の踏み切りがなかなか渡れない	15.2	
4	災害時の避難場所が近くにない	3.9	14 道路が狭くて危険	25.6	
5	地域の治安が悪い	1.7	-----		
6	落書き、違法広告、風俗関係のチラシ	1.9	《環境・ごみ》		
7	子育て環境が整備されていない	2.3	15 騒音や振動が気になる	6.9	
8	区民利用施設が使用しにくい	10.8	16 空気の汚れがひどい	3.3	
9	高齢者施設が使用しにくい	4.6	17 空き缶・たばこなどのポイ捨て	9.8	
10	買い物物が不便	9.3	18 路上喫煙などのたばこマナーが悪い	10.6	
			19 ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の 分別がされていない	7.0	
			20 カラスなどの鳥獣による被害	20.3	
			21 犬、猫などのペット公害	5.1	

			22 その他	6.8	
			23 特にない	14.8	

			(無回答)		3.4

区

政

(全員の方に)

問6 あなたは、今後世田谷区が積極的に取り組む事業として、どれが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

《健康・福祉》		《暮らし・コミュニティ》			
1	健康づくりの推進	11.2	12 地域コミュニティの促進	6.7	
2	見守り施策や地域支えあいの推進など、 区民・事業者との協働による地域づくり	13.6	13 防犯・地域安全の対策	29.0	
3	高齢者福祉の充実	23.1	14 消費者の支援	12.3	
4	障害者福祉の充実	5.7	15 多様性の尊重（人権尊重・男女共同 参画の推進など）	3.7	
5	生活困窮者への支援	7.0	16 文化・芸術の推進	7.9	
《子ども若者・教育》		17 生涯スポーツの推進	5.1		
6	若者が力を発揮する地域づくり	10.8	18 清掃・資源リサイクルの推進	8.1	
7	生涯学習の充実	6.0	19 産業振興・雇用促進	2.4	
8	I C T（情報通信技術）の推進	5.6	《都市づくり》		
9	子どもが育つ環境づくり	19.2	20 災害に強いまちづくり	35.9	
10	質の高い学校教育の推進	9.8	21 住宅政策	5.8	
11	虐待のないまち・子ども・子育て 家庭への支援	9.8	22 公園・緑地の整備	10.5	
			23 自然環境の保護	10.0	
			24 都市景観の保全や創出	4.2	
			25 交通ネットワークの整備	12.2	
			26 道路の管理保全	12.4	
			27 その他	2.1	
			28 特にない	2.6	
			(無回答)		1.6

職 員 応 対

(全員の方に)

問 7 区役所の窓口や区職員の応対について印象はいかがでしたか。(○は1つ)

1	とても良かった	32.0
2	やや良かった	33.8
3	どちらともいえない	27.5
4	やや悪かった	2.9
5	とても悪かった	0.8

問 7-1 にお答えください。

→ 問 8 にお答えください。

→ 問 7-2 にお答えください。

(無回答) 3.1

↓ (問 7 で「1～2」と答えた方に) (n=1,456)

問 7-1 印象が良かった点はどれですか。(○は2つまで)

1	説明がわかりやすかった	29.6	4	親切・丁寧な対応だった	60.8
2	対応が正確・迅速だった	37.6	5	言葉遣いが丁寧だった	10.9
3	さわやかな対応だった	8.6	(無回答)		1.3

(問 7 で「4～5」と答えた方に) (n=81)

問 7-2 印象が悪かった点はどれですか。(○は2つまで)

1	説明がわかりにくい	27.2	4	不親切な対応だった	64.2
2	対応で待たされた	23.5	5	言葉遣いが悪い	12.3
3	たらい回しにされた	25.9	(無回答)		2.5

(全員の方に)

問 8 今後、職員応対について、どのような点に注意すべきだと思いますか。(○は3つまで)

1	身だしなみ	2.5	6	待たせない事務処理の工夫	42.7
2	わかりやすい説明	38.8	7	窓口を明るい雰囲気に変える	9.4
3	名札の着用	2.3	8	プライバシーへの配慮	11.4
4	さわやかな挨拶	6.9	9	その他	3.1
5	親切・丁寧な対応	37.3	10	特になし	18.0

(無回答) 7.2

広 報

区では、区の取り組みや地域の身近な情報などを広報紙やホームページ、SNSなどを使って配信しています。

（全員の方に）

問 9 あなたは、区の取り組みや地域の身近な情報をどこから得ていますか。（○はいくつでも）

1 区のおしらせ「せたがや」（広報紙）	44.0	10 エフエム世田谷	1.2
2 区公式ホームページ	23.7	11 セタがや便利帳	7.2
3 区公式LINE	5.2	12 セタがやコール	
4 区公式X（旧Twitter）	2.1	（お問い合わせセンター）	1.2
5 区公式Instagram	0.4	13 区広報板（区が設置している掲示板）	11.8
6 区公式YouTubeチャンネル	0.2	14 区作成のチラシ・パンフレット	8.3
7 区公式Facebook	0.2	15 町会・自治会の回覧板	18.5
8 メール配信サービス（メールマガジン）	3.1	16 その他	1.9
9 区のスマートフォン用アプリ	1.2	17 特に入手していない	26.4
		（無回答）	1.2

（全員の方に）

問 10 区が発行している広報紙（区のおしらせ「せたがや」）について、どのような配布・閲覧方法がよいと思いますか。（○はいくつでも）

1 新聞折り込み	26.2	7 区公式ホームページで閲覧	27.0
2 希望者の住戸への配布	19.4	8 アプリで閲覧	21.9
3 全住戸への配布	18.3	9 その他	1.9
4 区の施設での配布	14.8	10 わからない	9.2
5 区内駅の広報スタンドでの配布	16.7	（無回答）	1.8
6 郵便局、コンビニエンスストア等での配布	15.9		

区では、区公式ホームページの利便性を向上させ、スマートフォンでも利用しやすく、また画像を多く掲載して視覚的にわかりやすいホームページとなるよう、令和6年9月に区公式ホームページをリニューアルしました。

区公式ホームページURL： <https://www.city.setagaya.lg.jp/index.html>



（全員の方に）

問 11 現在の区公式ホームページはトップページから情報を探しやすいですか。（○は1つ）

1	探しやすい	9.2
2	まあまあ探しやすい	33.2
3	やや探にくい	12.9
4	探にくい	6.4
5	トップページから探さない（外部の検索サービスや二次元コード等を利用）	6.4
6	区公式ホームページを利用したことがない	27.7
		(無回答)
		4.2

(全員の方に)

問 1 2 区公式ホームページには、情報を探しやすいするためのさまざまな機能やサービスが設置されています。どの機能やサービスが使いやすい、もしくは使ってみたいと思いますか。(○はいくつでも)

1	キーワードやページID、分類や地域ごとに必要な情報を探せる「検索メニュー」	30.7
2	オンラインによる手続きや相談をわかりやすくまとめた「オンラインサービス」	28.3
3	世田谷区を5地域に色分けした地図から身近な地域の情報を探せる「地域情報」	22.9
4	イベントをジャンルや対象者、地域別など条件を絞り込んで探せる「イベントカレンダー」	18.4
5	区の取り組みやイベント開催情報等を画像付きでお知らせする「ポップアップ」表示	8.6
6	引っ越し等に伴う各種手続き窓口における待ち時間・人数を案内する「窓口混雑状況」	21.2
7	その他	1.6
8	特にない	24.2

(無回答) 7.6

(全員の方に)

問 1 3 区公式ホームページに掲載している情報の中で特に知りたい、重要だと思う情報はどれですか。(○はいくつでも)

1	オンラインでできる手続きや相談	47.0	10	福祉・健康	20.0
2	区の手続き(届出や証明、申請など)	52.2	11	住まいや道路・交通・まちづくり	11.8
3	身近な地域	6.2	12	仕事・就労	6.6
4	区の施策や計画・財政状況	6.1	13	ごみ収集・リサイクル	36.8
5	区の催し物・イベント	25.4	14	環境・エネルギー	3.4
6	税金・年金・保険	31.0	15	区の施設利用	23.0
7	防犯や災害対策	18.6	16	区政への参加	2.6
8	子ども・子育てや教育	16.0	17	その他	1.2
9	高齢・介護	21.4	18	特にない	6.2

(無回答) 4.1

福 祉 と 医 療

(全員の方に)

問 1 4 あなたは、区内28地区で実施しているまちづくりセンター、あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)、社会福祉協議会が連携して様々な福祉の相談を受ける「福祉の相談窓口」を知っていますか。(○は1つ)

1	利用したことがある	19.8
2	名称は知っている	25.3
3	名称は知らないがこういった取り組みを行っていることは知っている	8.7
4	知らない	44.9

(無回答) 1.3

(全員の方に)

問 1 5 あなたは、医療機関への通院ができなくなったときなどに、医師や看護師などの医療関係者が訪問することで、自宅等でも医療を受けられる「在宅医療」を知っていますか。(○は1つ)

1	知っている	55.7	2	知らない	43.3	(無回答)	0.9
---	-------	------	---	------	------	-------	-----

人生の最終段階にどのような医療やケアを望むのかを、医療・介護関係者や家族などの信頼できる身近な人と繰り返し話し合うプロセスを「ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）」といいます。

（全員の方に）

問１６ あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）」を知っていますか。

（○は１つ）

１	知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある	3.9
２	知っているが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはない	9.4
３	「ACP」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と人生の最終段階に希望する医療やケアについて話し合ったことはある	12.7
４	知らないし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともない	72.3

（無回答） 1.7

認知症とは、脳の病気や様々な原因によって脳の働きが低下し、日常生活や社会生活を送るうえで支障が出てくる状態（暮らしの障害）をいいます。区では、一人ひとりの希望及び権利が尊重され、ともに安心して自分らしく暮らせるまちを目指して、令和２年に「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」を制定しました。

（全員の方に）

問１７ 認知症についてどのような印象・考えをお持ちですか。（○はいくつでも）

１	認知症は、高齢者になるもので、自分には関係がない	3.5
２	認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある	84.7
３	認知症に関する知識や情報について知りたい	30.7
４	認知症になってからも、自分なりにできることがある	20.2
５	認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる	16.2
６	あてはまるものはない	3.9

（無回答） 1.0

災害時の備え

区は在宅避難を推進しています。震災時の避難所は、火災や倒壊により自宅等で生活できなくなった方を一時的に受け入れる施設です。自宅が無事である場合は、家庭で備蓄した水や食料などを使いながら、自宅で過ごす「在宅避難」が原則となります。また、震災時には、地域の助け合いが大きな効果を発揮します。区民相互の共助の意識を持ちましょう。

（全員の方に）

問１８ あなたは震度６強（※）の大きな地震が発生し、自宅が無事で危険がない場合、どのような避難行動をとると思いますか。（○は１つ）

※首都直下地震では世田谷区の約７割の面積で震度６強が観測されると想定されています。

１	自宅に留まる（在宅避難）	74.2	４	自身で宿泊施設等を確保して避難する	
２	小中学校など地域の避難所に行く	16.7		（自主避難）	1.3
３	危険がない家族や親戚・友人の家に避難する（縁故避難）	3.7	５	その他	0.9
			６	考えていない	1.7

（無回答） 1.5

(全員の方に)

問 1 9 あなたは、災害時に地域や近所の住民同士でどのような手助けができますか。自分ができること、やりたいと思うことをお答えください。(〇はいくつでも)

1 安否確認(声かけ)	69.8	6 消火活動の手助け	26.5
2 物資を運ぶ手助け	48.4	7 介助や応急手当	21.4
3 情報の共有(災害情報や避難情報など)	54.9	8 その他	2.6
4 避難の手助け	41.5	9 地域や近所と協力し合う	
5 支援を必要とする人の手助け	44.0	関係性ではない	5.9
(無回答)			2.6

(全員の方に)

問 2 0 あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。(〇は1つ)

1 1～2日分	23.2	4 1週間分以上	10.5
2 3日分	33.2	5 水や食料の備蓄はしていない	9.5
3 4～6日分	22.8	(無回答)	0.9

(全員の方に)

問 2 1 あなたのご家庭では、災害に備えて非常用電力の備蓄をしていますか。(〇はいくつでも)

1 小型発電機を備蓄している	3.7	5 太陽光蓄電池を設置している	6.9
2 小型ポータブル蓄電池を備蓄している	10.8	6 E V車などから電源を確保することが	1.9
3 モバイルバッテリーを備蓄している	36.2	できる	
4 手回し発電機を備蓄している	11.7	7 備蓄していない	47.4
(無回答)			2.6

(全員の方に)

問 2 2 あなたのご家庭では、携帯トイレを何日分備蓄していますか。(〇は1つ)

※備蓄の目安：1人1日約5回×家族分

1 1～2日分	22.7	4 1週間分以上	10.3
2 3日分	19.0	5 携帯トイレの備蓄はしていない	33.1
3 4～6日分	13.9	(無回答)	1.0

区では、「世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ」等により、区内の水害リスクやとるべき避難行動を周知・啓発しています。

(全員の方に)

問 2 3 あなたは、ハザードマップ等により、ご自宅の水害リスクを把握していますか。(〇は1つ)

1	水害リスクを把握した上で、とるべき避難行動も理解している	20.7
2	水害リスクを把握しているが、とるべき避難行動は理解していない	25.9
3	水害リスクを把握していない	24.0
4	自宅に水害リスクはない	27.6
(無回答)		1.7

防 犯

令和6年8月以降、いわゆる「闇バイト」による強盗事件等が相次ぎ、社会問題となっています。区では、地域の防犯意識の向上、各住宅での防犯対策の促進等により安全で安心なまちづくりを目指しています。

（全員の方に）

問24 あなたが不安に感じている犯罪は何ですか。（○はいくつでも）

1 殺人、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪	56.4	7 街頭犯罪（車上ねらい、すり、ひったくり等）	34.2
2 侵入強盗・侵入窃盗	73.9	8 悪質商法（点検商法、キャッチセールス等）	41.3
3 詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺等）	44.9	9 闇バイトへの加担	18.3
4 子どもをねらった犯罪（誘拐等）	35.5	10 その他	2.4
5 女性をねらった犯罪（痴漢、盗撮等の性犯罪）	40.4	11 特に不安に思わない	3.4
6 街頭犯罪（自動車盗、自転車盗）	22.6	(無回答)	1.4

（全員の方に）

問25 あなたは、防犯に対して日頃から心がけていることはありますか。（○はいくつでも）

1 防犯知識の向上	42.5	5 近所付き合い	23.0
2 防犯設備や防犯物品の設置	20.9	6 その他	2.9
3 防犯パトロール	2.1	7 特にない	29.8
4 日頃の声かけ	10.1	(無回答)	2.0

（全員の方に）

問26 あなたのお住まい（マンション等の集合住宅含む）では、どのような防犯対策をしていますか。（○はいくつでも）

1 防犯カメラ	38.9	9 防犯性能の高い玄関錠	23.2
2 録画機能付きインターホン	48.9	10 玄関補助錠	19.9
3 防犯フィルム	3.3	11 センサー付きライト	19.9
4 ガラス破壊センサー	2.2	12 防犯砂利	7.6
5 センサー付きアラーム	6.5	13 自動通話録音機	8.3
6 窓補助錠	14.6	14 その他	2.9
7 防犯ガラス	7.9	15 特にしていない	16.3
8 面格子	11.3	(無回答)	1.7

地 域 コ ミ ュ ニ テ ィ

区では、区民参加による区民、事業者、行政等で支えあう協働のまちづくりの実現のため、区民のみなさんの地域コミュニティへの参加促進と地域活動の活性化を推進しています。

（全員の方に）

問27 あなたは、身近な地域の活動（※）に参加していますか。（○は1つ）

1 参加している	17.7	3 参加していないし、今後も参加するつもりはない	42.4
2 今は参加していないが、今後参加してみたい	37.3	(無回答)	2.7

※身近な地域の活動…町会・自治会、NP0・ボランティア、子育て支援活動、青少年健全育成活動、高齢者支援活動、お祭り・イベント、防犯・防災活動、介護予防・健康づくり活動、スポーツ活動、文化・芸術活動、環境美化・リサイクル活動、交通安全活動、コミュニティ・ビジネスなど

文 化 活 動

（全員の方に）

問 2 8 あなたは、区立の文化施設（世田谷美術館、世田谷文学館、世田谷パブリックシアター）をご存知ですか。（○は1つ）

1 行ったことがある	55.5	3 知らない	14.8
2 知っているが、行ったことはない	29.0	(無回答)	0.8

昭和34年に開館した世田谷区民会館は、施設の老朽化やユニバーサルデザイン等様々な問題を抱えており、世田谷区本庁舎等整備工事に併せて改修・改築工事を行い、新たな文化・芸術の拠点として令和6年9月にリニューアルオープンしました。令和7年4月からは愛称の「せたがやイーグレットホール」として、区民の誰もが文化・芸術に触れ、楽しみ、繋がることのできる取り組みを進めてまいります。

（全員の方に）

問 2 9 あなたは、新たな文化・芸術の拠点であるせたがやイーグレットホール（世田谷区民会館）でどのようなイベントがあったら行ってみたいと思いますか。（○はいくつでも）

1 音楽コンサート（クラシック）	40.8	7 区民参加によるコンサート等のイベント	8.9
2 音楽コンサート（ポップスなど現代音楽）	39.2	8 子どもが鑑賞しやすいコンサート	16.2
3 音楽コンサート（その他）	17.3	9 様々な活動団体による発表	9.8
4 バレエ、ダンス等	17.2	10 その他	2.6
5 能楽や歌舞伎等の伝統芸能の公演	23.6	11 特にない	19.4
6 映画上映	37.0	(無回答)	2.3

多 文 化 共 生

区では、全ての人が国籍や民族等の異なる人々の文化的違いを認め合い、共に参画・活躍でき安心安全に暮らせるまちの実現のため、多文化共生を推進しています。

※各質問における「外国人等」は、外国籍を有する者及び外国にルーツのある日本国籍を有する者等を含みます。

（全員の方に）

問 3 0 あなたは、「外国人住民と日本人住民が共に暮らす」という視点からみて、世田谷区は多文化共生が進んでいると思いますか。（○は1つ）

1 そう思う	10.1	3 どちらかといえばそう思わない	14.7
2 どちらかといえばそう思う	36.1	4 そう思わない	6.2
		5 わからない	31.7
		(無回答)	1.1

（全員の方に）

問 3 1 区では、外国人等が安心して地域で生活するために、外国人相談窓口の設置や教育相談室の運営、住宅・就労に関する情報提供など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは、外国人等に対する生活支援が充実していると思いますか。（○は1つ）

1 そう思う	5.9	3 どちらかといえばそう思わない	8.8
2 どちらかといえばそう思う	18.3	4 そう思わない	3.1
		5 わからない	62.9
		(無回答)	1.1

（全員の方に）

問３２ 区では、外国人等が地域住民の一人として地域社会に参加・活躍できるように、地域のおまつりや防災訓練、ボランティア活動などへの参加を促進しています。あなたは、外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか。（○は１つ）

1	そう思う	2.7	3	どちらかといえばそう思わない	13.7
2	どちらかといえばそう思う	12.2	4	そう思わない	8.3
			5	わからない	61.7
(無回答)					1.4

（全員の方に）

問３３ 区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか。（○は１つ）

1	そう思う	4.7	3	どちらかといえばそう思わない	9.0
2	どちらかといえばそう思う	24.5	4	そう思わない	5.0
			5	わからない	55.6
(無回答)					1.3

男女共同参画

区では、令和４年３月に策定した第二次男女共同参画プラン後期計画の目標の一つとして「多様性を認め合い、尊厳をもって生きることができる社会の構築」を掲げ、「男女だけではなく多様な性を含めたすべての人が尊重され、参画できる社会」を目指し様々な施策に取り組んでいます。

（全員の方に）

問３４ あなたは、性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策について、必要だと思いますか。（○は１つ）

1	必要だと思う	56.4	3	その他	3.6
2	必要だとは思わない	11.2	4	わからない	27.5
(無回答)					1.3

（全員の方に）

問３５ あなたは、「世田谷区パートナーシップの宣誓の取り組み」を知っていますか。（○は１つ）

1	内容を知っている	9.3	3	知らない	63.1
2	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	26.4	(無回答)		1.1

健康づくり

区は、区民一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、主体的な健康づくりへの取り組みを推進するとともに、区民や地域団体、事業者とともに安全で安心して生活できる環境やしくみの整備を進めることで、生涯にわたり健やかでこころ豊かに暮らすことができるまちの実現を目指しています。

（全員の方に）

問３６ あなたは、１日にあわせてどのくらい歩きますか。（通学・通勤のための徒歩や室内の移動、散歩を含む）（○は１つ）

1	３０分未満	24.5	4	１時間以上１時間３０分未満	15.2
2	３０分以上４５分未満	25.6	5	１時間３０分以上	13.2
3	４５分以上１時間未満	20.1	(無回答)		1.3

ス ポ ー ツ

区ではスポーツの定義・範囲について、ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、ウォーキングや軽い体操、健康維持や介護予防等のための運動、散歩・散策、レクリエーション等、心と体の健康のための様々な身体活動をスポーツとして扱っています。

(全員の方に)

問37 この中にあなたが、この1年間に実施したスポーツや運動はありますか。(〇はいくつでも)

1	運動施設等での球技・競技スポーツなど	11.3
2	学校施設等での部活動など(体育の授業を除く)	2.7
3	スポーツクラブでの運動など	18.5
4	サイクリングなど	13.2
5	ウォーキング(散歩・散策含む)、移動時の早歩き、最寄り駅より1駅歩きなど	59.5
6	ランニング(ジョギング)・マラソンなど	11.3
7	家事のついでに行う運動(段差を使った踏み台昇降など)	16.2
8	エレベーターを使わず階段での昇り降り	36.3
9	職場において休憩時間等実施される体操	2.1
10	家族やペット等と一緒に遊ぶ(かけっこなど)	7.2
11	家庭用ゲーム機等を使ったフィットネス	3.3
12	動画(映像)視聴によるエクササイズ	12.6
13	その他	6.9
14	行っていない	13.1
		(無回答) 1.8

↓(問37で「1～13」と答えた方に)($n=1,884$)

問37-1 問37で答えたスポーツや運動を全部あわせると、あなたがこの1年間に行った頻度はどの程度になりますか。(〇は1つ)

1	週に3回以上	42.1	→ 問38に お答えください。	4	月に1～3回	12.0	→ 問37-2に お答えください。
2	週に2回程度	19.0		5	3か月に1～2回	3.2	
3	週に1回程度	18.8		6	年に1～3回	1.5	
						(無回答) 3.4	

(問37で「14」と答えた方、または問37-1で「4～6」と答えた方に)($n=606$)

問37-2 あなたは、どのようなきっかけがあればスポーツや運動をより頻繁に行うと思いますか。(〇はいくつでも)

1	様々なスポーツ・運動の紹介や体験イベントなどの開催	11.4
2	スポーツ・運動の教室などの情報提供	15.7
3	スポーツ・運動の活動団体・サークルなどの情報提供	11.9
4	気軽にスポーツ・運動ができる施設や環境	37.5
5	スポーツや運動を行うことによるインセンティブ(景品等と交換できる健康ポイントや地域通貨等)の付与	5.4
6	専門家の指導や助言	12.9
7	身近にサポートしてくれる人がいること	16.3
8	家庭環境の変化	16.0
9	余暇の増加	28.4
10	その他	4.3
11	特になし	20.6
		(無回答) 3.1

たばこマナー

区は、喫煙する人としらない人が相互に理解を深め、地域のたばこマナーが向上するまちづくりの実現をめざすため、「世田谷区たばこルール」を策定し、平成30年10月より区内全域の道路、公園を喫煙禁止にしました。

（全員の方に）

問38 あなたは、現在お住まいの地域における路上喫煙やポイ捨て等たばこマナーに満足していますか。

（○は1つ）

1 満足している	15.1	3 どちらかといえば満足していない	17.6
2 どちらかといえば満足している	33.4	4 満足していない	23.8
		5 どちらでもない（気にしていない）	8.5
（無回答）			1.6

就 職 活 動

区では、就労を望む一人でも多くの方が安定した仕事に就くとともに区内事業所が必要とする人材を獲得できるよう、マッチングや伴走型支援（寄り添う支援）まで幅広く取り組んでいます。

（全員の方に）

問39 あなたは就職活動（転職活動）しようとするとき、どのように情報収集をしますか（したいですか）。

（○はいくつでも）

1 三茶おしごとカフェ（※1）やハローワーク、 学校のキャリアセンター等の相談窓口活用	21.4	6 Instagram	4.1
2 三茶おしごとカフェやハローワーク、学校の キャリアセンター等のセミナー活用	8.0	7 YouTube	3.0
3 民間ナビサイト（※2）の活用	38.0	8 その他SNS	5.1
4 民間エージェント（※3）の活用	25.9	9 企業のホームページ	31.4
5 X（旧：Twitter）	3.1	10 友人・知人の紹介	25.9
		11 インターネットの口コミサイト	14.6
		12 その他	12.1
（無回答）			12.2

※1 三茶おしごとカフェ…世田谷区産業振興公社が運営する就労支援センター。仕事探しのお手伝いのほか、キャリアカウンセリングも行っている。

※2 民間ナビサイト……企業や求人などを掲載した就職情報サイト。希望する企業への応募やセミナー等への申込ができるものもある。

※3 民間エージェント……専門のアドバイザーが個別面談を経て、利用者の希望や適性に合う求人企業を紹介するサービス。

（全員の方に）

問40 あなたは就職活動（転職活動）しようとするとき、就職先選びで重視する（したい）ことは何ですか。（○はいくつでも）

1 仕事内容	71.8	6 ワークライフバランス（休日・休暇、残業等）	51.5
2 経営方針 （技術力、将来性、安定性含む）	19.6	7 福利厚生	27.6
3 会社規模	10.0	8 柔軟な働き方	37.4
4 社風や職場の雰囲気	43.1	9 やりがい	29.3
5 給与収入（賃金、賞与、手当等）	59.2	10 その他	6.1
（無回答）			9.6

都 市 デ ザ イ ン

区では、社会における様々なバリアをなくすにとどまらず、あらかじめ多様なニーズを想像し、年齢、性別、国籍、能力等にかかわらず、できるだけ多くの人が利用しやすいよう、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザイン（UD）の考え方のもと、まちづくりを進めています。

（全員の方に）

問４１ ユニバーサルデザイン（UD）のまちづくりを進める上で重要だと思う取り組みは何ですか。

（○はいくつでも）

1 公共施設（建築物・トイレ等）の整備	62.9	7 UD設備（エレベーター・トイレ・	
2 道路（歩行空間）の整備	58.8	駐車場等）の適正利用、心の	
3 公園・緑地の整備	37.5	バリアフリー	31.4
4 公共交通（施設・車両・サービス）の整備	43.0	8 誰もが参加できるUDイベント	
5 民間施設へのUD整備支援（補助制度等）	12.0	の開催	6.5
6 情報のUD（UD整備情報の発信、		9 UDを広げる担い手づくり	8.2
窓口コミュニケーション支援等）	11.2	10 その他	1.6
		11 わからない	9.5
		（無回答）	3.0

区では、区民が愛着と誇りを持てる世田谷の風景を守り、育て、つくるため、届出・協議制度による風景づくりの誘導、区民主体の風景づくり活動の推進、風景づくりに関する普及啓発等に取り組んでいます。

（全員の方に）

問４２ あなたは、区内の風景（景観、景色、眺め、まちなみ等）に興味・関心がありますか。（○は１つ）

1 興味・関心がある	45.7	4 あまり興味・関心がない	5.1
2 やや興味・関心がある	32.8	5 興味・関心がない	3.1
3 どちらともいえない	11.0	（無回答）	2.2

（全員の方に）

問４３ 区では、区民による風景づくり活動が活発に行われるような施策を検討しています。

あなたがやってみたいと思う風景づくり活動を選択してください。（○はいくつでも）

1 世田谷の魅力的な風景を見るために出かける	47.1
2 SNSを活用し、世田谷の魅力的な風景を発信する、風景の写真のコンテスト等に投稿する	9.2
3 自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える	27.8
4 地域の風景を知ることができるスタンプラリーやまちあるきなどのイベントに参加する	10.2
5 風景づくりのセミナーや勉強会、展示会へ参加する	5.1
6 地域の美化・清掃活動に参加する	15.5
7 自宅の新築・改修を行う際に、周囲のまちなみに配慮する	16.8
8 地域の魅力的な風景を育むための自主的な風景づくり活動（地域風景資産や 界わい宣言に関する活動、その他風景や環境をよりよくするための活動）へ参加する	3.4
9 お住まいの地域やお勤めの地域などでの風景づくりに関するルール作りの検討の場へ参加する	3.8
10 その他	3.5
11 風景づくり活動をやってみたいと思わない	14.6
	（無回答） 5.7

交 通

区では、区民、交通事業者、区が協力・連携して総合的に「交通まちづくり」に取り組み、交通ネットワークの充実や、公共交通が不便な地域における移動環境の改善などを図ることで、様々な交通手段を活用し、誰もが快適に安全・安心な移動ができるまちを目指しています。

(全員の方に)

問 4 4 あなたは、区内の交通手段（移動手段）に満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	24.6	3 どちらかといえば満足していない	21.0
2 どちらかといえば満足している	44.5	4 満足していない	7.8
		(無回答)	2.1

区では、交通事故件数及び自転車事故件数が非常に多い状況を改善するため、交通安全に関する様々な啓発活動に取り組んでいます。その中でも、もしもの時の備えとして「自転車用ヘルメット着用」「自転車保険等への加入」を勧めています。

(全員の方に)

問 4 5 あなたは、自転車に乗るときヘルメットを着用していますか。(○は1つ)

1 自転車に乗るとき常に着用している	3.9	問 4 5 - 1 にお答えください。
2 自転車に乗るとき時々着用している	4.7	
3 自転車に乗るが着用していない	46.5	
4 自転車に乗ることはない	42.7	
		(無回答) 2.2

↓ (問 4 5 で「2～3」と答えた方に) (n=1, 134)

問 4 5 - 1 着用しない理由はどれですか。(○はいくつでも)

1	着用が面倒だから	54.1
2	法律上、「努力義務」であり「義務」ではないから	44.3
3	駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから	27.2
4	髪型が崩れるから	33.3
5	着用している人が少ないから	19.0
6	ヘルメットを購入する金銭的負担が大きいから	11.6
7	着用しないことによる危険性を感じないから	10.2
8	格好悪いから	13.2
9	民間のシェアサイクル・レンタサイクルのみ利用しており、ヘルメットの貸出がないから	2.7
10	その他	8.2
		(無回答) 0.4

(全員の方に)

問4 6 自転車に乗る場合は、都の条例により自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられていますが、あなたは、自転車損害賠償保険等に加入していますか。(家族の保険等に加入している場合も含む)
(○は1つ)

- | | | |
|---|----------------|------|
| 1 | 自転車に乗るため加入している | 38.9 |
| 2 | 自転車に乗るが加入していない | 10.9 |
| 3 | わからない | 8.3 |
| 4 | 自転車に乗ることはない | 39.7 |

問4 6-1にお答えください。

(無回答) 2.2

↓(問4 6で「2」と答えた方に) (n=241)

問4 6-1 加入していない理由はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---|------------------------------|------|
| 1 | 加入が義務であることを知らなかったから | 57.3 |
| 2 | 保険料が高いから | 12.0 |
| 3 | 周囲の人が入っていないから | 7.5 |
| 4 | どういう保険に入ればいいのかわからないから | 24.1 |
| 5 | 自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから | 16.6 |
| 6 | 保険への加入方法がわからないから | 15.8 |
| 7 | 自転車損害賠償保険等があることを知らなかったから | 12.0 |
| 8 | シェアサイクル・レンタサイクルのみ利用しているため | 7.1 |
| 9 | その他 | 11.2 |

(無回答) 0.4

せたがや Pay

「せたがや Pay」は、区の支援のもと、世田谷区商店街振興組合連合会が2021年2月に提供を開始した、世田谷区内で使えるキャッシュレス決済アプリです。

(全員の方に)

問47 せたがやPayを知っていますか。また、利用したことがありますか。(○は1つ)

1 現在(直近3か月以内)、利用している	20.1	問47-1 にお答え ください。
2 過去に利用したことがあるが、現在(直近3か月以内)は利用していない	8.1	
3 知っているが、利用したことはない	45.9	
4 知らない	23.8	
(無回答)		2.1

(問47で「1～3」と答えた方に) (n=1, 639)

問47-1 せたがやPayに今後期待することを教えてください。(○はいくつでも)

1	大型の還元キャンペーンの実施	55.8
2	使えるお店のさらなる拡大	60.3
3	商店街や地域のイベント情報のアプリ内発信	9.5
4	区役所が実施する取り組み情報（子育てや高齢者向けの支援策など行政情報）のアプリ内発信	3.3
5	地域で活動する団体やコミュニティの担い手等への支援策の連携 （行政ポイントの付与・配布など）	3.1
6	アプリ内で参加できるスタンプラリーイベントの拡充	4.3
7	アプリの操作性や使い勝手の向上（画面の見やすさ、お店検索の向上など）	16.4
8	チャージ方法の拡充（クレジットカードからのチャージなど）	35.0
9	決済方法の拡充（お店側がコードを読み込むストアスキャン方式の導入など）	14.3
10	セキュリティの強化（不正使用の防止など）	26.1
11	区の施設や受付窓口でのせたがやPay 決済の導入（施設の使用料、受付窓口の手数料など）	12.0
12	せたがやPay による税金や保険料納付 （納付書に印字されたコードをアプリで読み取り納付する方法）	12.5
13	その他	9.0
		(無回答)
		6.2

図 書 館

「図書館ブックボックス」は、令和6年4月より、小田急線下北沢駅に設置した図書館が空いていない時でも予約資料を受け取ることができるロッカータイプの予約本受取機です。

(全員の方に)

問48 「図書館ブックボックス」を知っていますか。また、利用したことがありますか。(○は1つ)

1 現在(直近3か月以内)、利用している	2.6	3 知っているが、利用したことはない	15.4
2 過去に利用したことがあるが、現在 (3か月以内)は利用していない	4.7	4 知らない	75.0
		(無回答)	2.2

(全員の方に)

問49 図書館ブックボックスが設置されていたら利用したいと思う場所は、次のどれですか。

(○はいくつでも)

1 鉄道の駅(東急線、京王線、小田急線)	57.7	4 商業施設(スーパー、商店街など)	31.3
2 公共施設(出張所、まちづくり センターなど)	24.5	5 その他	7.0
3 図書館	23.8	(無回答)	8.4

*** 基本項目（フェイスシート）***

(全員の方に)

F 1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

1 男性	39.1	2 女性	58.4	3 その他	0.7	(無回答)	1.8
------	------	------	------	-------	-----	-------	-----

F 2 あなたの年齢はいくつですか。(○は1つ)

1	15～19歳	2.9	6	40～44歳	6.5	11	65～69歳	8.1	
2	20～24歳	2.7	7	45～49歳	9.6	12	70～74歳	6.7	
3	25～29歳	4.7	8	50～54歳	10.0	13	75～79歳	7.8	
4	30～34歳	5.5	9	55～59歳	9.8	14	80～84歳	4.9	
5	35～39歳	5.1	10	60～64歳	9.1	15	85歳以上	4.8	
								(無回答)	1.9

F 3 あなたのご職業は次のどれですか。(○は1つ)

1	自営業・事業主	11.0	4	その他就業者（家族従業者、農業従業者など）	0.5
2	会社員、公務員、団体職員	34.3	5	家事専業	12.4
3	パート・臨時		6	学生	4.7
	(非常勤、嘱託、派遣などを含む)	14.7	7	無職	17.7
			8	その他	2.6
					(無回答)
					2.0

F 4 あなたの世帯構成（同居している方）は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1 夫婦だけ（一世代世帯）	27.6	4 一人暮らし	18.7
2 親と子ども（二世代世帯）	41.4	5 その他	6.9
3 親と子どもと孫（三世代世帯）	3.4	(無回答)	2.0

F 5 回答者ご本人も含めて、同居している方の中に高齢者（65歳以上の方）はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 い る	44.8	2 い ない	54.1	(無回答)	1.2
-------	------	--------	------	-------	-----

F 6 配偶者はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1	なし（離婚・死別を含む）	38.7	→	F 7にお答えください。
2	あり	59.9		F 6－1にお答えください。
	（無回答）	1.4		

(F 6で「2」と答えた方に) (n=1, 327)

F 6－1 あなたと配偶者は、2人とも働いていますか。(○は1つ)

1 働いている	52.2	2 どちらかのみ働いている	28.7	3 2人とも働いていない	18.0	
					(無回答)	1.1

(全員の方に)

F 7 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1	15～17歳	1.9
2	独身(18歳～39歳)	11.3
3	独身(40歳～64歳)	10.5
4	独身(65歳以上)	7.6
5	子どもがいる(一番上の子どもが小学校入学前)	5.1
6	子どもがいる(一番上の子どもが小・中学生)	8.3
7	子どもがいる(一番上の子どもが高校・大学生・大学院生・短大生・専門学生)	8.4
8	子どもがいる(一番上の子どもが学業修了)	13.9
9	夫婦のみ(本人が18～39歳)	3.1
10	夫婦のみ(本人が40～64歳)	8.0
11	夫婦のみ(本人が65歳以上)	14.7
12	その他	5.1
(無回答)		2.0

F 8 あなたの住宅形態は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1	持ち家(一戸建て)	41.9
2	持ち家(アパート・マンション)	24.2
3	民営賃貸アパート・マンション	23.6
4	都市再生機構(旧公団)・公社・都営住宅・区営住宅	3.4
5	社宅・官舎・寮・間借り・住み込み	2.3
6	一戸建て借家	2.0
7	その他	1.6
(無回答)		0.9

F 9 あなたのお住まいの地域は次のどれですか。(○は1つ)

1	世田谷東部(池尻、下馬、三宿、太子堂、三軒茶屋、野沢、若林、上馬、駒沢1～2丁目)	14.4
2	世田谷西部(世田谷、弦巻、宮坂、桜、経堂、桜丘)	12.6
3	北沢東部(北沢、代沢、大原、羽根木、代田)	7.4
4	北沢西部(松原、梅丘、豪徳寺、赤堤、桜上水)	8.3
5	玉川北部(駒沢公園、駒沢3～5丁目、新町、深沢、桜新町、用賀、上用賀、玉川台)	9.5
6	玉川南部(奥沢、東玉川、玉川田園調布、等々力、尾山台、玉堤)	9.3
7	玉川西部(中町、野毛、瀬田、上野毛、玉川)	6.6
8	砧北部(船橋、千歳台、祖師谷、砧、成城)	13.5
9	砧南部(大蔵、砧公園、岡本、鎌田、喜多見、宇奈根)	5.3
10	烏山(八幡山、南烏山、粕谷、北烏山、給田、上祖師谷、上北沢)	12.1
(無回答)		0.9

ご協力ありがとうございました。

※ ご記入いただいた調査用紙は6月4日までに、投函してください。

調 査 結 果

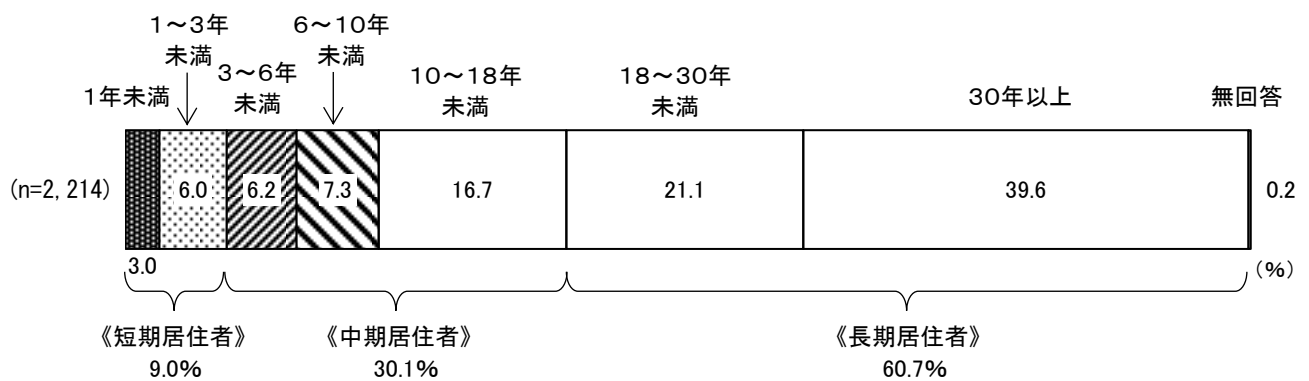
1. 定住性

(1) 居住年数

◎居住年数 18 年以上の《長期居住者》がほぼ 6 割

問 1 あなたは、世田谷区に住んで何年くらいになりますか。(○は 1 つ)

図 1-1-1



世田谷区での居住年数は、「1年未満」(3.0%)と「1～3年未満」(6.0%)を合わせた《短期居住者》(9.0%)がほぼ1割、「3～6年未満」(6.2%)、「6～10年未満」(7.3%)、「10～18年未満」(16.7%)を合わせた《中期居住者》(30.1%)が3割、「18～30年未満」(21.1%)と「30年以上」(39.6%)を合わせた《長期居住者》(60.7%)がほぼ6割となっている。(図1-1-1)

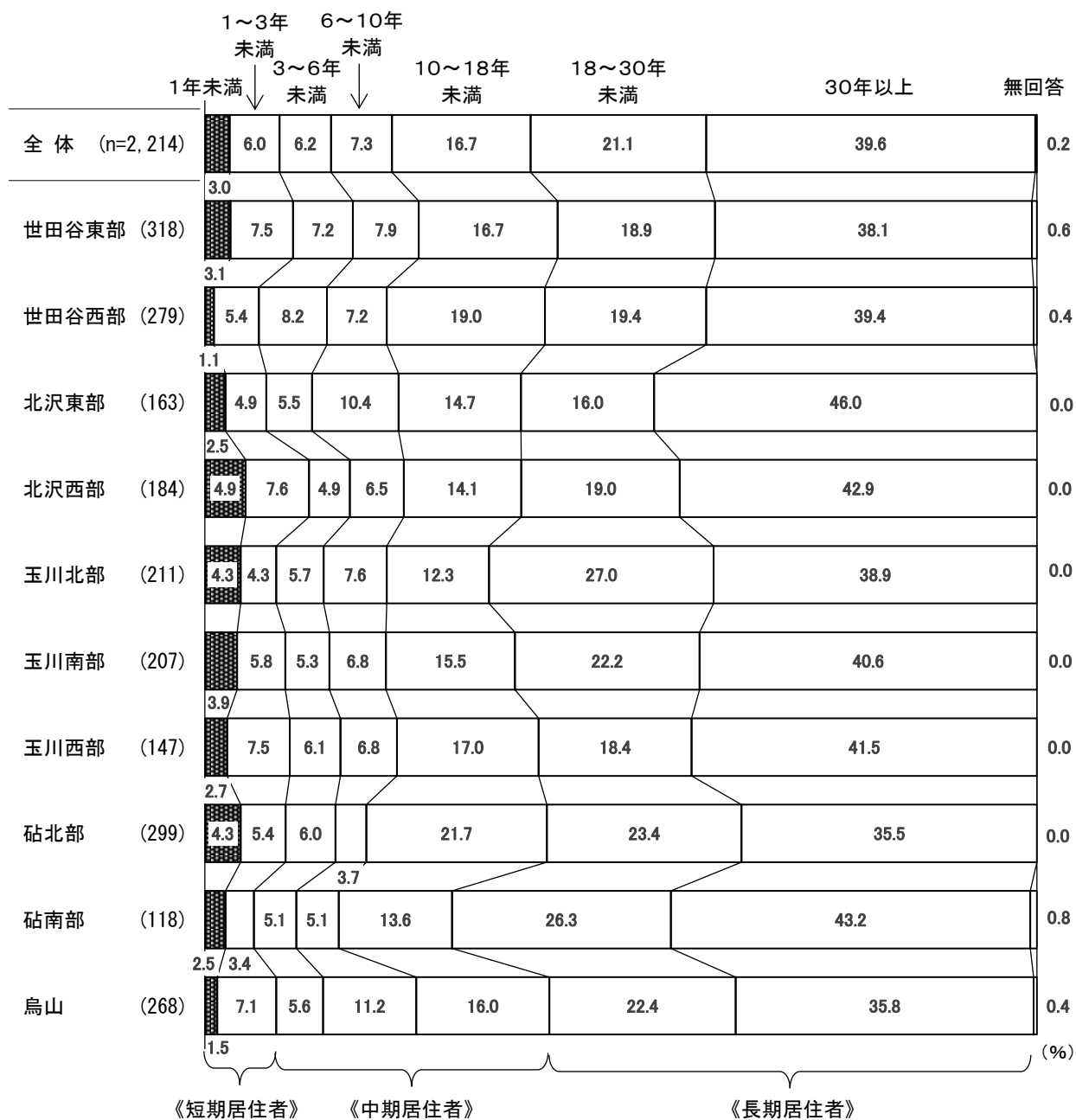
図 1 - 1 - 2 居住年数（時系列）



平成30年度以降と平成29年度以前では、「10～18年未満」と「18～30年未満」の区分が異なるが、平成28年度からの時系列の変化をみると、《短期居住者》、《中期居住者》、《長期居住者》ともに割合に大きな変化は見られない。《長期居住者》は令和4年度以降は6割前後で推移している。

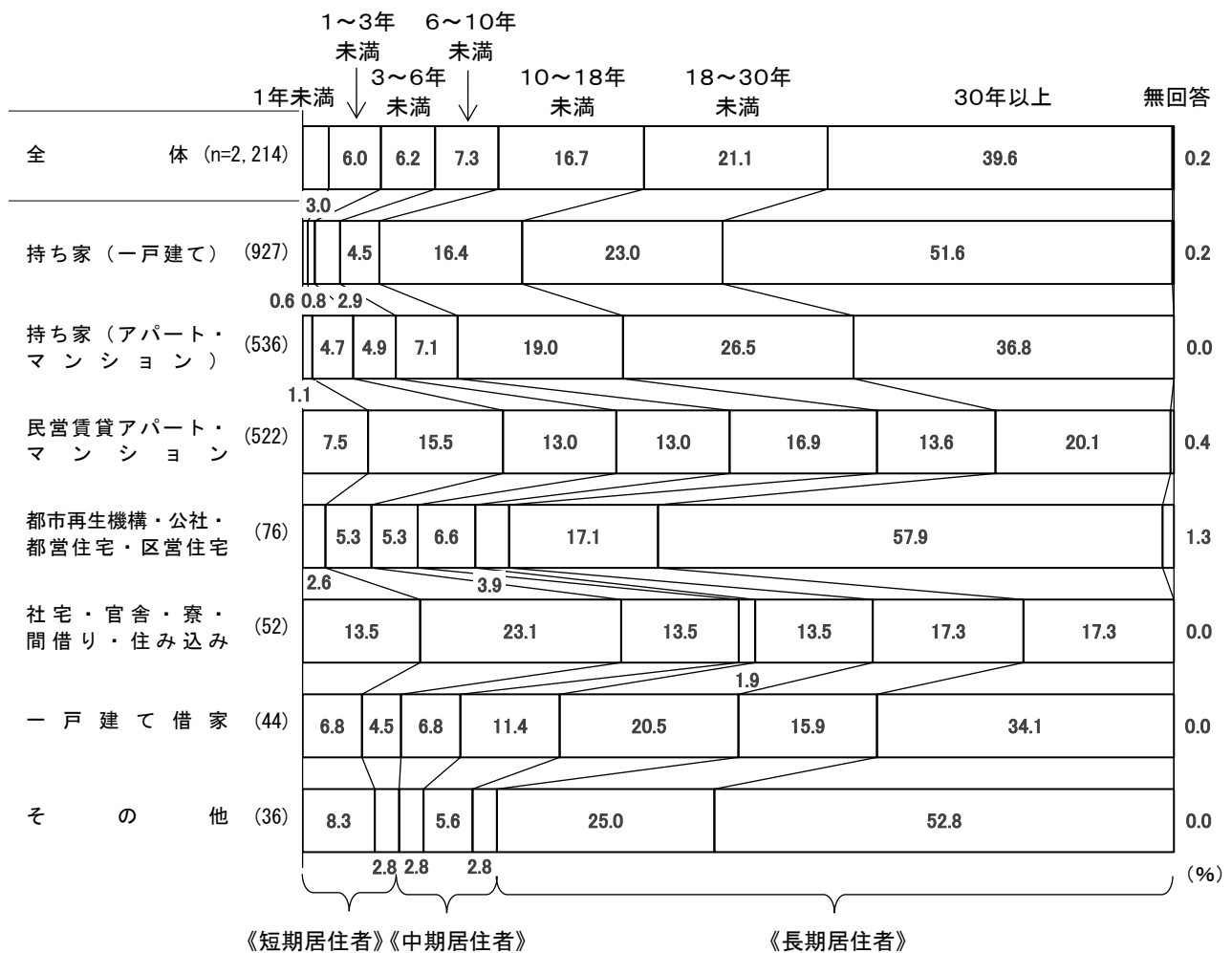
(図1-1-2)

図 1-1-3 居住年数（地域別）



地域別にみると、《長期居住者》は砧南部が7割で最も高く、玉川北部で6割半ば、玉川南部、北沢東部、北沢西部で6割を超えている。《短期居住者》は北沢西部で1割を超え、世田谷東部でほぼ1割、玉川西部、玉川南部、砧北部で1割となっている。（図1-1-3）

図 1-1-4 居住年数（住居形態別）



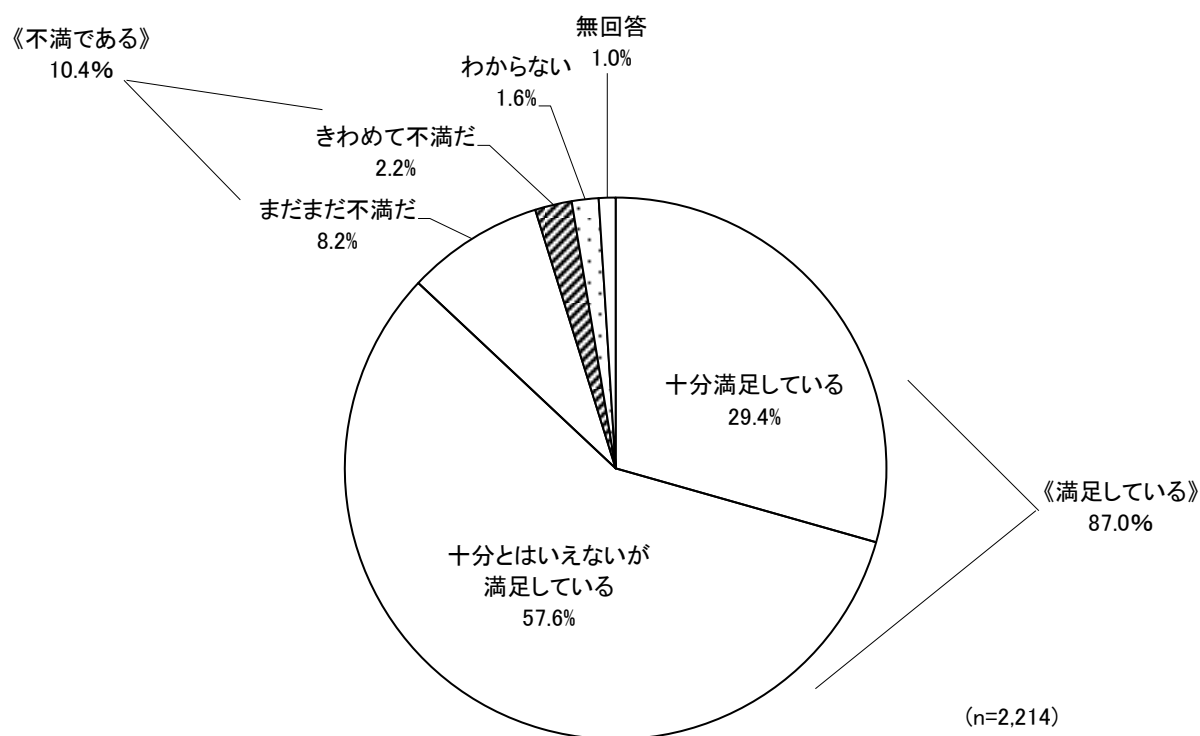
住居形態別にみると、《長期居住者》は、都市再生機構（旧公団）・公社・都営住宅・区営住宅、持ち家（一戸建て）で7割半ばとなっている。《短期居住者》は、社宅・官舎・寮・間借り・住み込みで4割近く、民営賃貸アパート・マンションで2割を超えている。（図1-1-4）

(2) 暮らしの満足度

◎ 《満足している》が9割近く

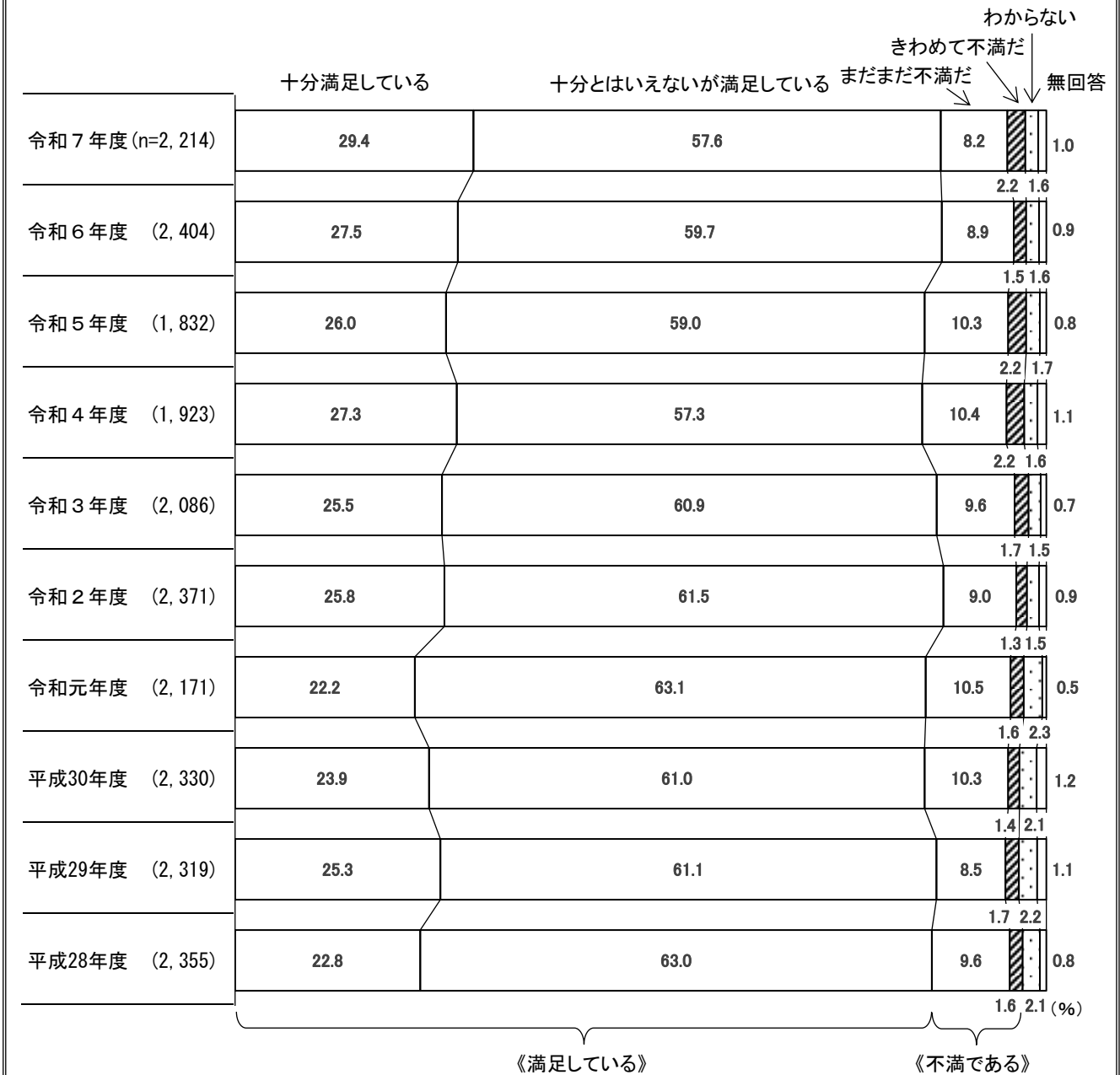
問2 あなたは、現在の暮らしについてどのように思っていますか。(○は1つ)

図1-2-1



現在の暮らしについてどのように思っているか聞いたところ、「十分満足している」(29.4%)と「十分とはいえないが満足している」(57.6%)を合わせた《満足している》(87.0%)が9割近くとなり、「まだまだ不満だ」(8.2%)と「きわめて不満だ」(2.2%)を合わせた《不満である》(10.4%)を大きく上回っている。(図1-2-1)

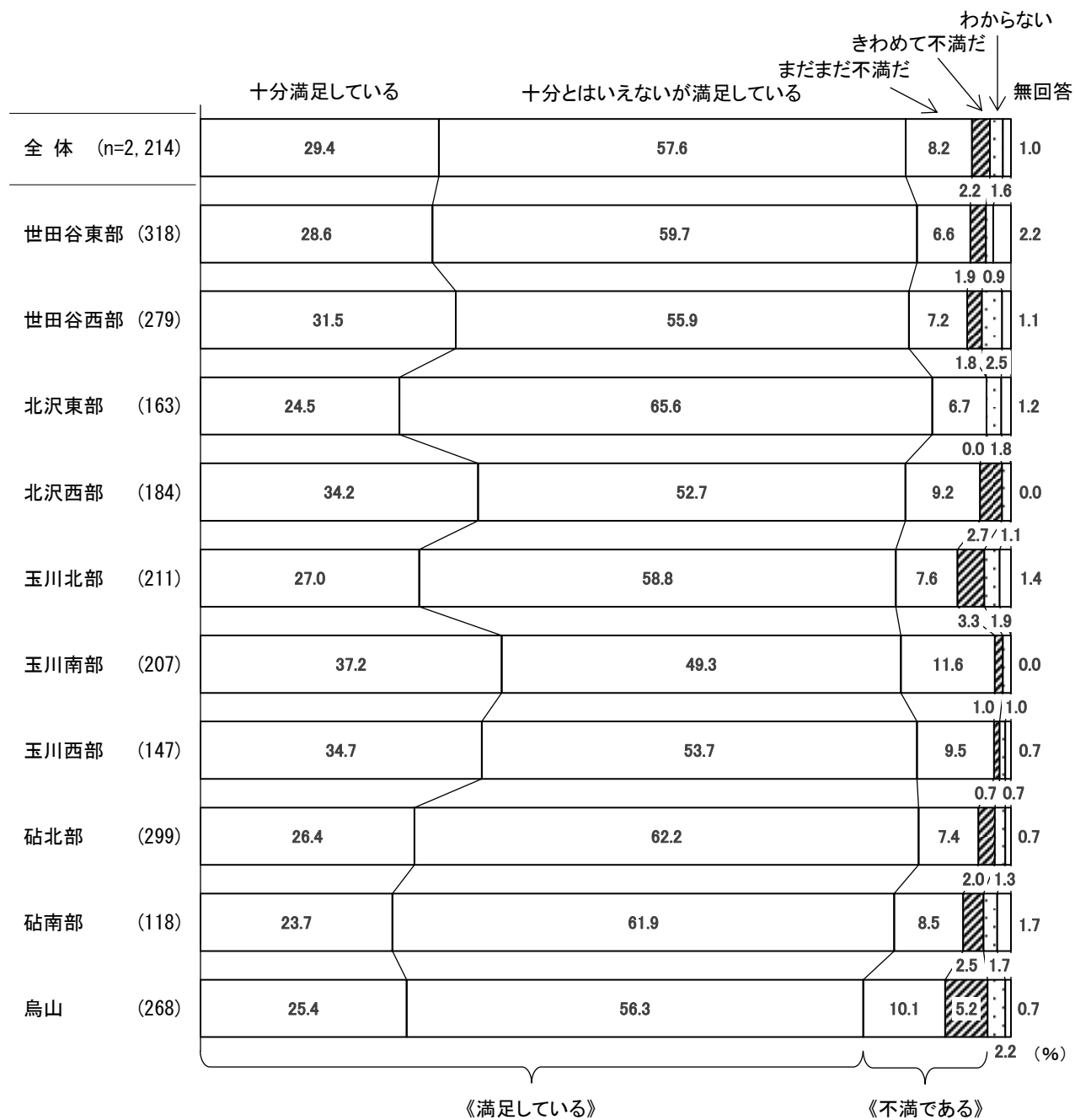
図 1－2－2 暮らしの満足度（時系列）



平成 28 年度からの時系列の変化をみると、《満足している》が多数を占める傾向に変化はない。

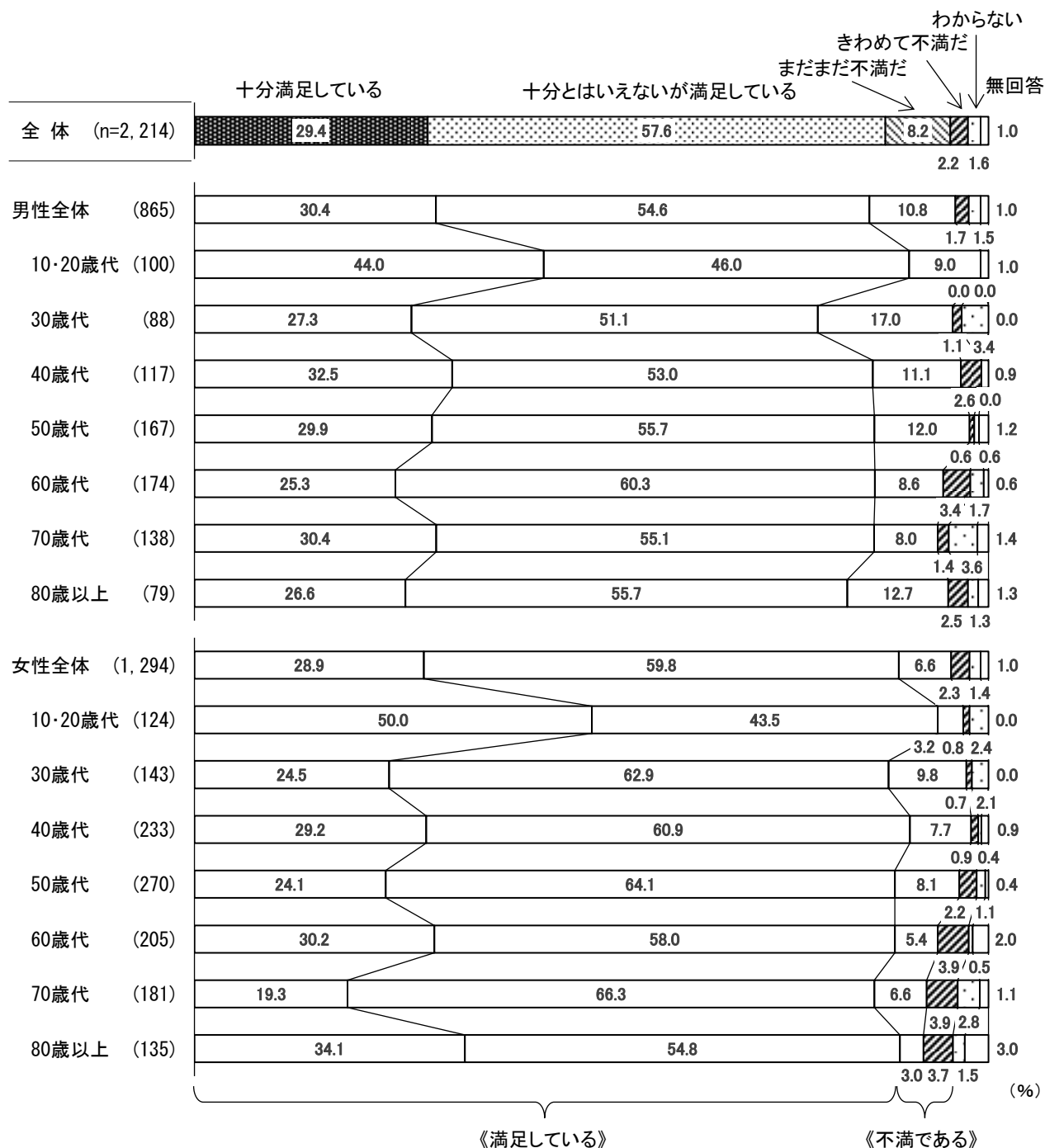
(図 1－2－2)

図 1-2-3 暮らしの満足度（地域別）



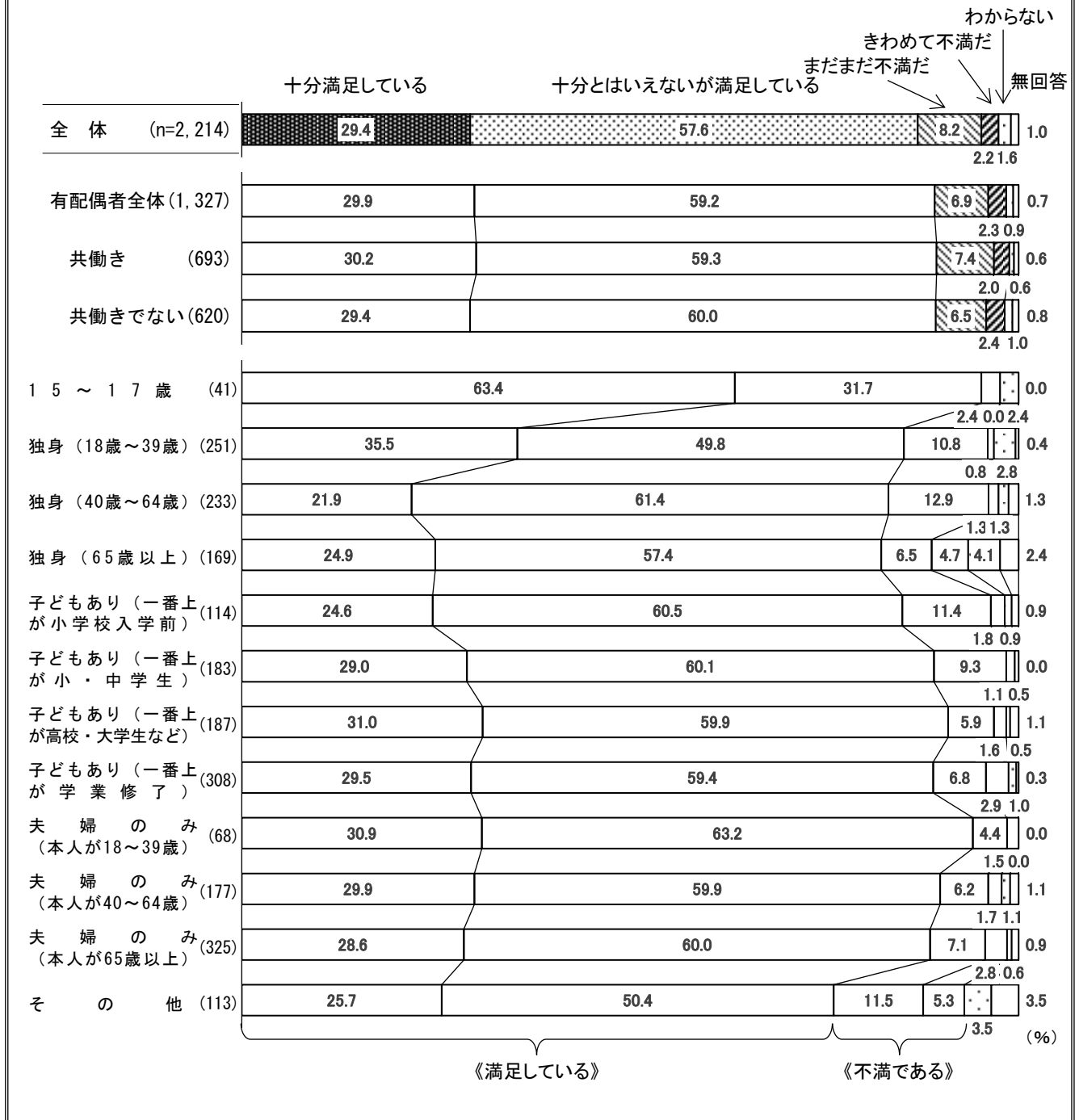
地域別にみると、いずれの地域も《満足している》が多数を占めており、「十分満足している」は玉川南部で4割近く、玉川西部、北沢西部で3割半ば、世田谷西部で3割を超えている。一方、《不満である》は烏山で1割半ばとなっている。（図1-2-3）

図 1-2-4 暮らしの満足度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《満足している》は女性の10・20歳代で9割を超え、男性の10・20歳代、女性の40歳代で9割となっている。「十分満足している」は女性の10・20歳代で5割、男性の10・20歳代で4割半ばとなっている。一方、《不満である》は、男性の30歳代で2割近く、男性の80歳以上で1割半ばとなっている。（図1-2-4）

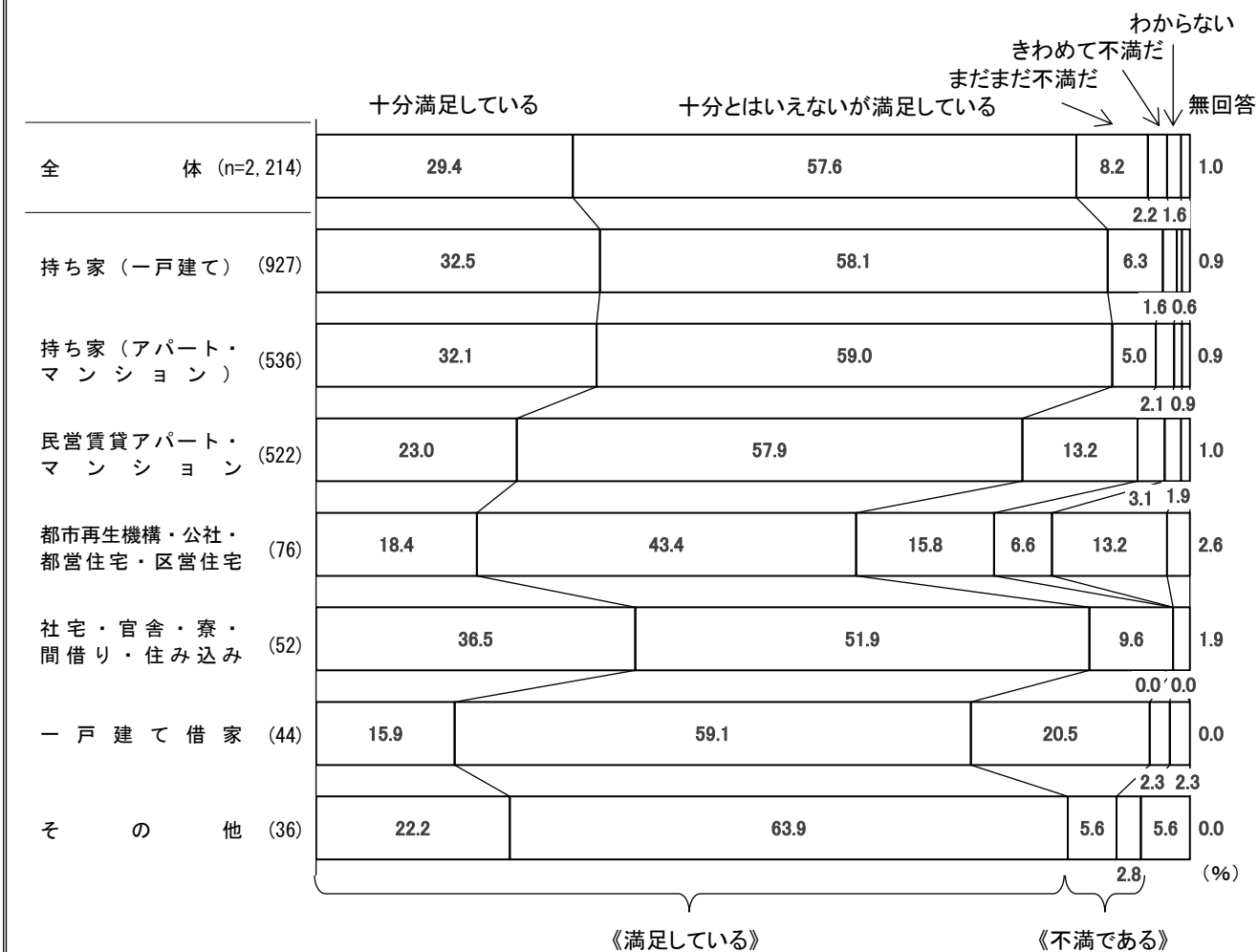
図 1-2-5 暮らしの満足度（共働きの有無別・ライフスタイル別）



共働きの有無別にみると、《満足している》は共働き世帯で9割、共働きでない世帯もほぼ9割とほとんど差はみられない。

ライフスタイル別にみると、《満足している》は15～17歳、夫婦のみ（本人が18～39歳）で9割半ばとなっている。「十分満足している」は15～17歳で6割を超え、独身（18歳～39歳）で3割半ばとなっている。一方、《不満である》は、その他で2割近く、独身（40歳～64歳）で1割半ばとなっている。（図1-2-5）

図 1-2-6 暮らしの満足度（住居形態別）



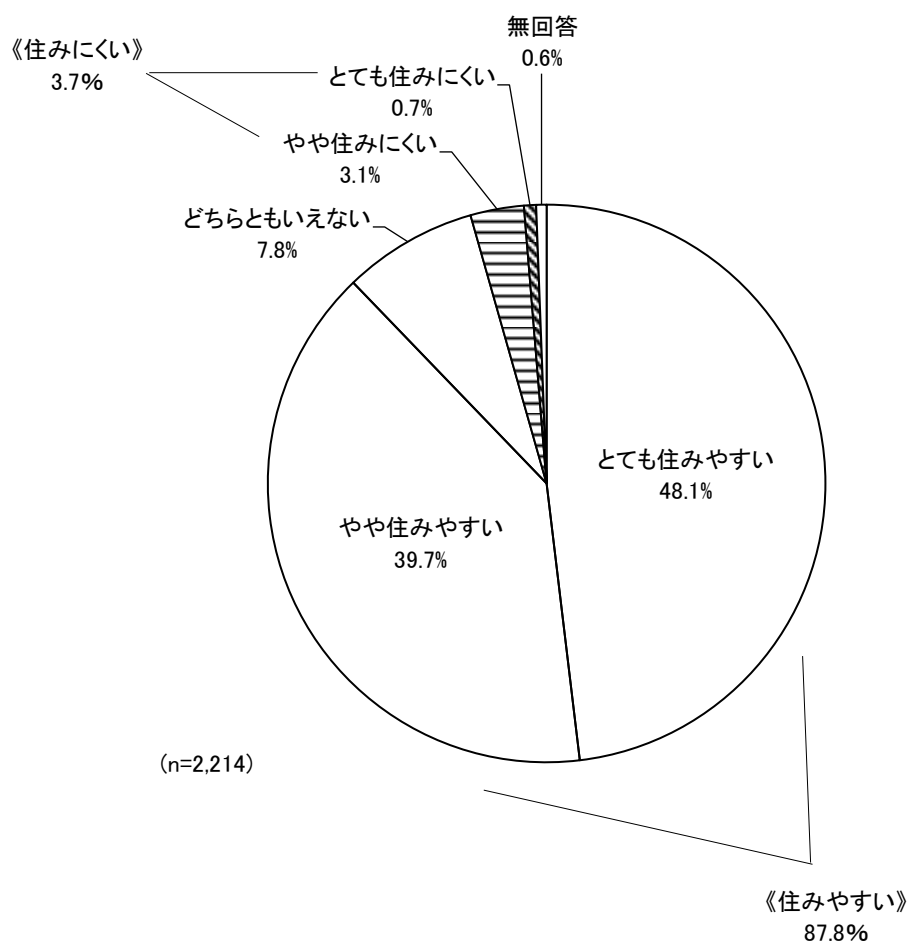
住居形態別にみると、《満足している》は、持ち家（アパート・マンション）で9割を超え、持ち家（一戸建て）ではほぼ9割となっている。「十分満足している」は社宅・官舎・寮・間借り・住み込みで4割近く、持ち家（一戸建て）、持ち家（アパート・マンション）で3割を超えている。一方、《不満である》は、一戸建て借家、都市再生機構（旧公団）・公社・都営住宅・区営住宅で2割を超えている。（図1-2-6）

(3) 住みやすさ

◎ 《住みやすい》が9割近く

問3 あなたは、世田谷区は住みやすいところだと思いますか。それとも住みにくいところだと思いますか。(○は1つ)

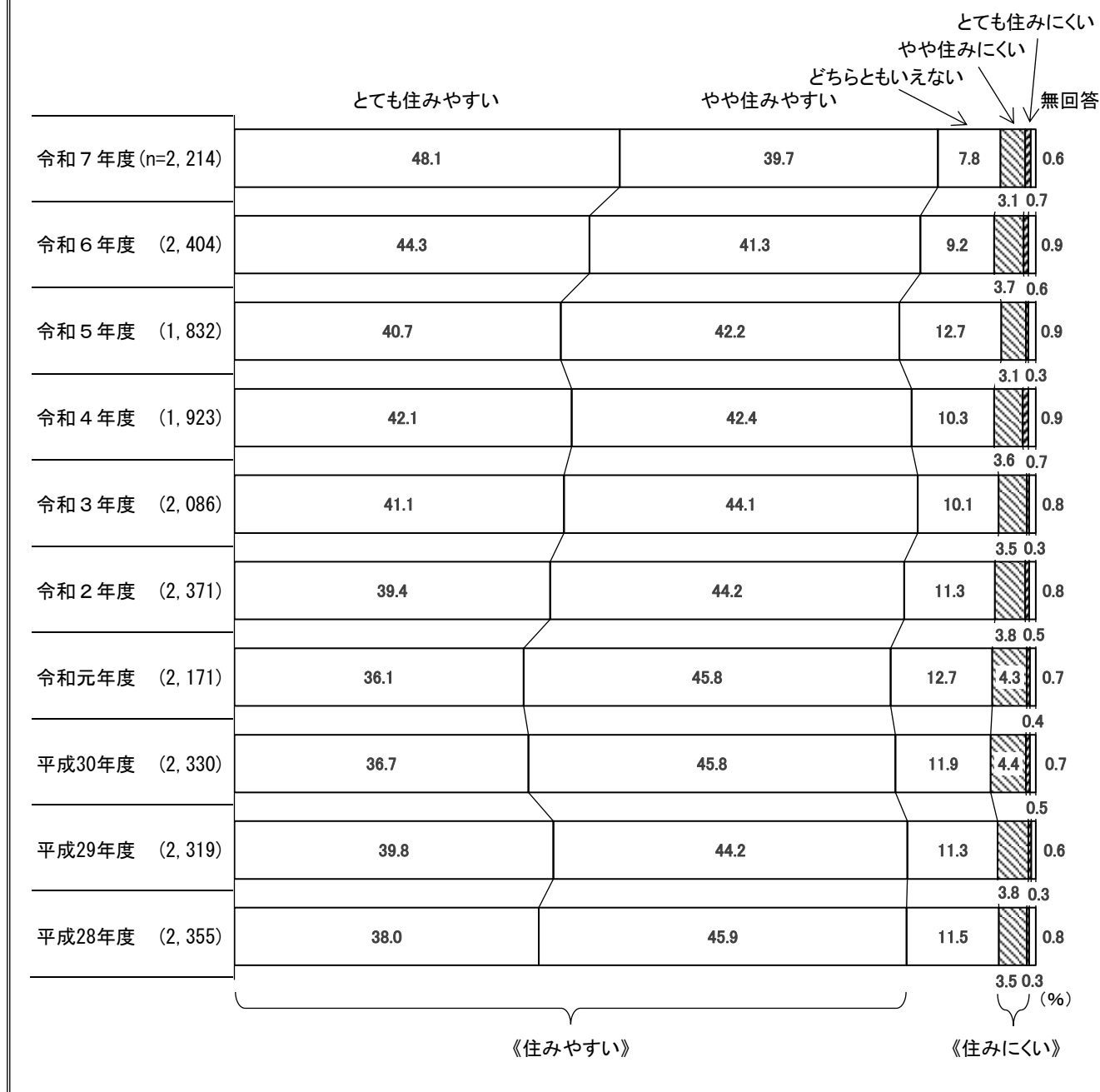
図1-3-1



世田谷区の住みやすさについて聞いたところ、「とても住みやすい」(48.1%)と「やや住みやすい」(39.7%)を合わせた《住みやすい》(87.8%)が9割近くで、「やや住みにくい」(3.1%)と「とても住みにくい」(0.7%)を合わせた《住みにくい》(3.7%)を大きく上回っている。

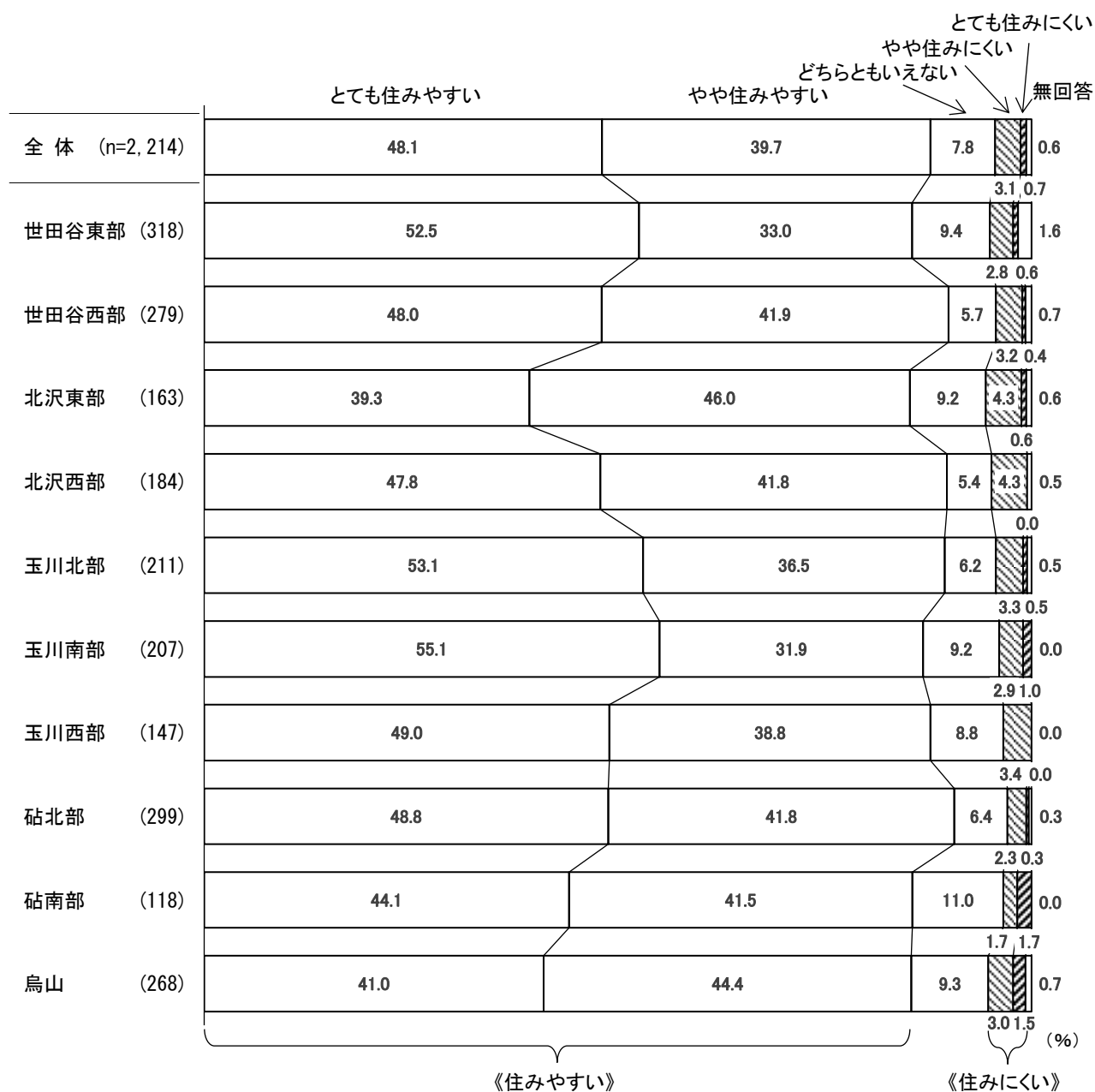
(図1-3-1)

図 1－3－2 住みやすさ（時系列）



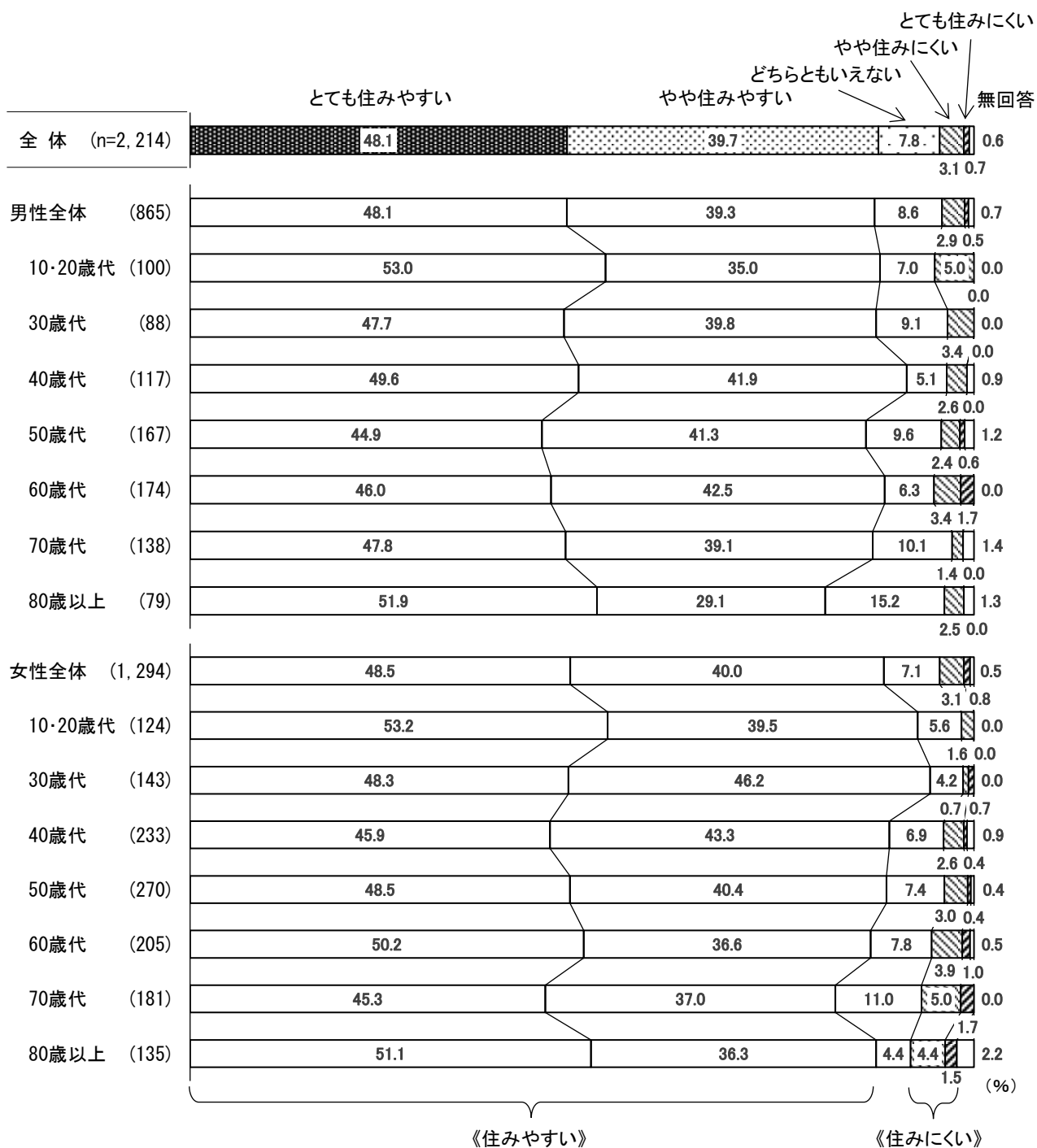
平成28年度からの時系列の変化をみると、《住みやすい》の割合は、いずれの年も8割台となっている。「とても住みやすい」の割合は、令和2年度までは3割台後半で推移し、令和3年度からは4割台となっている。令和7年度は《住みやすい》と「とても住みやすい」が10年間で最も高くなっている。（図1－3－2）

図 1-3-3 住みやすさ（地域別）



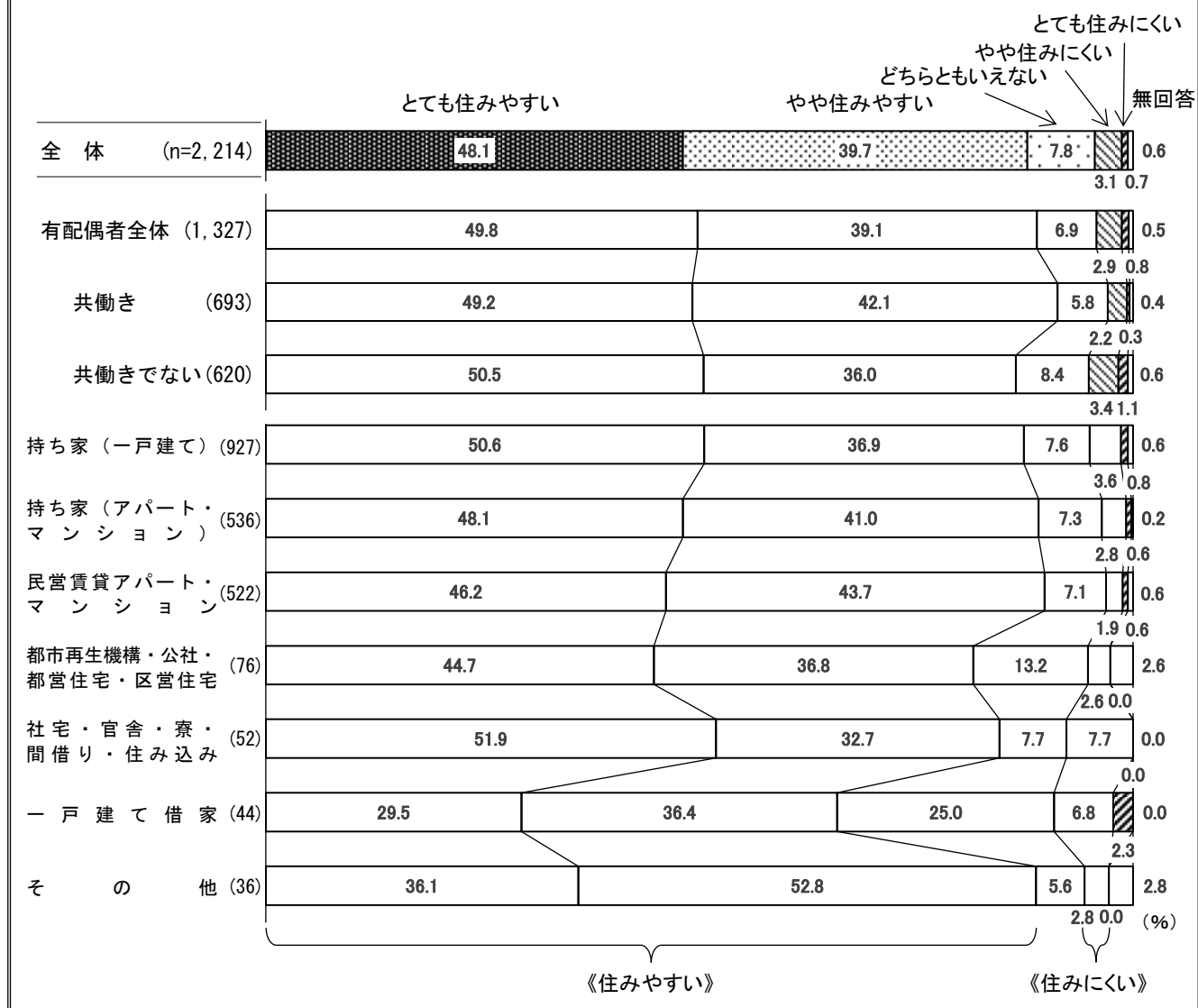
地域別にみると、いずれの地域も《住みやすい》が多数を占めており、「とても住みやすい」は玉川南部で5割半ば、玉川北部、世田谷東部で5割を超えている。《住みにくい》は、いずれの地域でも1割に満たなかった。（図1-3-3）

図 1-3-4 住みやすさ（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《住みやすい》は女性の30歳代で9割半ば、男性の40歳代、女性の10・20歳代で9割を超えている。「とても住みやすい」は男女とも10・20歳代と80歳以上で5割を超え、男性の40歳代、女性の60歳代で5割となっている。《住みにくい》は、いずれの年代も1割に満たなかった。（図1-3-4）

図 1-3-5 住みやすさ（共働きの有無別・住居形態別）



共働きの有無別にみると、《住みやすい》は共働き世帯で9割を超え、共働きでない世帯の9割近くより高くなっている。

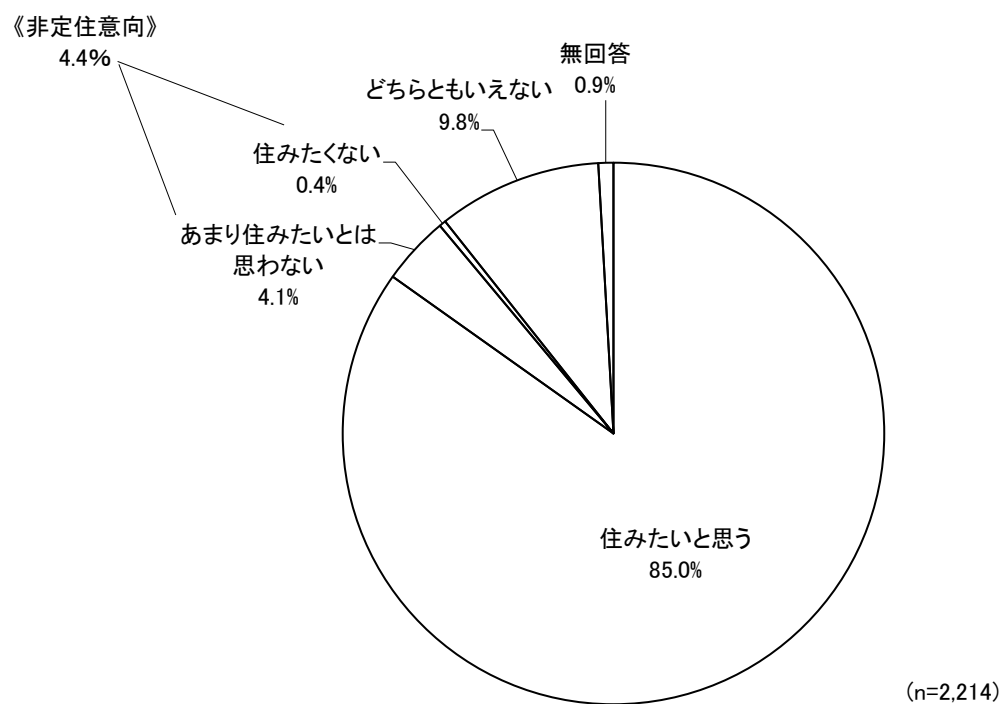
住居形態別にみると、《住みやすい》は、民営賃貸アパート・マンションで9割、持ち家（アパート・マンション）でほぼ9割となっている。「とても住みやすい」は社宅・官舎・寮・間借り・住み込みで5割を超え、持ち家（一戸建て）でほぼ5割となっている。（図1-3-5）

(4) 定住意向

◎「住みたいと思う」が8割半ば

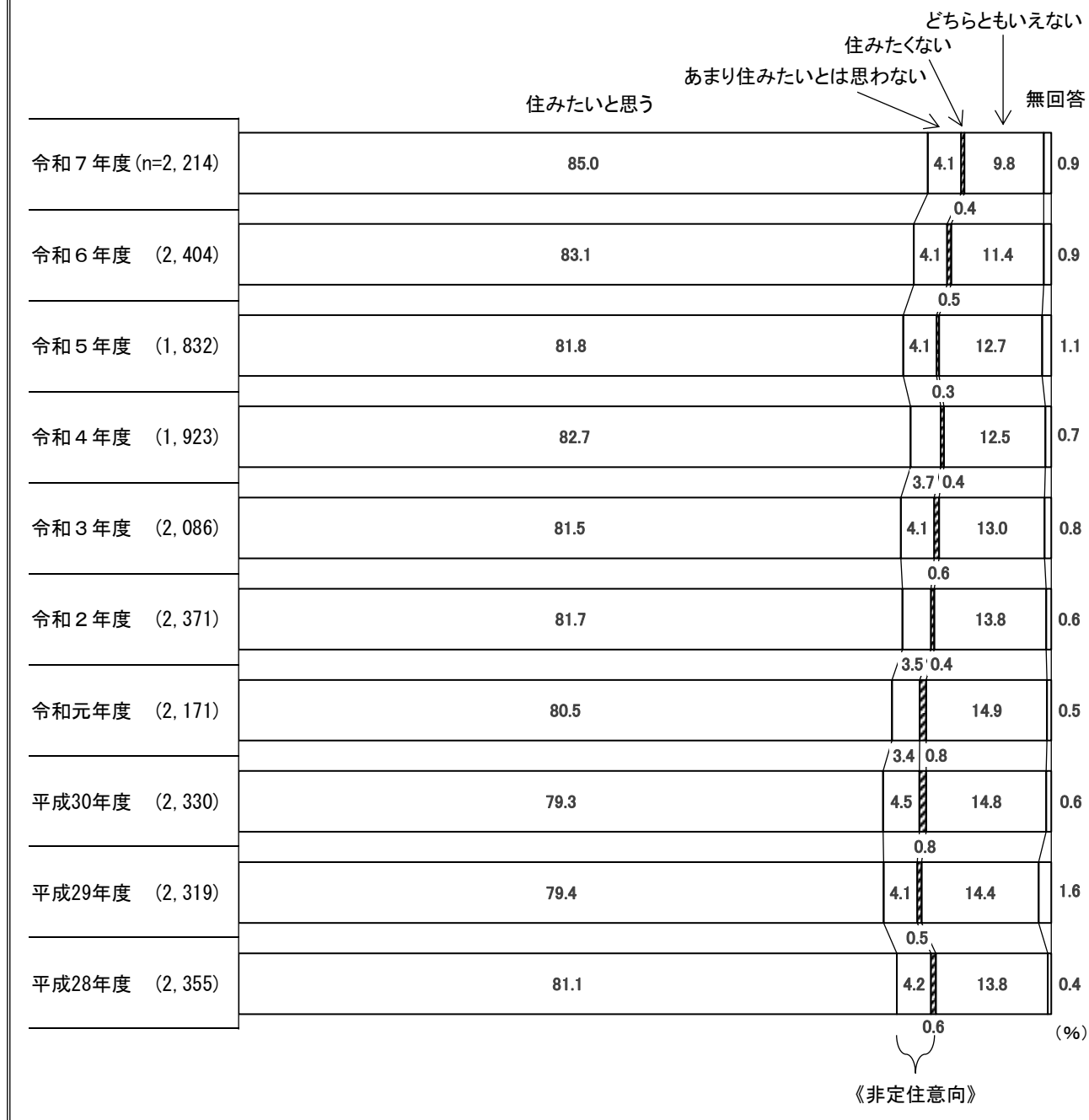
問4 あなたは、これからも世田谷区に住みたいと思いますか。(○は1つ)

図1-4-1



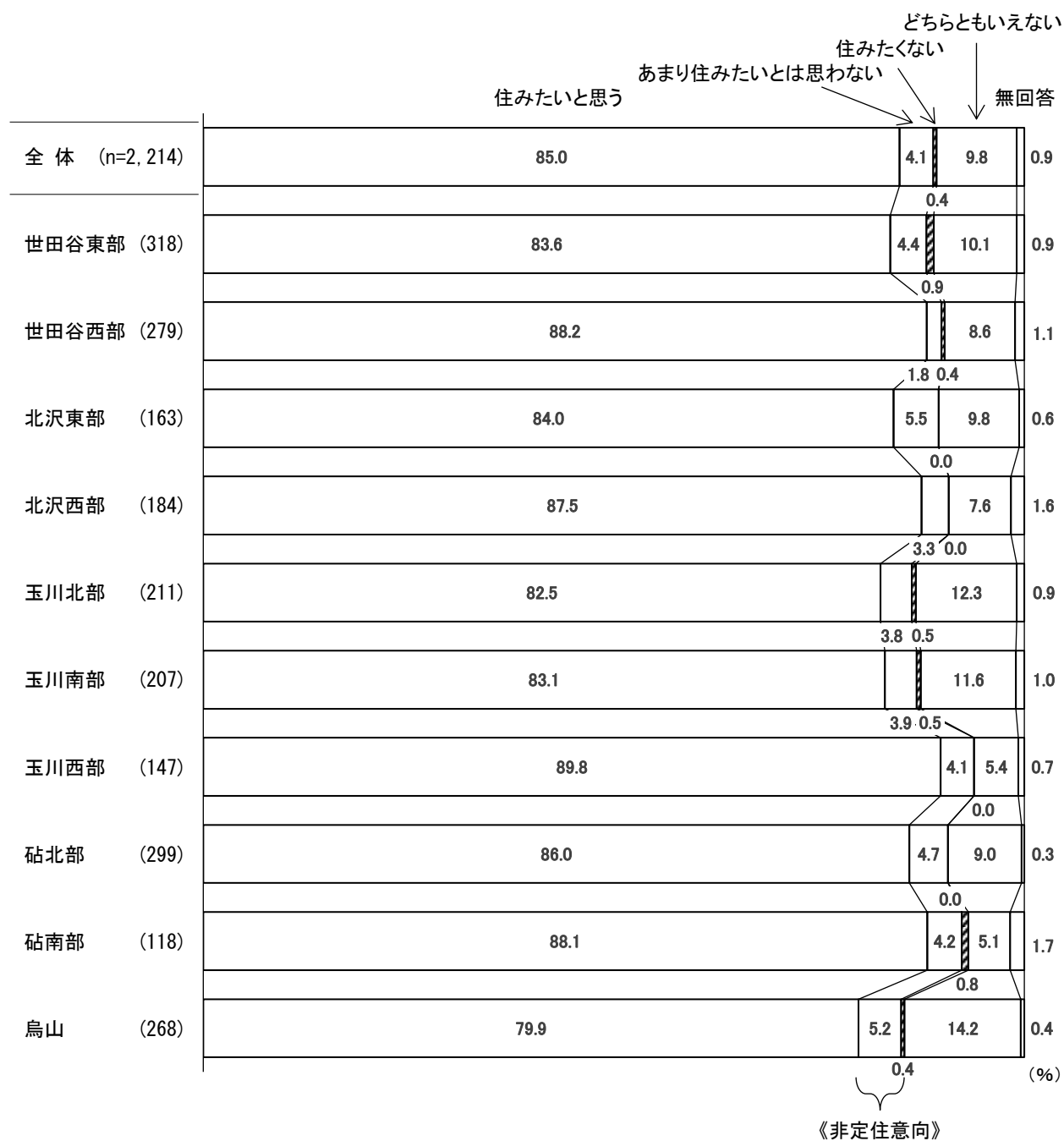
今後の世田谷区への定住意向を聞いたところ、「住みたいと思う」(85.0%)が8割半ばとなっている。「あまり住みたいとは思わない」(4.1%)と「住みたくない」(0.4%)を合わせた《非定住意向》(4.4%)は1割に満たなかった。(図1-4-1)

図 1-4-2 定住意向（時系列）



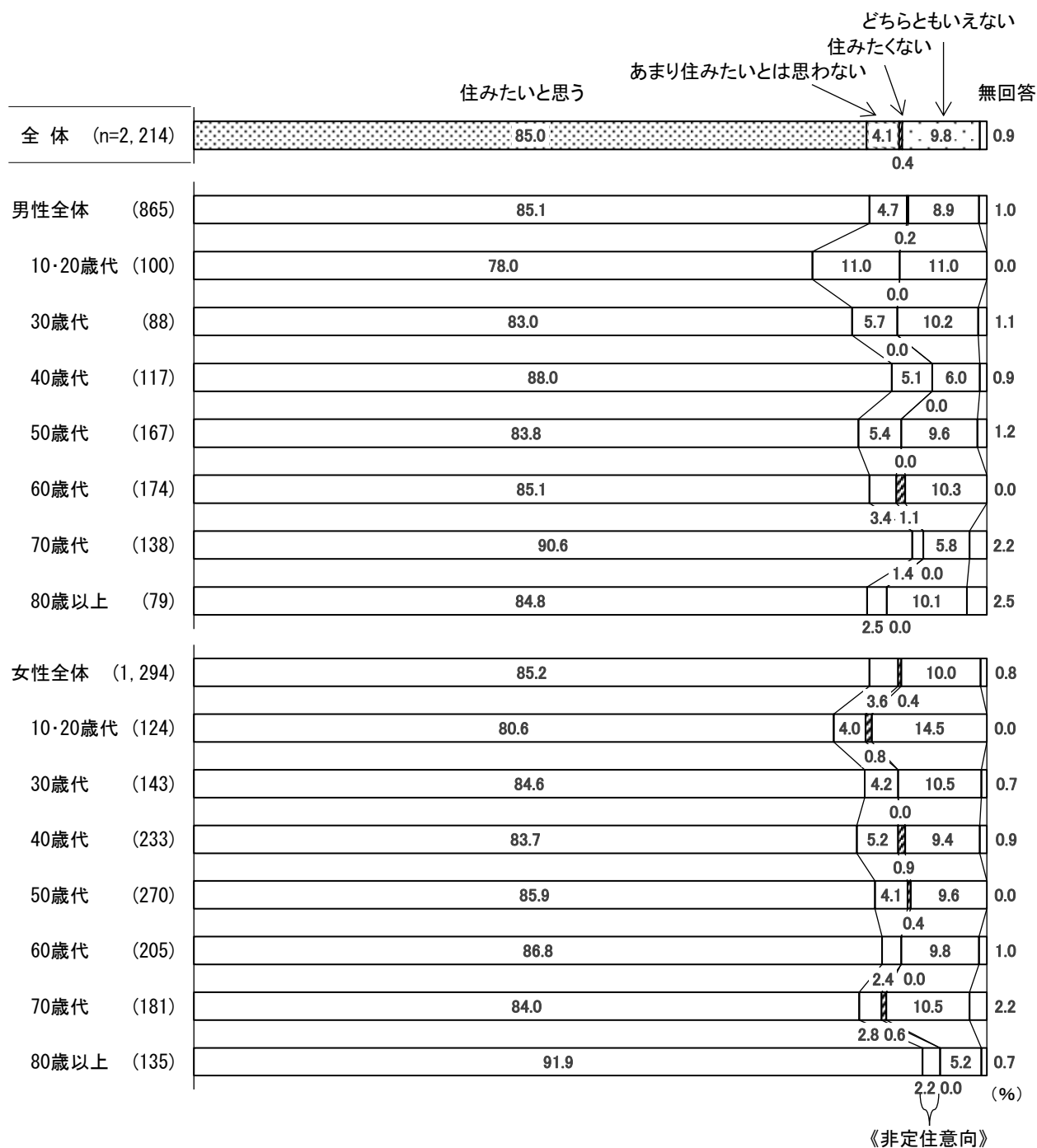
平成28年度からの時系列の変化をみると、「住みたいと思う」は、8割前後で推移していたが、令和6年度、令和7年度は徐々に高くなっている。（図1-4-2）

図 1 - 4 - 3 定住意向（地域別）



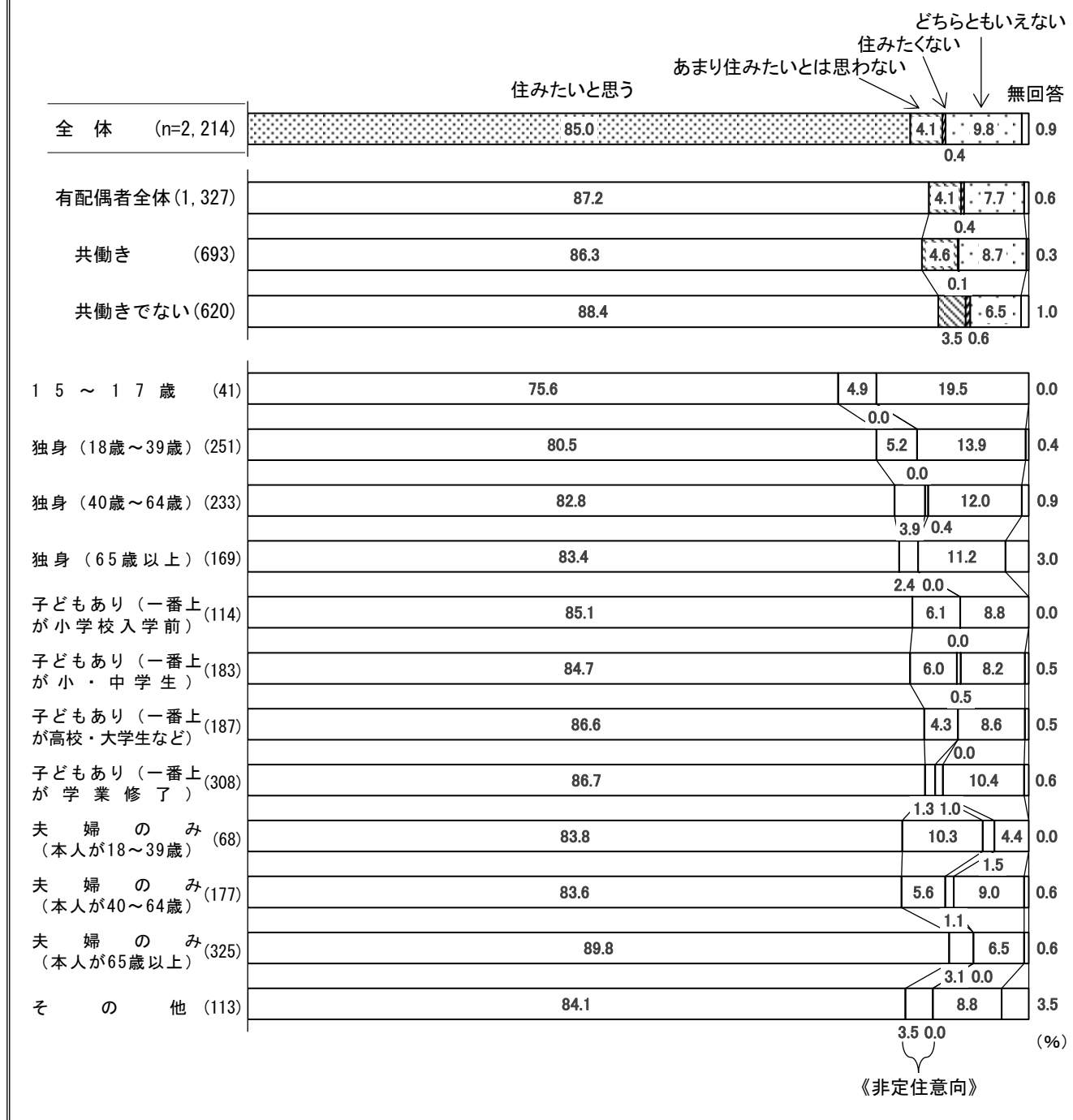
地域別にみると、「住みたいと思う」は、玉川西部で9割、世田谷西部、砧南部、北沢西部で9割近くとなっている。いずれの地域でも《非定住意向》は1割に満たなかった。（図 1 - 4 - 3）

図 1-4-4 定住意向（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「住みたいと思う」は女性の80歳以上で9割を超え、男性の70歳代でほぼ9割、男性の40歳代、女性の60歳代で9割近くとなっている。《非定住意向》は男性の10・20歳代で1割を超えている。（図1-4-4）

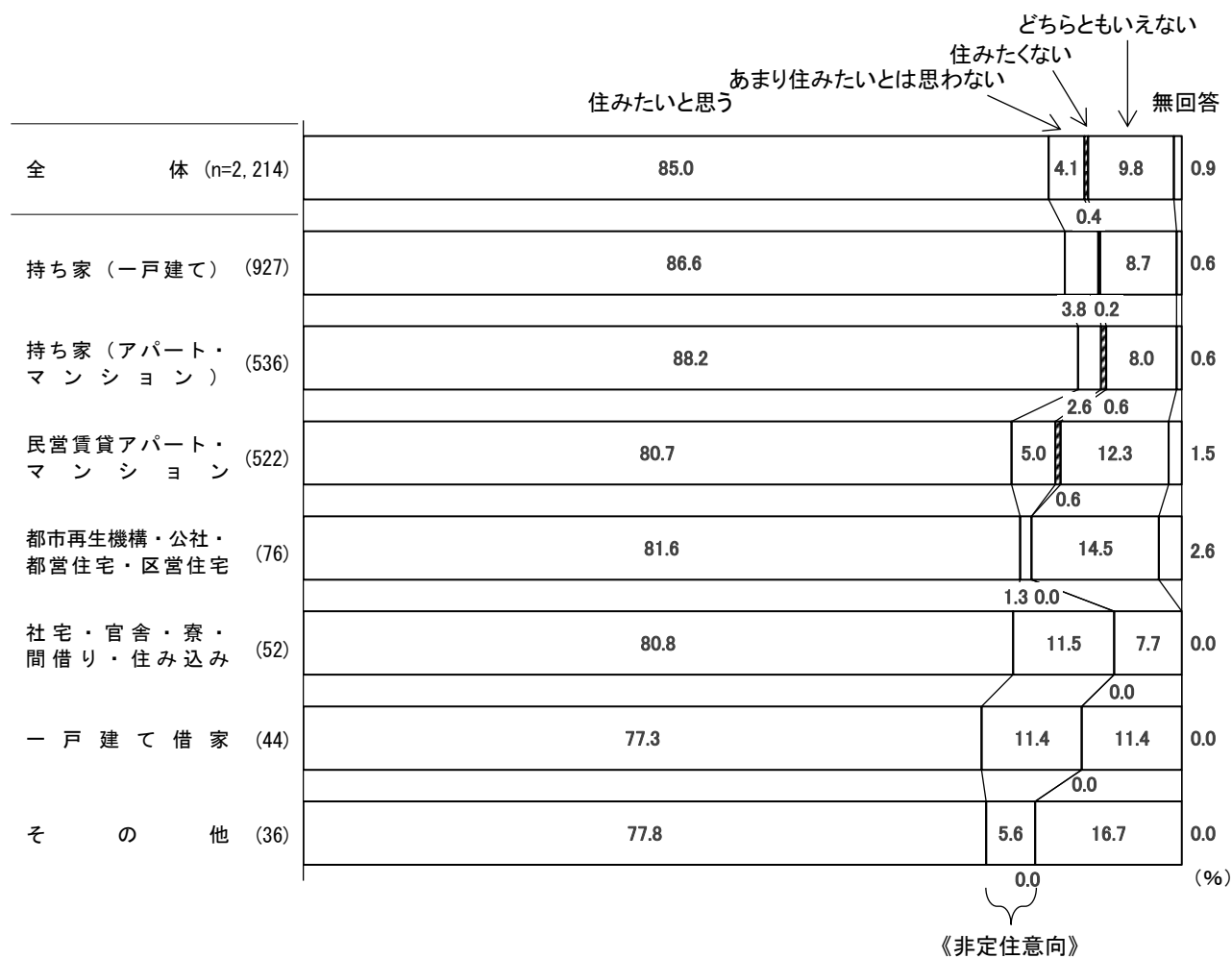
図 1 - 4 - 5 定住意向（共働きの有無別・ライフスタイル別）



共働きの有無別にみると、「住みたいと思う」は共働きでない世帯で9割近く、共働き世帯で8割半ばとなっている。《非定住意向》は共働き世帯と共働きでない世帯で大きな差はみられない。

ライフスタイル別にみると、「住みたいと思う」は夫婦のみ（本人が65歳以上）で9割、子どもあり（一番上が高校・大学生など）、子どもあり（一番上が学業修了）で9割近くとなっている。《非定住意向》は夫婦のみ（本人が18~39歳）で1割を超えている。（図1-4-5）

図 1-4-6 定住意向（住居形態別）



住居形態別にみると、「住みたいと思う」は持ち家（アパート・マンション）、持ち家（一戸建て）で9割近くとなっている。《非定住意向》は社宅・官舎・寮・間借り・住み込み、一戸建て借家で1割を超えている。（図1-4-6）

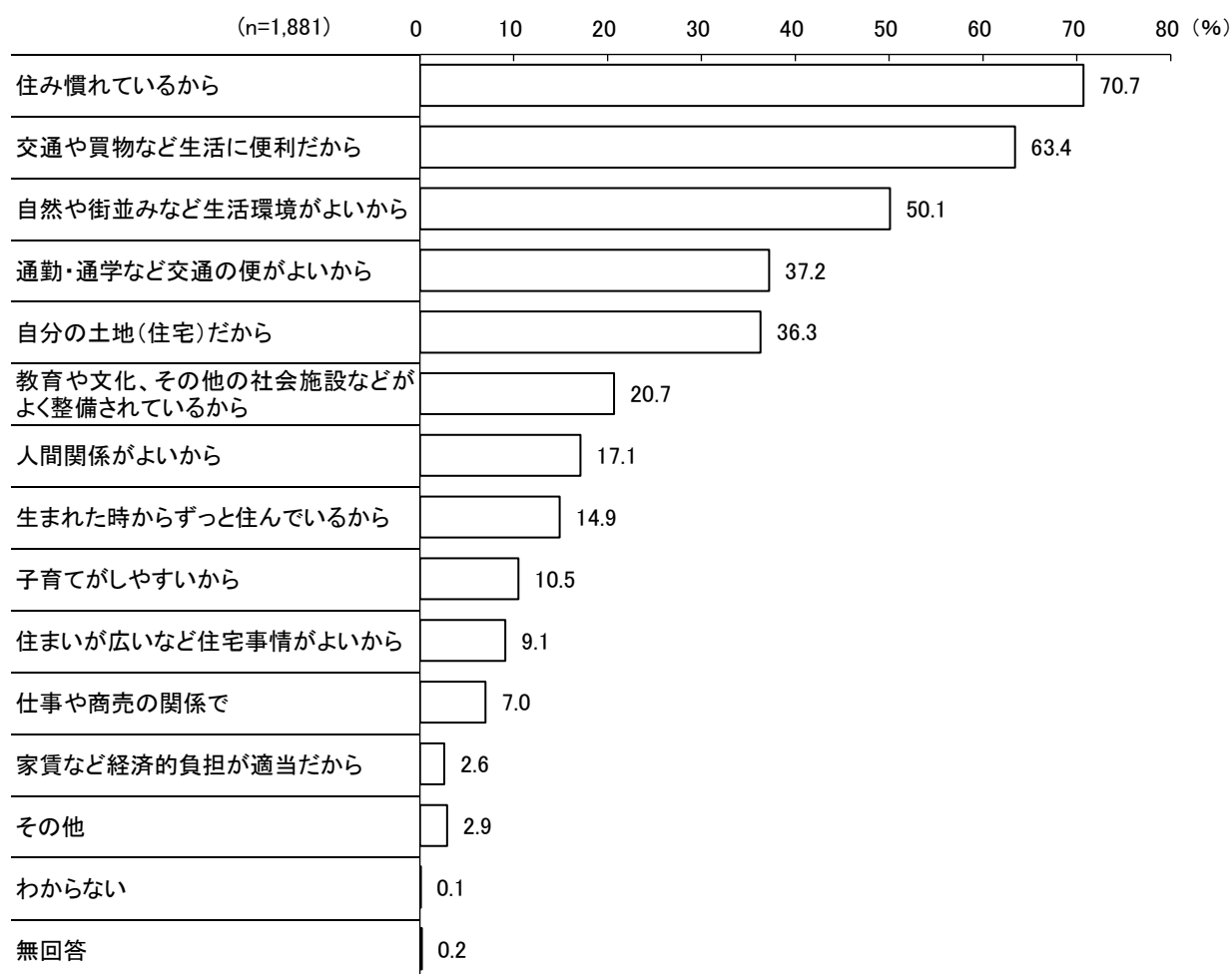
（５）定住意向理由

◎世田谷区に住みたい理由の第１位は「住み慣れているから」

（問４で「住みたいと思う」と答えた方に）

問４－１ これからも世田谷区に住みたいと思う理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

図１－５－１



今後も世田谷区に「住みたいと思う」と答えた方（1,881人）に、その理由を聞いたところ、「住み慣れているから」（70.7%）がほぼ7割で最も高く、以下、「交通や買物など生活に便利だから」（63.4%）、「自然や街並みなど生活環境がよいから」（50.1%）、「通勤・通学など交通の便がよいから」（37.2%）、「自分の土地（住宅）だから」（36.3%）などと続く。（図１－５－１）

表 1－5－1 定住意向理由（時系列）

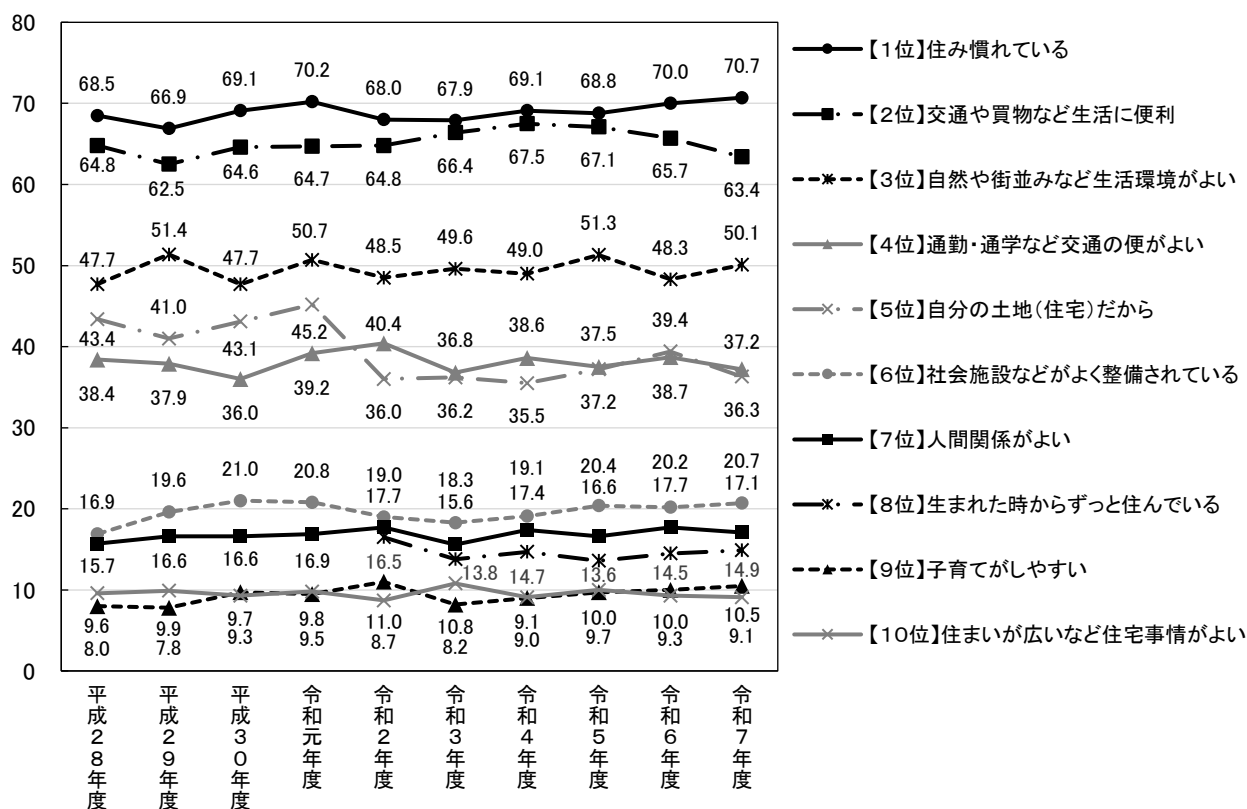
（％）

理 由	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
n	1,909	1,841	1,848	1,747	1,936	1,700	1,590	1,498	1,998	1,881
【1位】 住み慣れている	68.5	66.9	69.1	70.2	68.0	67.9	69.1	68.8	70.0	70.7
【2位】 交通や買物など生活に便利	64.8	62.5	64.6	64.7	64.8	66.4	67.5	67.1	65.7	63.4
【3位】 自然や街並みなど生活環境がよい	47.7	51.4	47.7	50.7	48.5	49.6	49.0	51.3	48.3	50.1
【4位】 通勤・通学など交通の便がよい	38.4	37.9	36.0	39.2	40.4	36.8	38.6	37.5	38.7	37.2
【5位】 自分の土地(住宅)だから	43.4	41.0	43.1	45.2	36.0	36.2	35.5	37.2	39.4	36.3
【6位】 社会施設などがよく整備されている	16.9	19.6	21.0	20.8	19.0	18.3	19.1	20.4	20.2	20.7
【7位】 人間関係がよい	15.7	16.6	16.6	16.9	17.7	15.6	17.4	16.6	17.7	17.1
【8位】 生まれた時からずっと住んでいる	—	—	—	—	16.5	13.8	14.7	13.6	14.5	14.9
【9位】 子育てがしやすい	8.0	7.8	9.7	9.5	11.0	8.2	9.0	9.7	10.0	10.5
【10位】 住まいが広いなど住宅事情がよい	9.6	9.9	9.3	9.8	8.7	10.8	9.1	10.0	9.3	9.1

注) 令和7年度の値で順位付けを行った。

図 1－5－2 定住意向理由（時系列）

（％）



平成28年度からの時系列の変化をみると、「住み慣れているから」と「交通や買物など生活に便利だから」の2項目が6割台以上で上位に挙げられ、「自然や街並みなど生活環境がよいから」が5割前後となっている。「通勤・通学など交通の便がよいから」は4割前後で推移し、「自分の土地（住宅）だから」は令和元年度以前は4割台、令和2年度以降は3割台となっている。

（表1－5－1、図1－5－2）

表 1－5－2 定住意向理由（地域別）

											(%)
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	1,881	住み慣れて いる 70.7	交通や買物 など生活に 便利 63.4	自然や街並 みなど生活 環境がよい 50.1	通勤・通学 など交通の 便がよい 37.2	自分の土地 (住宅)だか ら 36.3	社会施設な どがよく整備 されている 20.7	人間関係が よい 17.1	生まれた時 からずっと住 んでいる 14.9	子育てがし やすい 10.5	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 9.1
世田谷 東 部	266	交通や買物 など生活に 便利 73.7	住み慣れて いる 70.7	通勤・通学 など交通の 便がよい 47.0	自然や街並 みなど生活 環境がよい 45.5	自分の土地 (住宅)だか ら 30.1	人間関係が よい 18.0	社会施設な どがよく整備 されている 15.8	生まれた時 からずっと住 んでいる 13.5	子育てがし やすい 9.8	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 8.6
世田谷 西 部	246	住み慣れて いる 72.8	交通や買物 など生活に 便利 62.6	自然や街並 みなど生活 環境がよい 48.0	通勤・通学 など交通の 便がよい 34.1	自分の土地 (住宅)だか ら 33.3	社会施設な どがよく整備 されている 20.3	人間関係が よい 15.4	生まれた時 からずっと住 んでいる 13.0	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 8.5	仕事や商売 の関係で 8.1
北 沢 東 部	137	住み慣れている／交通や 買物など生活に便利 72.3	通勤・通学 など交通の 便がよい 42.3	自分の土地 (住宅)だか ら 39.4	自然や街並 みなど生活 環境がよい 35.0	社会施設な どがよく整備 されている 16.8	生まれた時からずっと住ん でいる／人間関係がよい 15.3	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 8.8	仕事や商売 の関係で 6.6		
北 沢 西 部	161	住み慣れて いる 67.1	交通や買物 など生活に 便利 65.8	自然や街並 みなど生活 環境がよい 45.3	自分の土地 (住宅)だか ら 43.5	通勤・通学 など交通の 便がよい 42.2	社会施設な どがよく整備 されている 22.4	人間関係が よい 18.0	生まれた時 からずっと住 んでいる 14.3	子育てがし やすい 9.9	仕事や商売 の関係で 8.7
玉 川 北 部	174	住み慣れて いる 72.4	交通や買物 など生活に 便利 63.2	自然や街並 みなど生活 環境がよい 57.5	通勤・通学 など交通の 便がよい 37.4	自分の土地 (住宅)だか ら 35.1	社会施設な どがよく整備 されている 20.7	人間関係が よい 16.7	子育てがし やすい 12.6	生まれた時 からずっと住 んでいる 10.9	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 6.3
玉 川 南 部	172	住み慣れて いる 72.1	交通や買物 など生活に 便利 59.9	自然や街並 みなど生活 環境がよい 57.0	通勤・通学 など交通の 便がよい 39.5	自分の土地 (住宅)だか ら 33.7	人間関係が よい 26.2	生まれた時 からずっと住 んでいる 23.3	住まいが広いなど住宅事 情がよい／社会施設など がよく整備されている 15.1	子育てがし やすい 9.3	
玉 川 西 部	132	交通や買物 など生活に 便利 68.2	住み慣れて いる 66.7	自然や街並 みなど生活 環境がよい 61.4	自分の土地 (住宅)だか ら 41.7	社会施設な どがよく整備 されている 24.2	通勤・通学 など交通の 便がよい 23.5	生まれた時 からずっと住 んでいる 15.9	人間関係がよい／子育て がしやすい 15.2	仕事や商売 の関係で 9.1	
砧北部	257	住み慣れて いる 71.2	交通や買物 など生活に 便利 55.3	自然や街並 みなど生活 環境がよい 52.1	通勤・通学 など交通の 便がよい 34.6	自分の土地 (住宅)だか ら 34.2	社会施設な どがよく整備 されている 27.2	人間関係が よい 16.3	生まれた時からずっと住ん でいる／子育てがしやすい 15.6	仕事や商売 の関係で 8.9	
砧南部	104	住み慣れて いる 76.9	自然や街並 みなど生活 環境がよい 62.5	自分の土地 (住宅)だか ら 47.1	交通や買物 など生活に 便利 43.3	社会施設な どがよく整備 されている 29.8	通勤・通学 など交通の 便がよい 28.8	人間関係が よい 23.1	生まれた時 からずっと住 んでいる 19.2	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 15.4	子育てがし やすい 14.4
烏 山	214	住み慣れて いる 65.9	交通や買物 など生活に 便利 64.0	自然や街並 みなど生活 環境がよい 44.9	自分の土地 (住宅)だか ら 37.4	通勤・通学 など交通の 便がよい 35.0	社会施設な どがよく整備 されている 19.6	生まれた時 からずっと住 んでいる 13.1	人間関係が よい 10.3	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 8.9	子育てがし やすい 8.4

地域別にみると、「住み慣れているから」はすべての地域で2位以内に挙げられている。「交通や買物など生活に便利だから」は砧南部を除く地域で2位以内に挙げられている。「自然や街並みなど生活環境がよいから」は砧南部で2位、世田谷西部、北沢西部、玉川北部、玉川南部、玉川西部、砧北部、烏山で3位に挙げられており、「通勤・通学など交通の便がよいから」は世田谷東部、北沢東部で3位に挙げられている。（表1－5－2）

表 1 - 5 - 3 定住意向理由（性・年齢別）

（％）

(注)											
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	1,881	住み慣れて いる 70.7	交通や買物 など生活に便 利 63.4	自然や街並 みなど生活環 境がよい 50.1	通勤・通学な ど交通の便が よい 37.2	自分の土地 (住宅)だから 36.3	社会施設など がよく整備さ れている 20.7	人間関係がよ い 17.1	生まれた時か らずっと住ん でいる 14.9	子育てがしや すい 10.5	住まいが広いな ど住宅事情がよ い 9.1
男 性 全 体	736	住み慣れて いる 72.8	交通や買物 など生活に便 利 61.0	自然や街並 みなど生活環 境がよい 49.3	自分の土地 (住宅)だから 37.9	通勤・通学な ど交通の便が よい 36.8	社会施設など がよく整備さ れている 21.2	生まれた時か らずっと住ん でいる 19.7	人間関係がよ い 15.1	子育てがしや すい 11.0	住まいが広いな ど住宅事情がよ い 9.6
10・ 20歳 代	78	住み慣れて いる 60.3	交通や買物 など生活に便 利 48.7	通勤・通学な ど交通の便が よい 47.4	自然や街並 みなど生活環 境がよい 43.6	生まれた時か らずっと住ん でいる 26.9	社会施設など がよく整備さ れている 19.2	自分の土地 (住宅)だから 16.7	住まいが広いなど住宅事情 がよい／人間関係がよい	11.5	仕事や商売の関 係で 7.7
30歳 代	73	交通や買物 など生活に便 利 54.8	住み慣れて いる 53.4	自然や街並 みなど生活環 境がよい 52.1	通勤・通学な ど交通の便が よい 49.3	子育てがしや すい 28.8	生まれた時からずっと住んで いる／自分の土地(住宅)だ から 20.5	社会施設など がよく整備さ れている 19.2	住まいが広いなど住宅事情が よい／人間関係がよい	12.3	
40歳 代	103	住み慣れて いる 70.9	交通や買物 など生活に便 利 61.2	通勤・通学な ど交通の便が よい 47.6	自然や街並 みなど生活環 境がよい 45.6	自分の土地 (住宅)だから 35.9	子育てがしや すい 23.3	社会施設など がよく整備さ れている 19.4	生まれた時からずっと住んで いる／人間関係が よい／仕事や商売の関係で	16.5	
50歳 代	140	住み慣れて いる 73.6	交通や買物 など生活に便 利 65.0	自然や街並 みなど生活環 境がよい 59.3	通勤・通学な ど交通の便が よい 47.1	自分の土地 (住宅)だから 37.9	社会施設など がよく整備さ れている 22.9	人間関係がよ い 19.3	生まれた時から ずっと住ん でいる 15.7	子育てがしや すい 13.6	仕事や商売の関 係で 10.0
60歳 代	148	住み慣れて いる 76.4	交通や買物 など生活に便 利 60.1	自分の土地 (住宅)だから 43.9	自然や街並 みなど生活環 境がよい 41.9	通勤・通学な ど交通の便が よい 30.4	生まれた時から ずっと住ん でいる 25.7	社会施設など がよく整備さ れている 16.9	人間関係がよ い 10.8	住まいが広い など住宅事情 がよい 10.1	仕事や商売の関 係で 5.4
70歳 代	125	住み慣れて いる 83.2	交通や買物 など生活に便 利 72.0	自然や街並 みなど生活環 境がよい 55.2	自分の土地 (住宅)だから 48.0	社会施設など がよく整備さ れている 25.6	通勤・通学な ど交通の便が よい 22.4	生まれた時から ずっと住ん でいる 15.2	人間関係がよ い 13.6	住まいが広い など住宅事情 がよい 9.6	仕事や商売の関 係で 6.4
80歳 以上	67	住み慣れて いる 82.1	交通や買物 など生活に便 利 56.7	自分の土地 (住宅)だから 52.2	自然や街並 みなど生活環 境がよい 43.3	社会施設など がよく整備さ れている 26.9	人間関係がよ い 22.4	生まれた時から ずっと住ん でいる 17.9	通勤・通学な ど交通の便が よい 14.9	住まいが広いなど住宅事情がよ い／子育てがしやす い	6.0
女 性 全 体	1,103	住み慣れて いる 69.1	交通や買物 など生活に便 利 65.3	自然や街並 みなど生活環 境がよい 51.0	通勤・通学な ど交通の便が よい 37.8	自分の土地 (住宅)だから 35.4	社会施設など がよく整備さ れている 20.5	人間関係がよ い 18.7	生まれた時か らずっと住ん でいる 11.9	子育てがしや すい 10.2	住まいが広いな ど住宅事情がよ い 8.8
10・ 20歳 代	100	自然や街並 みなど生活環 境がよい 57.0	交通や買物 など生活に便 利 55.0	住み慣れている／通勤・通 学など交通の便がよい 53.0	生まれた時か らずっと住ん でいる 29.0	自分の土地 (住宅)だから 20.0	人間関係がよ い 18.0	社会施設など がよく整備さ れている 15.0	住まいが広い など住宅事情 がよい 6.0	仕事や商売の関 係で 5.0	
30歳 代	121	交通や買物 など生活に便 利 64.5	住み慣れて いる 53.7	自然や街並 みなど生活環 境がよい 51.2	通勤・通学な ど交通の便が よい 50.4	子育てがしや すい 21.5	社会施設など がよく整備さ れている 19.0	自分の土地(住宅)だから／ 人間関係がよい 16.5	生まれた時か らずっと住ん でいる 11.6	住まいが広いな ど住宅事情がよ い 7.4	
40歳 代	195	交通や買物 など生活に便 利 69.7	住み慣れて いる 63.6	自然や街並 みなど生活環 境がよい 57.4	通勤・通学な ど交通の便が よい 50.8	自分の土地(住宅)だから／ 社会施設など がよく整備され ている 28.2	子育てがしや すい 25.1	人間関係がよ い 12.8	生まれた時か らずっと住ん でいる 10.8	仕事や商売の関 係で 10.3	
50歳 代	232	住み慣れて いる 69.0	交通や買物 など生活に便 利 67.2	自然や街並 みなど生活環 境がよい 54.7	通勤・通学な ど交通の便が よい 43.5	自分の土地 (住宅)だから 43.1	人間関係がよ い 21.1	社会施設など がよく整備さ れている 17.2	生まれた時か らずっと住ん でいる 11.2	子育てがしや すい 10.3	住まいが広いな ど住宅事情がよ い 7.3
60歳 代	178	住み慣れて いる 78.1	交通や買物 など生活に便 利 68.5	自然や街並 みなど生活環 境がよい 48.9	自分の土地 (住宅)だから 37.6	通勤・通学な ど交通の便が よい 28.7	社会施設など がよく整備さ れている 19.1	人間関係がよ い 16.3	生まれた時から ずっと住ん でいる 10.7	仕事や商売 の関係で 8.4	住まいが広いな ど住宅事情がよ い 7.9
70歳 代	152	住み慣れて いる 82.2	交通や買物 など生活に便 利 65.1	自分の土地 (住宅)だから 47.4	自然や街並 みなど生活環 境がよい 46.1	人間関係がよい／社会施設 など 23.7	通勤・通学な ど交通の便が よい 19.7	住まいが広い など住宅事情 がよい 12.5	生まれた時か らずっと住ん でいる 9.9	仕事や商売の関 係で 3.3	
80歳 以上	124	住み慣れて いる 76.6	交通や買物 など生活に便 利 59.7	自分の土地 (住宅)だから 44.4	自然や街並 みなど生活環 境がよい 38.7	人間関係がよ い 23.4	社会施設など がよく整備さ れている 18.5	通勤・通学な ど交通の便が よい 17.7	住まいが広い など住宅事情 がよい 12.9	生まれた時か らずっと住ん でいる 5.6	家賃など経済的 負担が適当／子 育てがしやす い

性・年齢別にみると、女性の10・20歳代以外は各年代とも「住み慣れているから」、「交通や買物など生活に便利だから」が2位以内に挙げられている。女性の10・20歳代は「自然や街並みなど生活環境がよいから」が1位、「交通や買物など生活に便利だから」が2位となっている。

(表 1 - 5 - 3)

表 1-5-4 定住意向理由（共働きの有無別・ライフスタイル別）

（％）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	1,881	住み慣れている 70.7	交通や買物 など生活に 便利 63.4	自然や街並 みなど生活 環境がよい 50.1	通勤・通学 など交通の 便がよい 37.2	自分の土地 (住宅)だか ら 36.3	社会施設な どがよく整備 されている 20.7	人間関係が よい 17.1	生まれた時 からずっと住 んでいる 14.9	子育てがし やすい 10.5	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 9.1
有 配 偶 者 全 体	1,157	住み慣れている 70.5	交通や買物 など生活に 便利 65.0	自然や街並 みなど生活 環境がよい 53.8	自分の土地 (住宅)だか ら 41.7	通勤・通学 など交通の 便がよい 36.7	社会施設な どがよく整備 されている 25.3	人間関係が よい 18.4	子育てがし やすい 15.3	生まれた時 からずっと住 んでいる 10.5	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 9.9
共 働 き	598	交通や買物 など生活に 便利 65.7	住み慣れて いる 63.5	自然や街並 みなど生活 環境がよい 54.3	通勤・通学 など交通の 便がよい 44.6	自分の土地 (住宅)だか ら 37.0	社会施設な どがよく整備 されている 24.4	子育てがし やすい 20.4	人間関係が よい 19.4	仕事や商売 の関係で 11.2	生まれた時 からずっと住 んでいる 9.9
共 働 き で な い	548	住み慣れて いる 77.7	交通や買物 など生活に 便利 64.6	自然や街並 みなど生活 環境がよい 53.5	自分の土地 (住宅)だか ら 46.7	通勤・通学 など交通の 便がよい 28.3	社会施設な どがよく整備 されている 26.5	人間関係が よい 17.2	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 11.5	生まれた時 からずっと住 んでいる 11.1	子育てがし やすい 10.0
15～17歳	31	住み慣れて いる 77.4	通勤・通学 など交通の 便がよい 64.5	生まれた時 からずっと住 んでいる 61.3	自然や街並 みなど生活 環境がよい 54.8	自分の土地 (住宅)だか ら 35.5	交通や買物 など生活に 便利 32.3	人間関係が よい 25.8	社会施設な どがよく整備 されている 12.9	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 6.5	仕事や商売 の関係で 3.2
独身 (18歳～39 歳)	202	交通や買物 など生活に 便利 58.9	住み慣れて いる 58.4	通勤・通学 など交通の 便がよい 51.0	自然や街並 みなど生活 環境がよい 44.1	生まれた時 からずっと住 んでいる 22.8	自分の土地 (住宅)だか ら 16.8	社会施設な どがよく整備 されている 12.9	住まいが広 いなど住宅 事情がよい／ 人間関係がよ い 8.4	仕事や商売 の関係で 5.9	
独身 (40歳～64 歳)	193	住み慣れて いる 73.1	交通や買物 など生活に 便利 66.3	自然や街並 みなど生活 環境がよい 47.7	通勤・通学 など交通の 便がよい 42.5	生まれた時 からずっと住 んでいる 29.0	自分の土地 (住宅)だか ら 20.7	社会施設な どがよく整備 されている 11.9	人間関係が よい 10.4	仕事や商売 の関係で 9.8	家賃など経 済的負担が 適当 6.2
独身 (65歳以上)	141	住み慣れて いる 78.7	交通や買物 など生活に 便利 61.0	自然や街並 みなど生活 環境がよい 40.4	自分の土地 (住宅)だか ら 36.9	人間関係が よい 19.9	通勤・通学 など交通の 便がよい 19.1	社会施設な どがよく整備 されている 17.0	生まれた時 からずっと住 んでいる 11.3	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 7.1	家賃など経 済的負担が 適当 5.0
子どもあり (一番上が 小学校入学 前)	97	交通や買物 など生活に 便利 57.7	自然や街並 みなど生活 環境がよい 54.6	住み慣れて いる 48.5	子育てがし やすい 47.4	通勤・通学 など交通の 便がよい 43.3	社会施設な どがよく整備 されている 21.6	人間関係が よい 20.6	自分の土地 (住宅)だか ら 19.6	生まれた時 からずっと住 んでいる 11.3	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 8.2
子どもあり (一番上が 小・中学 生)	155	住み慣れて いる 63.9	交通や買物 など生活に 便利 58.1	自然や街並 みなど生活 環境がよい 55.5	通勤・通学 など交通の 便がよい 47.7	自分の土地 (住宅)だか ら 43.9	子育てがし やすい 40.6	社会施設な どがよく整備 されている 38.1	人間関係が よい 21.9	仕事や商売 の関係で 9.0	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 7.7
子どもあり (一番上が 高校・大学 生など)	162	住み慣れて いる 72.2	交通や買物 など生活に 便利 66.0	自然や街並 みなど生活 環境がよい 56.2	通勤・通学 など交通の 便がよい 50.6	自分の土地 (住宅)だか ら 39.5	社会施設な どがよく整備 されている 25.9	子育てがし やすい 23.5	人間関係が よい 20.4	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 11.1	生まれた時 からずっと住 んでいる 9.9
子どもあり (一番上が 学業修了)	267	住み慣れて いる 78.3	交通や買物 など生活に 便利 64.8	自分の土地 (住宅)だか ら 50.2	自然や街並 みなど生活 環境がよい 49.4	通勤・通学 など交通の 便がよい 30.0	人間関係が よい 21.3	社会施設な どがよく整備 されている 19.9	生まれた時 からずっと住 んでいる 15.0	住まいが広 いなど住宅 事情がよい 9.4	仕事や商売 の関係で 7.9
夫婦のみ (本人が18 ～39歳)	57	自然や街並みなど生活環境がよい／交通や買物など生活に便利 68.4	通勤・通学など交通の便がよい 47.4	住み慣れている 42.1	社会施設などがよく整備されている 22.8	自分の土地(住宅)だから 17.5	人間関係がよい 15.8	自分の土地(住宅)だから 14.0	仕事や商売の関係で 10.5	生まれた時からずっと住んでいる 10.5	住まいが広いなど住宅事情がよい 8.8
夫婦のみ (本人が40 ～64歳)	148	交通や買物など生活に便利 73.0	住み慣れている 62.8	自然や街並みなど生活環境がよい 55.4	通勤・通学など交通の便がよい 43.9	自分の土地(住宅)だから 39.2	社会施設などがよく整備されている 13.5	住まいが広いなど住宅事情がよい／人間関係がよい 10.1	仕事や商売の関係で 9.5	生まれた時からずっと住んでいる 7.4	
夫婦のみ (本人が65 歳以上)	292	住み慣れている 83.6	交通や買物など生活に便利 66.4	自然や街並みなど生活環境がよい 51.7	自分の土地(住宅)だから 47.6	社会施設などがよく整備されている 28.8	通勤・通学など交通の便がよい 21.2	人間関係がよい 17.8	生まれた時からずっと住んでいる 10.3	住まいが広いなど住宅事情がよい 9.9	仕事や商売の関係で 4.8
そ の 他	95	住み慣れている 74.7	交通や買物など生活に便利 61.1	自然や街並みなど生活環境がよい 38.9	自分の土地(住宅)だから 37.9	通勤・通学など交通の便がよい 23.2	社会施設などがよく整備されている 17.9	住まいが広いなど住宅事情がよい 16.8	人間関係がよい 15.8	生まれた時からずっと住んでいる 12.6	子育てがしやすい 6.3

共働きの有無別にみると、いずれも「住み慣れているから」、「交通や買物など生活に便利だから」、「自然や街並みなど生活環境がよいから」が3位以内に挙げられている。

ライフスタイル別にみると、「交通や買物など生活に便利だから」は15～17歳を除くすべてのライフスタイルで2位以内に挙げられている。「通勤・通学など交通の便がよいから」は15～17歳で2位、「自然や街並みなど生活環境がよいから」は子どもあり（一番上が小学校入学前）、夫婦のみ（本人が18～39歳）で2位以内に挙げられている。（表1-5-4）

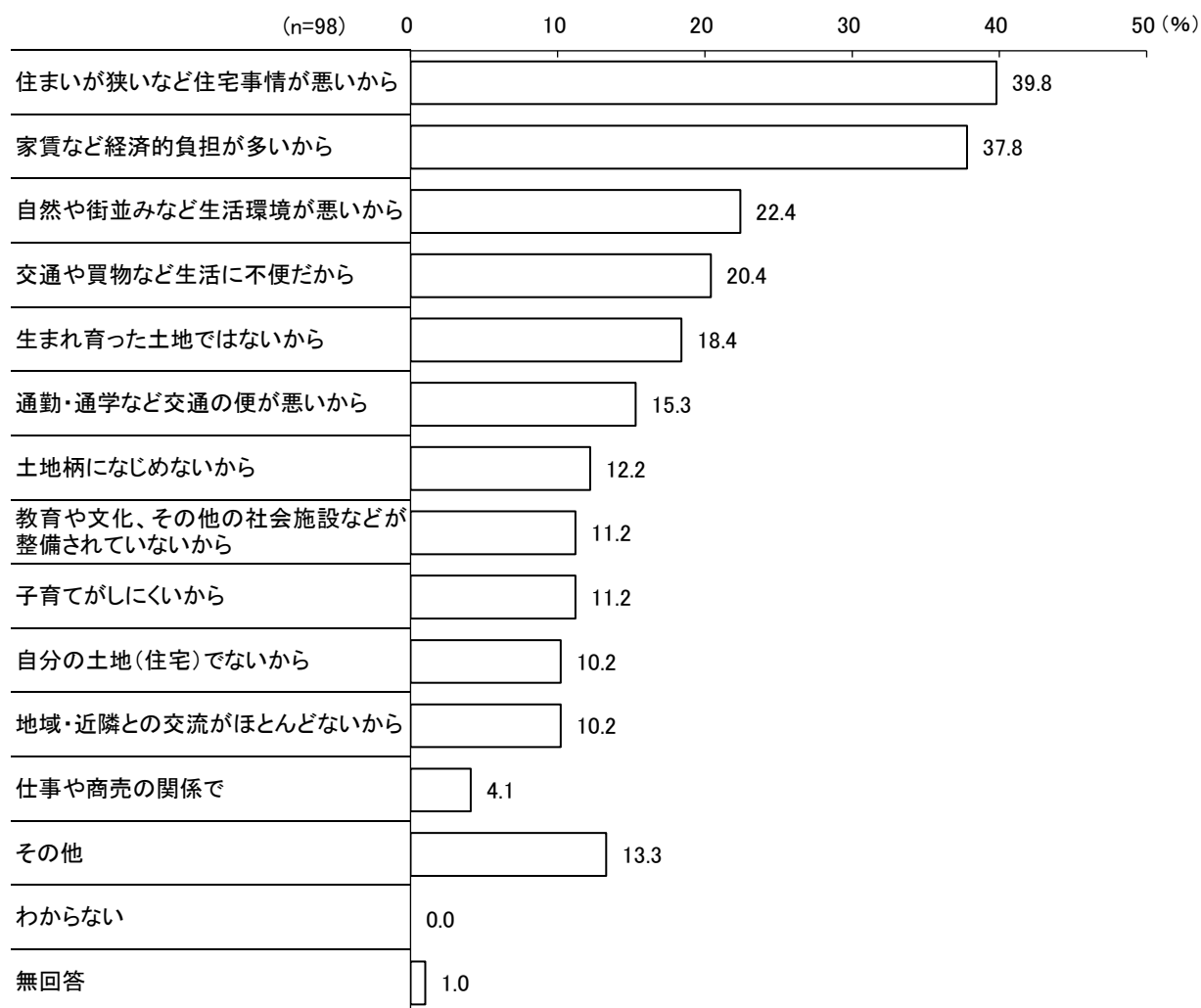
（６）非定住意向理由

◎世田谷区に住みたくない理由の第１位は「住まいが狭いなど住宅事情が悪いから」

（問４で「あまり住みたいとは思わない」または「住みたくない」と答えた方に）

問４－２ 世田谷区に住みたくない理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

図１－６－１



今後は世田谷区に「あまり住みたいとは思わない」または「住みたくない」と答え、《非定住意向》を示した方（98人）に、その理由を聞いたところ、「住まいが狭いなど住宅事情が悪いから」（39.8%）が4割、「家賃など経済的負担が多いから」（37.8%）が4割近くとなっている。以下、「自然や街並みなど生活環境が悪いから」（22.4%）、「交通や買物など生活に不便だから」（20.4%）、「生まれ育った土地ではないから」（18.4%）などと続く。（図１－６－１）

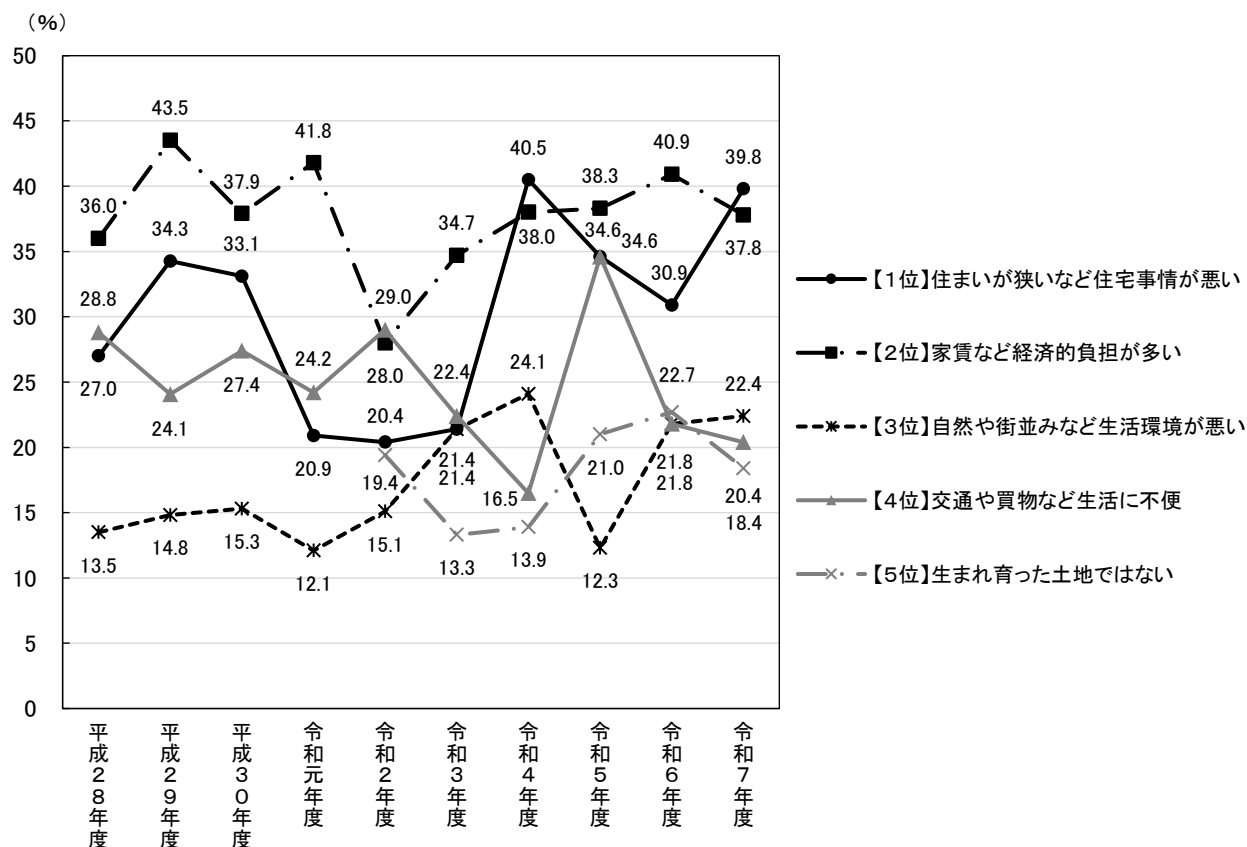
表 1 - 6 - 1 非定住意向理由（時系列）

（％）

理 由	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
n	111	108	124	91	93	98	79	81	110	98
【1位】 住まいが狭いなど住宅事情が悪い	27.0	34.3	33.1	20.9	20.4	21.4	40.5	34.6	30.9	39.8
【2位】 家賃など経済的負担が多い	36.0	43.5	37.9	41.8	28.0	34.7	38.0	38.3	40.9	37.8
【3位】 自然や街並みなど生活環境が悪い	13.5	14.8	15.3	12.1	15.1	21.4	24.1	12.3	21.8	22.4
【4位】 交通や買物など生活に不便	28.8	24.1	27.4	24.2	29.0	22.4	16.5	34.6	21.8	20.4
【5位】 生まれ育った土地ではない	-	-	-	-	19.4	13.3	13.9	21.0	22.7	18.4
【6位】 通勤・通学など交通の便が悪い	19.8	13.9	26.6	16.5	18.3	11.2	7.6	23.5	8.2	15.3
【7位】 土地柄になじめない	14.4	13.0	12.1	15.4	10.8	12.2	7.6	13.6	13.6	12.2
【8位】 社会施設などが整備されていない	17.1	14.8	16.9	15.4	11.8	11.2	16.5	22.2	20.9	11.2
【8位】 子育てがしにくい	15.3	13.9	21.8	16.5	9.7	17.3	16.5	14.8	13.6	11.2
【10位】 自分の土地（住宅）でない	18.9	24.1	19.4	24.2	17.2	12.2	11.4	13.6	9.1	10.2
【10位】 地域・近隣との交流がほとんどない	10.8	13.9	15.3	11.0	12.9	9.2	19.0	14.8	10.9	10.2

注）令和7年度の値で順位付けを行った。

図 1 - 6 - 2 非定住意向理由（時系列）



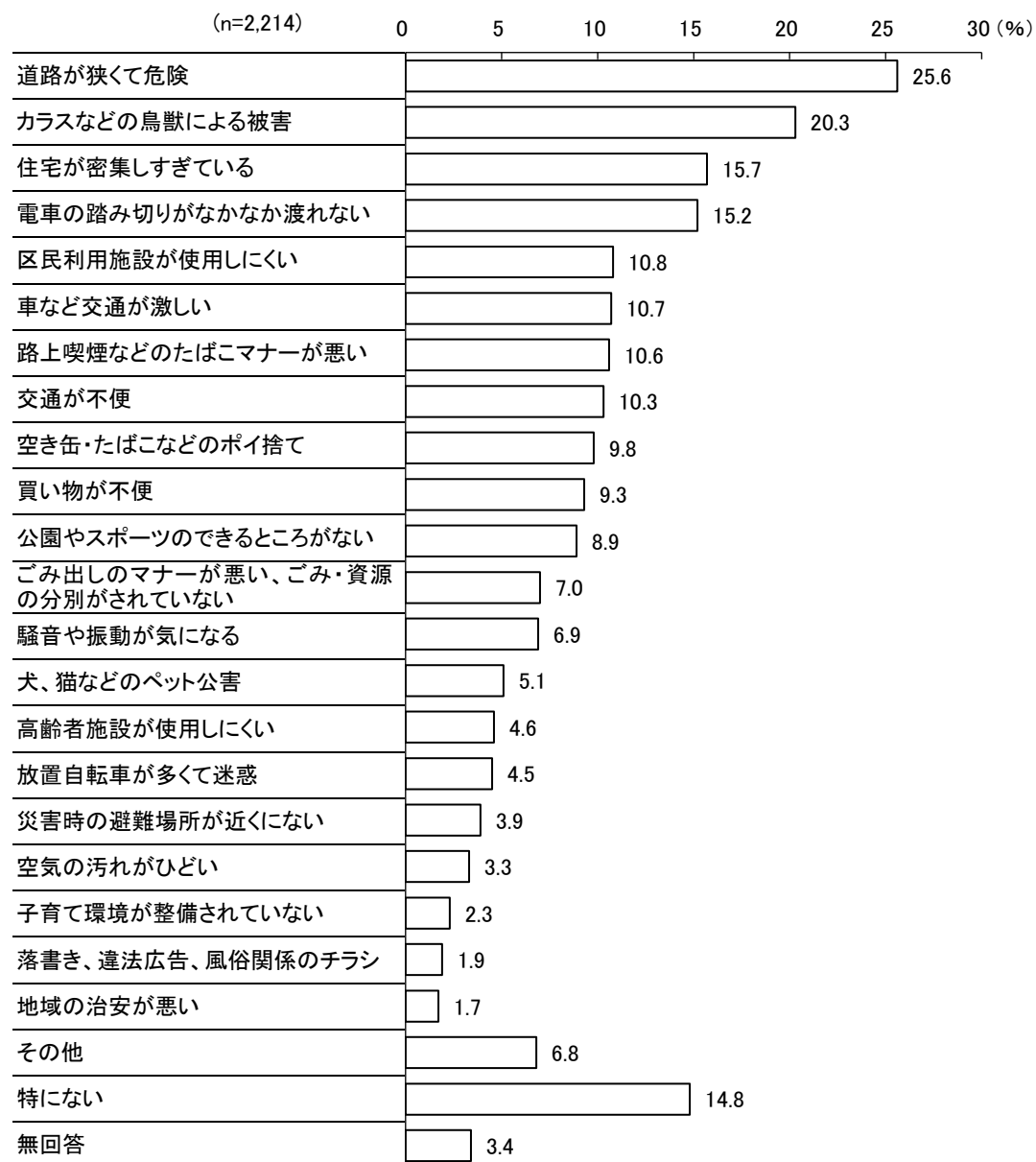
平成28年度からの時系列の変化をみると、「住まいが狭いなど住宅事情が悪いから」は令和4年度以降は3割～4割台で推移し、「家賃など経済的負担が多いから」とともに2位以内に挙げられている。（表1-6-1、図1-6-2）

(7) 地域における日常生活での困りごと

◎「道路が狭くて危険」が2割半ば

問5 あなたは、普段生活している地域でどんなことにお困りですか。(〇は3つまで)

図1-7-1



地域内での日常生活で困っていることを聞いたところ、「道路が狭くて危険」(25.6%)が2割半ばで最も高く、以下、「カラスなどの鳥獣による被害」(20.3%)、「住宅が密集しすぎている」(15.7%)、「電車の踏み切りがなかなか渡れない」(15.2%)などと続く。(図1-7-1)

表 1-7-1 地域における日常生活での困りごと（時系列）

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
令和7年度	2,214	道路が狭くて危険 25.6	カラスなどの鳥獣による被害 20.3	住宅が密集しすぎている 15.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.2	区民利用施設が使用しにくい 10.8	車など交通が激しい 10.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.6	交通が不便 10.3	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.8	買い物が不便 9.3
令和6年度	2,404	道路が狭くて危険 25.0	カラスなどの鳥獣による被害 20.9	住宅が密集しすぎている 16.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない 14.9	区民利用施設が使用しにくい／車など交通が激しい 11.4	車など交通が激しい 10.4	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.4	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.6	騒音や振動が気になる 9.4	買い物が不便 9.2
令和5年度	1,832	道路が狭くて危険 26.3	カラスなどの鳥獣による被害 20.2	住宅が密集しすぎている 16.1	電車の踏み切りがなかなか渡れない 14.1	区民利用施設が使用しにくい 12.9	車など交通が激しい 12.3	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.5	公園やスポーツのできる場所がない 10.3	空き缶・たばこなどのポイ捨て 10.2	買い物が不便／交通が不便 9.2
令和4年度	1,923	道路が狭くて危険 25.1	住宅が密集しすぎている 16.6	カラスなどの鳥獣による被害 15.8	電車の踏み切りがなかなか渡れない 12.4	車など交通が激しい 9.9	公園やスポーツのできる場所がない 9.5	区民利用施設が使用しにくい 9.3	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 8.4	空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.0	交通が不便 7.6
令和3年度	2,086	道路が狭くて危険 24.4	住宅が密集しすぎている 17.2	カラスなどの鳥獣による被害 14.1	電車の踏み切りがなかなか渡れない 11.7	車など交通が激しい 10.7	区民利用施設が使用しにくい 10.5	公園やスポーツのできる場所がない 10.4	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 9.1	空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.3	買い物が不便 7.6
令和2年度	2,371	道路が狭くて危険 28.2	住宅が密集しすぎている 19.3	カラスなどの鳥獣による被害 18.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.6	区民利用施設が使用しにくい 13.3	車など交通が激しい 12.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.9	公園やスポーツのできる場所がない 10.0	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.7	騒音や振動が気になる 9.0
令和元年度	2,171	道路が狭くて危険 26.7	カラスなどの鳥獣による被害 19.2	住宅が密集しすぎている 17.0	車など交通が激しい 13.8	区民利用施設が使用しにくい／電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.7	空き缶・たばこなどのポイ捨て 12.4	騒音や振動が気になる 9.7	公園やスポーツのできる場所がない 9.5	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 8.8	
平成29年度	2,319	道路が狭くて危険 26.0	車など交通が激しい 16.1	住宅が密集しすぎている 15.9	カラスなどの鳥獣による被害 15.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.4	区民利用施設が使用しにくい 10.1	交通が不便 9.1	騒音や振動が気になる 8.8	買い物が不便 8.6	公園やスポーツのできる場所がない／空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.1
平成28年度	2,355	道路が狭くて危険 23.4	住宅が密集しすぎている 15.1	カラスなどの鳥獣による被害 14.6	電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.6	車など交通が激しい 13.2	区民利用施設が使用しにくい 10.2	公園やスポーツのできる場所がない／交通が不便 8.0	買い物が不便 7.6	犬、猫などのペット公害 7.3	
平成27年度	2,388	道路が狭くて危険 25.3	住宅が密集しすぎている 15.7	カラスなどの鳥獣による被害 14.7	車など交通が激しい 14.5	電車の踏み切りがなかなか渡れない 11.9	区民利用施設が使用しにくい 11.6	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.0	交通が不便／犬、猫などのペット公害 8.6	買い物が不便 8.5	

注) 平成30年度は質問項目がなかった。

平成 27 年度からの時系列の変化をみると、「道路が狭くて危険」はいずれの年も 1 位で、2 割半ば前後で推移している。「カラスなどの鳥獣による被害」は平成 29 年度の 4 位を除くと常に 3 位以内に挙げられ、「住宅が密集しすぎている」も常に 3 位以内に挙げられている。（表 1-7-1）

図 1-7-2 地域における日常生活での困りごと一地域別（上位3項目）

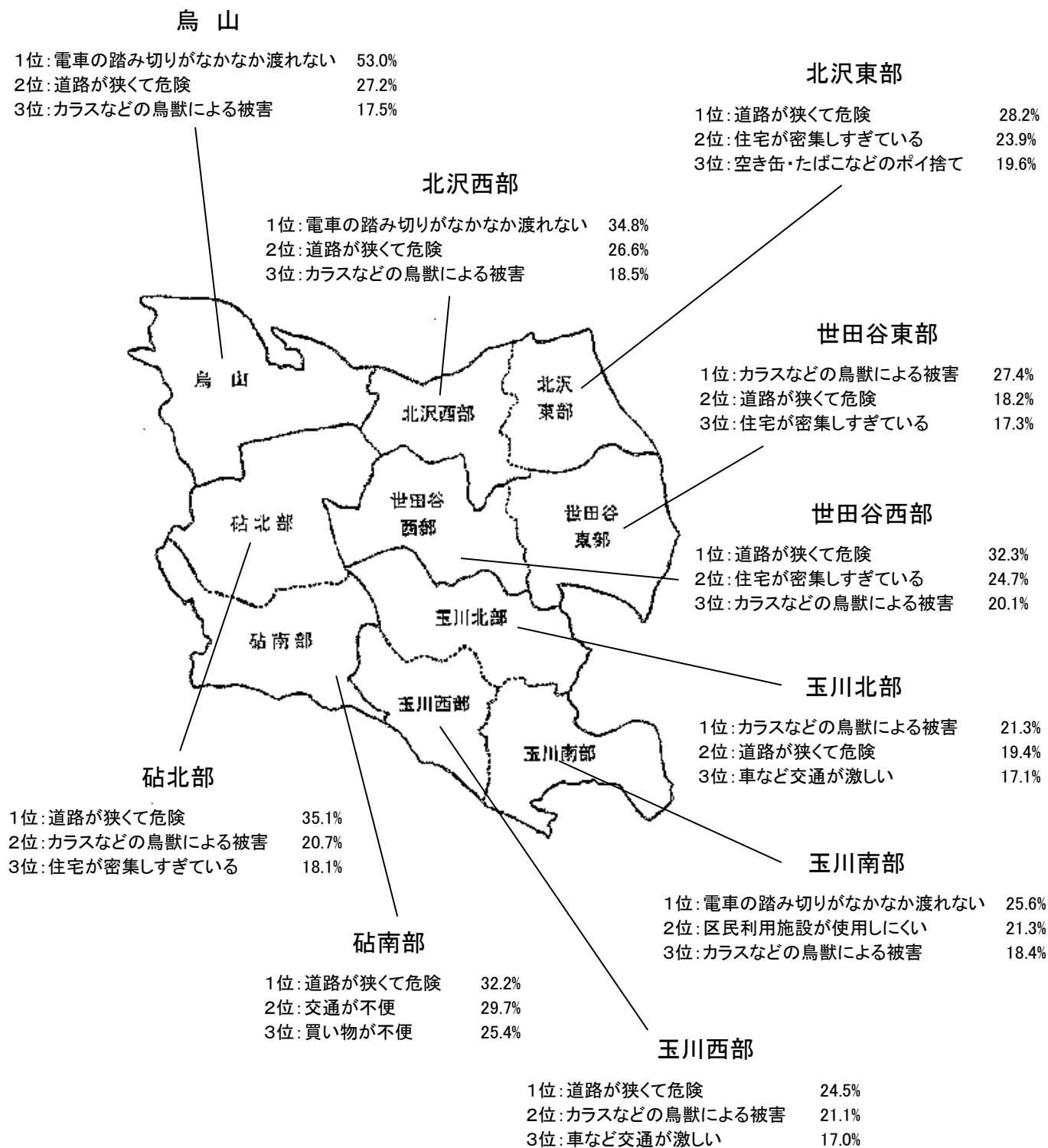


表 1-7-2 地域における日常生活での困りごと（地域別）

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,214	道路が狭くて危険 25.6	カラスなどの鳥獣による被害 20.3	住宅が密集しすぎている 15.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.2	区民利用施設が使用しにくい 10.8	車など交通が激しい 10.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.6	交通が不便 10.3	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.8	買い物が不便 9.3
世田谷東部	318	カラスなどの鳥獣による被害 27.4	道路が狭くて危険 18.2	住宅が密集しすぎている 17.3	空き缶・たばこなどのポイ捨て 16.0	車など交通が激しい 14.5	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 13.2	区民利用施設が使用しにくい 12.3	騒音や振動が気になる 11.3	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 9.1	公園やスポーツのできる場所がない 7.2
世田谷西部	279	道路が狭くて危険 32.3	住宅が密集しすぎている 24.7	カラスなどの鳥獣による被害 20.1	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 12.5	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.3	車など交通が激しい／犬、猫などのペット公害 7.9	公園やスポーツのできる場所がない／交通が不便 7.5	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 7.2		
北 沢 東 部	163	道路が狭くて危険 28.2	住宅が密集しすぎている 23.9	空き缶・たばこなどのポイ捨て 19.6	公園やスポーツのできる場所がない 16.6	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 14.7	カラスなどの鳥獣による被害 14.1	区民利用施設が使用しにくい／買い物が不便 10.4	車など交通が激しい 9.8		
北 沢 西 部	184	電車の踏み切りがなかなか渡れない 34.8	道路が狭くて危険 26.6	カラスなどの鳥獣による被害 18.5	住宅が密集しすぎている 17.9	公園やスポーツのできる場所がない／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 12.5	区民利用施設が使用しにくい／買い物が不便 11.4	交通が不便／空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.2			
玉 川 北 部	211	カラスなどの鳥獣による被害 21.3	道路が狭くて危険 19.4	車など交通が激しい 17.1	交通が不便 15.2	区民利用施設が使用しにくい 12.3	買い物が不便 9.5	騒音や振動が気になる 9.0	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 7.6	住宅が密集しすぎている 7.1	空気の汚れがひどい 6.6
玉 川 南 部	207	電車の踏み切りがなかなか渡れない 25.6	区民利用施設が使用しにくい 21.3	カラスなどの鳥獣による被害 18.4	公園やスポーツのできる場所がない 16.9	買い物が不便 15.0	住宅が密集しすぎている 12.6	道路が狭くて危険 11.6	交通が不便 8.2	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 7.7	騒音や振動が気になる／空き缶・たばこなどのポイ捨て 7.2
玉 川 西 部	147	道路が狭くて危険 24.5	カラスなどの鳥獣による被害 21.1	車など交通が激しい 17.0	買い物が不便 16.3	区民利用施設が使用しにくい 12.9	交通が不便 10.2	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 8.2	住宅が密集しすぎている／空き缶・たばこなどのポイ捨て 7.5	騒音や振動が気になる 6.8	
砧北部	299	道路が狭くて危険 35.1	カラスなどの鳥獣による被害 20.7	住宅が密集しすぎている 18.1	交通が不便 13.0	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.0	車など交通が激しい 9.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 9.0	空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.7	高齢者施設が使用しにくい／ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 6.4	
砧南部	118	道路が狭くて危険 32.2	交通が不便 29.7	買い物が不便 25.4	カラスなどの鳥獣による被害 18.6	車など交通が激しい／ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 10.2	災害時の避難場所が近くにない／騒音や振動が気になる 8.5	住宅が密集しすぎている／空き缶・たばこなどのポイ捨て／犬、猫などのペット公害 7.6			
烏 山	268	電車の踏み切りがなかなか渡れない 53.0	道路が狭くて危険 27.2	カラスなどの鳥獣による被害 17.5	住宅が密集しすぎている／放置自転車がなくて迷惑 12.3	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.9	区民利用施設が使用しにくい／交通が不便 10.1	公園やスポーツのできる場所がない／車など交通が激しい 9.7			

地域別にみると、「道路が狭くて危険」は世田谷西部、北沢東部、玉川西部、砧北部、砧南部の5つの地域で1位となっている。「カラスなどの鳥獣による被害」は世田谷東部、玉川北部の2つの地域で、「電車の踏み切りがなかなか渡れない」は北沢西部、玉川南部、烏山の3つの地域で1位となっている。（表1-7-2）

表 1-7-3 地域における日常生活での困りごと（性・年齢別）

（％）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,214	道路が狭くて危険 25.6	カラスなどの鳥獣による被害 20.3	住宅が密集しすぎている 15.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.2	区民利用施設が使用しにくい 10.8	車など交通が激しい 10.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.6	交通が不便 10.3	空き缶・たばこなどのボイ捨て 9.8	買い物が不便 9.3
男 性 全 体	865	道路が狭くて危険 25.2	カラスなどの鳥獣による被害 19.4	住宅が密集しすぎている 17.1	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.0	車など交通が激しい 11.0	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.9	交通が不便 10.4	区民利用施設が使用しにくい 9.5	公園やスポーツのできるどころがない 9.4	買い物が不便 9.2
10・20歳代	100	道路が狭くて危険 30.0	公園やスポーツのできるどころがない 21.0	住宅が密集しすぎている 20.0	電車の踏み切りがなかなか渡れない 19.0	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 15.0	交通が不便 14.0	車など交通が激しい 13.0	空き缶・たばこなどのボイ捨て 11.0	カラスなどの鳥獣による被害 10.0	買い物が不便 8.0
30歳代	88	道路が狭くて危険 27.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない／カラスなどの鳥獣による被害 19.3	車など交通が激しい 18.2	交通が不便 17.0	住宅が密集しすぎている 15.9	公園やスポーツのできるどころがない 13.6	買い物が不便 10.2	空き缶・たばこなどのボイ捨て／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 8.0		
40歳代	117	道路が狭くて危険 28.2	住宅が密集しすぎている 20.5	カラスなどの鳥獣による被害 17.9	車など交通が激しい 15.4	電車の踏み切りがなかなか渡れない 14.5	買い物が不便 12.8	区民利用施設が使用しにくい 12.0	交通が不便／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 9.4	公園やスポーツのできるどころがない 8.5	
50歳代	167	道路が狭くて危険 27.5	カラスなどの鳥獣による被害 20.4	住宅が密集しすぎている 19.2	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 13.8	電車の踏み切りがなかなか渡れない／騒音や振動が気になる 13.2	車など交通が激しい 12.6	買い物が不便 11.4	空き缶・たばこなどのボイ捨て 10.2	交通が不便 9.0	
60歳代	174	道路が狭くて危険 24.7	カラスなどの鳥獣による被害 23.0	住宅が密集しすぎている／電車の踏み切りがなかなか渡れない 16.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.5	区民利用施設が使用しにくい／空き缶・たばこなどのボイ捨て 10.9	ゴミ出しのマナーが悪い、ゴミ・資源の分別がされていない 9.8	車など交通が激しい 8.6	騒音や振動が気になる 8.0		
70歳代	138	カラスなどの鳥獣による被害 23.9	道路が狭くて危険 18.8	電車の踏み切りがなかなか渡れない 14.5	住宅が密集しすぎている 13.8	区民利用施設が使用しにくい 13.0	公園やスポーツのできるどころがない 10.1	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 8.7	高齢者施設が使用しにくい／空き缶・たばこなどのボイ捨て 8.0	交通が不便 7.2	
80歳以上	79	道路が狭くて危険 20.3	買い物が不便／交通が不便／カラスなどの鳥獣による被害 15.2	災害時の避難場所が近くにない 13.9	住宅が密集しすぎている／区民利用施設が使用しにくい／高齢者施設が使用しにくい 12.7	空き缶・たばこなどのボイ捨て 8.9	車など交通が激しい／電車の踏み切りがなかなか渡れない／騒音や振動が気になる／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 7.6				
女 性 全 体	1,294	道路が狭くて危険 25.9	カラスなどの鳥獣による被害 21.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.2	住宅が密集しすぎている 14.9	区民利用施設が使用しにくい 11.7	車など交通が激しい 10.5	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.4	交通が不便 10.2	空き缶・たばこなどのボイ捨て 10.1	買い物が不便 9.4
10・20歳代	124	道路が狭くて危険 28.2	電車の踏み切りがなかなか渡れない 23.4	住宅が密集しすぎている 16.1	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 15.3	公園やスポーツのできるどころがない／交通が不便 13.7	車など交通が激しい／カラスなどの鳥獣による被害 12.1	空き缶・たばこなどのボイ捨て 10.5	放置自転車が多くて迷惑／騒音や振動が気になる 8.1		
30歳代	143	道路が狭くて危険 27.3	カラスなどの鳥獣による被害 20.3	車など交通が激しい 18.2	住宅が密集しすぎている 13.3	交通が不便／ゴミ出しのマナーが悪い、ゴミ・資源の分別がされていない 11.2	公園やスポーツのできるどころがない／騒音や振動が気になる 9.8	買い物が不便／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 9.1			
40歳代	233	道路が狭くて危険 32.2	住宅が密集しすぎている 19.7	カラスなどの鳥獣による被害 19.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない 18.5	公園やスポーツのできるどころがない 13.3	車など交通が激しい 12.0	区民利用施設が使用しにくい 9.4	交通が不便 9.0	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 8.2	騒音や振動が気になる／空き缶・たばこなどのボイ捨て 7.3
50歳代	270	道路が狭くて危険 33.7	カラスなどの鳥獣による被害 24.8	電車の踏み切りがなかなか渡れない 19.3	住宅が密集しすぎている 17.4	区民利用施設が使用しにくい 13.7	買い物が不便／交通が不便 11.1	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.7	空き缶・たばこなどのボイ捨て 9.3	車など交通が激しい 8.1	
60歳代	205	カラスなどの鳥獣による被害 27.3	道路が狭くて危険 25.9	住宅が密集しすぎている 14.6	空き缶・たばこなどのボイ捨て 14.1	区民利用施設が使用しにくい 12.2	電車の踏み切りがなかなか渡れない／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.7	ゴミ出しのマナーが悪い、ゴミ・資源の分別がされていない 11.2	買い物が不便／交通が不便 9.3		
70歳代	181	カラスなどの鳥獣による被害 21.5	区民利用施設が使用しにくい 17.1	道路が狭くて危険 16.6	空き缶・たばこなどのボイ捨て 13.8	電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.3	住宅が密集しすぎている 12.2	高齢者施設が使用しにくい／買い物が不便／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.6	交通が不便 10.5		
80歳以上	135	カラスなどの鳥獣による被害 17.0	区民利用施設が使用しにくい 13.3	災害時の避難場所が近くにない 11.1	高齢者施設が使用しにくい 10.4	買い物が不便／電車の踏み切りがなかなか渡れない 9.6	車など交通が激しい／空き缶・たばこなどのボイ捨て／ゴミ出しのマナーが悪い、ゴミ・資源の分別がされていない 8.9	道路が狭くて危険 8.1			

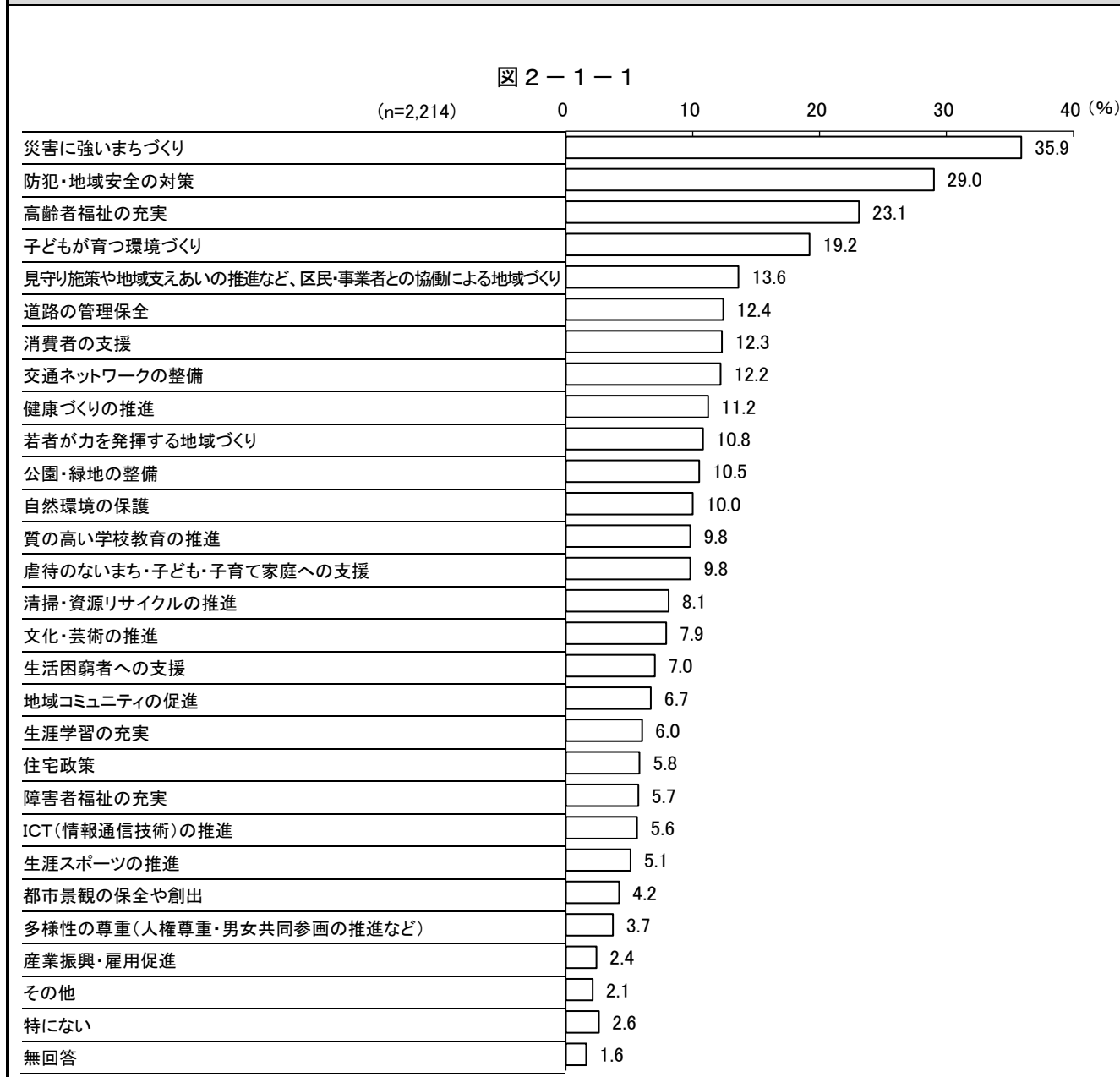
性・年齢別にみると、「カラスなどの鳥獣による被害」は男性の70歳代、女性の60歳代以上で1位、それ以外の性・年齢は「道路が狭くて危険」が1位となっている。「電車の踏み切りがなかなか渡れない」は男性の30歳代、女性の10・20歳代で2位、「住宅が密集しすぎている」は男女とも40歳代で2位となっている。（表1-7-3）

2. 区政

(1) 区が積極的に取り組むべき事業

◎「災害に強いまちづくり」が第1位、「防犯・地域安全の対策」が第2位、「高齢者福祉の充実」が第3位

問6 あなたは、今後世田谷区が積極的に取り組む事業として、どれが必要だと思いますか。
(○は3つまで)



今後区が積極的に取り組むべき事業について聞いたところ、「災害に強いまちづくり」(35.9%)が3割半ばで最も高く、以下、「防犯・地域安全の対策」(29.0%)、「高齢者福祉の充実」(23.1%)、「子どもが育つ環境づくり」(19.2%)などと続く。(図2-1-1)

表 2 - 1 - 1 区が積極的に取り組むべき事業（時系列）

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
令和7年度	2,214	災害に強いまちづくり 35.9	防犯・地域安全の対策 29.0	高齢者福祉の充実 23.1	子どもが育つ環境づくり 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 13.6	道路の管理保全 12.4	消費者の支援 12.3	交通ネットワークの整備 12.2	健康づくりの推進 11.2	若者が力を発揮する地域づくり 10.8
令和6年度	2,404	災害に強いまちづくり 33.5	高齢者福祉の充実 24.8	防犯・地域安全の対策 24.5	子どもが育つ環境づくり 19.8	区民・事業者との協働による地域づくり 14.0	質の高い学校教育の推進 13.0	若者が力を発揮する地域づくり 12.3	健康づくりの推進 12.1	公園・緑地の整備／交通ネットワークの整備 11.7	
令和5年度	1,832	災害に強いまちづくり 31.5	防犯・地域安全の対策 28.5	高齢者福祉の充実 25.4	子どもが育つ環境づくり 20.8	区民・事業者との協働による地域づくり 14.7	若者が力を発揮する地域づくり 13.0	質の高い学校教育の推進／公園・緑地の整備 12.4		自然環境の保護 12.2	健康づくりの推進 12.0
令和4年度	1,923	災害に強いまちづくり 28.1	高齢者福祉の充実 21.1	防犯・地域安全の対策 18.7	子どもが育つ環境づくり 16.5	区民・事業者との協働による地域づくり 11.2	若者が力を発揮する地域づくり 10.5	質の高い学校教育の推進 10.1	健康づくりの推進 9.4	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／交通ネットワークの整備 9.0	
令和3年度	2,086	災害に強いまちづくり 29.8	防犯・地域安全の対策 21.3	高齢者福祉の充実 19.4	子どもが育つ環境づくり 16.9	区民・事業者との協働による地域づくり 9.8	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／交通ネットワークの整備 9.4		健康づくりの推進 9.3	質の高い学校教育の推進 9.0	ICT(情報通信技術)の推進 8.7
令和2年度	2,371	災害に強いまちづくり 42.9	防犯・地域安全の対策 26.9	高齢者福祉の充実 25.3	子どもが育つ環境づくり 18.6	ICT(情報通信技術)の推進 13.6	健康づくりの推進 13.1	自然環境の保護 12.4	区民・事業者との協働による地域づくり 12.2	質の高い学校教育の推進／交通ネットワークの整備 12.1	
令和元年度	2,171	災害に強いまちづくり 32.8	高齢者福祉の充実 31.3	防犯・地域安全の対策 31.2	子どもが育つ環境づくり 21.1	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 15.3	区民・事業者との協働による地域づくり 13.4	質の高い学校教育の推進 12.2	健康づくりの推進 11.7	交通ネットワークの整備 11.3	公園・緑地の整備／自然環境の保護 10.6
平成30年度	2,330	防犯・地域安全の対策 35.7	高齢者福祉の充実 35.2	災害に強いまちづくり 34.6	子どもが育つ環境づくり 27.8	健康づくりの推進／区民・事業者との協働による地域づくり 16.1		自然環境の保護 13.6	交通ネットワークの整備 13.4	質の高い学校教育の推進 13.0	公園・緑地の整備 12.7
平成28年度	2,355	災害に強いまちづくり 32.0	高齢者福祉の充実 31.3	防犯・地域安全の対策 26.2	子どもが育つ環境づくり 22.9	区民・事業者との協働による地域づくり 13.0	健康づくりの推進 11.6	質の高い学校教育の推進 9.9	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 9.3	交通ネットワークの整備 8.8	若者が力を発揮する地域づくり 8.3
平成27年度	2,388	高齢者福祉の充実 33.8	災害に強いまちづくり 27.2	防犯・地域安全の対策 24.0	子ども子育て家庭への支援 16.8	児童(保育)福祉の充実 16.0	区民・事業者との協働による地域づくり／若者が力を発揮する地域づくり 11.9		自然環境の保護 11.6	健康づくりの推進 10.7	交通ネットワークの整備 10.2

注)平成29年度は質問項目がなかった。

平成 27 年度からの時系列の変化をみると、「災害に強いまちづくり」は平成 27 年度と平成 30 年度を除くすべての年度で 1 位となっている。「防犯・地域安全の対策」、「高齢者福祉の充実」は常に 3 位以内に挙げられ、「子どもが育つ環境づくり」は平成 28 年度以降、4 位となっている。

(表 2 - 1 - 1)

表 2-1-2 区が積極的に取り組むべき事業（地域別）

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,214	災害に強いまちづくり 35.9	防犯・地域安全の対策 29.0	高齢者福祉の充実 23.1	子どもが育つ環境づくり 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 13.6	道路の管理保全 12.4	消費者の支援 12.3	交通ネットワークの整備 12.2	健康づくりの推進 11.2	若者が力を発揮する地域づくり 10.8
世田谷東 部	318	災害に強いまちづくり 36.5	防犯・地域安全の対策 28.9	高齢者福祉の充実 23.3	子どもが育つ環境づくり 23.0	区民・事業者との協働による地域づくり 16.4	若者が力を発揮する地域づくり 13.2	自然環境の保護 11.9	消費者の支援／清掃・資源リサイクルの推進 11.6	健康づくりの推進 11.0	
世田谷西 部	279	災害に強いまちづくり 33.7	防犯・地域安全の対策 26.2	高齢者福祉の充実 21.9	子どもが育つ環境づくり 20.8	消費者の支援 15.1	道路の管理保全 13.3	区民・事業者との協働による地域づくり／若者が力を発揮する地域づくり／公園・緑地の整備 11.5			質の高い学校教育の推進 11.1
北 沢 東 部	163	災害に強いまちづくり 39.3	防犯・地域安全の対策 36.8	高齢者福祉の充実 22.1	子どもが育つ環境づくり 20.2	健康づくりの推進 15.3	道路の管理保全 14.1	消費者の支援 12.3	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 11.7	公園・緑地の整備 11.0	区民・事業者との協働による地域づくり 9.8
北 沢 西 部	184	災害に強いまちづくり 34.2	防犯・地域安全の対策 32.6	高齢者福祉の充実 30.4	区民・事業者との協働による地域づくり 20.1	道路の管理保全 16.8	子どもが育つ環境づくり／交通ネットワークの整備 14.7	公園・緑地の整備 11.4	健康づくりの推進／質の高い学校教育の推進 10.3		
玉 川 北 部	211	災害に強いまちづくり 31.3	防犯・地域安全の対策 24.6	高齢者福祉の充実 19.9	子どもが育つ環境づくり 16.6	区民・事業者との協働による地域づくり 15.2	消費者の支援 14.2	交通ネットワークの整備 13.3	若者が力を発揮する地域づくり／道路の管理保全 12.8		虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 11.8
玉 川 南 部	207	災害に強いまちづくり 40.1	防犯・地域安全の対策 25.6	高齢者福祉の充実 21.7	子どもが育つ環境づくり 18.4	健康づくりの推進 14.5	公園・緑地の整備 13.5	消費者の支援 12.6	若者が力を発揮する地域づくり／虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／交通ネットワークの整備 11.6		
玉 川 西 部	147	災害に強いまちづくり 39.5	高齢者福祉の充実 26.5	防犯・地域安全の対策 24.5	子どもが育つ環境づくり 19.7	消費者の支援／文化・芸術の推進 12.9	健康づくりの推進 12.2	自然環境の保護 11.6	質の高い学校教育の推進 10.9	区民・事業者との協働による地域づくり／公園・緑地の整備 10.2	
砧北部	299	災害に強いまちづくり 35.8	防犯・地域安全の対策 32.8	高齢者福祉の充実 25.8	子どもが育つ環境づくり 21.1	区民・事業者との協働による地域づくり 14.4	交通ネットワークの整備 13.7	道路の管理保全 11.7	質の高い学校教育の推進／自然環境の保護 10.4		健康づくりの推進／虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 10.0
砧南部	118	災害に強いまちづくり 34.7	防犯・地域安全の対策 30.5	高齢者福祉の充実 19.5	子どもが育つ環境づくり／道路の管理保全 16.1	区民・事業者との協働による地域づくり 15.3	消費者の支援 13.6	自然環境の保護 12.7	質の高い学校教育の推進／虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 11.9		
烏 山	268	災害に強いまちづくり 34.7	防犯・地域安全の対策 27.2	高齢者福祉の充実 21.3	交通ネットワークの整備 20.9	子どもが育つ環境づくり 17.2	道路の管理保全 15.3	消費者の支援 14.2	区民・事業者との協働による地域づくり 13.4	若者が力を発揮する地域づくり 11.9	公園・緑地の整備 10.8

地域別にみると、すべての地域で「災害に強いまちづくり」が1位となっている。「防犯・地域安全の対策」は玉川西部を除くすべての地域で2位、玉川西部は「高齢者福祉の充実」が2位となっている。「子どもが育つ環境づくり」は世田谷東部で3位となっている。（表2-1-2）

表 2 - 1 - 3 区が積極的に取り組むべき事業（性・年齢別）

（％）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,214	災害に強いまちづくり 35.9	防犯・地域安全の対策 29.0	高齢者福祉の充実 23.1	子どもが育つ環境づくり 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 13.6	道路の管理保全 12.4	消費者の支援 12.3	交通ネットワークの整備 12.2	健康づくりの推進 11.2	若者が力を発揮する地域づくり 10.8
男 性 全 体	865	災害に強いまちづくり 29.9	防犯・地域安全の対策 28.9	高齢者福祉の充実 23.9	子どもが育つ環境づくり 20.2	消費者の支援 12.7	公園・緑地の整備 12.5	交通ネットワークの整備 12.3	若者が力を発揮する地域づくり 12.1	道路の管理保全 11.7	健康づくりの推進 11.2
10・20歳代	100	若者が力を発揮する地域づくり／子どもが育つ環境づくり 22.0	災害に強いまちづくり 18.0	防犯・地域安全の対策／消費者の支援 16.0	公園・緑地の整備 15.0	ICT(情報通信技術)の推進／質の高い学校教育の推進／交通ネットワークの整備 13.0	健康づくりの推進／虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 11.0				
30歳代	88	子どもが育つ環境づくり 34.1	公園・緑地の整備 25.0	消費者の支援 21.6	交通ネットワークの整備 17.0	防犯・地域安全の対策 15.9	災害に強いまちづくり 13.6	若者が力を発揮する地域づくり／住宅政策 12.5	ICT(情報通信技術)の推進 11.4	質の高い学校教育の推進 10.2	
40歳代	117	子どもが育つ環境づくり 38.5	災害に強いまちづくり 30.8	防犯・地域安全の対策 28.2	質の高い学校教育の推進 19.7	交通ネットワークの整備 17.9	若者が力を発揮する地域づくり／道路の管理保全 13.7	公園・緑地の整備 12.8	消費者の支援 12.0	文化・芸術の推進 11.1	
50歳代	167	防犯・地域安全の対策 33.5	災害に強いまちづくり 31.1	高齢者福祉の充実 21.6	子どもが育つ環境づくり 16.8	道路の管理保全 15.0	生活困窮者への支援 12.0	若者が力を発揮する地域づくり 11.4	障害者福祉の充実／清掃・資源リサイクルの推進／交通ネットワークの整備 10.8		
60歳代	174	災害に強いまちづくり 39.7	高齢者福祉の充実 32.8	防犯・地域安全の対策 32.2	健康づくりの推進 14.4	区民・事業者との協働による地域づくり 13.8	消費者の支援 12.6	道路の管理保全 12.1	交通ネットワークの整備 11.5	自然環境の保護 10.9	
70歳代	138	高齢者福祉の充実 39.1	防犯・地域安全の対策 33.3	災害に強いまちづくり 32.6	区民・事業者との協働による地域づくり 18.8	自然環境の保護 15.9	生活困窮者への支援 15.2	健康づくりの推進／子どもが育つ環境づくり 13.8	公園・緑地の整備 13.0	道路の管理保全 11.6	
80歳以上	79	高齢者福祉の充実 49.4	防犯・地域安全の対策 35.4	災害に強いまちづくり 31.6	区民・事業者との協働による地域づくり 21.5	健康づくりの推進 19.0	清掃・資源リサイクルの推進 17.7	公園・緑地の整備／自然環境の保護 13.9	障害者福祉の充実／道路の管理保全 12.7		
女 性 全 体	1,294	災害に強いまちづくり 39.7	防犯・地域安全の対策 29.1	高齢者福祉の充実 22.7	子どもが育つ環境づくり 18.5	区民・事業者との協働による地域づくり 15.3	道路の管理保全 13.0	交通ネットワークの整備 12.7	消費者の支援 12.2	健康づくりの推進 11.4	質の高い学校教育の推進 10.3
10・20歳代	124	災害に強いまちづくり 34.7	子どもが育つ環境づくり 23.4	防犯・地域安全の対策 22.6	若者が力を発揮する地域づくり／消費者の支援 16.9	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／公園・緑地の整備／道路の管理保全 13.7	健康づくりの推進／質の高い学校教育の推進／交通ネットワークの整備 9.7				
30歳代	143	子どもが育つ環境づくり 39.9	災害に強いまちづくり 30.1	防犯・地域安全の対策 27.3	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 21.7	消費者の支援 15.4	質の高い学校教育の推進 14.0	交通ネットワークの整備 13.3	公園・緑地の整備／道路の管理保全 11.2	自然環境の保護 9.8	
40歳代	233	災害に強いまちづくり 37.8	子どもが育つ環境づくり 25.8	防犯・地域安全の対策 24.0	質の高い学校教育の推進 21.9	区民・事業者との協働による地域づくり 15.5	公園・緑地の整備／交通ネットワークの整備 14.6	若者が力を発揮する地域づくり 14.2	高齢者福祉の充実 13.7	道路の管理保全 12.9	
50歳代	270	災害に強いまちづくり 45.2	防犯・地域安全の対策 33.7	高齢者福祉の充実 22.6	交通ネットワークの整備 17.0	区民・事業者との協働による地域づくり 15.6	消費者の支援 14.4	道路の管理保全 12.6	子どもが育つ環境づくり 10.4	自然環境の保護 10.0	健康づくりの推進 9.6
60歳代	205	災害に強いまちづくり 48.3	高齢者福祉の充実 37.6	防犯・地域安全の対策 30.2	区民・事業者との協働による地域づくり 18.0	健康づくりの推進 15.1	交通ネットワークの整備／道路の管理保全 13.7	子どもが育つ環境づくり 12.2	地域コミュニティの促進 11.2	生涯学習の充実／文化・芸術の推進 10.7	
70歳代	181	災害に強いまちづくり 38.7	高齢者福祉の充実 34.3	防犯・地域安全の対策 29.3	区民・事業者との協働による地域づくり 21.0	健康づくりの推進 18.8	子どもが育つ環境づくり 14.4	道路の管理保全 13.8	自然環境の保護 12.7	消費者の支援 10.5	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／地域コミュニティの促進／交通ネットワークの整備 9.4
80歳以上	135	災害に強いまちづくり 35.6	高齢者福祉の充実／防犯・地域安全の対策 34.1	区民・事業者との協働による地域づくり 18.5	健康づくりの推進 14.1	自然環境の保護 13.3	道路の管理保全 11.9	生活困窮者への支援／子どもが育つ環境づくり／清掃・資源リサイクルの推進 10.4			

性・年齢別にみると、「災害に強いまちづくり」は男性の30歳代を除くすべての年代で3位以内に挙げられ、「防犯・地域安全の対策」は男性の10・20歳代と30歳代を除くすべての年代で3位以内に挙げられている。「子どもが育つ環境づくり」は男性の40歳代以下、女性の30歳代で1位、「若者が力を発揮する地域づくり」は男性の10・20歳代で1位、「高齢者福祉の充実」は男性の70歳代以上で1位となっている。（表2-1-3）

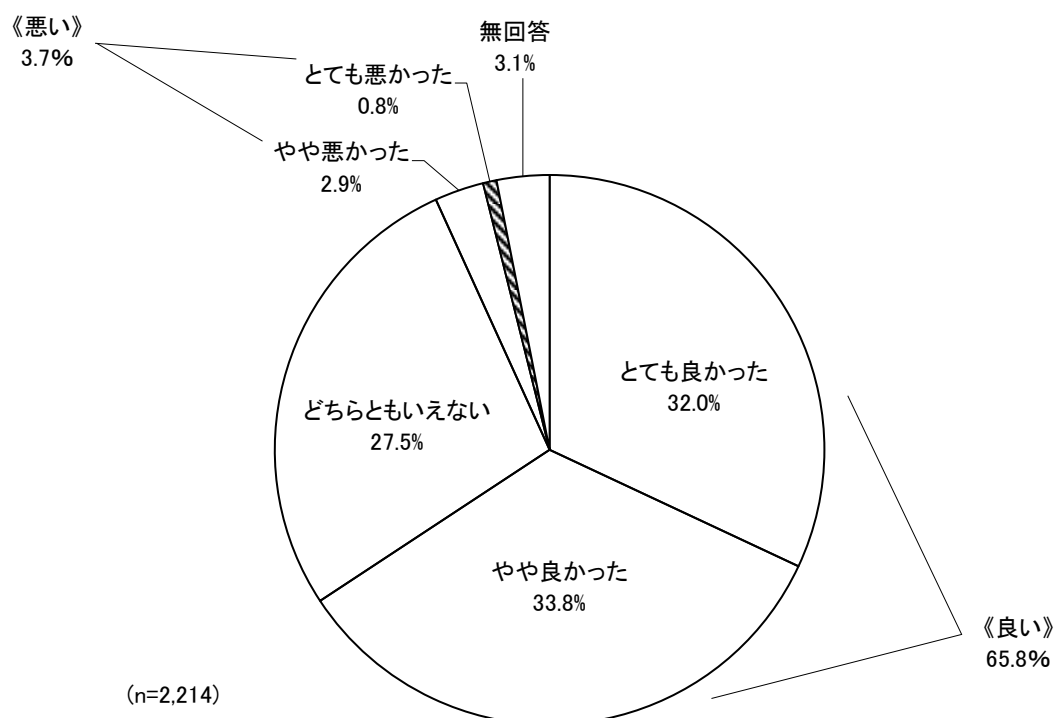
3. 職員応対

(1) 窓口応対

◎窓口応対が《良い》と感じている人が6割半ば

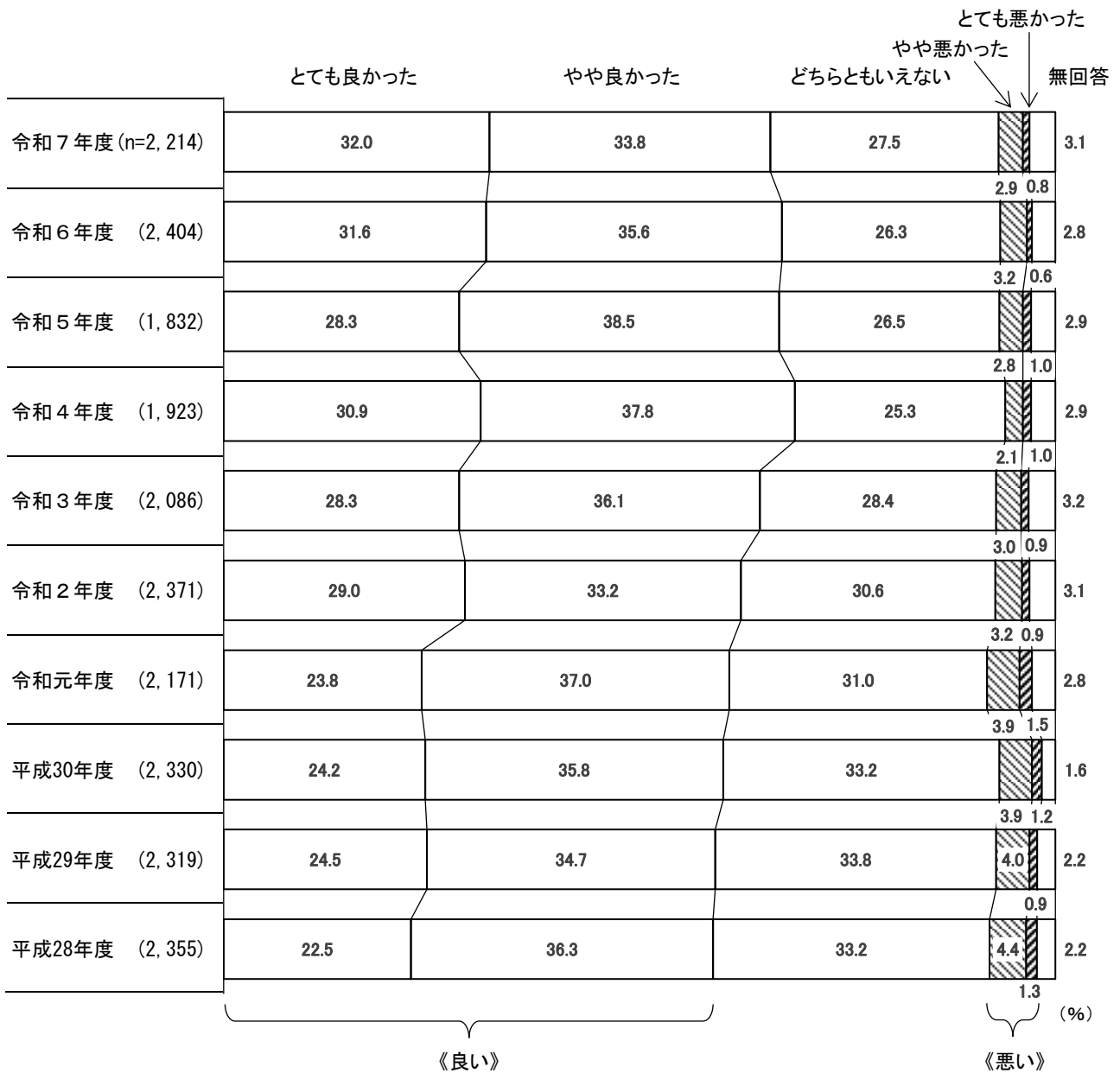
問7 区役所の窓口や区職員の応対について印象はいかがでしたか。(○は1つ)

図3-1-1



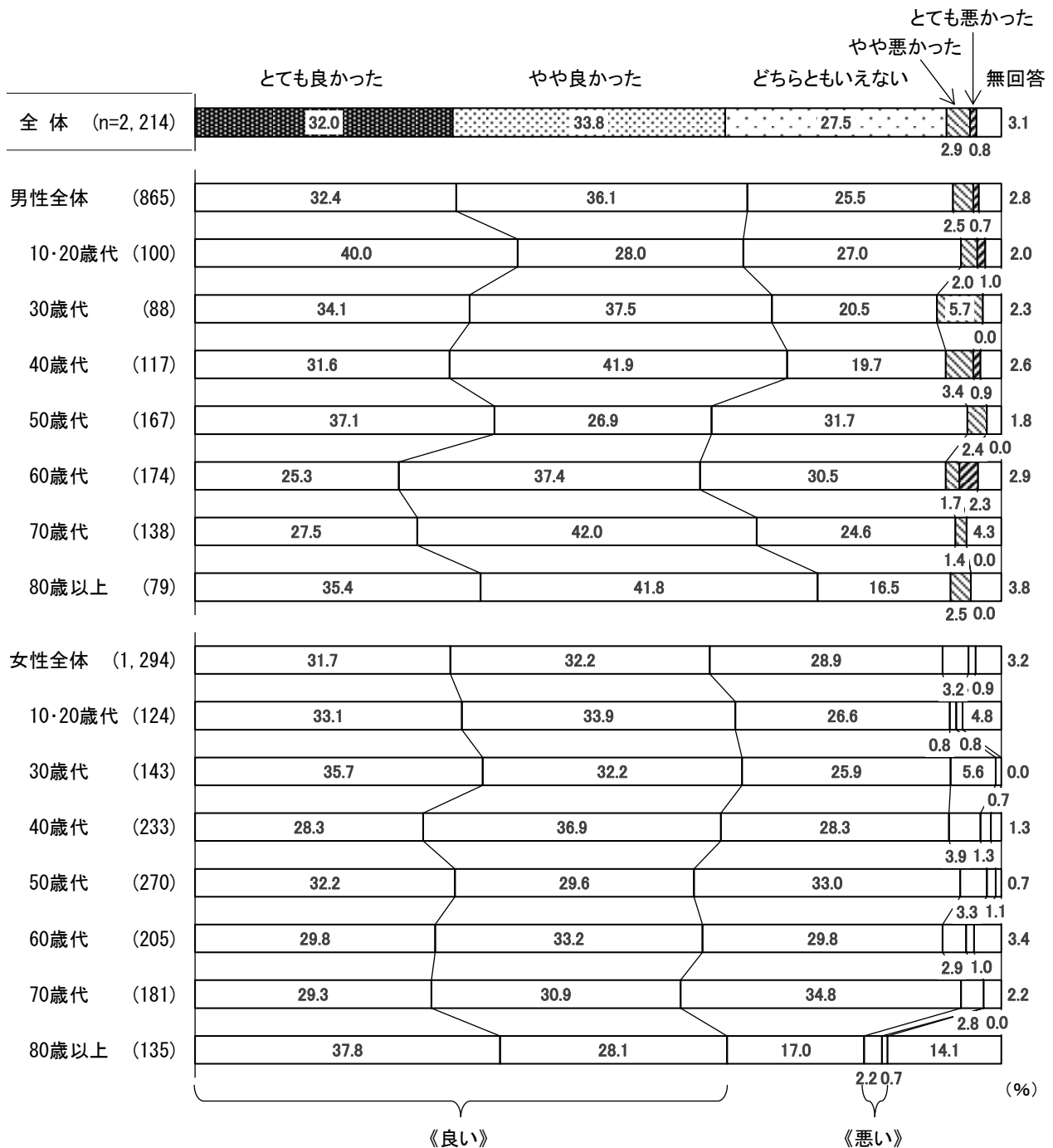
区役所の窓口や区職員の応対についての印象を聞いたところ、「とても良かった」(32.0%)と「やや良かった」(33.8%)を合わせた《良い》(65.8%)が6割半ばとなっている。「どちらともいえない」(27.5%)は3割近く、「やや悪かった」(2.9%)と「とても悪かった」(0.8%)を合わせた《悪い》(3.7%)は1割に満たない。(図3-1-1)

図 3 - 1 - 2 窓口対応（時系列）



平成 28 年度からの時系列の変化をみると、《良い》は令和 4 年度までは年々増加し、令和 4 年度以降はやや減少しているものの、令和 3 年度以前より高い割合で推移している。《悪い》は、いずれの年度も 1 割に満たない。（図 3 - 1 - 2）

図 3-1-3 窓口対応（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《良い》は男性の80歳以上で8割近く、男性の30歳代と40歳代で7割を超えている。「とても良かった」は男性の10・20歳代で4割、男性の50歳代、女性の80歳以上で4割近くとなっている。（図3-1-3）

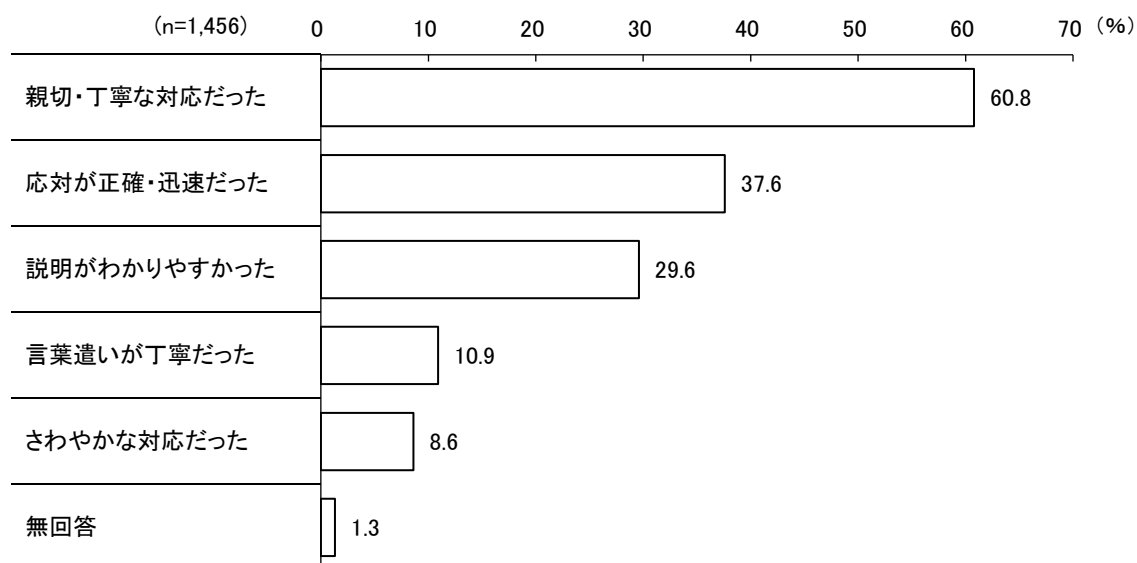
（２）印象が良かった点

◎印象が良かった点としては「親切・丁寧な対応だった」がほぼ６割

（問７で「とても良かった」または「やや良かった」と答えた方に）

問７－１ 印象が良かった点はどれですか。（○は２つまで）

図３－２－１



区役所の窓口や区職員の対応について「とても良かった」または「やや良かった」と答えた方（1,456人）に、印象が良かった点を聞いたところ、「親切・丁寧な対応だった」（60.8%）がほぼ６割で最も高い。以下、「対応が正確・迅速だった」（37.6%）、「説明がわかりやすかった」（29.6%）、「言葉遣いが丁寧だった」（10.9%）、「さわやかな対応だった」（8.6%）と続く。（図３－２－１）

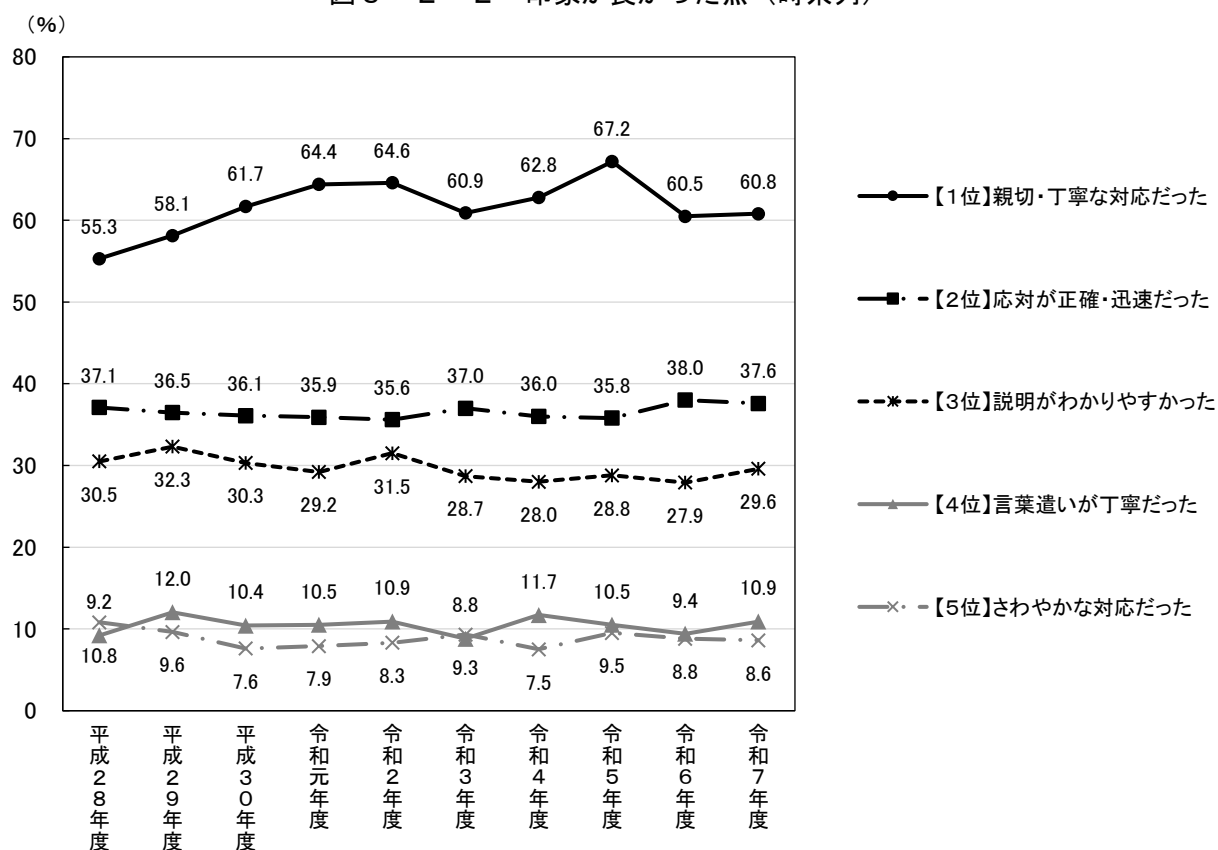
表 3-2-1 印象が良かった点（時系列）

（％）

理 由	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
n	1,386	1,371	1,399	1,319	1,473	1,344	1,320	1,224	1,614	1,456
【1位】 親切・丁寧な対応だった	55.3	58.1	61.7	64.4	64.6	60.9	62.8	67.2	60.5	60.8
【2位】 対応が正確・迅速だった	37.1	36.5	36.1	35.9	35.6	37.0	36.0	35.8	38.0	37.6
【3位】 説明がわかりやすかった	30.5	32.3	30.3	29.2	31.5	28.7	28.0	28.8	27.9	29.6
【4位】 言葉遣いが丁寧だった	9.2	12.0	10.4	10.5	10.9	8.8	11.7	10.5	9.4	10.9
【5位】 さわやかな対応だった	10.8	9.6	7.6	7.9	8.3	9.3	7.5	9.5	8.8	8.6

注) 令和7年度の値で順位付けを行った。

図 3-2-2 印象が良かった点（時系列）



平成 28 年度からの時系列での変化をみると、「親切・丁寧な対応だった」がいずれの年度も 1 位で、平成 30 年度以降は 6 割台で推移している。以下、3 位まではすべて同じ順位になっている。「言葉遣いが丁寧だった」は平成 28 年度と令和 3 年度が 5 位、その他の年度は 4 位となっている。

（表 3-2-1、図 3-2-2）

表 3－2－2 印象が良かった点（性・年齢別）

								(%)
		n	親切・丁寧な対応だった	応対が正確・迅速だった	説明がわかりやすかった	言葉遣いが丁寧だった	さわやかな対応だった	無回答
全 体		1,456	60.8	37.6	29.6	10.9	8.6	1.3
性・年齢別	男性全体	592	63.3	36.3	29.2	13.0	8.1	1.2
	10・20歳代	68	69.1	29.4	30.9	16.2	4.4	－
	30歳代	63	52.4	41.3	34.9	12.7	14.3	1.6
	40歳代	86	60.5	36.0	27.9	14.0	9.3	－
	50歳代	107	71.0	36.4	28.0	14.0	8.4	1.9
	60歳代	109	56.0	40.4	25.7	13.8	4.6	－
	70歳代	96	65.6	34.4	31.3	8.3	9.4	1.0
	80歳以上	61	70.5	34.4	27.9	11.5	8.2	4.9
	女性全体	827	59.3	38.8	29.6	9.4	9.1	1.5
	10・20歳代	83	51.8	36.1	22.9	15.7	14.5	1.2
	30歳代	97	59.8	36.1	29.9	14.4	9.3	1.0
	40歳代	152	57.2	38.8	32.2	9.2	7.9	1.3
	50歳代	167	59.3	47.3	18.6	8.4	10.8	1.2
	60歳代	129	60.5	39.5	33.3	8.5	4.7	1.6
	70歳代	109	67.9	38.5	28.4	5.5	6.4	1.8
	80歳以上	89	56.2	28.1	48.3	6.7	12.4	2.2

性・年齢別にみると、「親切・丁寧な対応だった」は男性の 50 歳代で 7 割を超え、男性の 10・20 歳代と 80 歳以上ではほぼ 7 割、女性の 70 歳代で 7 割近くとなっている。「応対が正確・迅速だった」は女性の 50 歳代で 5 割近く、「説明がわかりやすかった」は女性の 80 歳以上で 5 割近くとなっている。（表 3－2－2）

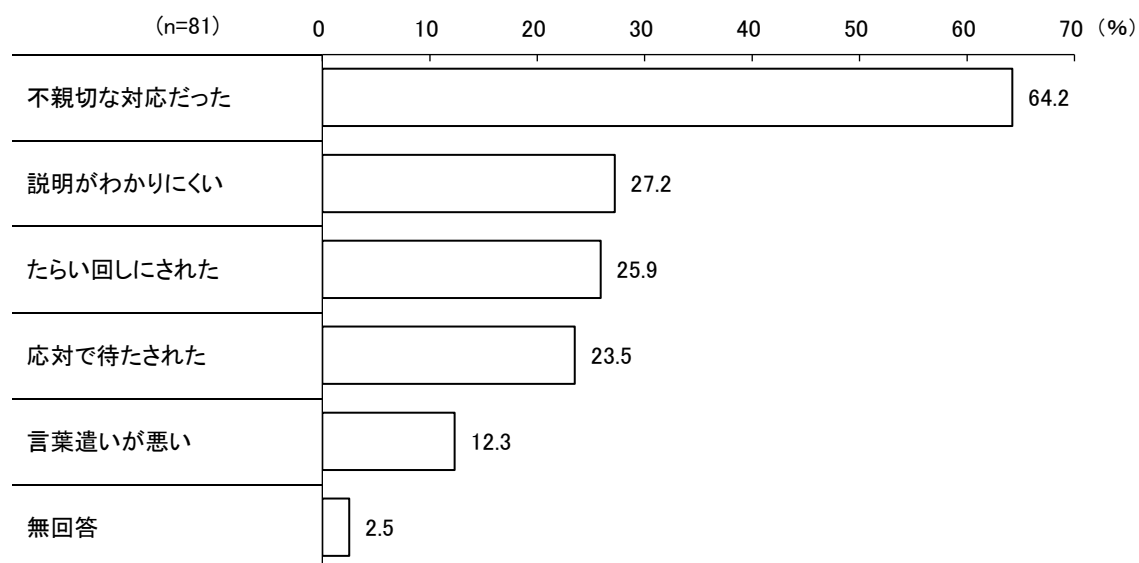
（３）印象が悪かった点

◎印象が悪かった点としては「不親切な対応だった」が６割半ば

（問７で「やや悪かった」または「とても悪かった」と答えた方に）

問７－２ 印象が悪かった点はどれですか。（○は２つまで）

図 3－3－1



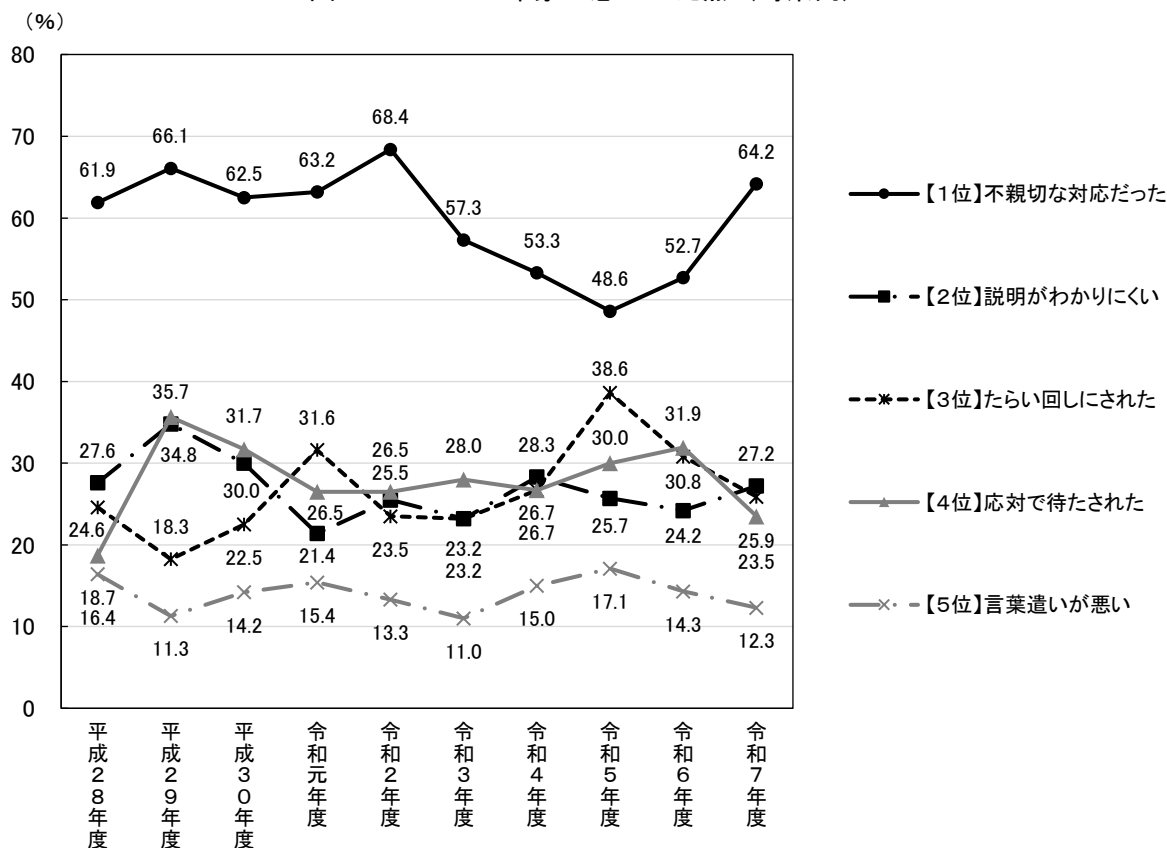
区役所の窓口や区職員の対応について「やや悪かった」または「とても悪かった」と答えた方（81人）に、対応の印象が悪かった点を聞いたところ、「不親切な対応だった」（64.2%）が６割半ばで最も高い。以下、「説明がわかりにくい」（27.2%）、「たらい回しにされた」（25.9%）、「対応で待たされた」（23.5%）、「言葉遣いが悪い」（12.3%）と続く。（図 3－3－1）

表 3-3-1 印象が悪かった点（時系列）

理 由	(%)									
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
n	134	115	120	117	98	82	60	70	91	81
【1位】 不親切な対応だった	61.9	66.1	62.5	63.2	68.4	57.3	53.3	48.6	52.7	64.2
【2位】 説明がわかりにくい	27.6	34.8	30.0	21.4	25.5	23.2	28.3	25.7	24.2	27.2
【3位】 たらい回しにされた	24.6	18.3	22.5	31.6	23.5	23.2	26.7	38.6	30.8	25.9
【4位】 対応で待たされた	18.7	35.7	31.7	26.5	26.5	28.0	26.7	30.0	31.9	23.5
【5位】 言葉遣いが悪い	16.4	11.3	14.2	15.4	13.3	11.0	15.0	17.1	14.3	12.3

注) 令和7年度の値で順位付けを行った。

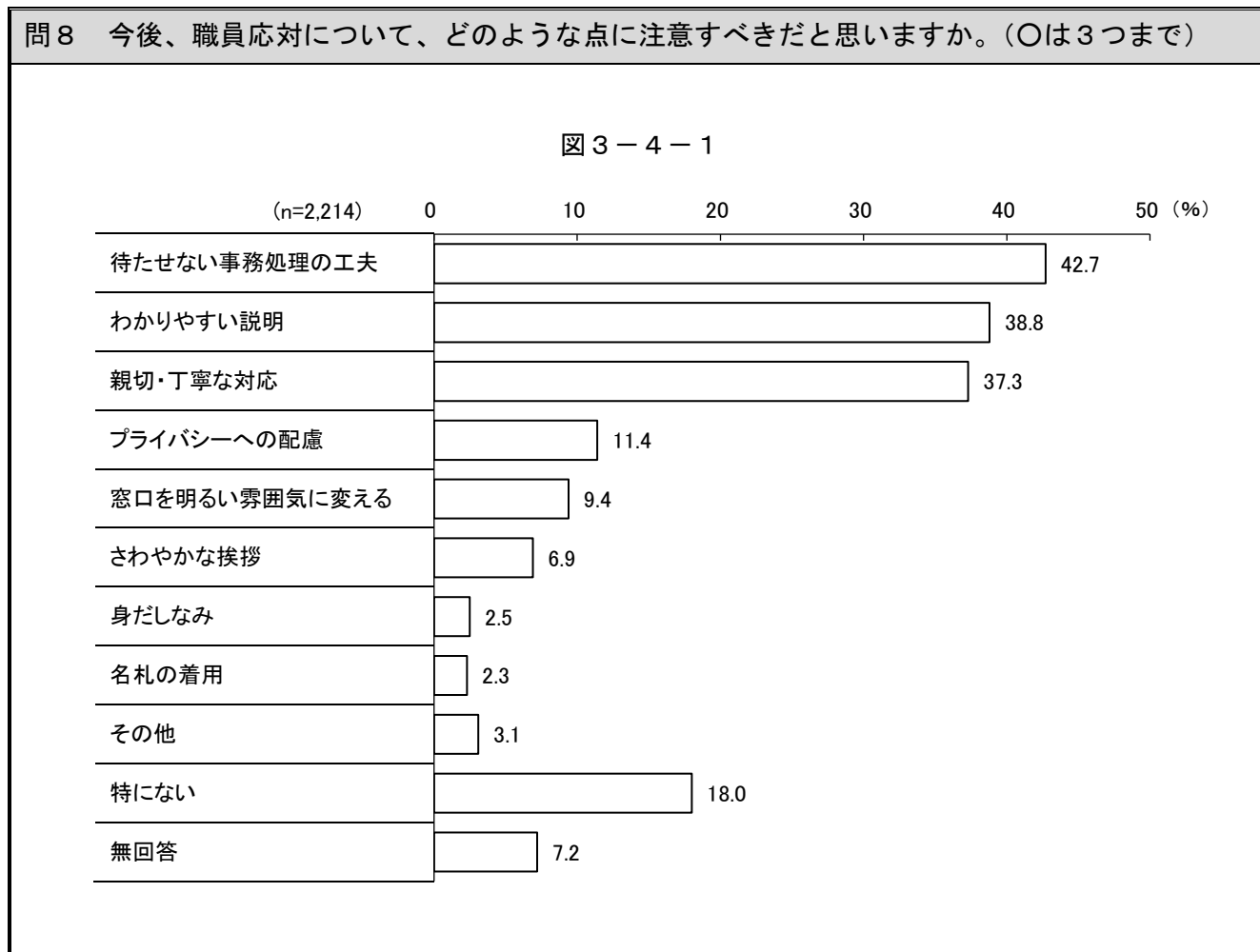
図 3-3-2 印象が悪かった点（時系列）



平成28年度からの時系列での変化をみると、「不親切な対応だった」がいずれの年度も1位となっており、令和2年度までは6割台で推移し、令和3年度～令和6年度は4～5割台に低下したが、令和7年度は再び6割台となっている。「説明がわかりにくい」は令和4年度以降、2割半ばかりから3割近くで横ばい、「たらい回しにされた」と「対応で待たされた」は令和5年度と令和6年度は3割台であったが、令和7年度は2割台に低下している。（表3-3-1、図3-3-2）

（４）職員応対での注意点

◎「待たせない事務処理の工夫」「わかりやすい説明」「親切・丁寧な対応」の３点が高い



今後の職員応対で注意すべき点を聞いたところ、「待たせない事務処理の工夫」（42.7%）が４割を超え、「わかりやすい説明」（38.8%）と「親切・丁寧な対応」（37.3%）が４割近くとなっている。以下、「プライバシーへの配慮」（11.4%）、「窓口を明るい雰囲気に変える」（9.4%）、「さわやかな挨拶」（6.9%）などと続く。「特にない」（18.0%）は２割近くとなっている。

（図３－４－１）

表 3－4－1 職員応対での注意点（時系列）

(%)

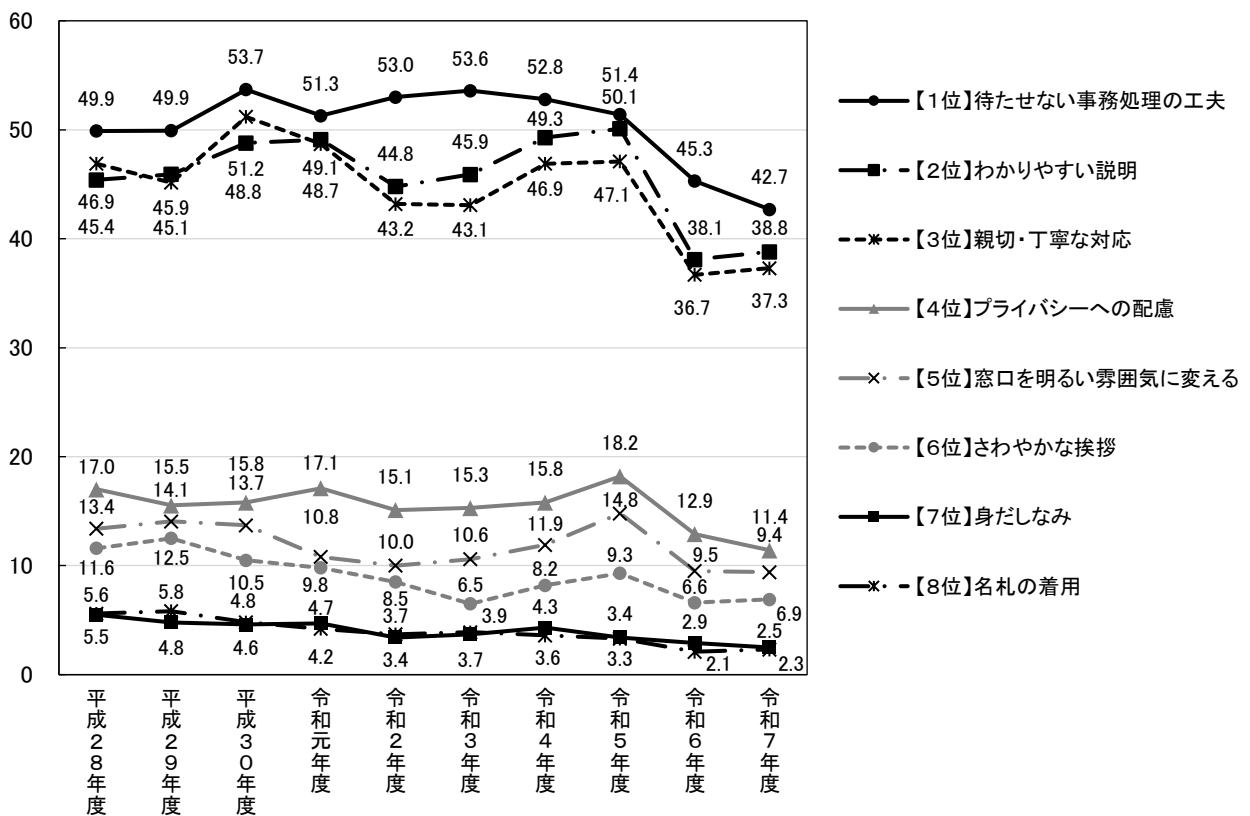
理 由	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
n	2,355	2,319	2,330	2,171	2,371	2,086	1,923	1,832	2,404	2,214
【1位】 待たせない事務処理の工夫	49.9	49.9	53.7	51.3	53.0	53.6	52.8	51.4	45.3	42.7
【2位】 わかりやすい説明	45.4	45.9	48.8	49.1	44.8	45.9	49.3	50.1	38.1	38.8
【3位】 親切・丁寧な対応	46.9	45.1	51.2	48.7	43.2	43.1	46.9	47.1	36.7	37.3
【4位】 プライバシーへの配慮	17.0	15.5	15.8	17.1	15.1	15.3	15.8	18.2	12.9	11.4
【5位】 窓口を明るい雰囲気に変える	13.4	14.1	13.7	10.8	10.0	10.6	11.9	14.8	9.5	9.4
【6位】 さわやかな挨拶	11.6	12.5	10.5	9.8	8.5	6.5	8.2	9.3	6.6	6.9
【7位】 身だしなみ	5.5	4.8	4.6	4.7	3.4	3.7	4.3	3.4	2.9	2.5
【8位】 名札の着用	5.6	5.8	4.8	4.2	3.7	3.9	3.6	3.3	2.1	2.3

注) 令和7年度の値で順位付けを行った。

注) 令和6年度以降、選択肢に「その他」と「特にない」が追加。

図 3－4－2 職員応対での注意点（時系列）

(%)



注) 令和6年度以降、選択肢に「その他」と「特にない」が追加。

平成 28 年度からの時系列での変化をみると、「待たせない事務処理の工夫」、「わかりやすい説明」、「親切・丁寧な対応」の 3 項目がいずれの年度でも上位 3 位に挙げられている。

(表 3－4－1、図 3－4－2)

表 3-4-2 職員対応での注意点（性・年齢別）

(%)

		n	待たせない事務処理の工夫	わかりやすい説明	親切・丁寧な対応	プライバシーへの配慮	窓口を明るく雰囲気を変える	さわやかな挨拶	身だしなみ	名札の着用	その他	特になし	無回答
全 体		2,214	42.7	38.8	37.3	11.4	9.4	6.9	2.5	2.3	3.1	18.0	7.2
性・年齢別	男性全体	865	42.7	36.9	34.2	7.7	9.1	7.3	2.5	2.7	3.0	20.1	7.9
	10・20歳代	100	28.0	12.0	17.0	6.0	8.0	6.0	1.0	1.0	3.0	40.0	7.0
	30歳代	88	38.6	25.0	29.5	8.0	11.4	3.4	2.3	1.1	6.8	33.0	2.3
	40歳代	117	46.2	34.2	30.8	11.1	12.0	5.1	-	1.7	2.6	18.8	8.5
	50歳代	167	41.3	39.5	32.9	11.4	9.0	8.4	1.8	1.2	3.0	16.8	9.0
	60歳代	174	52.9	51.7	42.0	4.6	9.2	10.3	2.9	3.4	2.3	10.3	5.7
	70歳代	138	43.5	39.9	39.1	7.2	8.0	5.1	4.3	4.3	2.9	20.3	9.4
	80歳以上	79	40.5	41.8	43.0	5.1	6.3	11.4	6.3	6.3	1.3	11.4	12.7
	女性全体	1,294	43.3	40.6	39.6	13.8	9.7	6.8	2.6	2.2	2.9	16.2	6.7
	10・20歳代	124	29.0	21.0	28.2	12.9	15.3	5.6	1.6	-	1.6	30.6	11.3
	30歳代	143	41.3	41.3	32.9	15.4	9.8	7.0	3.5	2.1	2.1	23.1	4.9
	40歳代	233	40.3	31.3	33.9	15.5	10.7	6.0	3.0	1.7	4.3	21.0	4.7
	50歳代	270	44.8	45.6	45.2	15.2	11.1	8.1	1.5	1.1	3.3	13.3	4.8
	60歳代	205	49.3	47.8	51.2	14.1	9.3	4.4	3.9	2.4	1.5	9.3	5.4
	70歳代	181	51.4	47.0	42.5	12.2	5.5	9.4	2.2	3.9	2.8	9.9	6.1
	80歳以上	135	41.5	44.4	34.8	8.9	5.9	6.7	2.2	4.4	3.7	11.9	14.1

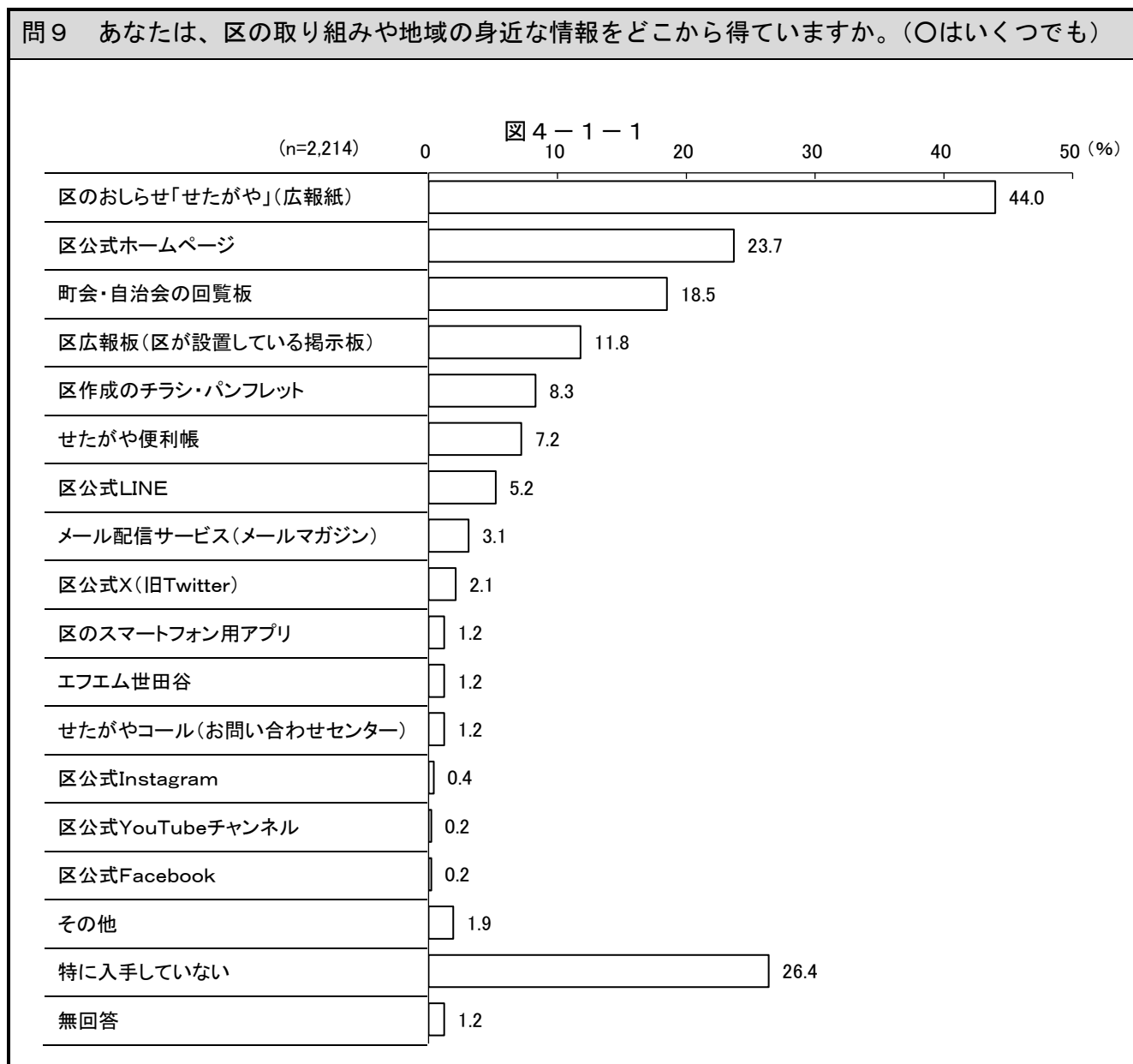
性・年齢別にみると、「待たせない事務処理の工夫」は男性の 60 歳代、女性の 70 歳代で 5 割を超え、女性の 60 歳代ではほぼ 5 割となっている。「わかりやすい説明」は男性の 60 歳代で 5 割を超え、女性の 60 歳代と 70 歳代で 5 割近く、女性の 50 歳代と 80 歳以上で 4 割半ばとなっている。「親切・丁寧な対応」は女性の 60 歳代で 5 割を超え、女性の 50 歳代で 4 割半ばとなっている。

(表 3-4-2)

4. 広報

(1) 区の取り組みや地域の情報の入手経路

◎「区のおしらせ「せたがや」(広報紙)」が4割半ば



区の取り組みや地域の情報の入手経路を聞いたところ、「区のおしらせ「せたがや」(広報紙)」(44.0%)が4割半ばで最も高く、以下、「区公式ホームページ」(23.7%)、「町会・自治会の回覧板」(18.5%)、「区広報板(区が設置している掲示板)」(11.8%)などと続く。一方、「特に入手していない」(26.4%)は2割半ばとなっている。(図4-1-1)

表 4-1-1 区の取り組みや地域の情報の入手経路（性・年齢別）

（％）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,214	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 44.0	区公式ホームページ 23.7	町会・自治会の回覧板 18.5	区広報板(区が設置している掲示版) 11.8	区作成のチラシ・パンフレット 8.3	せたがや便利帳 7.2	区公式LINE 5.2	メール配信サービス(メールマガジン) 3.1	区公式X(旧Twitter) 2.1	区のスマートフォン用アプリ/エフエム世田谷/せたがやコール(お問い合わせセンター) 1.2
男 性 全 体	865	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 42.9	区公式ホームページ 22.5	町会・自治会の回覧板 16.4	区広報板(区が設置している掲示版) 9.8	区作成のチラシ・パンフレット 7.7	せたがや便利帳 6.2	区公式LINE 4.0	区公式X(旧Twitter) 2.4	メール配信サービス(メールマガジン) 2.2	エフエム世田谷 1.4
10・20歳代	100	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 15.0	区公式ホームページ 14.0	区作成のチラシ・パンフレット 5.0	区公式X(旧Twitter)/区広報板(区が設置している掲示版)/町会・自治会の回覧板 4.0		区公式LINE 2.0	区公式YouTubeチャンネル/メール配信サービス(メールマガジン)/せたがやコール(お問い合わせセンター) 1.0			
30歳代	88	区公式LINE 15.9	区公式ホームページ 14.8	区広報板(区が設置している掲示版) 12.5	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 9.1	区作成のチラシ・パンフレット 5.7	区公式X(旧Twitter)/町会・自治会の回覧板 2.3		区公式Instagram/区公式Facebook/メール配信サービス(メールマガジン)/区のスマートフォン用アプリ/エフエム世田谷 1.1		
40歳代	117	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 30.8	区公式ホームページ 25.6	町会・自治会の回覧板 11.1	区作成のチラシ・パンフレット 7.7	区公式LINE 6.0	区公式X(旧Twitter) 5.1	区広報板(区が設置している掲示版) 4.3	メール配信サービス(メールマガジン)/区のスマートフォン用アプリ 2.6		エフエム世田谷 1.7
50歳代	167	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 39.5	区公式ホームページ 30.5	区広報板(区が設置している掲示版) 12.0	町会・自治会の回覧板 9.6	区作成のチラシ・パンフレット 7.8	せたがや便利帳 6.6	区公式X(旧Twitter) 3.6	区公式LINE 3.0	メール配信サービス(メールマガジン) 2.4	区のスマートフォン用アプリ/エフエム世田谷 1.8
60歳代	174	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 58.0	区公式ホームページ 29.3	町会・自治会の回覧板 17.8	区広報板(区が設置している掲示版) 9.8	せたがや便利帳 6.3	区作成のチラシ・パンフレット 5.7	メール配信サービス(メールマガジン) 4.0	区公式X(旧Twitter)/エフエム世田谷 1.7		区公式LINE 1.1
70歳代	138	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 61.6	町会・自治会の回覧板 33.3	区公式ホームページ 21.7	区広報板(区が設置している掲示版) 15.2	区作成のチラシ・パンフレット 12.3	せたがや便利帳 10.1	せたがやコール(お問い合わせセンター) 3.6	区公式LINE/メール配信サービス(メールマガジン) 2.2		エフエム世田谷 1.4
80歳以上	79	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 74.7	町会・自治会の回覧板 36.7	せたがや便利帳 21.5	区作成のチラシ・パンフレット 10.1	区広報板(区が設置している掲示版) 8.9	区公式ホームページ 6.3	区公式LINE 2.5	区のスマートフォン用アプリ/エフエム世田谷/せたがやコール(お問い合わせセンター) 1.3		
女 性 全 体	1,294	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 45.1	区公式ホームページ 24.9	町会・自治会の回覧板 20.2	区広報板(区が設置している掲示版) 13.2	区作成のチラシ・パンフレット 8.6	せたがや便利帳 7.7	区公式LINE 6.2	メール配信サービス(メールマガジン) 3.8	区公式X(旧Twitter) 1.9	区のスマートフォン用アプリ 1.3
10・20歳代	124	区公式ホームページ 17.7	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 14.5	区公式LINE 10.5	区作成のチラシ・パンフレット 9.7	区広報板(区が設置している掲示版) 7.3	町会・自治会の回覧板 6.5	区のスマートフォン用アプリ/せたがや便利帳 1.6		区公式X(旧Twitter)/エフエム世田谷 0.8	
30歳代	143	区公式ホームページ 26.6	区公式LINE 20.3	区のおしらせ「せたがや」(広報紙)/区広報板(区が設置している掲示版) 13.3		区作成のチラシ・パンフレット 7.7	町会・自治会の回覧板 7.0	区公式X(旧Twitter) 6.3	区公式Instagram 2.1	メール配信サービス(メールマガジン)/せたがや便利帳 1.4	
40歳代	233	区公式ホームページ 32.6	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 28.3	町会・自治会の回覧板 15.9	区広報板(区が設置している掲示版) 9.9	区公式LINE 8.6	区作成のチラシ・パンフレット 7.7	メール配信サービス(メールマガジン) 7.3	せたがや便利帳 3.4	区公式X(旧Twitter) 3.0	区公式Instagram/区のスマートフォン用アプリ 0.9
50歳代	270	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 46.7	区公式ホームページ 32.6	町会・自治会の回覧板 18.1	区広報板(区が設置している掲示版) 13.3	メール配信サービス(メールマガジン) 6.3	区作成のチラシ・パンフレット 4.8	せたがや便利帳 4.1	区公式LINE 2.6	区公式X(旧Twitter)/区のスマートフォン用アプリ 1.9	
60歳代	205	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 58.5	区公式ホームページ 30.7	町会・自治会の回覧板 22.9	区広報板(区が設置している掲示版) 15.6	せたがや便利帳 12.7	区作成のチラシ・パンフレット 8.8	メール配信サービス(メールマガジン) 4.4	区公式LINE 2.9	区のスマートフォン用アプリ 2.0	区公式X(旧Twitter) 1.5
70歳代	181	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 77.3	町会・自治会の回覧板 31.5	区広報板(区が設置している掲示版) 17.1	区公式ホームページ 13.3	せたがや便利帳 12.2	区作成のチラシ・パンフレット 9.4	区公式LINE 2.8	せたがやコール(お問い合わせセンター) 1.7	メール配信サービス(メールマガジン)/区のスマートフォン用アプリ/エフエム世田谷 1.1	
80歳以上	135	区のおしらせ「せたがや」(広報紙) 68.1	町会・自治会の回覧板 38.5	せたがや便利帳 20.7	区広報板(区が設置している掲示版)/区作成のチラシ・パンフレット 15.6		区公式ホームページ 8.1	せたがやコール(お問い合わせセンター) 5.2	エフエム世田谷 2.2	メール配信サービス(メールマガジン)/区のスマートフォン用アプリ 1.5	

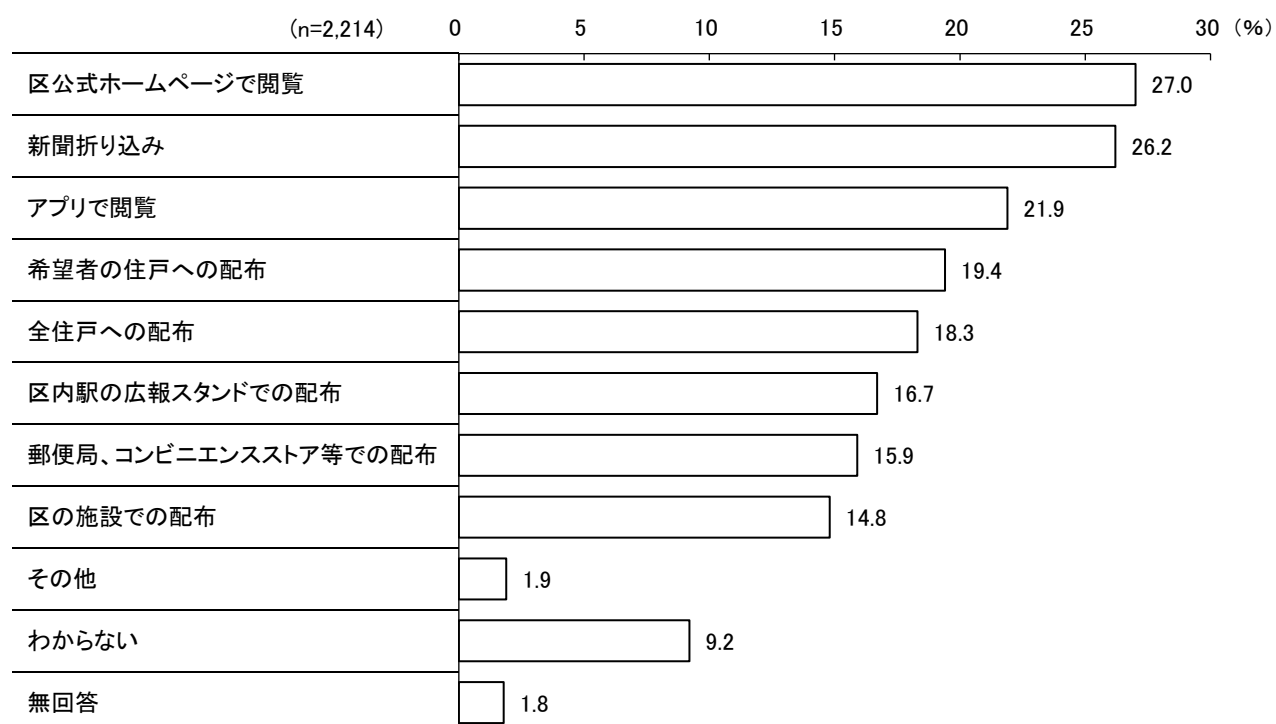
性・年齢別にみると、「区のおしらせ「せたがや」(広報紙)」は男性の10・20歳代と40歳代以上、女性の50歳代以上で1位となっている。「区公式ホームページ」は男女とも60歳代以下で2位以内に挙げられ、「町会・自治会の回覧板」は男女とも70歳代以上で2位となっている。「区公式LINE」は男性の30歳代で1位、女性の30歳代で2位となっている。(表4-1-1)

(2) 広報紙の配布・閲覧方法

◎「区公式ホームページで閲覧」が3割近く

問10 区が発行している広報紙（区のおしらせ「せたがや」）について、どのような配布・閲覧方法がよいと思いますか。（〇はいくつでも）

図4-2-1



区の広報紙（区のおしらせ「せたがや」）についてどのような配布・閲覧方法がよいと思うか聞いたところ、「区公式ホームページで閲覧」（27.0%）が3割近くで最も高く、以下、「新聞折り込み」（26.2%）、「アプリで閲覧」（21.9%）、「希望者の住戸への配布」（19.4%）、「全住戸への配布」（18.3%）などと続く。（図4-2-1）

表 4-2-1 広報紙の配布・閲覧方法（性・年齢別）

（％）

		n	区公式ホームページで閲覧	新聞折り込み	アプリで閲覧	希望者の住戸への配布	全住戸への配布	区内駅の広報スタンドでの配布	郵便局、コンビニエンスストア等での配布	区の施設での配布	その他	わからない	無回答
全 体		2,214	27.0	26.2	21.9	19.4	18.3	16.7	15.9	14.8	1.9	9.2	1.8
性・年齢別	男性全体	865	25.1	26.7	22.2	19.8	17.9	12.9	12.1	12.9	2.3	12.7	1.6
	10・20歳代	100	30.0	12.0	33.0	16.0	11.0	10.0	13.0	12.0	3.0	25.0	-
	30歳代	88	27.3	3.4	37.5	20.5	17.0	10.2	10.2	5.7	5.7	23.9	-
	40歳代	117	29.9	19.7	33.3	19.7	14.5	15.4	10.3	15.4	3.4	12.8	0.9
	50歳代	167	31.1	15.6	27.5	19.2	22.2	16.8	13.2	16.8	3.0	12.0	0.6
	60歳代	174	24.7	31.6	18.4	24.7	13.2	13.8	10.9	12.1	1.7	9.2	1.7
	70歳代	138	22.5	47.1	6.5	18.8	20.3	12.3	15.2	14.5	-	7.2	2.2
	80歳以上	79	1.3	59.5	-	15.2	30.4	7.6	11.4	10.1	-	3.8	6.3
	女性全体	1,294	28.7	26.1	22.1	19.6	18.2	19.5	18.6	15.9	1.5	6.5	1.9
	10・20歳代	124	36.3	13.7	30.6	22.6	14.5	10.5	13.7	11.3	0.8	15.3	2.4
	30歳代	143	28.0	4.9	34.3	23.1	16.1	22.4	14.7	11.2	3.5	11.9	0.7
	40歳代	233	34.8	11.2	36.9	18.0	15.5	19.3	14.6	13.7	2.1	7.3	1.3
	50歳代	270	38.5	19.6	23.7	19.6	18.5	24.8	24.1	19.3	2.6	3.0	1.1
	60歳代	205	34.6	34.6	16.1	24.4	16.1	19.5	20.0	20.5	0.5	2.9	0.5
	70歳代	181	13.3	51.4	6.1	18.2	18.8	18.8	21.0	14.9	-	5.0	3.3
	80歳以上	135	5.2	51.9	3.7	8.9	31.1	14.1	17.0	16.3	0.7	5.9	5.2

性・年齢別にみると、「区公式ホームページで閲覧」は女性の 50 歳代で 4 割近く、女性の 10・20 歳代と 40 歳代、60 歳代で 3 割半ばとなっている。「新聞折り込み」は若年層より高年層が高く、男性の 80 歳以上で 6 割、女性の 70 歳代以上で 5 割を超え、男性の 70 歳代で 5 割近くとなっている。一方、「アプリで閲覧」は高年層より若年層が高く、男女とも 40 歳代以下で 3 割台となっている。

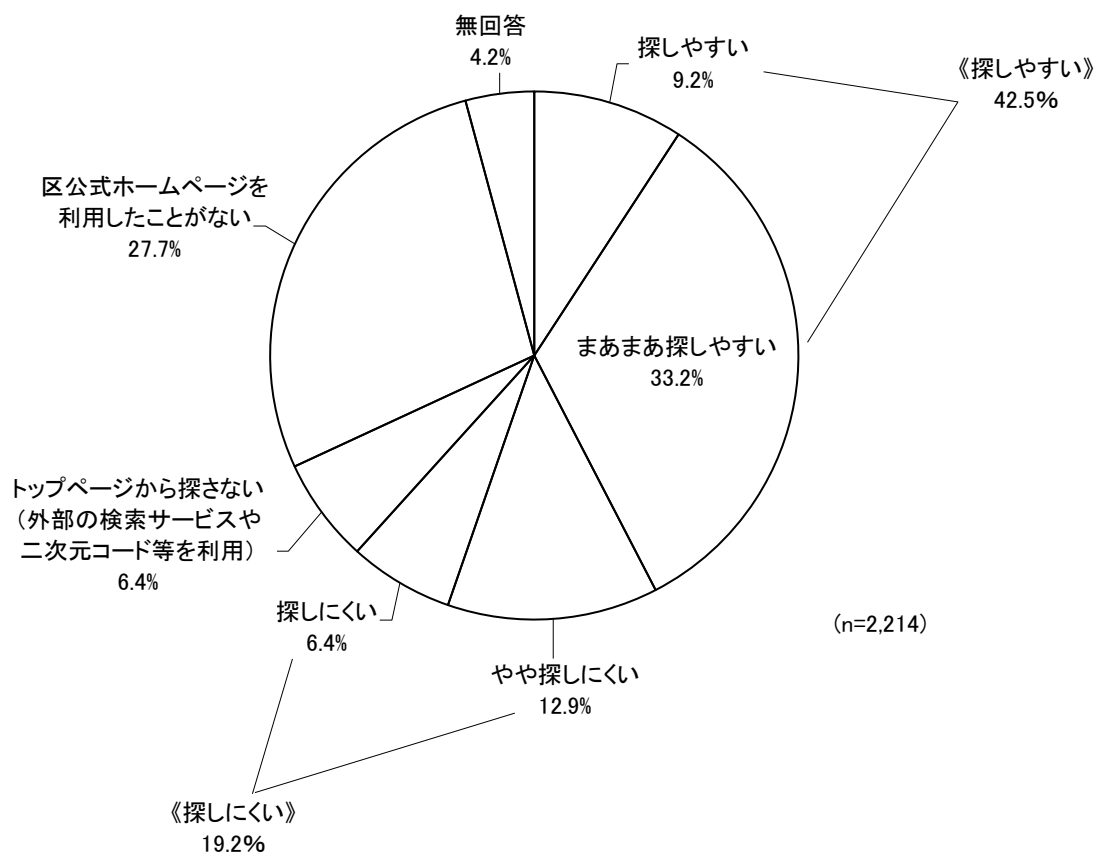
（表 4-2-1）

(3) 区公式ホームページのトップページの利便性

◎ 《探しやすい》が4割を超える

問 1 1 現在の区公式ホームページはトップページから情報を探しやすいですか。(○は1つ)

図 4 - 3 - 1



区公式ホームページがトップページから情報を探しやすいか聞いたところ、「探しやすい」(9.2%)と「まあまあ探しやすい」(33.2%)を合わせた《探しやすい》(42.5%)が4割を超え、「やや探しにくい」(12.9%)と「探しにくい」(6.4%)を合わせた《探しにくい》(19.2%)はほぼ2割となっている。(図4-3-1)

図 4-3-2 区公式ホームページのトップページの利便性（性・年齢別）



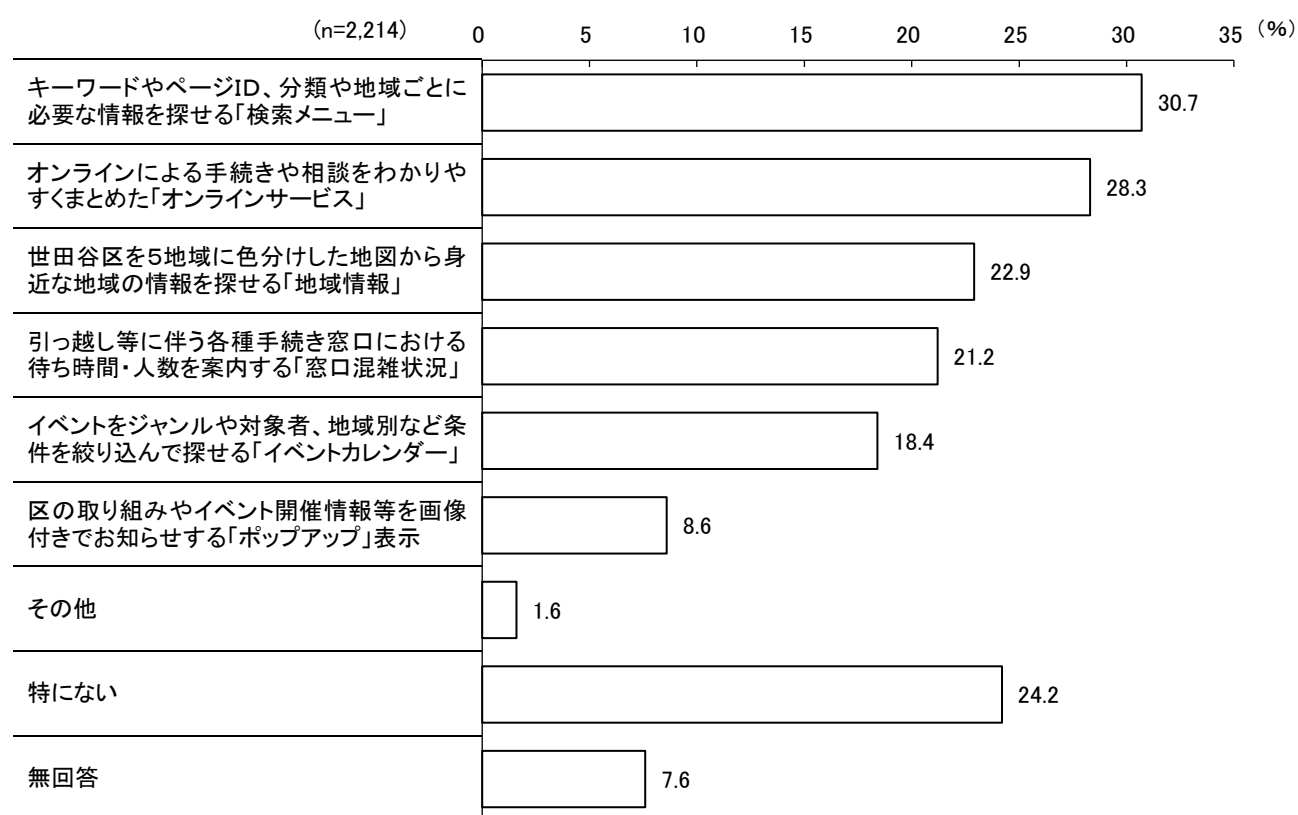
性・年齢別にみると、《探しやすい》は女性の10・20歳代でほぼ6割、女性の50歳代で6割近く、男性の10・20歳代、女性の30歳代で5割を超える。一方、《探しにくい》は男性の60歳代で3割近く、男性の50歳代、女性の40歳代で2割半ばとなっている。（図4-3-2）

(4) 区公式ホームページの使いやすい・使ってみたい機能やサービス

◎「キーワードやページID、分類や地域ごとに必要な情報を探せる「検索メニュー」」がほぼ3割

問12 区公式ホームページには、情報を探しやすくするためのさまざまな機能やサービスが設置されています。どの機能やサービスが使いやすい、もしくは使ってみたいと思いますか。
(○はいくつでも)

図4-4-1



区公式ホームページで使いやすい・使ってみたい機能やサービスを聞いたところ、「キーワードやページID、分類や地域ごとに必要な情報を探せる「検索メニュー」」(30.7%)がほぼ3割で最も高く、以下、「オンラインによる手続きや相談をわかりやすくまとめた「オンラインサービス」」(28.3%)、「世田谷区を5地域に色分けした地図から身近な地域の情報を探せる「地域情報」」(22.9%)、「引っ越し等に伴う各種手続き窓口における待ち時間・人数を案内する「窓口混雑状況」」(21.2%)、「イベントをジャンルや対象者、地域別など条件を絞り込んで探せる「イベントカレンダー」」(18.4%)などと続く。(図4-4-1)

表 4-4-1 区公式ホームページの使いやすい・使ってみたい機能やサービス（性・年齢別）

(%)											
			キー ワード を探せる「検索 メニュー」	オン ライン による手 続きや 相談を わかり やすく	世田 谷区を 5地域 に色分 けした 地図か ら身近 な「地 域情報」	引越 し等に伴 う各種 手続き 窓口にお ける待ち 時間・人 数を案内 する「窓 口混雑状 況」	イベ ントを ジャンル や対象者 、地域別 など条件 を絞り込 んで探 せる「イ ベントカ レンダー」	区 の取 り組 みやイ ベント 開催情 報等を 画像付 きでお 知らせ する「ポ ツプア ップ」 表示	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体		2,214	30.7	28.3	22.9	21.2	18.4	8.6	1.6	24.2	7.6
性・ 年 齢 別	男性全体	865	26.5	25.0	19.4	15.3	15.5	6.9	1.3	32.3	6.0
	10・20歳代	100	24.0	23.0	12.0	21.0	17.0	9.0	－	34.0	3.0
	30歳代	88	23.9	28.4	13.6	28.4	17.0	4.5	1.1	34.1	3.4
	40歳代	117	28.2	28.2	23.9	22.2	12.0	6.0	－	23.9	1.7
	50歳代	167	32.9	30.5	19.8	19.2	17.4	7.2	0.6	27.5	4.2
	60歳代	174	31.6	25.9	20.1	10.3	16.7	9.8	1.7	34.5	3.4
	70歳代	138	23.2	20.3	18.8	4.3	14.5	4.3	2.9	39.9	10.1
	80歳以上	79	11.4	12.7	26.6	5.1	12.7	5.1	2.5	32.9	20.3
	女性全体	1,294	34.1	31.1	25.4	25.7	20.6	9.7	1.7	18.7	8.0
	10・20歳代	124	35.5	32.3	21.0	41.9	23.4	10.5	－	22.6	2.4
	30歳代	143	38.5	37.1	27.3	49.7	27.3	7.7	1.4	14.0	1.4
	40歳代	233	42.9	42.9	23.2	32.6	22.3	9.9	1.3	11.2	1.7
	50歳代	270	40.0	40.4	26.7	31.1	25.2	10.4	1.9	14.1	3.0
	60歳代	205	41.5	31.7	28.8	16.6	19.0	10.7	2.0	15.1	5.9
70歳代	181	19.9	12.2	26.0	5.5	13.8	8.8	1.7	29.3	21.5	
80歳以上	135	7.4	8.1	23.0	3.0	10.4	8.9	3.0	34.1	26.7	

性・年齢別にみると、「検索メニュー」は女性の40歳代と60歳代で4割を超え、女性の50歳代で4割となっている。「オンラインサービス」は女性の40歳代で4割を超え、女性の50歳代で4割となっている。「窓口混雑状況」は女性の30歳代で5割、女性の10・20歳代で4割を超えている。

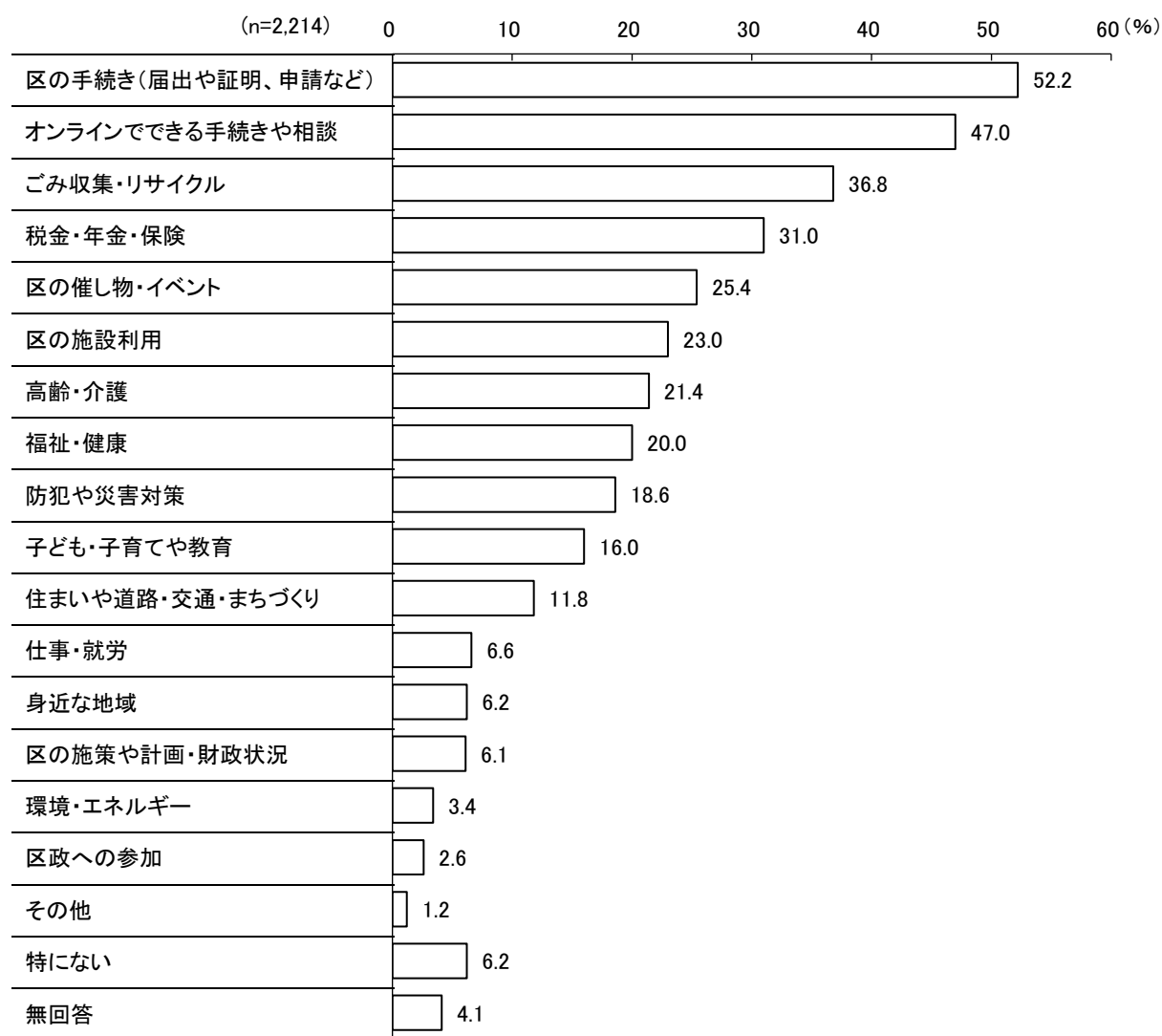
(表 4-4-1)

(5) 区公式ホームページで重要だと思う情報

◎「区の手続き（届出や証明、申請など）」が5割を超える

問 1 3 区公式ホームページに掲載している情報の中で特に知りたい、重要だと思う情報はどれですか。（○はいくつでも）

図 4-5-1



区公式ホームページで重要だと思う情報を聞いたところ、「区の手続き（届出や証明、申請など）」（52.2%）が5割を超えて最も高く、以下、「オンラインでできる手続きや相談」（47.0%）、「ごみ収集・リサイクル」（36.8%）、「税金・年金・保険」（31.0%）、「区の催し物・イベント」（25.4%）などと続く。（図 4-5-1）

表 4-5-1 区公式ホームページで重要だと思う情報（性・年齢別）

（％）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,214	区の手続き (届出や証明、申請など) 52.2	オンラインで できる手続き や相談 47.0	ごみ収集・リ サイクル 36.8	税金・年金・ 保険 31.0	区の催し物・ イベント 25.4	区の施設利用 23.0	高齢・介護 21.4	福祉・健康 20.0	防犯や災害 対策 18.6	子ども・子育て や教育 16.0
男 性 全 体	865	区の手続き (届出や証明、申請など) 48.7	オンラインで できる手続き や相談 46.7	税金・年金・ 保険 34.7	ごみ収集・リ サイクル 32.3	区の催し物・ イベント 21.8	区の施設利用 21.6	福祉・健康 19.1	高齢・介護 18.8	防犯や災害 対策 16.2	子ども・子育て や教育 14.5
10・ 20歳 代	100	オンラインで できる手続き や相談 43.0	区の手続き (届出や証明、申請など) 42.0	税金・年金・ 保険 30.0	区の催し物・イベント／区の 施設利用 22.0	ごみ収集・リ サイクル 15.0	防犯や災害対策／住まいや 道路・交通・まちづくり 14.0	子ども・子育て や教育 11.0	区の施策や計 画・財政状況 10.0		
30歳 代	88	オンラインで できる手続き や相談 63.6	区の手続き (届出や証明、申請など) 51.1	子ども・子育て や教育 35.2	税金・年金・ 保険 28.4	区の催し物・イベント／ごみ 収集・リサイクル 25.0	区の施設利用 19.3	住まいや道 路・交通・まち づくり 12.5	防犯や災害 対策 11.4	福祉・健康 10.2	
40歳 代	117	オンラインで できる手続き や相談 56.4	区の手続き (届出や証明、申請など) 55.6	子ども・子育て や教育 41.0	税金・年金・ 保険 38.5	ごみ収集・リ サイクル 31.6	区の催し物・ イベント 22.2	区の施設利用 20.5	福祉・健康／住まいや道路・ 交通・まちづくり 16.2	防犯や災害 対策 15.4	
50歳 代	167	オンラインで できる手続き や相談 57.5	区の手続き (届出や証明、申請など) 56.9	ごみ収集・リ サイクル 46.7	税金・年金・ 保険 37.7	区の催し物・ イベント 25.7	防犯や災害 対策 22.2	区の施設利用 20.4	福祉・健康 17.4	高齢・介護 15.0	住まいや道路・ 交通・まちづくり 14.4
60歳 代	174	区の手続き (届出や証明、申請など) 53.4	オンラインで できる手続き や相談 46.6	税金・年金・ 保険 40.2	ごみ収集・リ サイクル 39.7	福祉・健康 25.3	区の施設利用 23.6	高齢・介護 23.0	区の催し物・ イベント 19.0	防犯や災害 対策 16.1	住まいや道路・ 交通・まちづくり 14.9
70歳 代	138	区の手続き (届出や証明、申請など) 39.1	オンラインで できる手続き や相談 36.2	税金・年金・ 保険 34.8	高齢・介護 31.9	ごみ収集・リ サイクル 29.0	福祉・健康 25.4	区の施設利用 23.2	区の催し物・ イベント 19.6	防犯や災害 対策 18.1	住まいや道路・ 交通・まちづくり 9.4
80歳 以上	79	高齢・介護 43.0	区の手続き (届出や証明、申請など) 34.2	福祉・健康 26.6	税金・年金・ 保険 24.1	ごみ収集・リ サイクル 22.8	区の催し物・イベント／区の 施設利用 20.3	オンラインで できる手続き や相談 15.2	防犯や災害対策／住まいや道 路・交通・まちづくり 10.1		
女 性 全 体	1,294	区の手続き (届出や証明、申請など) 55.3	オンラインで できる手続き や相談 47.7	ごみ収集・リ サイクル 39.8	税金・年金・ 保険 29.1	区の催し物・ イベント 28.2	区の施設利用 24.2	高齢・介護 23.3	福祉・健康 20.8	防犯や災害 対策 20.3	子ども・子育て や教育 17.3
10・ 20歳 代	124	オンラインで できる手続き や相談 53.2	区の手続き (届出や証明、申請など) 50.8	税金・年金・ 保険 28.2	区の催し物・イベント／ごみ 収集・リサイクル 26.6	区の施設利用 20.2	子ども・子育て や教育 19.4	防犯や災害 対策 18.5	住まいや道 路・交通・まち づくり 13.7	区の施策や計 画・財政状況 10.5	
30歳 代	143	区の手続き (届出や証明、申請など) 67.1	オンラインで できる手続き や相談 58.7	子ども・子育て や教育 44.1	ごみ収集・リ サイクル 38.5	区の催し物・ イベント 37.8	税金・年金・ 保険 28.0	区の施設利用 19.6	防犯や災害 対策 18.2	身近な地域 9.8	福祉・健康 9.1
40歳 代	233	オンラインで できる手続き や相談 65.2	区の手続き (届出や証明、申請など) 64.8	ごみ収集・リ サイクル 46.8	子ども・子育て や教育 39.5	区の催し物・ イベント 30.0	税金・年金・保険／区の施設 利用 24.0	福祉・健康 17.2	防犯や災害 対策 15.5	高齢・介護 12.9	
50歳 代	270	区の手続き (届出や証明、申請など) 69.3	オンラインで できる手続き や相談 60.0	ごみ収集・リ サイクル 51.9	税金・年金・ 保険 39.6	区の催し物・ イベント 29.6	区の施設利用 27.8	高齢・介護 26.7	防犯や災害 対策 25.9	福祉・健康 23.0	住まいや道路・ 交通・まちづくり 13.7
60歳 代	205	区の手続き (届出や証明、申請など) 56.1	ごみ収集・リ サイクル 46.8	オンラインで できる手続き や相談 42.0	税金・年金・ 保険 34.6	高齢・介護 34.1	区の催し物・ イベント 31.2	福祉・健康 29.8	防犯や災害 対策 25.4	区の施設利用 24.4	住まいや道路・ 交通・まちづくり 11.2
70歳 代	181	区の手続き (届出や証明、申請など) 35.4	高齢・介護 32.0	区の施設利用 26.5	福祉・健康 26.0	オンラインで できる手続き や相談 24.9	税金・年金・ 保険 24.3	ごみ収集・リ サイクル 23.2	区の催し物・ イベント 21.0	防犯や災害 対策 17.1	身近な地域／ 住まいや道路・ 交通・まちづくり 9.4
80歳 以上	135	高齢・介護 42.2	区の手続き(届出や証明、申 請など)／ごみ収集・リサイ クル 28.1	福祉・健康 25.9	区の施設利用 21.5	区の催し物・イベント／防犯 や災害対策 18.5	税金・年金・ 保険 17.0	オンラインで できる手続き や相談 14.8	住まいや道路・ 交通・まちづくり 10.4		

性・年齢別にみると、「区の手続き（届出や証明、申請など）」はすべての年代で2位以内に挙げられ、「オンラインでできる手続きや相談」は男性の70歳代以下と女性の50歳代以下で2位以内に挙げられている。男性の80歳以上と女性の70歳代以上では「高齢・介護」が2位以内に挙げられている。（表4-5-1）

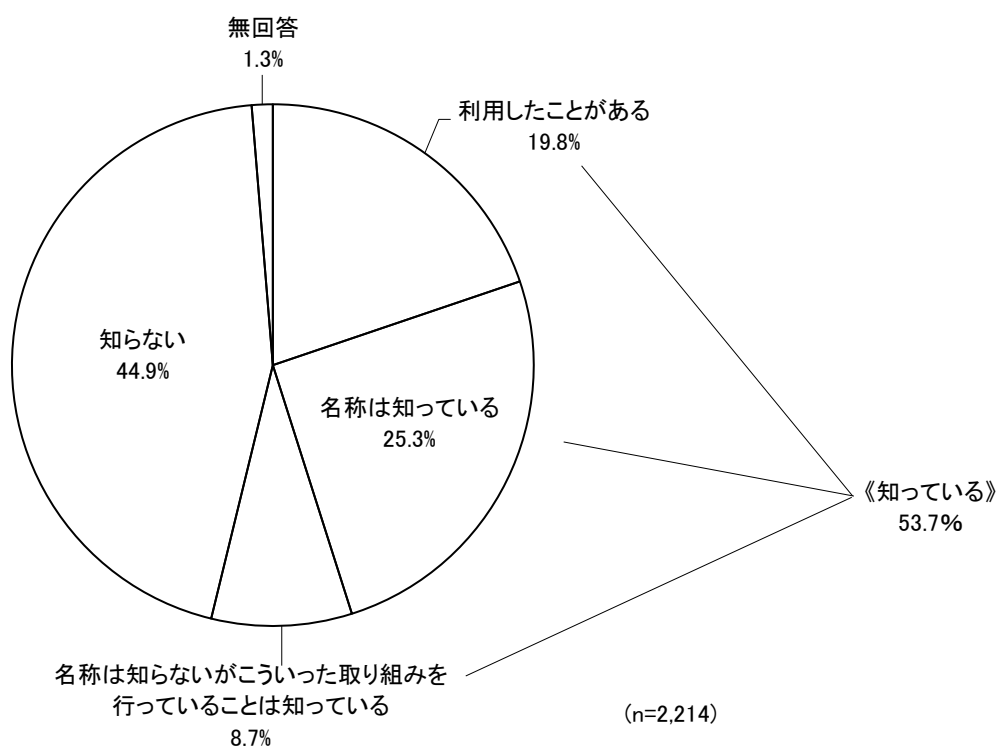
5. 福祉と医療

(1) 「福祉の相談窓口」の認知度

◎ 《知っている》が5割を超え、「利用したことがある」は2割

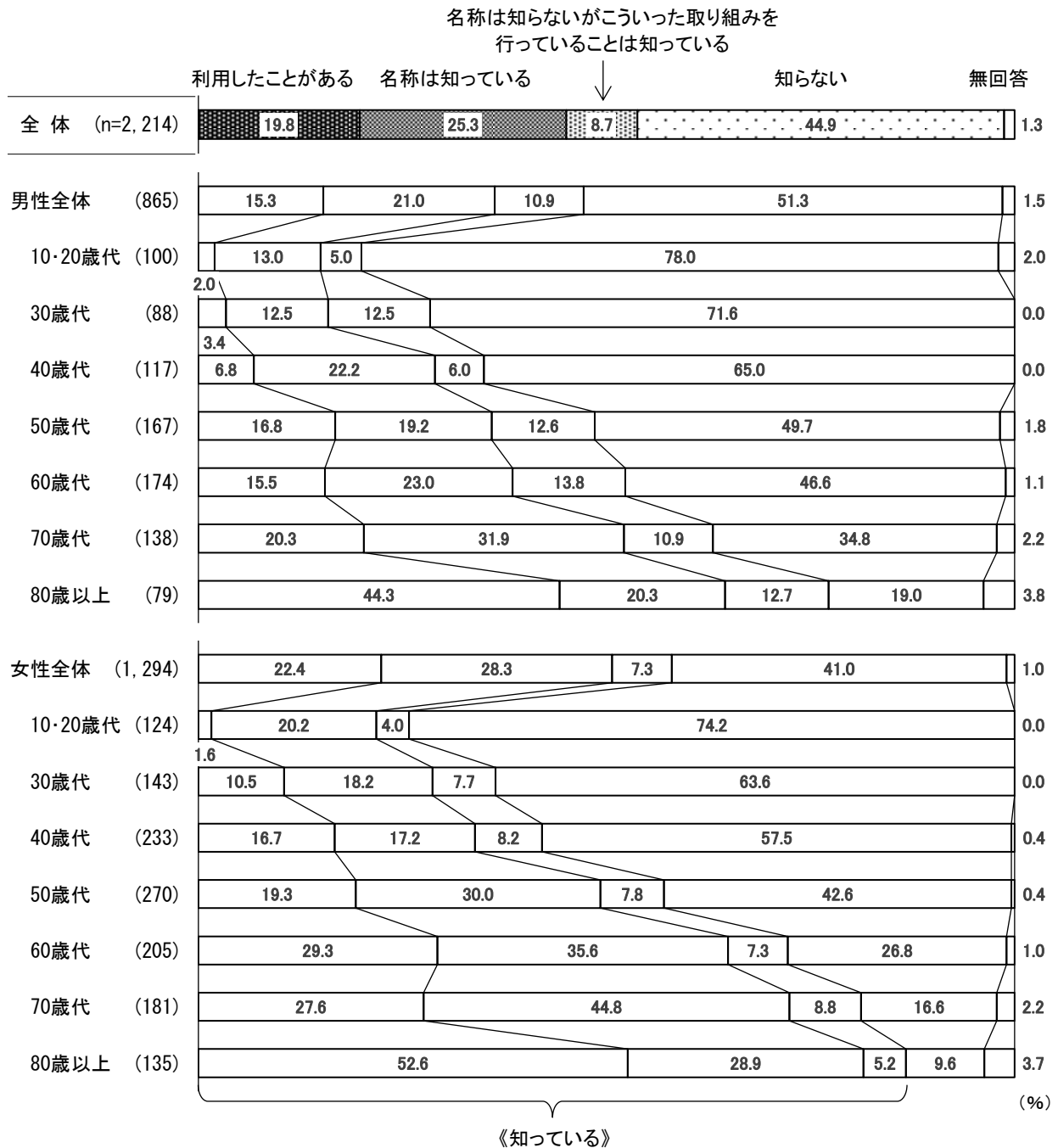
問14 あなたは、区内28地区で実施しているまちづくりセンター、あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）、社会福祉協議会が連携して様々な福祉の相談を受ける「福祉の相談窓口」を知っていますか。（○は1つ）

図5-1-1



「福祉の相談窓口」の認知度を聞いたところ、「名称は知っている」（25.3%）、「利用したことがある」（19.8%）、「名称は知らないがこういった取り組みを行っていることは知っている」（8.7%）を合わせた《知っている》（53.7%）が5割を超え、「知らない」（44.9%）が4割半ばとなっている。（図5-1-1）

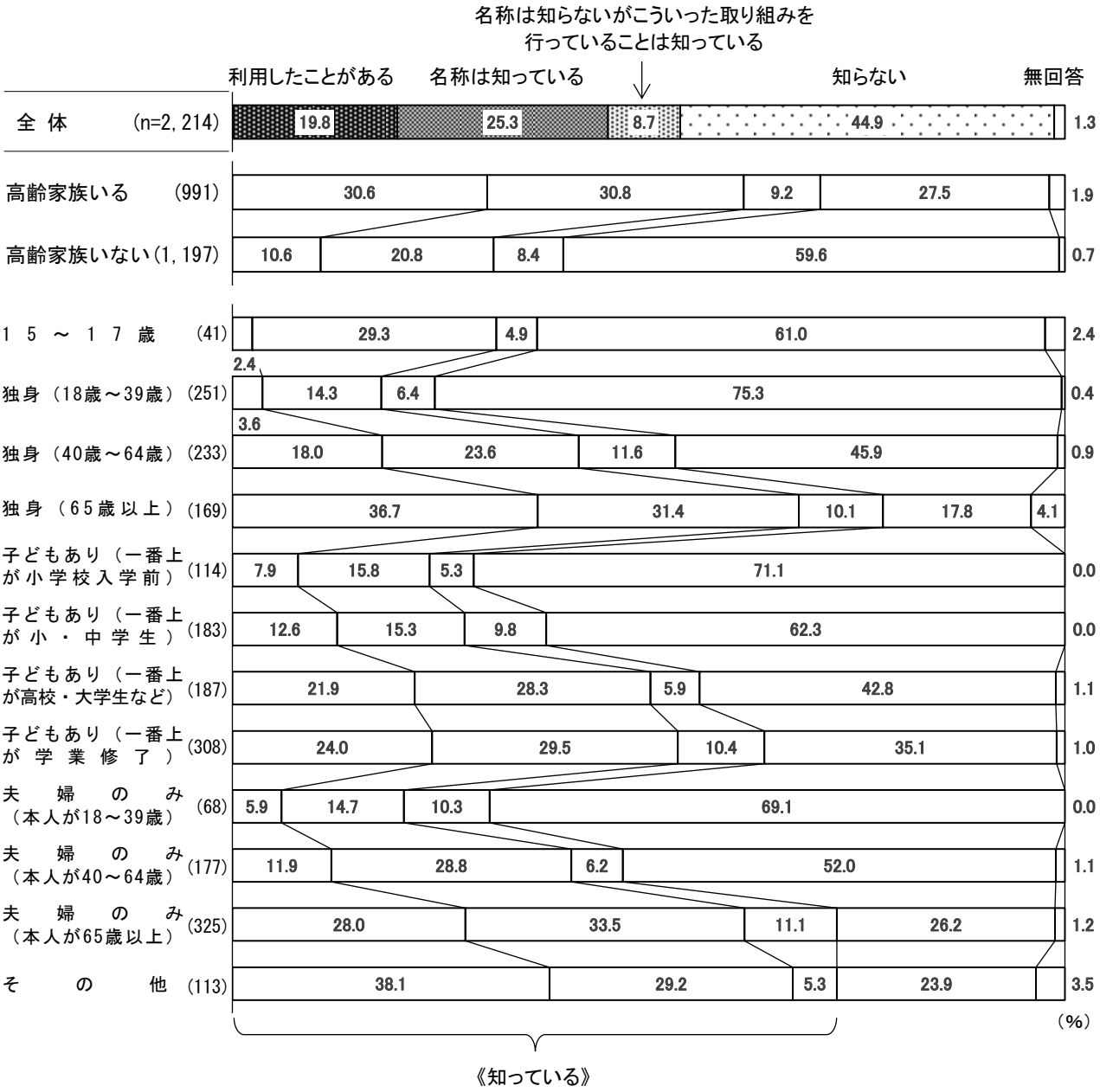
図 5 - 1 - 2 「福祉の相談窓口」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知っている》は男女ともに年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、女性の80歳以上で9割近く、女性の70歳代で8割を超え、男性の80歳以上で8割近くとなっている。「利用したことがある」は女性の80歳以上で5割を超え、男性の80歳以上で4割半ばとなっている。

(図 5 - 1 - 2)

図 5-1-3 「福祉の相談窓口」の認知度（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は「利用したことがある」がほぼ3割、「名称は知っている」もほぼ3割で、高齢家族がいない世帯より高い。

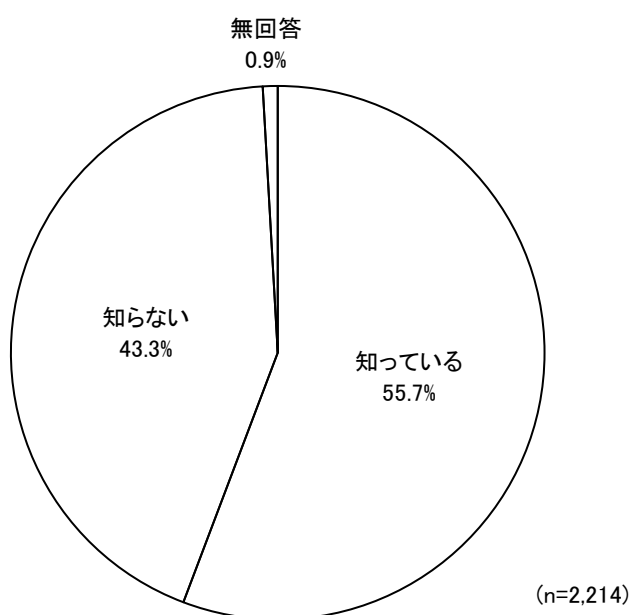
ライフスタイル別にみると、「利用したことがある」は独身（65歳以上）とその他で4割近く、夫婦のみ（本人が65歳以上）で3割近くとなっている。《知っている》は独身（65歳以上）で8割近く、夫婦のみ（本人が65歳以上）とその他で7割を超え、子どもあり（一番上が学業修了）で6割半ばとなっている。（図5-1-3）

(2)「在宅医療」の認知度

◎「知っている」が5割半ば

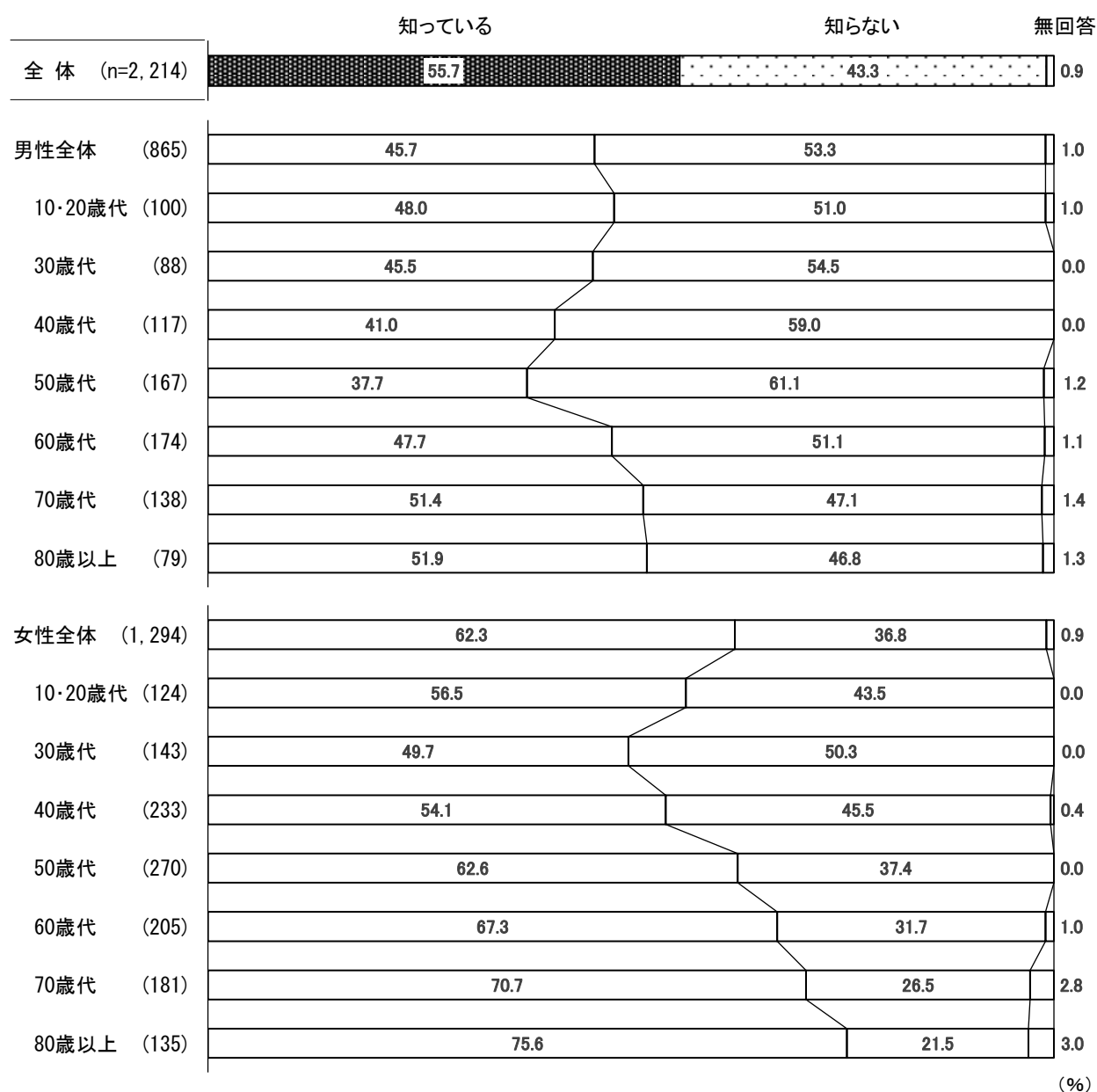
問15 あなたは、医療機関への通院ができなくなったときなどに、医師や看護師などの医療関係者が訪問することで、自宅等でも医療を受けられる「在宅医療」を知っていますか。
(○は1つ)

図5-2-1



「在宅医療」の認知度を聞いたところ、「知っている」(55.7%)が5割半ば、「知らない」(43.3%)が4割を超えている。(図5-2-1)

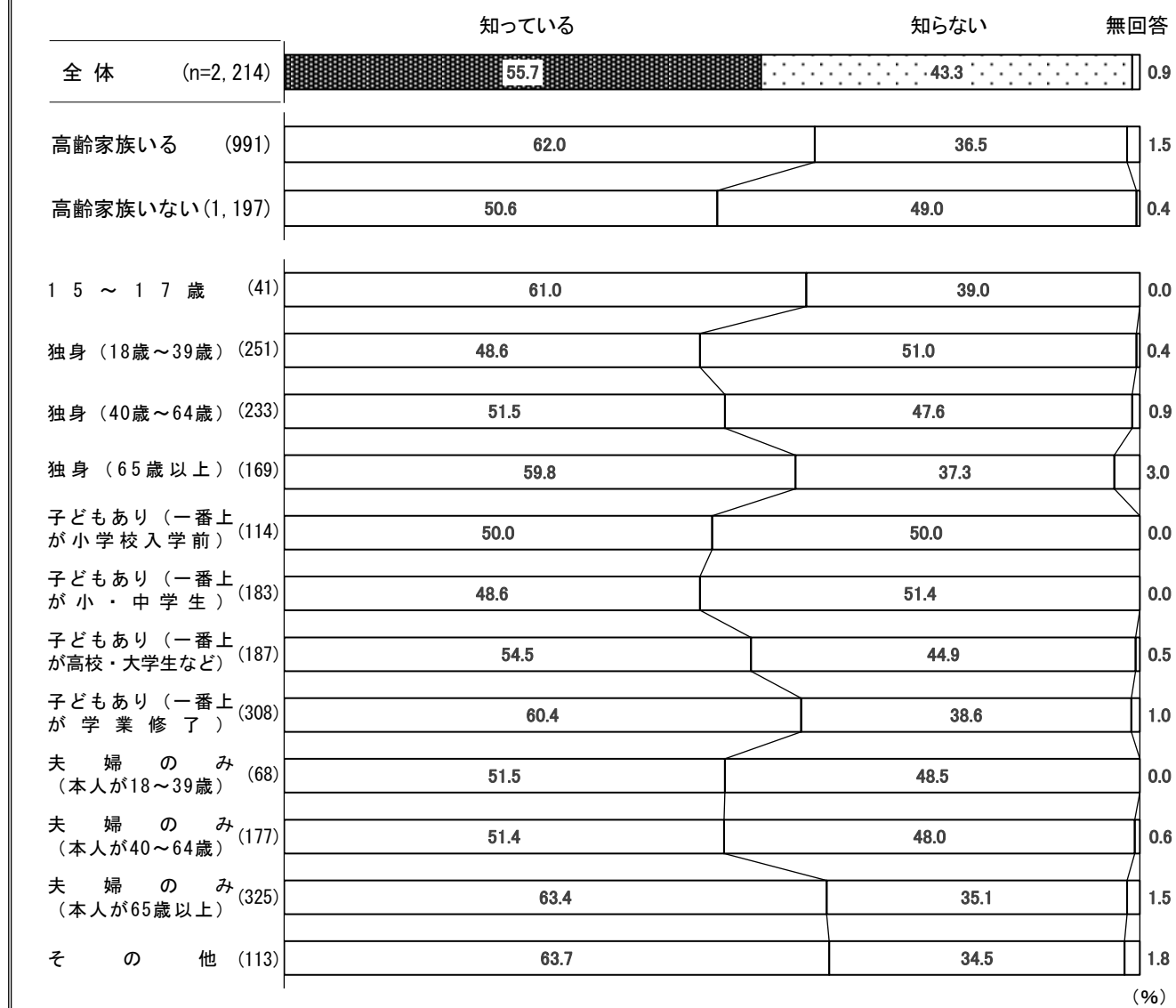
図 5 - 2 - 2 「在宅医療」の認知度（性・年齢別）



(%)

性・年齢別にみると、「知っている」はすべての年代で男性より女性の方が高く、男性は50歳代が4割近くで最も低く、70歳代以上が5割を超えている。女性の「知っている」は30歳代が5割で最も低く、以降、年代が上がるにつれ高くなり、80歳以上は7割半ばとなっている。（図5-2-2）

図5-2-3 「在宅医療」の認知度（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、「知っている」は高齢家族がいる世帯が6割を超え、高齢家族がいない世帯はほぼ5割となっている。

ライフスタイル別にみると、「知っている」は15～17歳、夫婦のみ（本人が65歳以上）、その他で6割を超え、独身（65歳以上）と子どもあり（一番上が学業修了）で6割となっている。「知らない」は独身（18歳～39歳）と子どもあり（一番上が小・中学生）で5割を超えている。

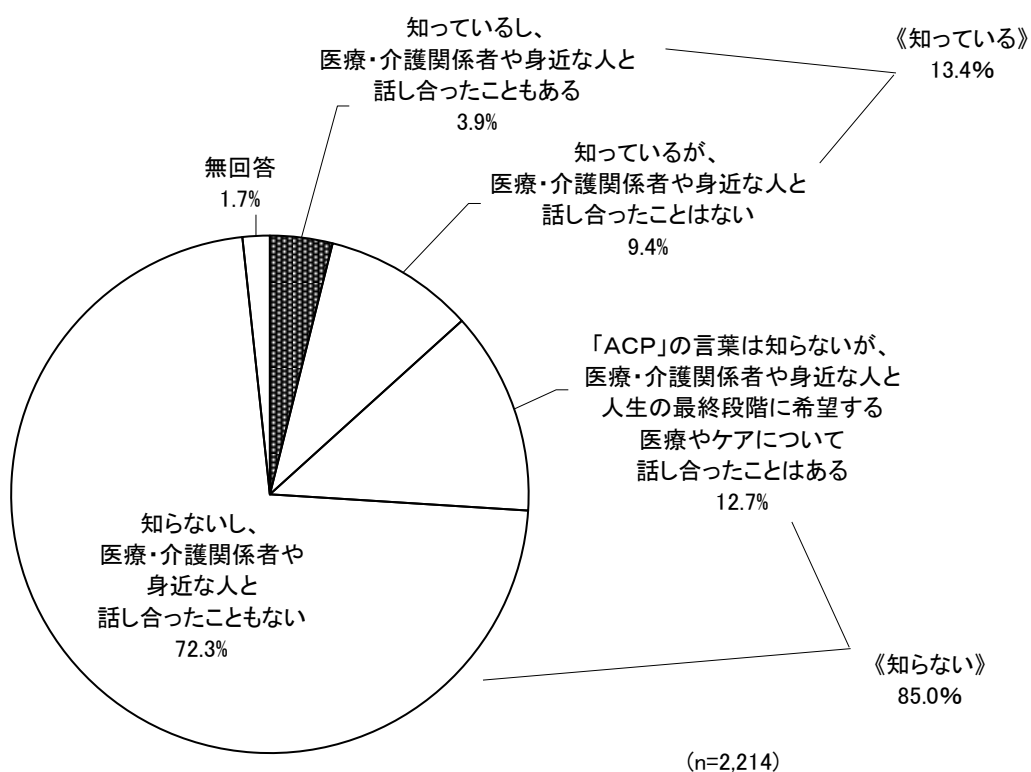
(図5-2-3)

(3)「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の認知度

◎《知らない》が8割半ば、《知っている》は1割を超える

問16 あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）」を知っていますか。
(○は1つ)

図5-3-1



「ACP」の認知度を聞いたところ、「知らないし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともない」(72.3%)が7割を超えて最も高く、「「ACP」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と人生の最終段階に希望する医療やケアについて話し合ったことはある」(12.7%)を合わせた《知らない》(85.0%)は8割半ばとなっている。「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」(3.9%)と「知っているが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはない」(9.4%)を合わせた《知っている》(13.4%)は1割を超えている。

「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」と「「ACP」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と人生の最終段階に希望する医療やケアについて話し合ったことはある」を合わせた《話し合ったことがある》(16.6%)は2割近くとなっている。

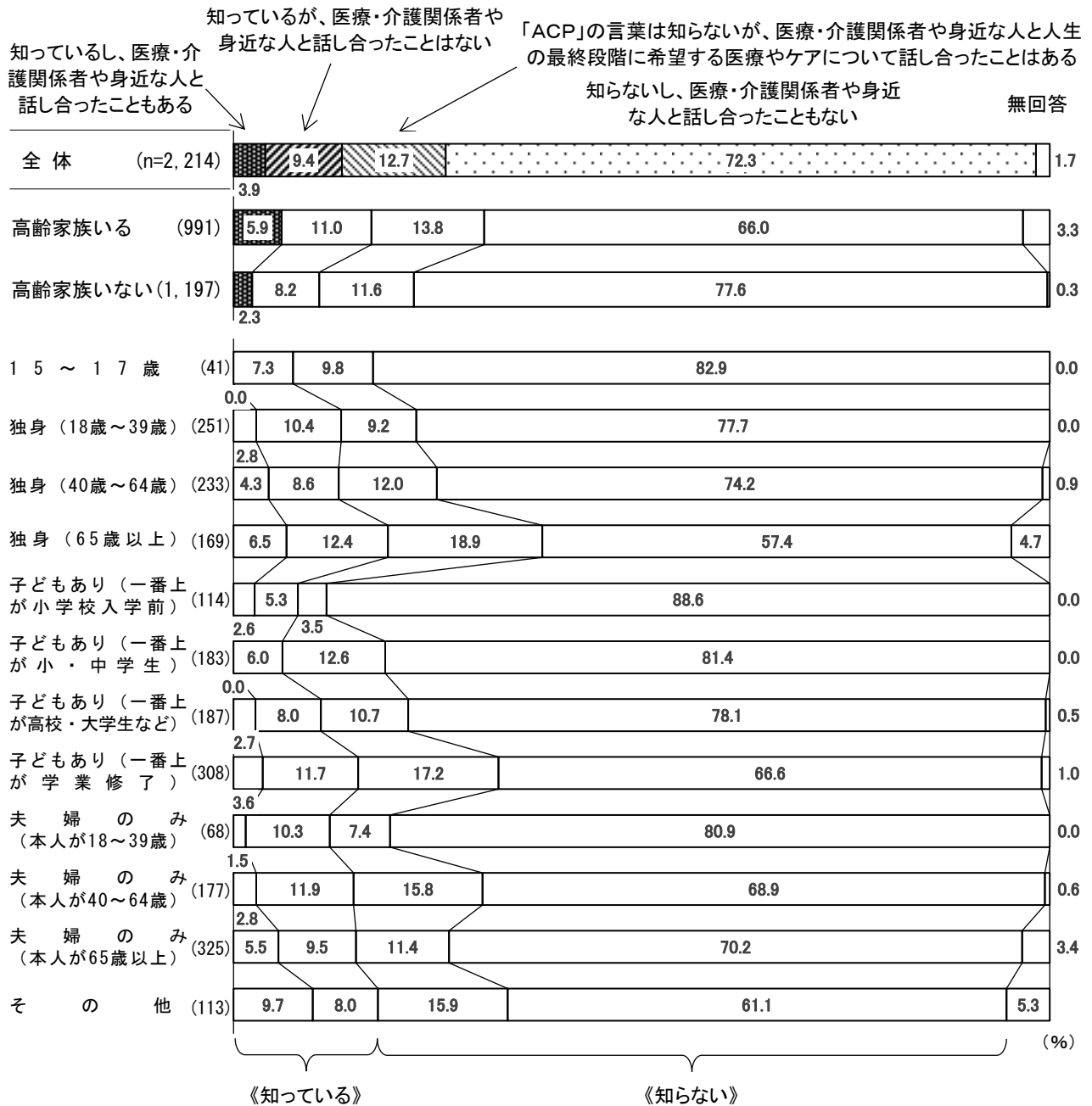
(図5-3-1)

図 5-3-2 「ACP」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知らない》は男性の40歳代で9割半ば、男性の30歳代で9割を超え、男性の50歳代で9割となっている。《知っている》は女性の80歳以上で2割半ば、女性の60歳代で2割、男性の80歳以上ではほぼ2割となっている。《話し合ったことがある》は女性の80歳以上で3割半ば、男性の80歳以上で3割となっている。（図5-3-2）

図5-3-3 「ACP」の認知度（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）

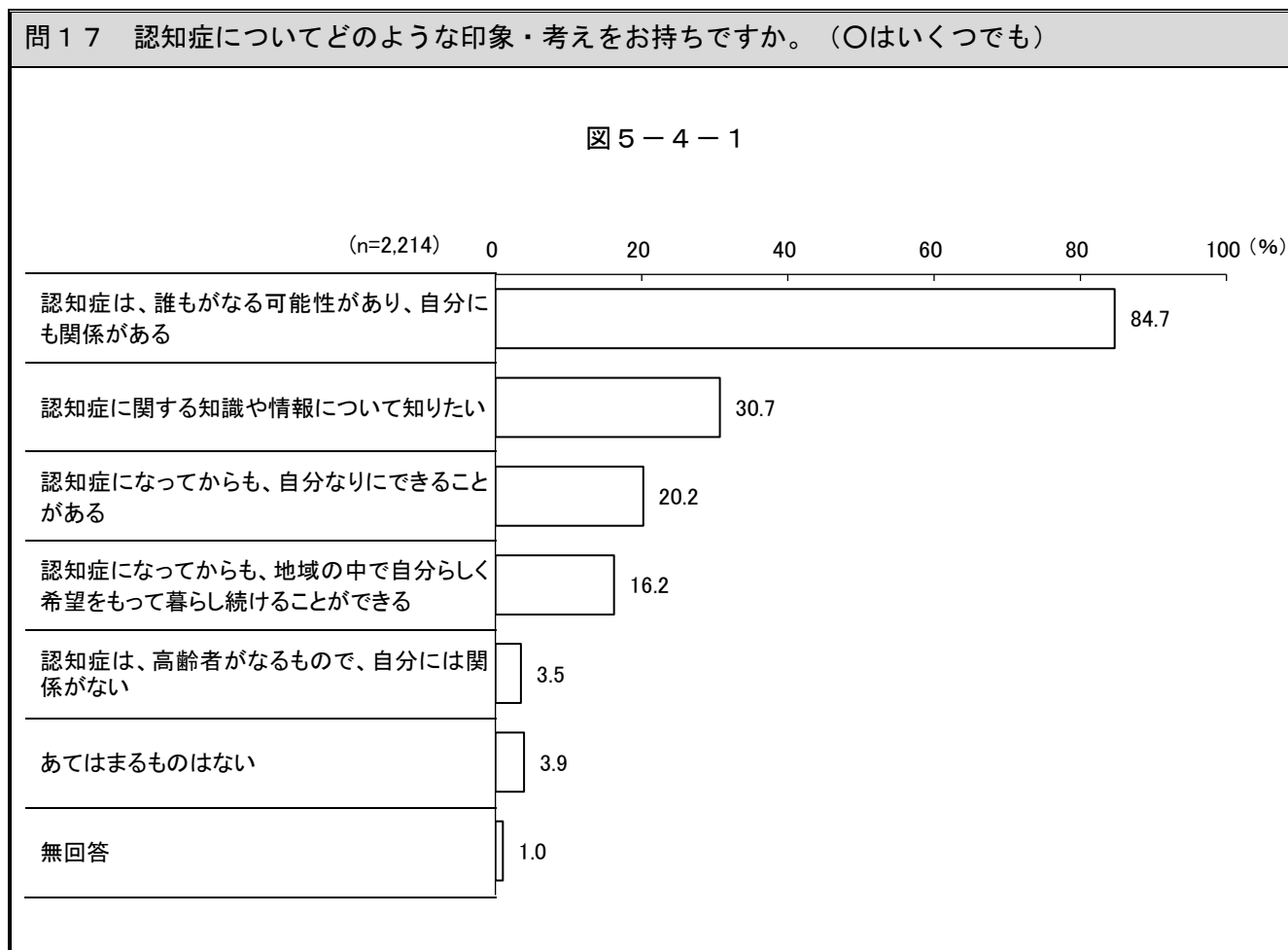


高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は《知っている》が2割近く、《話し合ったことがある》が2割で、高齢家族がいない世帯より高い。

ライフスタイル別にみると、《知らない》は子どもあり（一番上が小・中学生）で9割半ば、15～17歳と子どもあり（一番上が小学校入学前）で9割を超えている。《知っている》は独身（65歳以上）とその他で2割近く、《話し合ったことがある》は独身（65歳以上）とその他で2割半ば、子どもあり（一番上が学業修了）でほぼ2割となっている。（図5-3-3）

（４）認知症についての印象

◎「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」と考えている方が８割半ば



認知症についての印象・考えを聞いたところ、「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」（84.7％）が８割半ばで最も高く、以下、「認知症に関する知識や情報について知りたい」（30.7％）、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」（20.2％）、「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」（16.2％）などと続く。

（図５－４－１）

表 5－4－1 認知症についての印象（性・年齢別）

									(%)
		n	認知症は、 自分にも誰 もがなる可 能性がある	認知症に関 する知識や 情報につい て知りたい	認知症にな ってからも 、自分なり にできるこ とがある	認知症にな ってからも 、地域の中 で自分らし く希望をも つて暮らし 続けること ができる	認知症は、 高齢者が なるもので 、自分には 関係がない	あてはまる ものはない	無 回 答
全 体		2,214	84.7	30.7	20.2	16.2	3.5	3.9	1.0
性・ 年 齢 別	男性全体	865	83.6	27.6	16.0	12.6	3.9	5.2	0.8
	10・20歳代	100	76.0	18.0	8.0	9.0	10.0	7.0	1.0
	30歳代	88	71.6	15.9	15.9	8.0	11.4	9.1	—
	40歳代	117	81.2	27.4	11.1	8.5	8.5	4.3	—
	50歳代	167	82.6	32.3	16.2	9.6	1.8	7.2	1.8
	60歳代	174	90.2	25.9	17.8	13.2	0.6	4.0	—
	70歳代	138	90.6	36.2	21.7	18.1	—	2.2	—
	80歳以上	79	86.1	31.6	19.0	24.1	—	3.8	2.5
	女性全体	1,294	86.1	32.9	23.1	18.6	3.0	3.0	1.1
	10・20歳代	124	67.7	23.4	9.7	6.5	16.1	9.7	0.8
	30歳代	143	83.9	27.3	10.5	8.4	4.9	4.2	—
	40歳代	233	85.8	31.8	12.4	11.2	3.9	3.4	1.3
	50歳代	270	91.1	40.0	21.5	17.4	0.7	1.5	0.7
	60歳代	205	92.2	36.6	33.7	26.3	0.5	1.0	—
70歳代	181	89.0	32.0	42.0	30.9	—	0.6	2.8	
80歳以上	135	83.0	31.1	29.6	28.1	—	4.4	2.2	

性・年齢別にみると、「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」はいずれの年代も6割～9割台と高い。「認知症に関する知識や情報について知りたい」は女性の50歳代で4割、女性の60歳代で4割近く、男性の70歳代で3割半ばとなっている。「認知症になってからも、自分なりにできることがある」は女性の70歳代で4割を超え、女性の60歳代で3割を超えている。「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」は女性の70歳代ではほぼ3割、女性の80歳以上で3割近く、男性の80歳以上、女性の60歳代で2割半ばとなっている。（表5－4－1）

表5-4-2 認知症についての印象（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）

			(%)						
		n	認知症は、 自分にも誰 も関係があ る可能性が ある	認知症に関 する知識や 情報につ いて知りた い	認知症にな ってからで も、自分 なりにでき ることがあ る	認知症にな ってからで も、地域 の中で続け ることがで きる	認知症は、 高齢者が なるもので 、関係がな い	あてはまる ものはない	無 回 答
全 体		2,214	84.7	30.7	20.2	16.2	3.5	3.9	1.0
高齢家族別	いる	991	86.5	33.8	27.5	22.4	1.0	3.1	1.4
	いない	1,197	83.8	28.1	14.3	11.2	5.3	4.6	0.7
ライフスタイル別	15～17歳	41	73.2	26.8	12.2	4.9	14.6	7.3	—
	独身(18歳～39歳)	251	74.5	22.7	11.2	8.4	10.0	7.6	0.4
	独身(40歳～64歳)	233	85.4	33.0	18.5	13.3	3.9	4.7	0.9
	独身(65歳以上)	169	89.9	33.1	26.0	20.7	—	3.0	—
	子どもあり(一番上が小学校入学前)	114	77.2	23.7	8.8	7.9	8.8	6.1	0.9
	子どもあり(一番上が小・中学生)	183	80.3	27.3	10.4	7.7	7.1	4.9	0.5
	子どもあり(一番上が高校・大学生など)	187	92.0	34.8	16.0	13.4	—	2.1	0.5
	子どもあり(一番上が学業修了)	308	89.9	31.2	26.6	20.1	0.3	1.9	0.3
	夫婦のみ(本人が18～39歳)	68	73.5	22.1	16.2	5.9	13.2	8.8	1.5
	夫婦のみ(本人が40～64歳)	177	88.7	36.7	17.5	18.1	0.6	3.4	1.1
	夫婦のみ(本人が65歳以上)	325	88.9	33.2	32.3	27.4	—	1.5	1.8
	その他	113	80.5	39.8	28.3	23.0	—	5.3	3.5

高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は「認知症になってからも、自分なりにできることがある」が3割近く、「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」が2割を超え、いずれも高齢家族がいない世帯に比べ高い。

ライフスタイル別にみると、「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」は子どもあり（一番上が高校・大学生など）で9割を超え、独身（65歳以上）と子どもあり（一番上が学業修了）で9割となっている。「認知症に関する知識や情報について知りたい」はその他で4割、夫婦のみ（本人が40～64歳）で4割近く、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」は夫婦のみ（本人が65歳以上）で3割を超え、子どもあり（一番上が学業修了）とその他で3割近くとなっている。（表5-4-2）

6. 災害時の備え

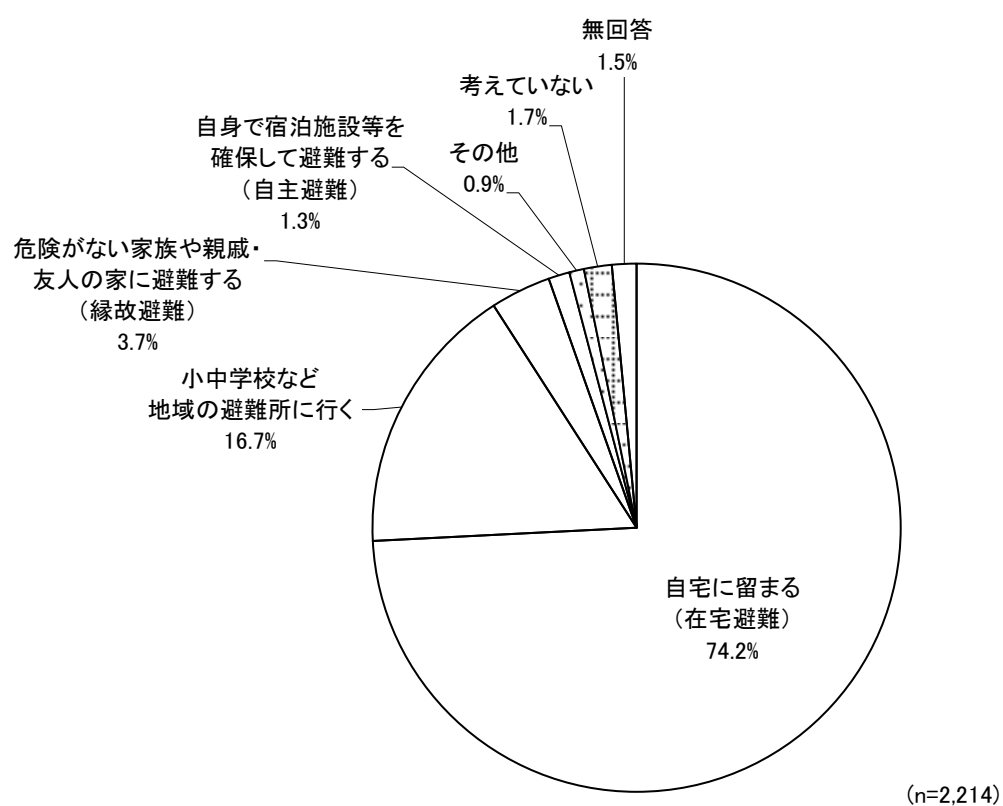
(1) 大地震の際の避難行動

◎「自宅に留まる（在宅避難）」が7割半ば

問18 あなたは震度6強（※）の大きな地震が発生し、自宅が無事で危険がない場合、どのような避難行動をとると思いますか。（○は1つ）

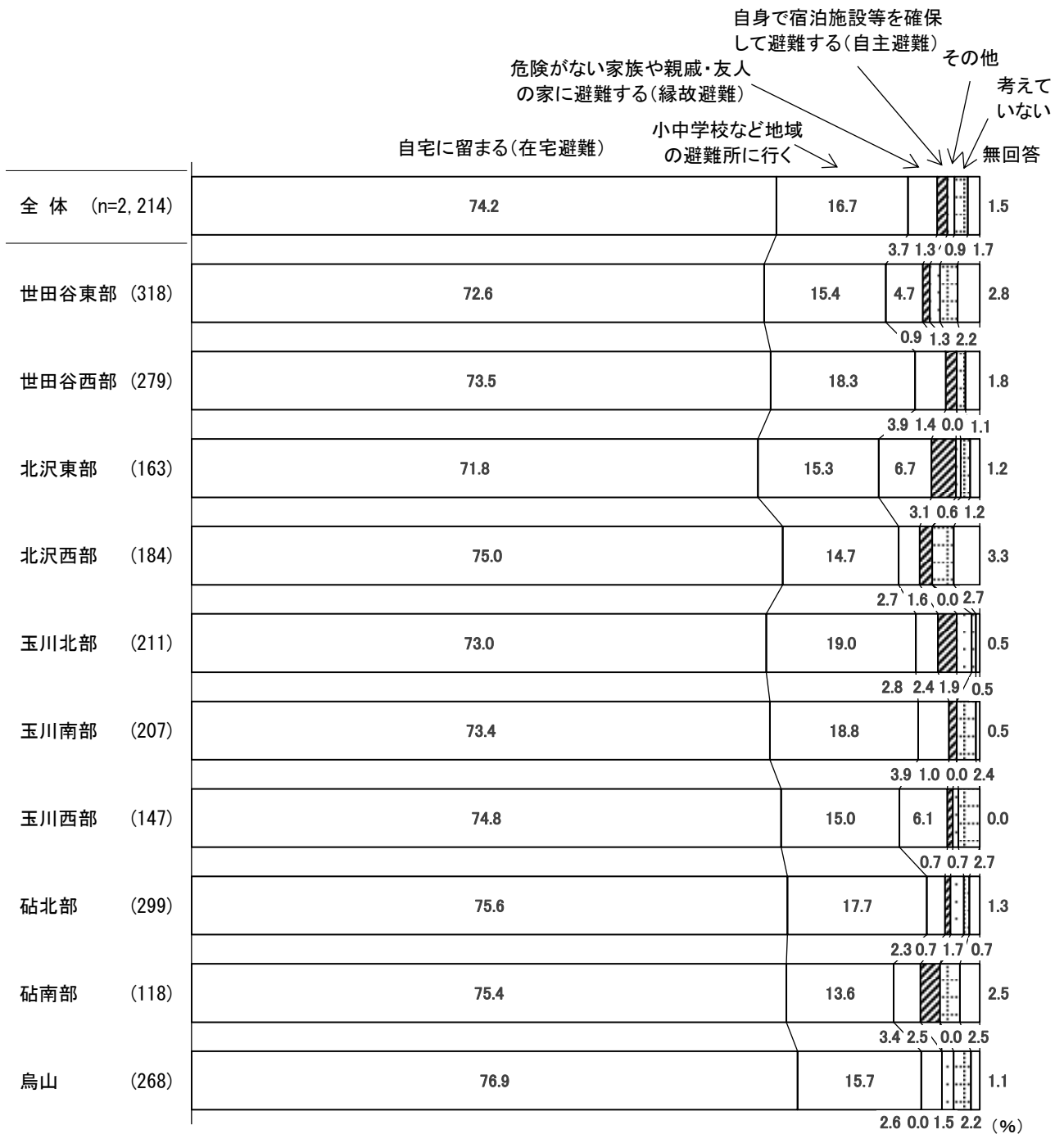
※首都直下地震では世田谷区の約7割の面積で震度6強が観測されると想定されています。

図6-1-1



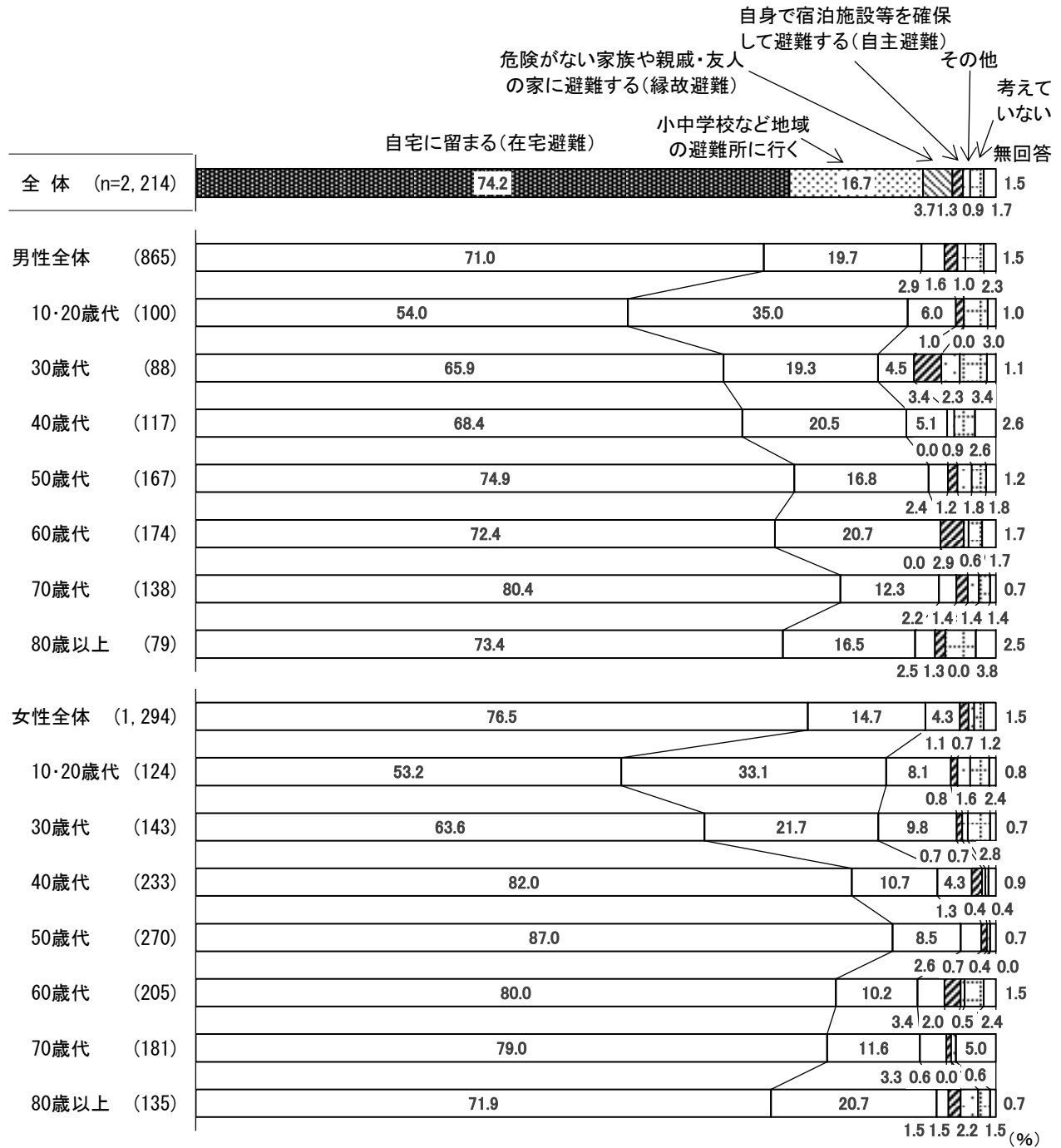
大地震の際に自宅が無事で危険がない場合の避難行動を聞いたところ、「自宅に留まる（在宅避難）」（74.2%）が7割半ばで最も高く、以下、「小中学校など地域の避難所に行く」（16.7%）、「危険がない家族や親戚・友人の家に避難する（縁故避難）」（3.7%）などと続く。（図6-1-1）

図 6 - 1 - 2 大地震の際の避難行動（地域別）



地域別にみると、「自宅に留まる（在宅避難）」はすべての地域で7割台となっている。「小中学校など地域の避難所に行く」は玉川北部ではほぼ2割、玉川南部、世田谷西部、砧北部で2割近くとなっている。（図 6 - 1 - 2）

図 6-1-3 大地震の際の避難行動（性・年齢別）



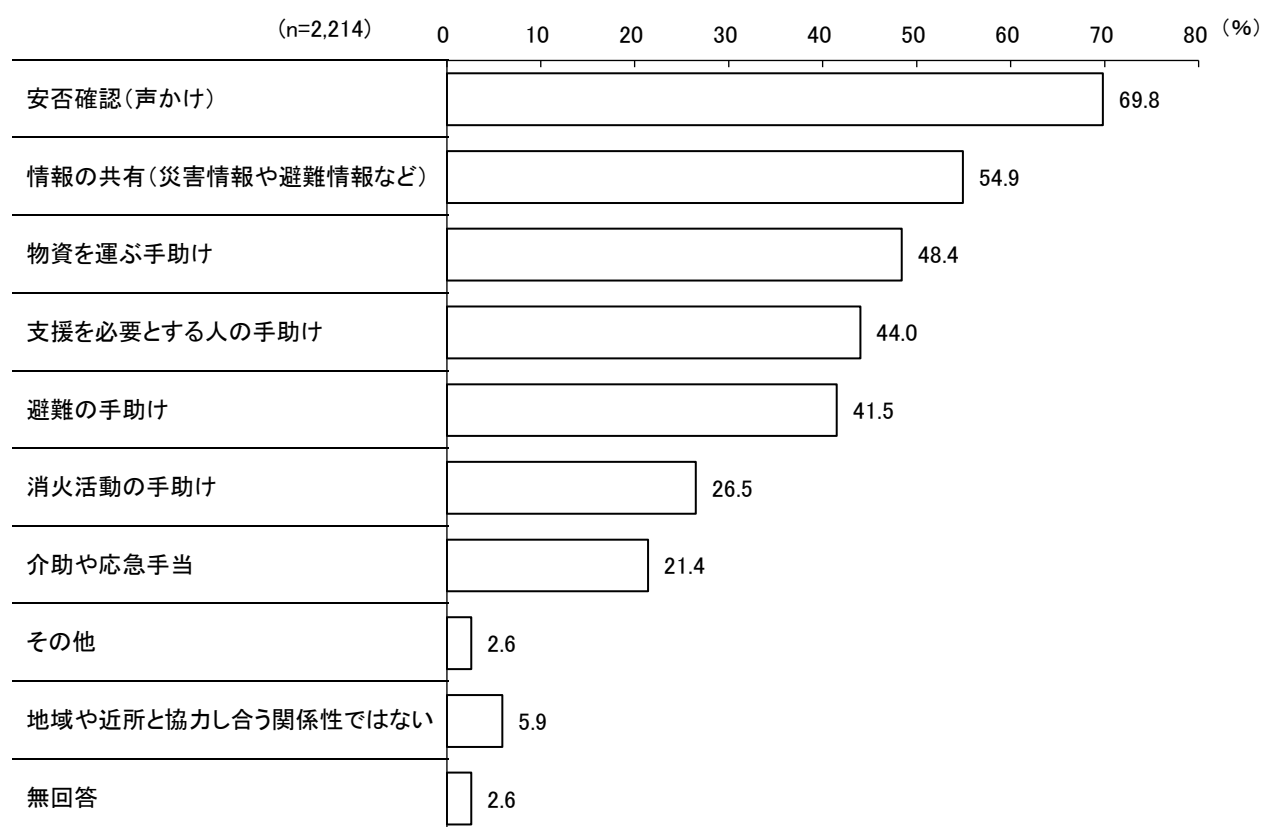
性・年齢別にみると、「自宅に留まる（在宅避難）」は女性の 50 歳代で 9 割近く、女性の 40 歳代で 8 割を超え、男性の 70 歳代、女性の 60 歳代で 8 割、女性の 70 歳代でほぼ 8 割となっている。「小中学校など地域の避難所に行く」は男性の 10・20 歳代で 3 割半ば、女性の 10・20 歳代で 3 割を超えている。（図 6-1-3）

（２）災害時にできる住民同士の助け合い

◎「安否確認（声かけ）」が７割

問１９ あなたは、災害時に地域や近所の住民同士でどのような手助けができると思いますか。自分ができること、やりたいと思うことをお答えください。（○はいくつでも）

図６－２－１



災害時に住民同士でどのような手助けができるか聞いたところ、「安否確認（声かけ）」（69.8%）が７割で最も高く、以下、「情報の共有（災害情報や避難情報など）」（54.9%）、「物資を運ぶ手助け」（48.4%）、「支援を必要とする人の手助け」（44.0%）、「避難の手助け」（41.5%）などと続く。（図６－２－１）

表 6－2－1 災害時にできる住民同士の助け合い（地域別）

(%)												
		n	安否確認（声かけ）	情報の共有（災害情報や避難情報など）	物資を運ぶ手助け	支援を必要とする人の手助け	避難の手助け	消火活動の手助け	介助や応急手当	その他	地域や近所と協力し合う関係性ではない	無回答
全 体		2,214	69.8	54.9	48.4	44.0	41.5	26.5	21.4	2.6	5.9	2.6
地域別	世田谷東部	318	67.3	52.8	51.6	43.7	43.7	25.2	18.9	1.6	4.7	2.5
	世田谷西部	279	70.6	52.3	44.1	43.7	40.5	27.2	21.9	1.8	6.1	3.9
	北沢東部	163	71.2	58.3	54.6	45.4	40.5	33.1	23.3	1.2	5.5	—
	北沢西部	184	74.5	59.2	46.7	39.7	41.8	27.7	21.7	2.2	4.9	5.4
	玉川北部	211	73.9	60.2	46.4	49.8	43.6	25.1	23.7	6.6	5.2	2.4
	玉川南部	207	67.6	54.6	54.6	50.2	48.3	25.1	21.7	2.9	7.7	1.4
	玉川西部	147	71.4	57.8	45.6	48.3	42.2	26.5	20.4	2.0	2.0	4.8
	砧北部	299	70.2	51.5	45.8	42.5	37.8	24.7	21.7	2.7	6.0	1.7
	砧南部	118	66.9	55.1	49.2	36.4	35.6	25.4	21.2	1.7	9.3	2.5
	烏山	268	66.4	54.5	48.9	41.8	39.9	27.6	21.3	3.4	7.5	1.9

地域別にみると、「安否確認（声かけ）」は北沢西部で7割半ば、玉川北部、玉川西部、北沢東部で7割を超え、世田谷西部ではほぼ7割、砧北部で7割となっている。「情報の共有（災害情報や避難情報など）」は玉川北部で6割、北沢西部ではほぼ6割、北沢東部、玉川西部で6割近くとなっている。

「物資を運ぶ手助け」は北沢東部、玉川南部で5割半ば、世田谷東部で5割を超え、「支援を必要とする人の手助け」は玉川南部、玉川北部で5割、玉川西部で5割近くとなっている。

（表 6－2－1）

表 6－2－2 災害時にできる住民同士の助け合い（性・年齢別）

(%)												
		安否確認（声かけ）	情報の共有（災害情報や避難情報など）	物資を運ぶ手助け	支援を必要とする人の手助け	避難の手助け	消火活動の手助け	介助や応急手当	その他	地域や近所と協力し合う関係性ではない	無回答	
全 体		2,214	69.8	54.9	48.4	44.0	41.5	26.5	21.4	2.6	5.9	2.6
性・年齢別	男性全体	865	64.7	49.5	54.5	43.6	47.2	34.9	19.9	3.4	5.4	1.8
	10・20歳代	100	51.0	38.0	56.0	39.0	45.0	24.0	20.0	1.0	14.0	1.0
	30歳代	88	59.1	53.4	65.9	45.5	53.4	34.1	22.7	2.3	6.8	－
	40歳代	117	68.4	55.6	69.2	45.3	52.1	41.9	26.5	0.9	5.1	0.9
	50歳代	167	62.3	53.3	65.3	48.5	52.1	43.1	20.4	4.8	3.0	1.2
	60歳代	174	68.4	44.3	51.7	44.3	50.6	37.9	20.7	5.2	5.2	0.6
	70歳代	138	74.6	58.7	44.9	46.4	44.2	31.2	18.8	2.2	3.6	1.4
	80歳以上	79	63.3	39.2	19.0	27.8	24.1	21.5	6.3	6.3	2.5	10.1
	女性全体	1,294	73.6	59.2	45.4	45.3	38.3	21.3	22.6	2.2	6.0	2.9
	10・20歳代	124	63.7	57.3	63.7	40.3	46.0	16.9	25.8	－	7.3	1.6
	30歳代	143	63.6	60.8	50.3	47.6	40.6	25.9	23.1	2.8	9.8	0.7
	40歳代	233	76.8	66.5	59.7	53.2	48.5	31.3	32.6	0.4	5.6	0.9
	50歳代	270	77.0	63.0	58.1	51.5	45.9	25.6	28.5	2.2	5.2	0.7
	60歳代	205	75.6	61.5	43.4	48.8	38.0	22.4	19.5	1.5	4.4	2.0
	70歳代	181	80.1	59.7	23.2	45.3	25.4	12.7	13.3	3.3	6.6	5.0
	80歳以上	135	68.1	35.6	6.7	16.3	14.1	3.7	8.1	5.9	5.2	13.3

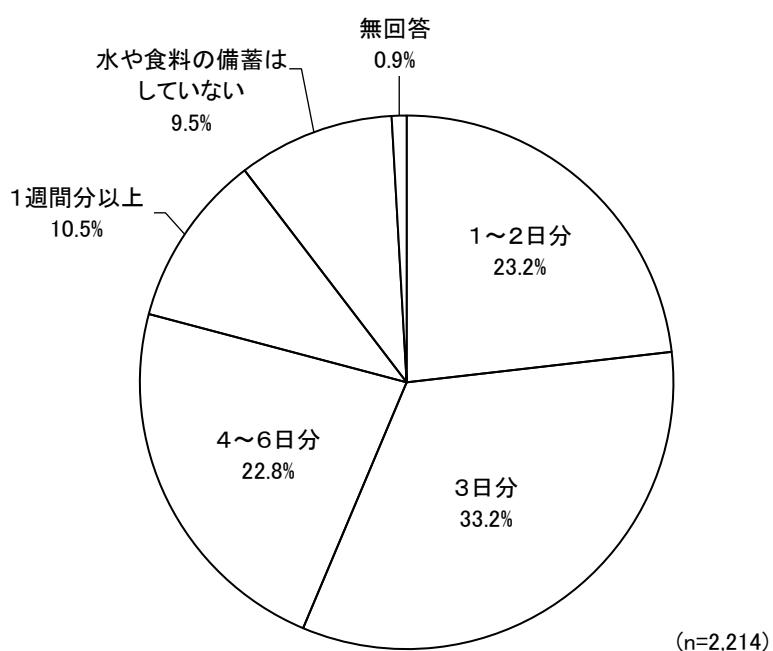
性・年齢別にみると、男性は「物資を運ぶ手助け」、「避難の手助け」、「消火活動の手助け」が女性より高く、女性は「安否確認（声かけ）」、「情報の共有（災害情報や避難情報など）」が男性より高い傾向にある。一方、「地域や近所と協力し合う関係性ではない」は男性の10・20歳代で1割半ば、女性の30歳代で1割となっている。（表6－2－2）

（３）水や食料の備蓄について

◎水や食料の備蓄は「３日分」が３割を超える

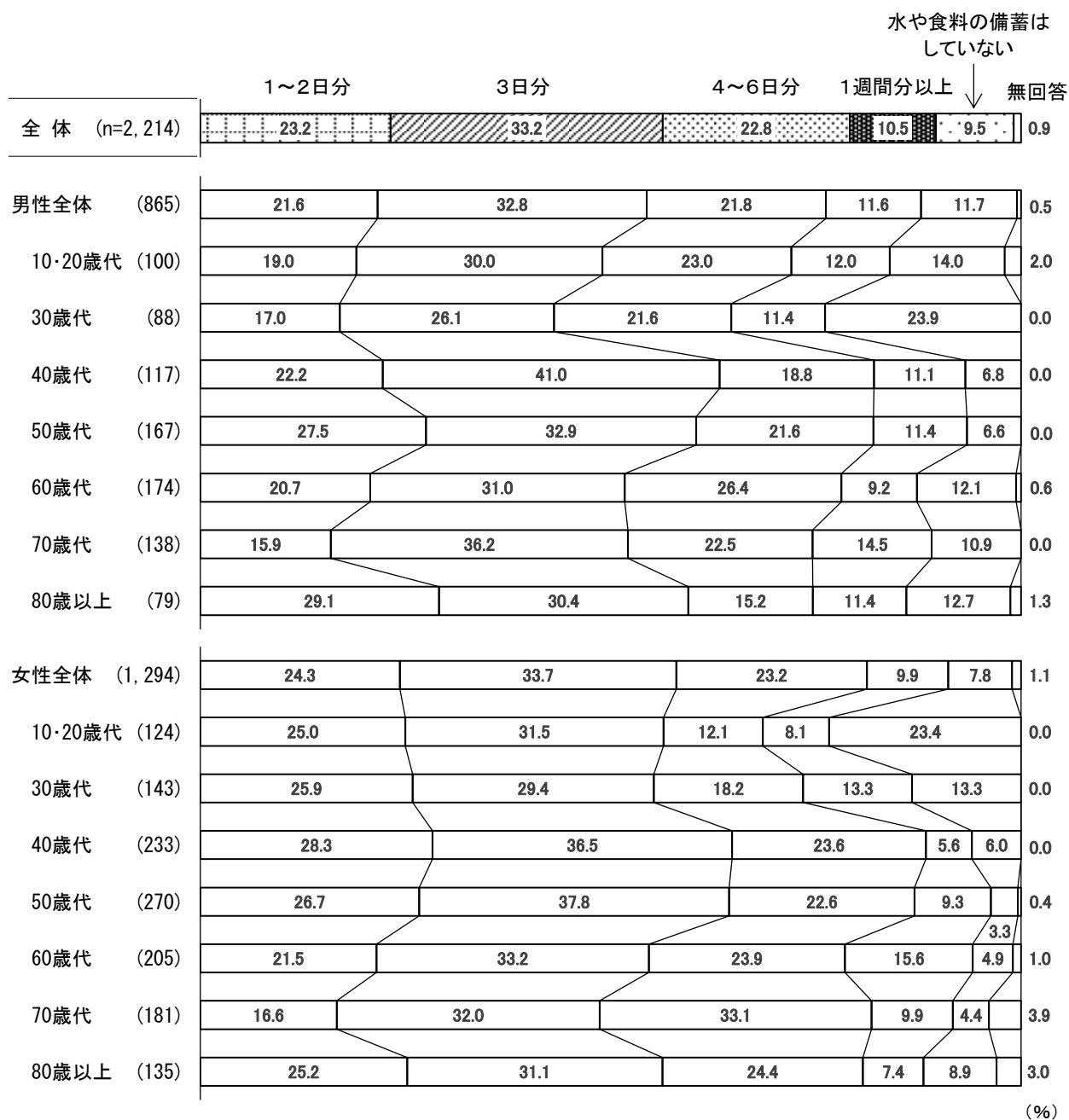
問２０ あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。（○は１つ）

図６－３－１



災害に備えて水や食料を何日分備蓄しているか聞いたところ、「３日分」（33.2%）が３割を超えて最も高く、以下、「１～２日分」（23.2%）、「４～６日分」（22.8%）などと続く。「水や食料の備蓄はしていない」（9.5%）は１割となっている。（図６－３－１）

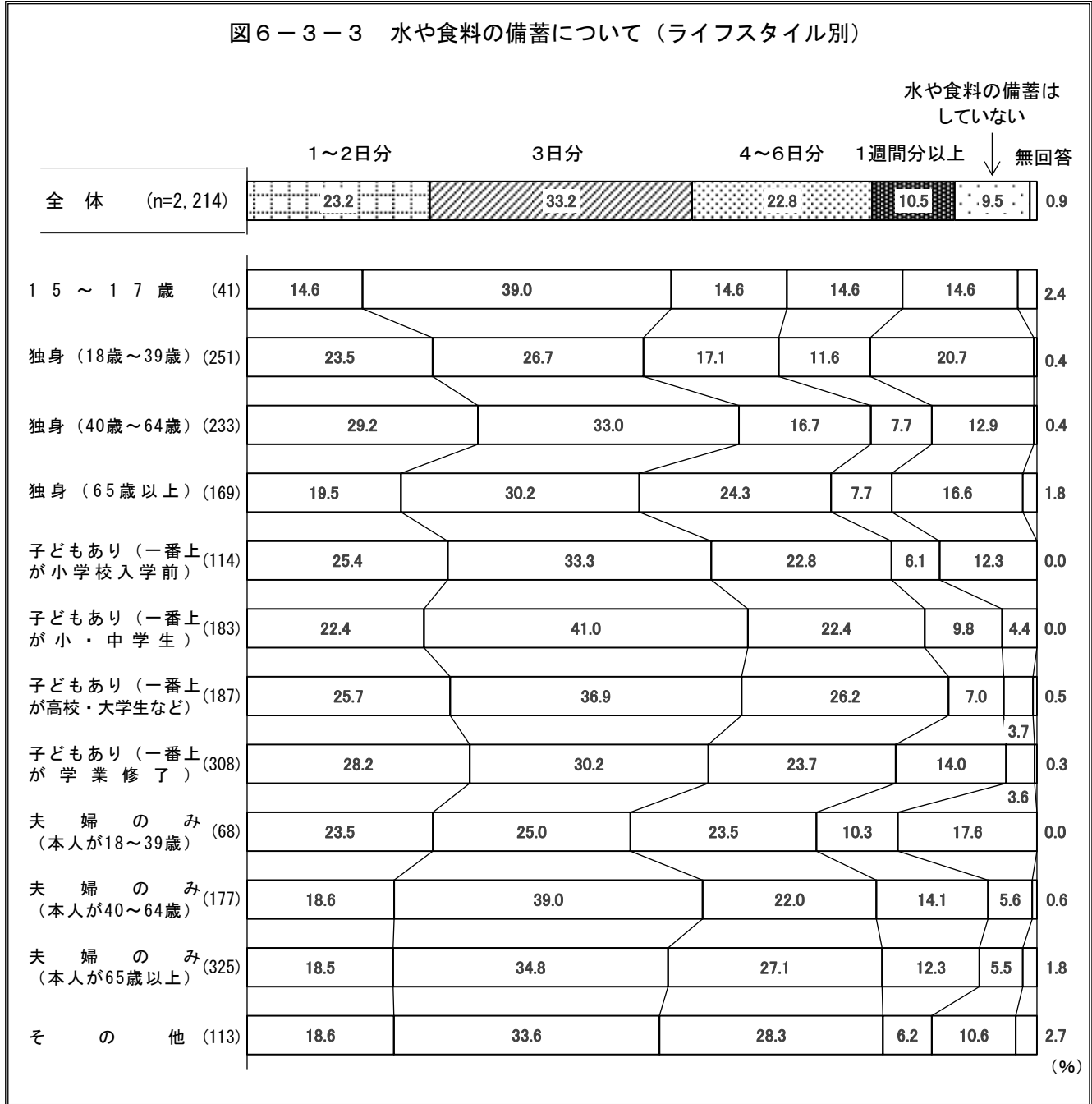
図 6-3-2 水や食料の備蓄について（性・年齢別）



性・年齢別にみると、3日分以上（「3日分」＋「4～6日分」＋「1週間分以上」）の水や食料を備蓄している割合は、すべての年代で5割を超えており、女性の70歳代で7割半ば、男性の70歳代、女性の60歳代で7割を超え、男性の40歳代でほぼ7割、女性の50歳代で7割となっている。「水や食料の備蓄はしていない」は男性の30歳代、女性の10・20歳代で2割を超えている。

（図 6-3-2）

図 6-3-3 水や食料の備蓄について（ライフスタイル別）



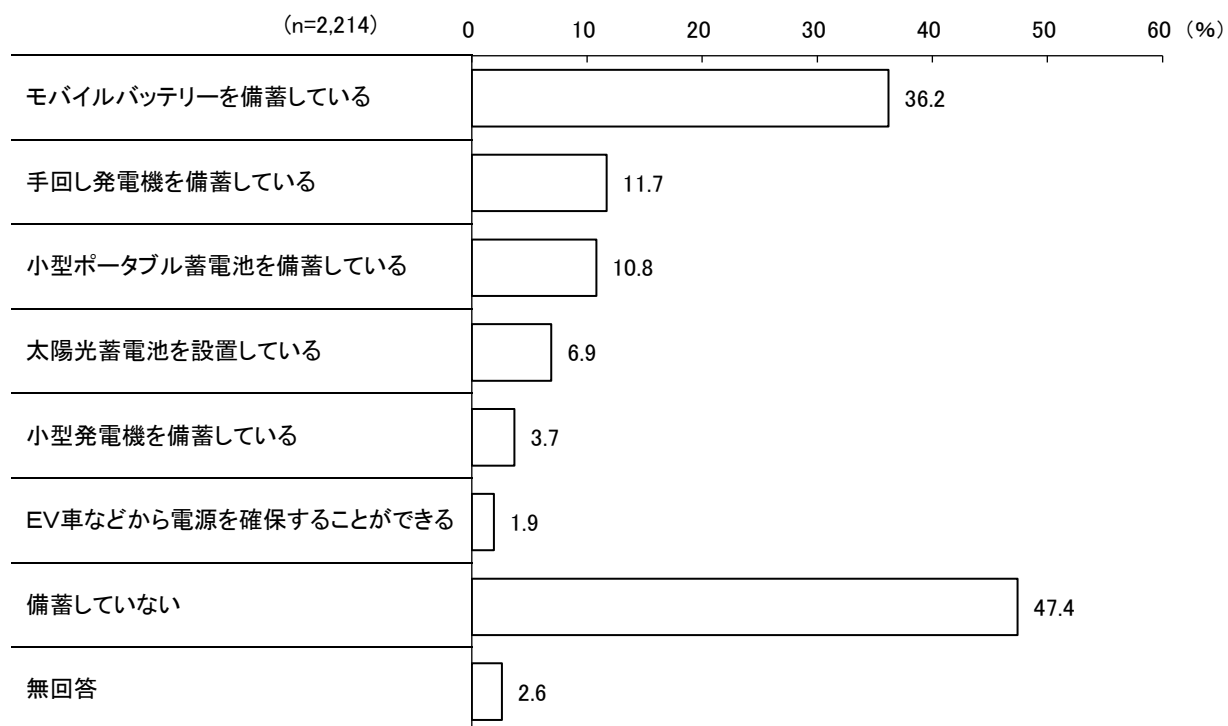
ライフスタイル別にみると、3日分以上（「3日分」＋「4～6日分」＋「1週間分以上」）の水や食料を備蓄している割合は、夫婦のみ（本人が40～64歳）と夫婦のみ（本人が65歳以上）で7割半ば、子どもあり（一番上が小・中学生）で7割を超え、子どもあり（一番上が高校・大学生など）で7割となっている。「1～2日分」は独身（40歳～64歳）でほぼ3割、子どもあり（一番上が学業修了）で3割近く、「水や食料の備蓄はしていない」は独身（18歳～39歳）でほぼ2割、独身（65歳以上）と夫婦のみ（本人が18～39歳）で2割近くとなっている。（図6-3-3）

（４）非常用電力の備蓄について

◎非常用電力は「備蓄していない」が５割近く

問２１ あなたのご家庭では、災害に備えて非常用電力の備蓄をしていますか。（○はいくつでも）

図６－４－１



災害時に備えた非常用電力を備蓄しているか聞いたところ、「備蓄していない」（47.4%）が５割近くで最も高い。備蓄している中では、「モバイルバッテリーを備蓄している」（36.2%）が３割半ばで最も高く、以下、「手回し発電機を備蓄している」（11.7%）、「小型ポータブル蓄電池を備蓄している」（10.8%）などと続く。（図６－４－１）

表 6－4－1 非常用電力の備蓄について（性・年齢別）

		(%)								
		n	モバイルバッテリーを備蓄している	手回し発電機を備蓄している	小型ポータブル蓄電池を備蓄している	太陽光蓄電池を設置している	小型発電機を備蓄している	EV車などから電源を確保することができる	備蓄していない	無回答
全 体		2,214	36.2	11.7	10.8	6.9	3.7	1.9	47.4	2.6
性・年齢別	男性全体	865	34.1	8.7	10.8	5.4	2.8	1.5	52.5	1.6
	10・20歳代	100	51.0	10.0	15.0	5.0	4.0	2.0	32.0	4.0
	30歳代	88	42.0	15.9	9.1	4.5	4.5	—	47.7	—
	40歳代	117	47.0	11.1	20.5	6.0	3.4	1.7	39.3	—
	50歳代	167	41.3	10.8	13.8	7.2	0.6	2.4	44.9	1.8
	60歳代	174	32.2	5.7	6.9	4.6	3.4	1.7	55.7	1.1
	70歳代	138	17.4	5.8	4.3	5.8	1.4	1.4	71.0	0.7
	80歳以上	79	3.8	2.5	6.3	3.8	3.8	—	79.7	3.8
	女性全体	1,294	37.7	14.1	11.1	7.9	4.6	2.2	43.7	3.1
	10・20歳代	124	43.5	18.5	4.8	9.7	6.5	3.2	42.7	3.2
	30歳代	143	54.5	16.1	12.6	5.6	4.9	1.4	32.9	—
	40歳代	233	50.6	17.2	12.4	8.2	3.9	3.0	32.2	0.9
	50歳代	270	45.2	18.5	14.8	11.1	4.1	2.2	35.6	1.5
	60歳代	205	34.1	10.2	14.1	5.4	4.9	2.0	49.8	2.4
	70歳代	181	19.9	9.4	7.7	8.3	3.3	3.3	57.5	6.1
	80歳以上	135	7.4	5.9	5.2	5.2	5.9	—	63.7	10.4

性・年齢別にみると、「備蓄していない」は若年層より高年層の方が高く、男性の80歳以上で8割、男性の70歳代で7割を超え、女性の80歳以上で6割を超えている。「モバイルバッテリーを備蓄している」は若年層が高く、女性の30歳代で5割半ば、男性の10・20歳代で5割を超え、女性の40歳代ではほぼ5割となっている。「手回し発電機を備蓄している」は女性の10・20歳代と40歳代、50歳代で2割近く、男性の30歳代、女性の30歳代で1割半ばとなっている。（表6－4－1）

表 6－4－2 非常用電力の備蓄について（ライフスタイル別）

			モバイルバッテリーを備蓄している	手回し発電機を備蓄している	小型ポータブル蓄電池を備蓄している	太陽光蓄電池を設置している	小型発電機を備蓄している	EV車などから電源を確保することができる	備蓄していない	無回答
		n								(%)
全 体		2,214	36.2	11.7	10.8	6.9	3.7	1.9	47.4	2.6
ライフスタイル別	15～17歳	41	46.3	19.5	4.9	14.6	7.3	4.9	39.0	4.9
	独身(18歳～39歳)	251	49.4	16.3	9.6	5.6	4.8	1.6	37.8	2.0
	独身(40歳～64歳)	233	37.8	11.2	5.6	3.4	1.7	0.4	50.2	0.9
	独身(65歳以上)	169	11.8	5.3	6.5	4.1	2.4	—	69.8	5.3
	子どもあり(一番上が小学校入学前)	114	52.6	7.0	16.7	7.0	4.4	2.6	38.6	0.9
	子どもあり(一番上が小・中学生)	183	51.4	16.9	18.6	8.2	2.2	1.6	30.1	—
	子どもあり(一番上が高校・大学生など)	187	46.0	17.6	19.3	13.4	4.8	4.8	33.2	1.1
	子どもあり(一番上が学業修了)	308	41.2	11.4	12.0	8.4	6.2	1.3	43.2	1.3
	夫婦のみ(本人が18～39歳)	68	47.1	13.2	11.8	4.4	7.4	1.5	36.8	1.5
	夫婦のみ(本人が40～64歳)	177	36.2	9.6	13.6	4.5	1.1	3.4	48.6	2.8
	夫婦のみ(本人が65歳以上)	325	17.2	8.9	6.2	6.5	2.5	2.5	64.9	4.0
	その他	113	19.5	9.7	6.2	6.2	5.3	0.9	61.1	4.4

ライフスタイル別にみると、「備蓄していない」は独身（65歳以上）で7割、夫婦のみ（本人が65歳以上）で6割半ば、その他で6割を超えている。「モバイルバッテリーを備蓄している」は子どもあり（一番上が小学校入学前）と子どもあり（一番上が小・中学生）で5割を超え、独身（18歳～39歳）ではほぼ5割、「手回し発電機を備蓄している」は15～17歳で2割、「小型ポータブル蓄電池を備蓄している」は子どもあり（一番上が高校・大学生など）ではほぼ2割となっている。

（表 6－4－2）

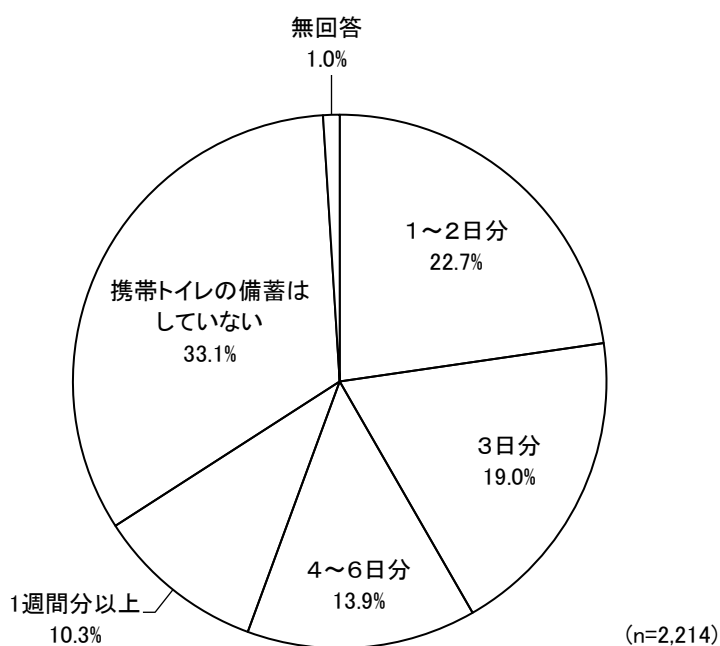
(5) 携帯トイレの備蓄について

◎「携帯トイレの備蓄はしていない」が3割を超える

問22 あなたのご家庭では、携帯トイレを何日分備蓄していますか。(○は1つ)

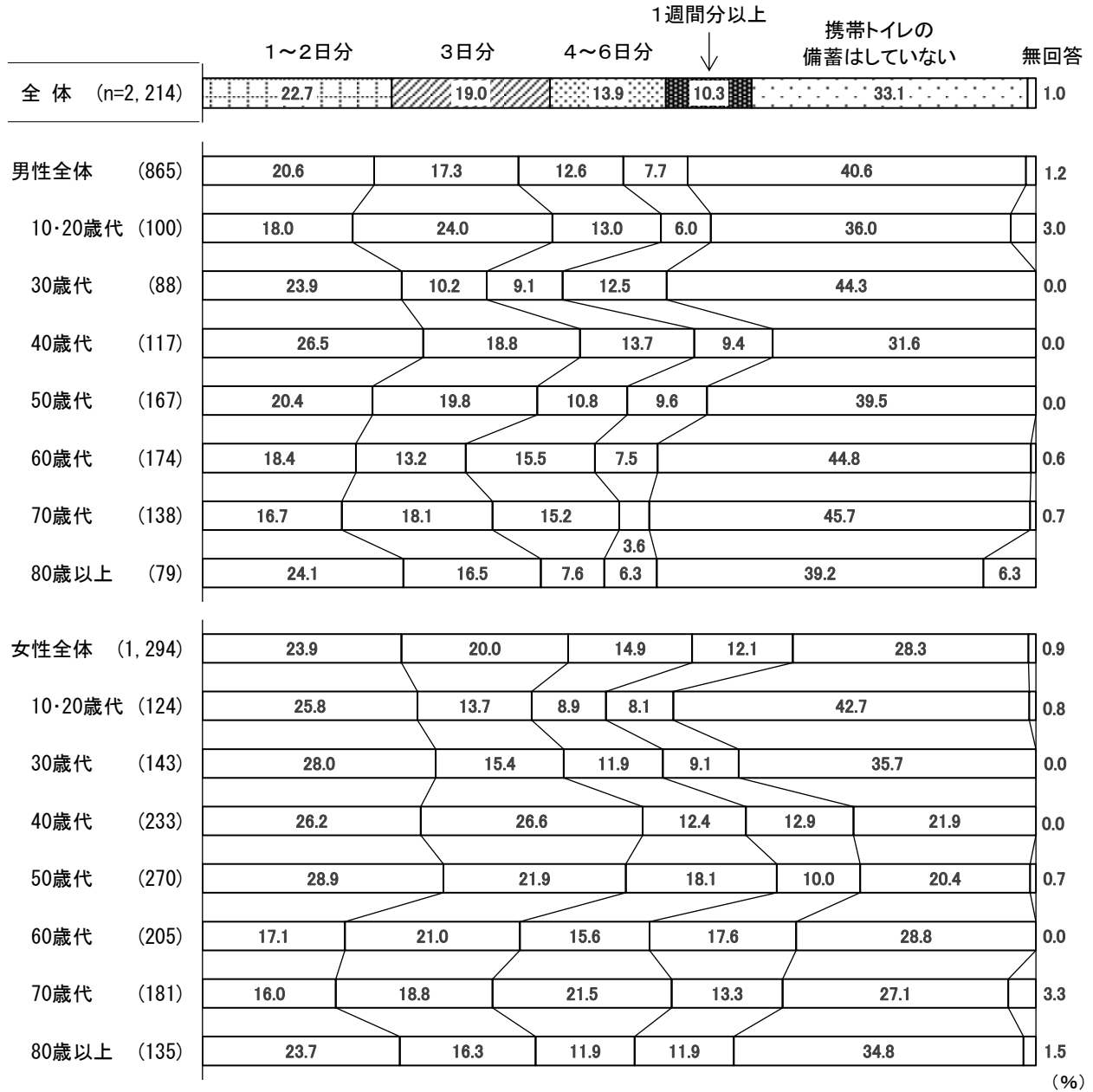
※備蓄の目安：1人1日約5回×家族分

図6-5-1



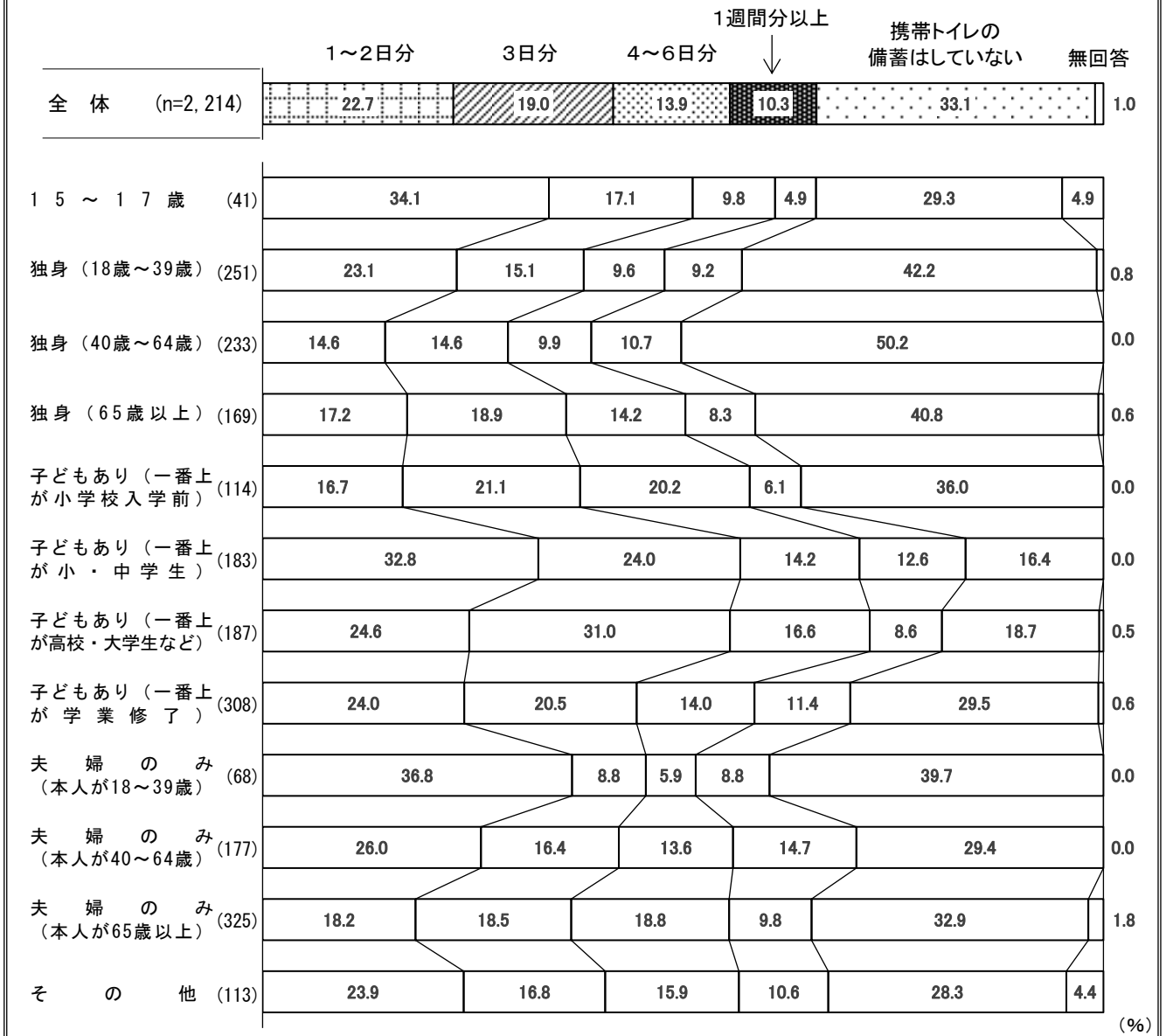
災害に備えて携帯トイレを何日分備蓄しているか聞いたところ、「携帯トイレの備蓄はしていない」(33.1%)が3割を超えて最も高い。備蓄している中では、「1～2日分」(22.7%)、「3日分」(19.0%)、「4～6日分」(13.9%)、「1週間分以上」(10.3%)と続く。(図6-5-1)

図 6-5-2 携帯トイレの備蓄について（性・年齢別）



性・年齢別にみると、3日分以上（「3日分」＋「4～6日分」＋「1週間分以上」）の携帯トイレを備蓄している割合は、女性の60歳代で5割半ば、女性の40歳代と70歳代で5割を超え、女性の50歳代で5割となっている。「携帯トイレの備蓄はしていない」は男性の30歳代と60歳代、70歳代で4割半ば、女性の10・20歳代で4割を超えている。（図6-5-2）

図6-5-3 携帯トイレの備蓄について（ライフスタイル別）



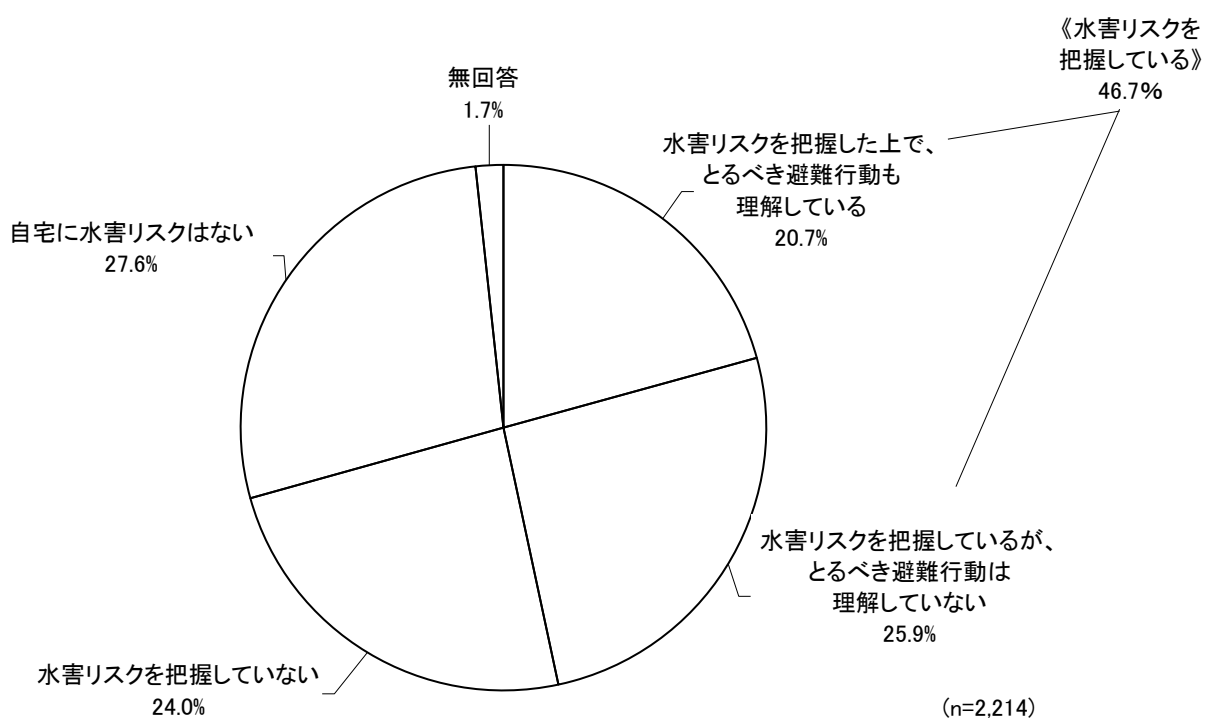
ライフスタイル別にみると、3日以上（「3日分」＋「4～6日分」＋「1週間分以上」）の携帯トイレを備蓄している割合は、子どもあり（一番上が高校・大学生など）で5割半ば、子どもあり（一番上が小・中学生）でほぼ5割、子どもあり（一番上が小学校入学前）と夫婦のみ（本人が65歳以上）で5割近くとなっている。「1～2日分」は夫婦のみ（本人が18～39歳）で4割近く、15～17歳で3割半ば、「携帯トイレの備蓄はしていない」は独身（40歳～64歳）で5割、独身（18歳～39歳）で4割を超え、独身（65歳以上）でほぼ4割、夫婦のみ（本人が18～39歳）で4割となっている。（図6-5-3）

（６）自宅の水害リスクの把握度

◎ 《水害リスクを把握している》が５割近く

問２３ あなたは、ハザードマップ等により、ご自宅の水害リスクを把握していますか。
(○は１つ)

図６－６－１



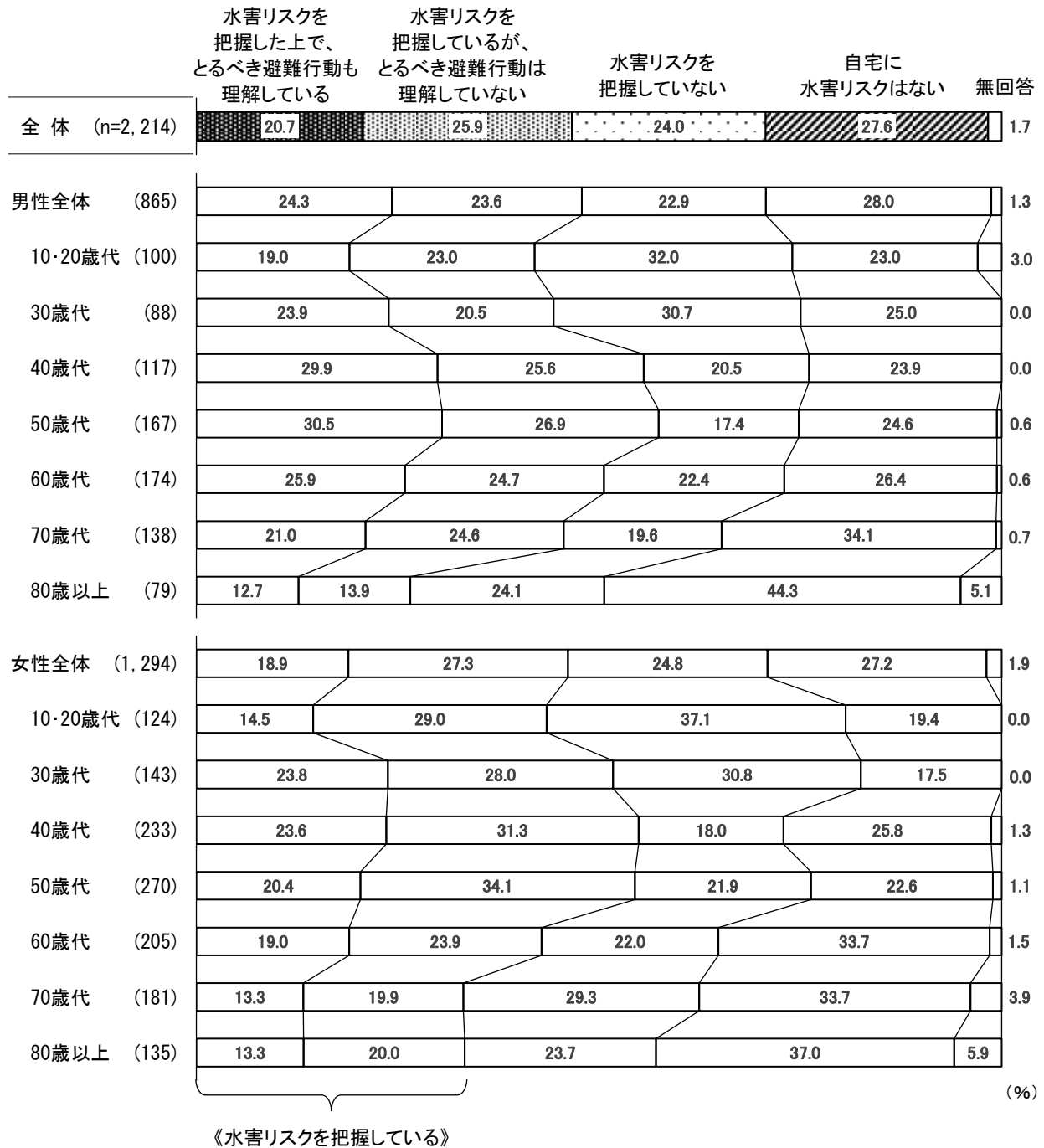
自宅の水害リスクを把握しているか聞いたところ、「自宅に水害リスクはない」（27.6％）が３割近くで最も高い。「水害リスクを把握した上で、とるべき避難行動も理解している」（20.7％）がほぼ２割、「水害リスクを把握しているが、とるべき避難行動は理解していない」（25.9％）が２割半ばで、両者を合わせた《水害リスクを把握している》が５割近くとなっている。「水害リスクを把握していない」（24.0％）は２割半ばとなっている。（図６－６－１）

図 6-6-2 自宅の水害リスクの把握度（地域別）

	水害リスクを 把握した上で、 とるべき避難行動も 理解している	水害リスクを 把握しているが、 とるべき避難行動は 理解していない	水害リスクを 把握していない	自宅に 水害リスクはない	無回答
全 体 (n=2,214)	20.7	25.9	24.0	27.6	1.7
世田谷東部 (318)	16.4	27.7	26.7	27.0	2.2
世田谷西部 (279)	19.0	23.7	30.5	25.8	1.1
北沢東部 (163)	15.3	24.5	34.4	24.5	1.2
北沢西部 (184)	16.3	21.2	25.5	34.8	2.2
玉川北部 (211)	23.2	25.1	21.8	28.0	1.9
玉川南部 (207)	20.3	25.6	23.2	29.5	1.4
玉川西部 (147)	29.3	32.0	13.6	24.5	0.7
砧北部 (299)	22.4	25.4	20.1	30.1	2.0
砧南部 (118)	33.9	37.3	11.9	13.6	3.4
烏山 (268)	20.9	23.1	24.6	30.6	0.7
《水害リスクを把握している》					(%)

地域別にみると、《水害リスクを把握している》は砧南部で7割を超え、玉川西部で6割を超えている。「水害リスクを把握した上で、とるべき避難行動も理解している」は砧南部で3割を超え、玉川西部ではほぼ3割となっている一方で、「水害リスクを把握しているが、とるべき避難行動は理解していない」は砧南部で4割近く、玉川西部で3割を超えている。「水害リスクを把握していない」は北沢東部で3割半ば、世田谷西部ではほぼ3割となっている。（図6-6-2）

図 6-6-3 自宅の水害リスクの把握度（性・年齢別）

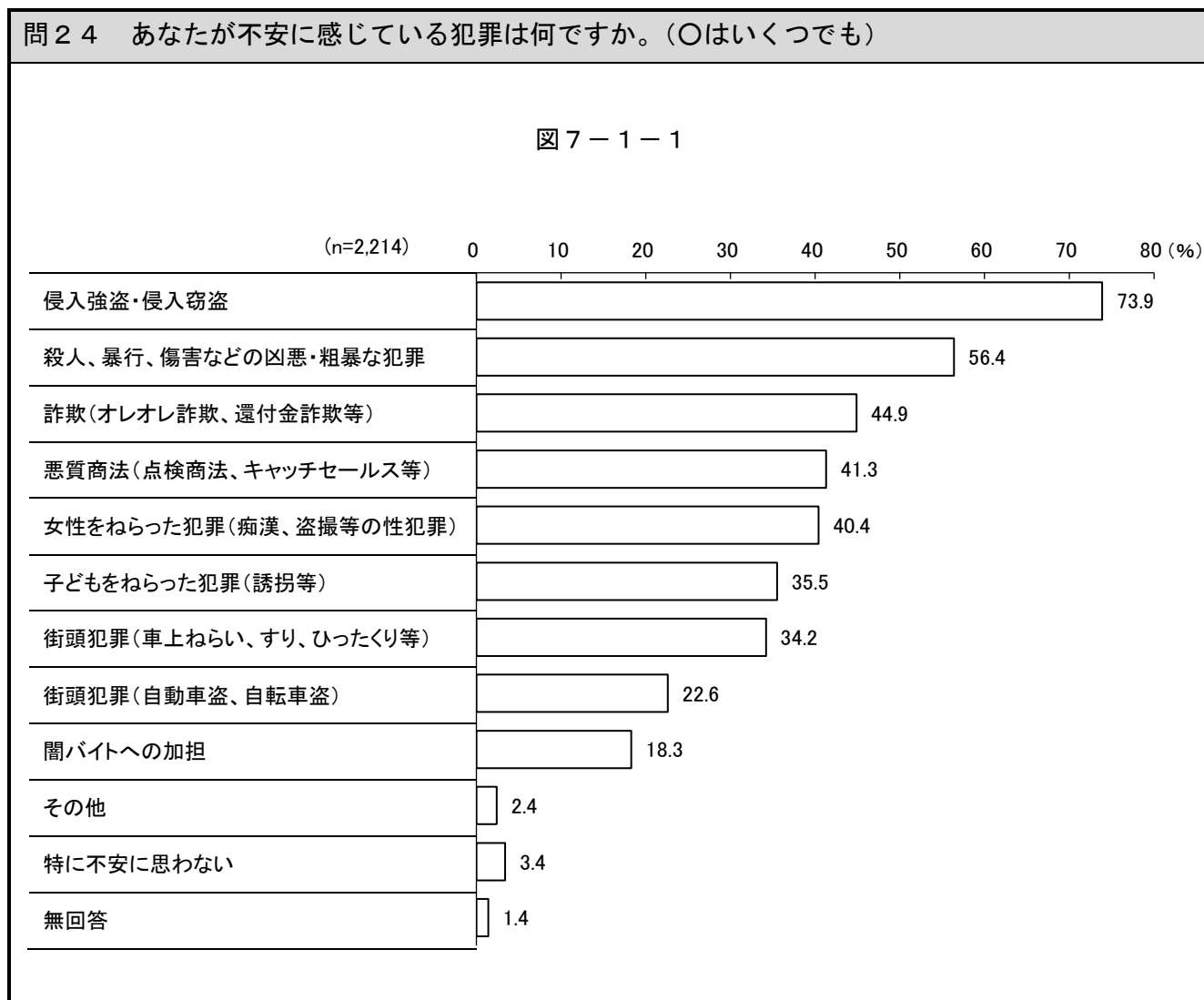


性・年齢別にみると、《水害リスクを把握している》は男性の40歳代～60歳代、女性の30歳代～50歳代で5割台となっている。「水害リスクを把握した上で、とるべき避難行動も理解している」は男性の50歳代でほぼ3割、男性の40歳代で3割、「水害リスクを把握しているが、とるべき避難行動は理解していない」は女性の50歳代で3割半ば、女性の40歳代で3割を超えている。「水害リスクを把握していない」は男女とも30歳代以下で3割台となっている。（図6-6-3）

7. 防犯

(1) 不安に感じている犯罪

◎「侵入強盗・侵入窃盗」が7割を超える



不安に感じている犯罪を聞いたところ、「侵入強盗・侵入窃盗」(73.9%)が7割を超えて最も高く、以下、「殺人、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪」(56.4%)、「詐欺(オレオレ詐欺、還付金詐欺等)」(44.9%)、「悪質商法(点検商法、キャッチセールス等)」(41.3%)、「女性をねらった犯罪(痴漢、盗撮等の性犯罪)」(40.4%)などと続く。(図7-1-1)

表 7-1-1 不安に感じている犯罪（地域別）

														(%)
		n	侵入強盗・侵入窃盗	殺人、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪	詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺等）	悪質商法（点検商法、キャッチセールス等）	女性をねらった犯罪（痴漢、盗撮等の性犯罪）	子どもをねらった犯罪（誘拐等）	街頭犯罪（車上ねらい、すり、ひったくり等）	街頭犯罪（自動車盗、自転車盗）	闇バイトへの加担	その他	特に不安に思わない	無回答
全 体		2,214	73.9	56.4	44.9	41.3	40.4	35.5	34.2	22.6	18.3	2.4	3.4	1.4
地域別	世田谷東部	318	74.2	56.3	44.3	41.5	39.3	32.1	33.6	25.8	21.7	1.6	2.8	1.3
	世田谷西部	279	73.1	56.6	40.5	43.4	45.5	40.5	34.8	20.8	17.9	2.2	2.5	2.9
	北沢東部	163	81.6	60.7	45.4	42.9	38.0	28.2	36.2	22.1	17.8	1.2	1.8	0.6
	北沢西部	184	74.5	54.9	48.4	39.7	42.9	32.1	32.6	19.6	18.5	1.6	3.8	1.1
	玉川北部	211	73.5	50.7	48.8	43.6	33.6	36.5	30.8	23.2	19.9	5.2	2.8	0.5
	玉川南部	207	71.5	52.7	44.4	41.5	33.3	31.9	33.3	20.8	12.1	2.9	6.8	1.0
	玉川西部	147	70.1	59.9	49.0	37.4	36.1	34.0	31.3	19.0	14.3	2.7	4.1	1.4
	砧北部	299	76.6	58.5	45.2	40.8	42.5	39.8	34.4	24.1	17.7	2.3	2.7	1.3
	砧南部	118	72.0	58.5	40.7	39.0	43.2	34.7	36.4	25.4	22.0	2.5	4.2	1.7
	烏山	268	70.9	56.0	42.9	40.3	44.4	37.7	36.2	22.4	20.1	1.9	4.1	1.5

地域別にみると、「侵入強盗・侵入窃盗」は北沢東部で8割を超え、砧北部で8割近く、北沢西部、世田谷東部で7割半ばとなっている。「殺人、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪」は北沢東部でほぼ6割、玉川西部で6割、「詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺等）」は玉川西部でほぼ5割、玉川北部、北沢西部で5割近くとなっている。（表7-1-1）

表 7-1-2 不安に感じている犯罪（性・年齢別）

(%)														
		n	侵入強盗・侵入窃盗	殺人、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪	詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺等）	悪質商法（点検商法、キャッチセールス等）	女性をねらった犯罪（痴漢、盗撮等の性犯罪）	子どもをねらった犯罪（誘拐等）	街頭犯罪（車上ねらい、すり、ひったくり等）	街頭犯罪（自動車盗、自転車盗）	闇バイトへの加担	その他	特に不安に思わない	無回答
全 体		2,214	73.9	56.4	44.9	41.3	40.4	35.5	34.2	22.6	18.3	2.4	3.4	1.4
性・年齢別	男性全体	865	70.3	53.1	44.6	41.6	29.2	31.9	29.1	22.7	20.7	3.1	5.3	1.3
	10・20歳代	100	58.0	55.0	32.0	21.0	23.0	24.0	27.0	17.0	21.0	4.0	11.0	1.0
	30歳代	88	60.2	58.0	30.7	28.4	39.8	48.9	28.4	25.0	25.0	3.4	11.4	-
	40歳代	117	76.9	63.2	35.9	37.6	38.5	56.4	33.3	34.2	27.4	5.1	3.4	0.9
	50歳代	167	73.1	52.1	44.3	43.7	35.3	31.7	34.1	25.1	28.1	0.6	5.4	1.2
	60歳代	174	77.0	51.1	52.3	50.6	21.8	24.7	25.3	20.7	15.5	4.6	2.3	1.1
	70歳代	138	69.6	45.7	58.7	54.3	29.0	27.5	30.4	23.2	13.0	2.9	3.6	0.7
	80歳以上	79	67.1	48.1	48.1	40.5	15.2	10.1	21.5	7.6	13.9	1.3	3.8	5.1
	女性全体	1,294	76.9	58.8	45.3	41.4	47.8	37.9	37.7	22.8	17.2	1.7	2.0	1.4
	10・20歳代	124	65.3	62.9	31.5	23.4	83.9	45.2	24.2	19.4	24.2	0.8	1.6	-
	30歳代	143	76.2	65.7	27.3	24.5	65.7	51.0	25.9	20.3	16.8	-	2.1	-
	40歳代	233	77.7	57.5	36.9	35.6	57.9	63.5	39.5	24.0	19.7	3.4	2.1	0.4
	50歳代	270	81.9	62.6	52.2	54.1	52.2	37.8	47.4	32.2	23.0	2.2	1.9	0.7
	60歳代	205	82.4	59.0	56.1	50.7	29.8	22.9	41.0	20.0	9.3	1.5	2.0	1.0
70歳代	181	78.5	55.2	48.1	46.4	28.7	23.8	38.7	22.7	13.8	1.1	1.7	3.9	
80歳以上	135	67.4	46.7	57.0	39.3	22.2	14.8	33.3	11.9	11.1	0.7	3.0	4.4	

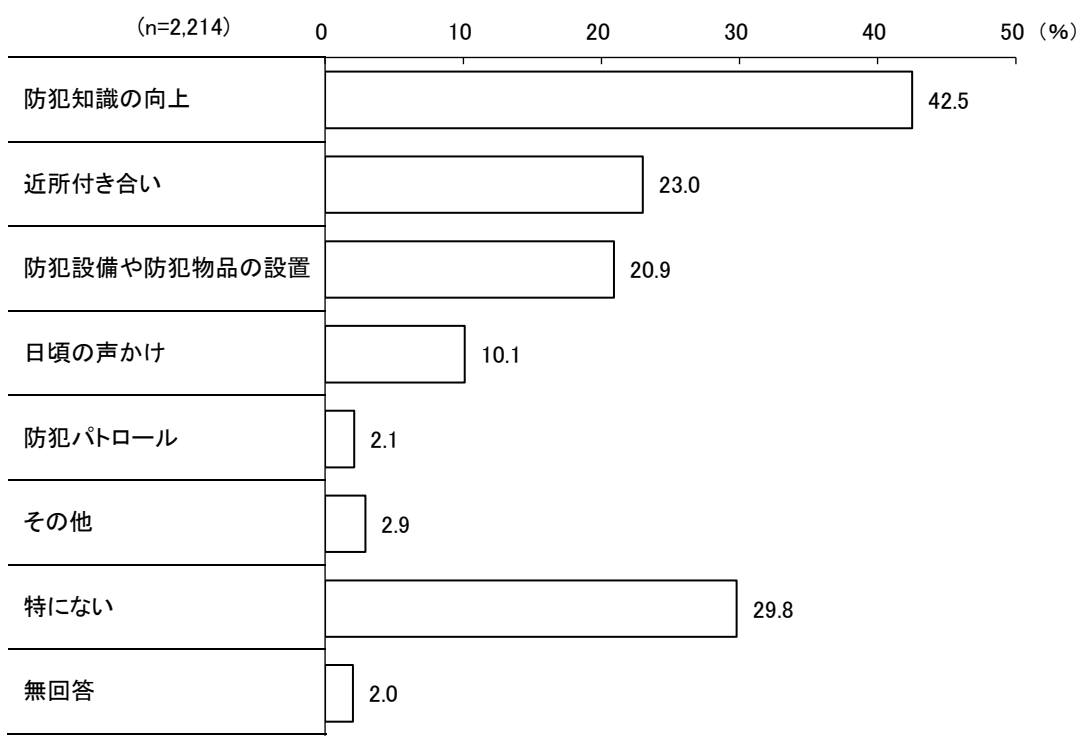
性・年齢別にみると、「侵入強盗・侵入窃盗」は女性の 10・20 歳代を除くすべての性・年代で最も高く、特に女性の 50 歳代と 60 歳代で 8 割を超える。女性の 10・20 歳代は「女性をねらった犯罪（痴漢、盗撮等の性犯罪）」が 8 割を超えて最も高い。「殺人、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪」は女性の 30 歳代で 6 割半ば、男性の 40 歳代、女性の 10・20 歳代と 50 歳代で 6 割を超え、「子どもをねらった犯罪（誘拐等）」は女性の 40 歳代で 6 割を超えている。（表 7-1-2）

(2) 日頃から心がけている防犯

◎「防犯知識の向上」が4割を超える

問25 あなたは、防犯に対して日頃から心がけていることはありますか。(〇はいくつでも)

図7-2-1



防犯に対して日頃から心がけていることを聞いたところ、「防犯知識の向上」(42.5%)が4割を超えて最も高い。以下、「特にない」(29.8%)、「近所付き合い」(23.0%)、「防犯設備や防犯物品の設置」(20.9%)などと続く。(図7-2-1)

表 7-2-1 日頃から心がけている防犯（地域別）

		(%)								
		n	防犯知識の向上	近所付き合い	防犯設備や防犯物品の設置	日頃の声かけ	防犯パトロール	その他	特にない	無回答
全 体		2,214	42.5	23.0	20.9	10.1	2.1	2.9	29.8	2.0
地域別	世田谷東部	318	36.8	21.1	21.1	11.3	2.5	3.1	31.4	1.9
	世田谷西部	279	39.1	22.2	18.6	7.5	3.2	1.8	32.3	2.2
	北沢東部	163	38.7	25.2	19.6	10.4	3.1	2.5	31.3	1.8
	北沢西部	184	46.7	27.2	24.5	13.0	4.3	1.6	26.6	1.1
	玉川北部	211	46.0	25.6	22.3	11.4	0.5	3.8	26.5	0.5
	玉川南部	207	38.6	21.3	24.2	9.2	1.4	2.9	33.3	1.0
	玉川西部	147	47.6	20.4	24.5	12.2	1.4	2.0	27.9	3.4
	砧北部	299	45.2	20.1	19.1	7.7	1.0	3.3	34.1	1.7
	砧南部	118	41.5	25.4	16.9	9.3	3.4	6.8	31.4	2.5
	烏山	268	47.4	24.3	19.0	10.1	1.5	3.0	23.1	3.0

地域別にみると、「防犯知識の向上」は玉川西部、烏山、北沢西部で5割近く、玉川北部、砧北部で4割半ばとなっている。「近所付き合い」は北沢西部で3割近く、玉川北部、砧南部、北沢東部、烏山で2割半ば、「防犯設備や防犯物品の設置」は北沢西部、玉川西部、玉川南部で2割半ばとなっている。「特にない」は砧北部で3割半ば、玉川南部、世田谷西部、世田谷東部、砧南部、北沢東部で3割を超えている。（表 7-2-1）

表 7-2-2 日頃から心がけている防犯（性・年齢別）

		(%)								
		n	防犯知識の向上	近所付き合い	防犯設備や防犯物品の設置	日頃の声かけ	防犯パトロール	その他	特にない	無回答
全 体		2,214	42.5	23.0	20.9	10.1	2.1	2.9	29.8	2.0
性・年齢別	男性全体	865	42.3	21.6	20.5	7.9	2.0	3.0	32.4	1.4
	10・20歳代	100	33.0	11.0	12.0	6.0	3.0	4.0	47.0	1.0
	30歳代	88	27.3	13.6	13.6	4.5	1.1	2.3	52.3	—
	40歳代	117	43.6	19.7	22.2	8.5	—	6.8	31.6	0.9
	50歳代	167	45.5	15.6	26.9	5.4	1.8	1.8	29.9	1.8
	60歳代	174	46.6	24.7	21.3	9.2	1.7	4.0	27.0	0.6
	70歳代	138	47.1	30.4	21.0	12.3	3.6	0.7	25.4	1.4
	80歳以上	79	44.3	38.0	20.3	7.6	2.5	1.3	22.8	3.8
	女性全体	1,294	42.7	23.9	21.3	11.3	2.2	2.8	28.4	2.2
	10・20歳代	124	46.0	12.9	20.2	3.2	—	1.6	37.9	—
	30歳代	143	35.7	15.4	16.8	9.1	1.4	—	43.4	—
	40歳代	233	42.9	26.2	23.6	11.6	4.3	2.1	28.3	0.4
	50歳代	270	46.3	23.3	21.1	9.3	2.2	3.3	25.9	0.7
	60歳代	205	47.3	19.5	20.0	11.7	1.0	3.9	28.3	2.9
	70歳代	181	40.9	35.4	24.3	16.0	1.7	3.9	17.7	4.4
	80歳以上	135	34.8	31.9	20.0	17.8	3.0	3.0	23.0	8.9

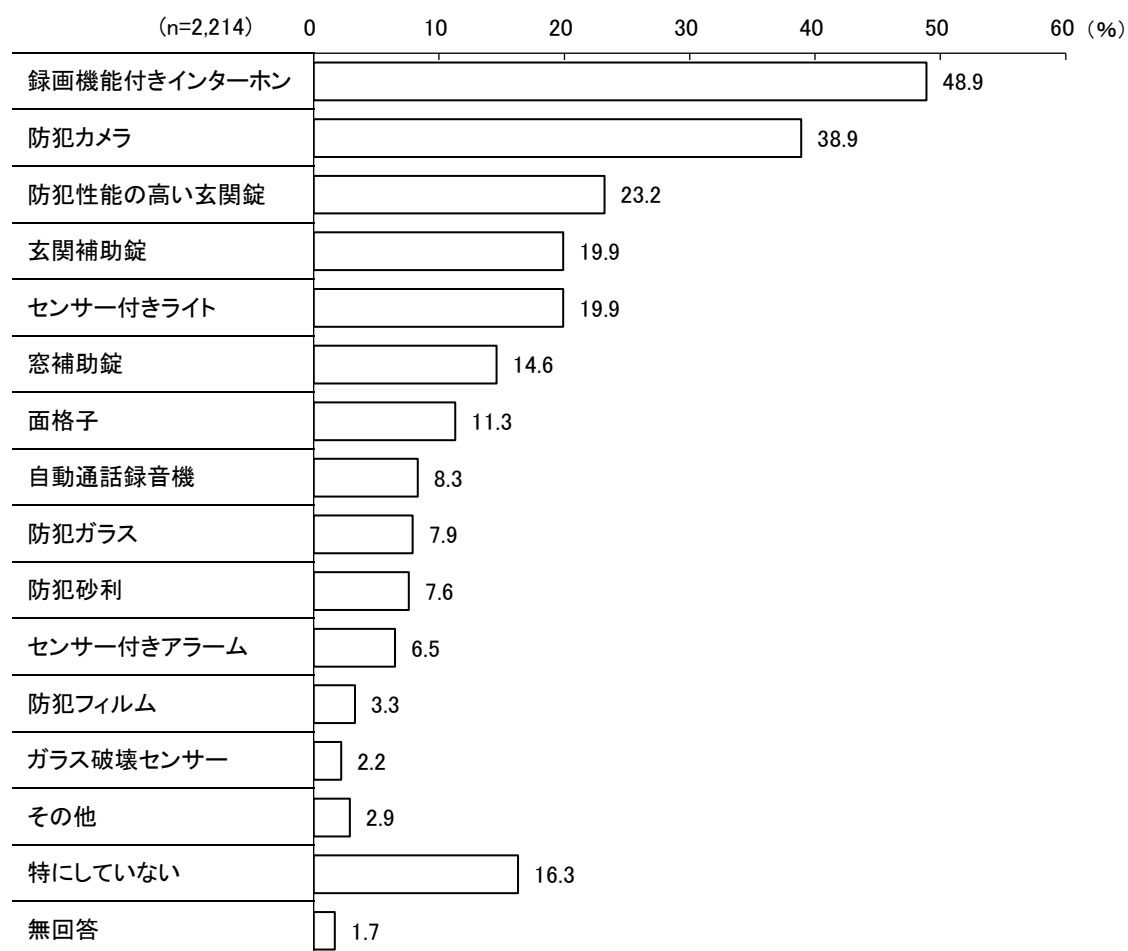
性・年齢別にみると、「防犯知識の向上」は男性の40歳代以上、女性の10・20歳代と40歳代～70歳代で4割台、「近所付き合い」は男女とも70歳代以上で3割台となっている。「防犯設備や防犯物品の設置」は男性の50歳代で3割近く、女性の70歳代で2割半ばとなっている。「特にない」は若年層が高く、男性の30歳代で5割を超え、男性の10・20歳代で5割近く、女性の30歳代で4割を超えている。（表7-2-2）

（３）自宅の防犯対策

◎「録画機能付きインターホン」が５割近く

問２６ あなたのお住まい（マンション等の集合住宅含む）では、どのような防犯対策をしていますか。（〇はいくつでも）

図 7-3-1



自宅の防犯対策を聞いたところ、「録画機能付きインターホン」（48.9%）が５割近くで最も高く、以下、「防犯カメラ」（38.9%）、「防犯性能の高い玄関錠」（23.2%）、「玄関補助錠」と「センサー付きライト」（19.9%）などと続く。「特にしていない」（16.3%）は１割半ばとなっている。

（図 7-3-1）

表 7-3-1 自宅の防犯対策（地域別）

(%)

		n	録画機能付きインターホン	防犯カメラ	防犯性能の高い玄関錠	玄関補助錠	センサー付きライト	窓補助錠	面格子	自動通話録音機	防犯ガラス	防犯砂利	センサー付きアラーム	防犯フィルム	ガラス破壊センサー	その他	特にしていない	無回答
全 体		2,214	48.9	38.9	23.2	19.9	19.9	14.6	11.3	8.3	7.9	7.6	6.5	3.3	2.2	2.9	16.3	1.7
地域別	世田谷東部	318	48.1	45.0	20.8	16.4	17.9	9.7	10.1	8.5	6.9	5.0	5.0	1.3	0.9	2.5	15.7	0.9
	世田谷西部	279	49.8	40.9	21.5	19.0	20.4	11.1	10.4	8.6	6.5	8.6	6.1	3.6	1.8	2.5	13.3	2.2
	北沢東部	163	41.1	25.2	24.5	18.4	22.7	16.0	10.4	11.7	10.4	7.4	6.7	4.9	1.2	3.1	21.5	3.1
	北沢西部	184	45.7	31.0	24.5	17.4	12.0	20.7	14.7	10.9	5.4	6.0	7.6	5.4	1.6	2.7	17.4	1.6
	玉川北部	211	52.1	46.9	31.3	22.7	18.0	18.5	11.4	6.2	12.3	8.1	5.7	4.7	3.8	2.4	11.4	0.5
	玉川南部	207	49.3	34.8	19.3	20.8	20.8	13.0	12.1	5.8	5.3	9.7	10.1	3.9	3.4	4.8	17.4	2.4
	玉川西部	147	54.4	41.5	25.9	23.1	25.2	13.6	8.8	8.8	10.9	9.5	6.1	4.1	1.4	2.7	15.6	1.4
	砧北部	299	52.8	43.5	25.8	20.7	23.1	15.7	10.7	7.4	6.7	7.0	8.4	1.7	1.7	3.0	17.1	1.7
	砧南部	118	44.9	30.5	24.6	18.6	19.5	12.7	15.3	13.6	7.6	13.6	1.7	2.5	3.4	1.7	19.5	1.7
	烏山	268	48.9	40.3	17.9	23.1	19.0	17.5	12.7	6.3	10.1	6.0	6.7	3.4	3.4	2.6	17.2	1.1

地域別にみると、「録画機能付きインターホン」は玉川西部で5割半ば、砧北部、玉川北部で5割を超え、世田谷西部で5割、玉川南部でほぼ5割となっている。「防犯カメラ」は玉川北部で5割近く、世田谷東部で4割半ば、砧北部、玉川西部で4割を超えている。「防犯性能の高い玄関錠」は玉川北部で3割を超えている。（表7-3-1）

表 7-3-2 自宅の防犯対策（性・年齢別）

（％）

		n	録 画 機 能 付 き イ ン タ ー ホ ン	防 犯 カ メ ラ	防 犯 性 能 の 高 い 玄 関 錠	玄 関 補 助 錠	セ ン サ ー 付 き ラ イ ト	窓 補 助 錠	面 格 子	自 動 通 話 録 音 機	防 犯 ガ ラ ス	防 犯 砂 利	セ ン サ ー 付 き ア ラ ー ム	防 犯 フ ィ ル ム	ガ ラ ス 破 壊 セ ン サ ー	そ の 他	特 に し て い な い	無 回 答
全 体		2,214	48.9	38.9	23.2	19.9	19.9	14.6	11.3	8.3	7.9	7.6	6.5	3.3	2.2	2.9	16.3	1.7
性・年 齢 別	男性全体	865	44.7	37.8	22.0	18.0	19.7	12.0	9.7	9.0	7.7	7.2	5.1	2.7	2.3	2.5	20.0	1.6
	10・20歳代	100	50.0	37.0	18.0	20.0	15.0	9.0	11.0	5.0	12.0	6.0	4.0	1.0	2.0	4.0	17.0	1.0
	30歳代	88	43.2	38.6	19.3	17.0	12.5	13.6	3.4	2.3	8.0	4.5	4.5	1.1	3.4	1.1	27.3	1.1
	40歳代	117	46.2	44.4	22.2	16.2	17.9	8.5	7.7	6.0	8.5	12.0	6.8	2.6	1.7	0.9	18.8	0.9
	50歳代	167	46.1	41.3	23.4	15.0	21.6	13.8	9.6	7.2	7.8	9.6	5.4	2.4	2.4	2.4	23.4	2.4
	60歳代	174	46.6	35.1	19.0	23.0	23.0	14.9	13.2	5.2	7.5	8.0	7.5	4.6	2.3	3.4	16.1	1.1
	70歳代	138	47.8	38.4	30.4	18.8	25.4	10.9	9.4	21.0	5.1	2.9	3.6	3.6	2.2	2.2	20.3	-
	80歳以上	79	26.6	26.6	19.0	13.9	15.2	11.4	10.1	17.7	6.3	3.8	1.3	1.3	2.5	3.8	19.0	5.1
	女性全体	1,294	51.8	39.8	24.5	21.3	20.2	16.4	12.7	7.9	8.3	8.1	7.6	3.9	2.2	3.2	13.7	1.6
	10・20歳代	124	50.8	37.9	21.0	18.5	14.5	11.3	8.1	4.0	7.3	7.3	8.9	1.6	1.6	1.6	18.5	-
	30歳代	143	60.8	47.6	16.1	16.8	13.3	15.4	4.2	2.8	4.9	4.2	5.6	0.7	0.7	3.5	18.9	-
	40歳代	233	51.5	47.6	21.9	15.9	25.8	18.0	12.4	2.1	9.9	6.4	3.9	2.6	1.3	2.6	13.3	0.9
	50歳代	270	57.8	38.5	26.7	23.7	24.4	15.9	14.4	4.4	8.5	11.1	12.2	5.6	1.9	3.0	10.4	0.7
	60歳代	205	48.8	41.0	30.7	18.5	24.4	19.0	15.6	9.3	9.3	10.2	9.3	3.4	3.9	1.5	11.2	1.5
	70歳代	181	53.0	33.7	29.3	29.3	19.9	20.4	19.9	16.6	7.2	8.3	7.2	7.2	3.9	5.5	12.2	3.3
	80歳以上	135	34.1	28.1	20.7	26.7	8.9	11.1	8.9	20.0	10.4	6.7	3.0	3.7	0.7	5.2	16.3	5.9

性・年齢別にみると、「録画機能付きインターホン」は女性の 30 歳代でほぼ 6 割、女性の 50 歳代で 6 割近く、女性の 40 歳代と 70 歳代で 5 割を超えている。「防犯カメラ」は女性の 30 歳代と 40 歳代で 5 割近く、男性の 40 歳代で 4 割半ば、男性の 50 歳代、女性の 60 歳代で 4 割を超えている。「特にしていない」は男性の 30 歳代で 3 割近く、男性の 50 歳代で 2 割を超えている。（表 7-3-2）

表 7-3-3 自宅の防犯対策（住居形態別）

(%)

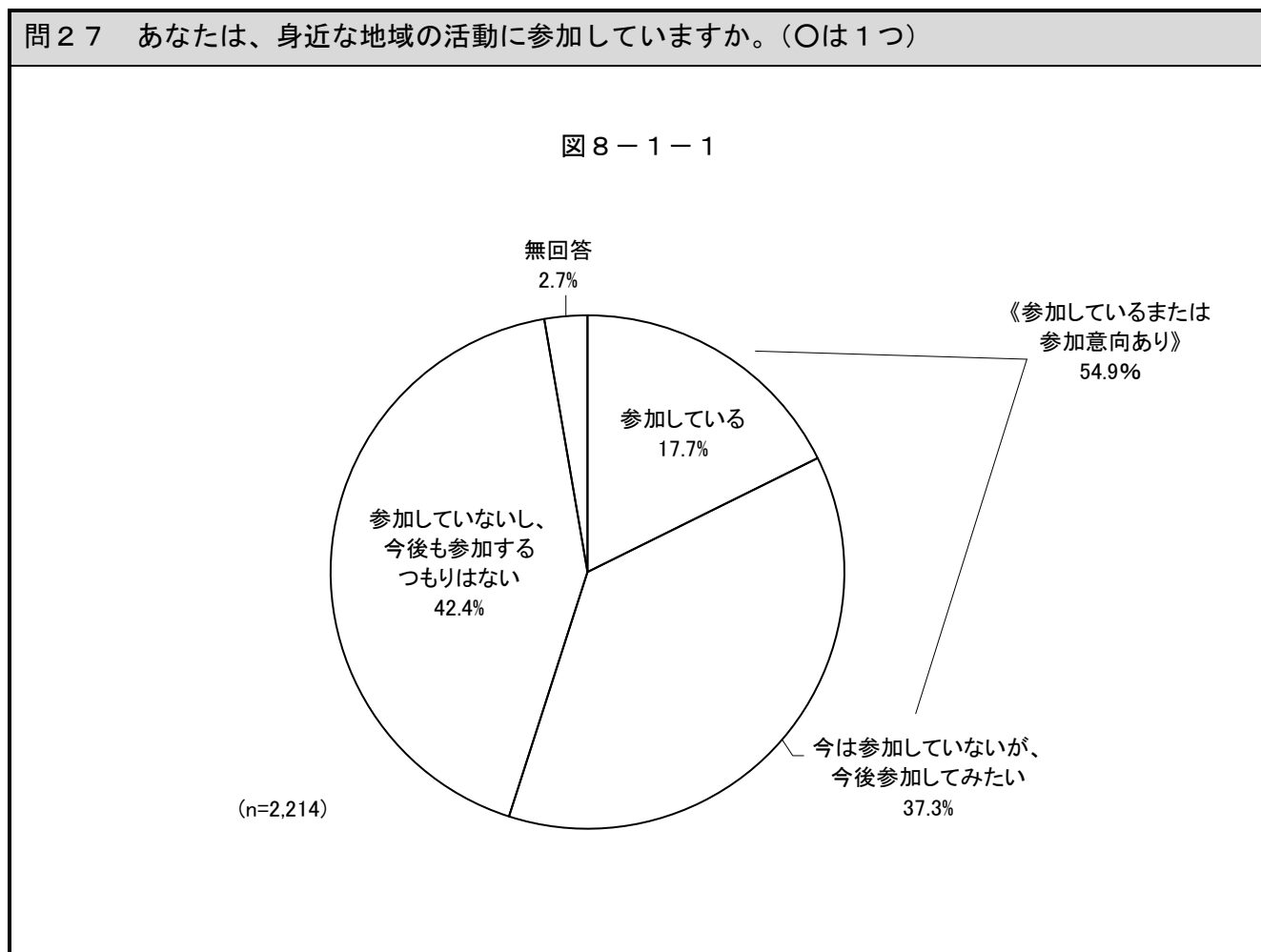
		n	録画機能付きインターホン	防犯カメラ	防犯性能の高い玄関錠	玄関補助錠	センサー付きライト	窓補助錠	面格子	自動通話録音機	防犯ガラス	防犯砂利	センサー付きアラーム	防犯フィルム	ガラス破壊センサー	その他	特にしていない	無回答
全 体		2,214	48.9	38.9	23.2	19.9	19.9	14.6	11.3	8.3	7.9	7.6	6.5	3.3	2.2	2.9	16.3	1.7
住居形態別	持ち家（一戸建て）	927	52.0	18.0	26.5	21.4	33.1	18.4	16.5	13.3	11.7	14.2	8.2	6.1	3.0	3.3	13.7	2.4
	持ち家（アパート・マンション）	536	61.6	76.7	31.5	20.0	11.6	15.3	11.4	7.5	7.6	2.1	9.1	1.9	3.0	2.6	5.8	1.5
	民営賃貸アパート・マンション	522	38.7	40.2	11.7	18.0	7.5	10.0	3.8	1.9	2.9	2.3	2.5	0.8	0.2	1.7	27.4	0.6
	都市再生機構（旧公団）・公社・都営住宅・区営住宅	76	23.7	35.5	6.6	13.2	1.3	6.6	5.3	10.5	1.3	－	－	－	－	2.6	35.5	－
	社宅・官舎・寮・間借り・住み込み	52	34.6	50.0	19.2	21.2	13.5	7.7	9.6	1.9	9.6	5.8	1.9	－	－	3.8	19.2	－
	一戸建て借家	44	34.1	22.7	15.9	25.0	29.5	11.4	6.8	－	9.1	15.9	9.1	2.3	6.8	4.5	13.6	2.3
	その他	36	30.6	16.7	33.3	19.4	13.9	8.3	13.9	2.8	5.6	5.6	5.6	2.8	－	5.6	30.6	2.8

住居形態別でみると、持ち家（アパート・マンション）は「防犯カメラ」が8割近く、「録画機能付きインターホン」が6割を超え、「防犯性能の高い玄関錠」が3割を超えている。持ち家（一戸建て）は「録画機能付きインターホン」が5割を超え、「センサー付きライト」が3割を超えている。社宅・官舎・寮・間借り・住み込みは「防犯カメラ」が5割、「録画機能付きインターホン」が3割半ば、民営賃貸アパート・マンションは「防犯カメラ」が4割、「録画機能付きインターホン」が4割近くとなっている。（表 7-3-3）

8. 地域コミュニティ

(1) 地域活動への参加経験・参加意向

◎《参加しているまたは参加意向あり》が5割半ば



身近な地域の活動に参加しているかどうか聞いたところ、「参加している」(17.7%)と「今は参加していないが、今後参加してみたい」(37.3%)を合わせた《参加しているまたは参加意向あり》(54.9%)が5割半ばとなっている。「参加していないし、今後も参加するつもりはない」(42.4%)は4割を超えている。(図8-1-1)

図 8 - 1 - 2 地域活動への参加経験・参加意向（時系列）

	参加している	今は参加していないが、 今後参加してみたい	参加していないし、 今後も参加するつもりはない	無回答
令和 7 年度 (n=2, 214)	17.7	37.3	42.4	2.7
平成26年度 (2, 362)	16.9	17.7	62.2	3.2
	(%)			

《参加しているまたは参加意向あり》

注)「参加していないし、今後も参加するつもりはない」は平成 26 年度では「参加していない」。

平成 26 年度からの時系列の変化をみると、「参加している」は平成 26 年度（16.9%）から令和 7 年度（17.7%）で横ばい、「今は参加していないが、今後参加してみたい」は平成 26 年度（17.7%）から令和 7 年度（37.3%）で大きく増加している。（図 8 - 1 - 2）

図 8 - 1 - 3 地域活動への参加経験・参加意向（地域別）

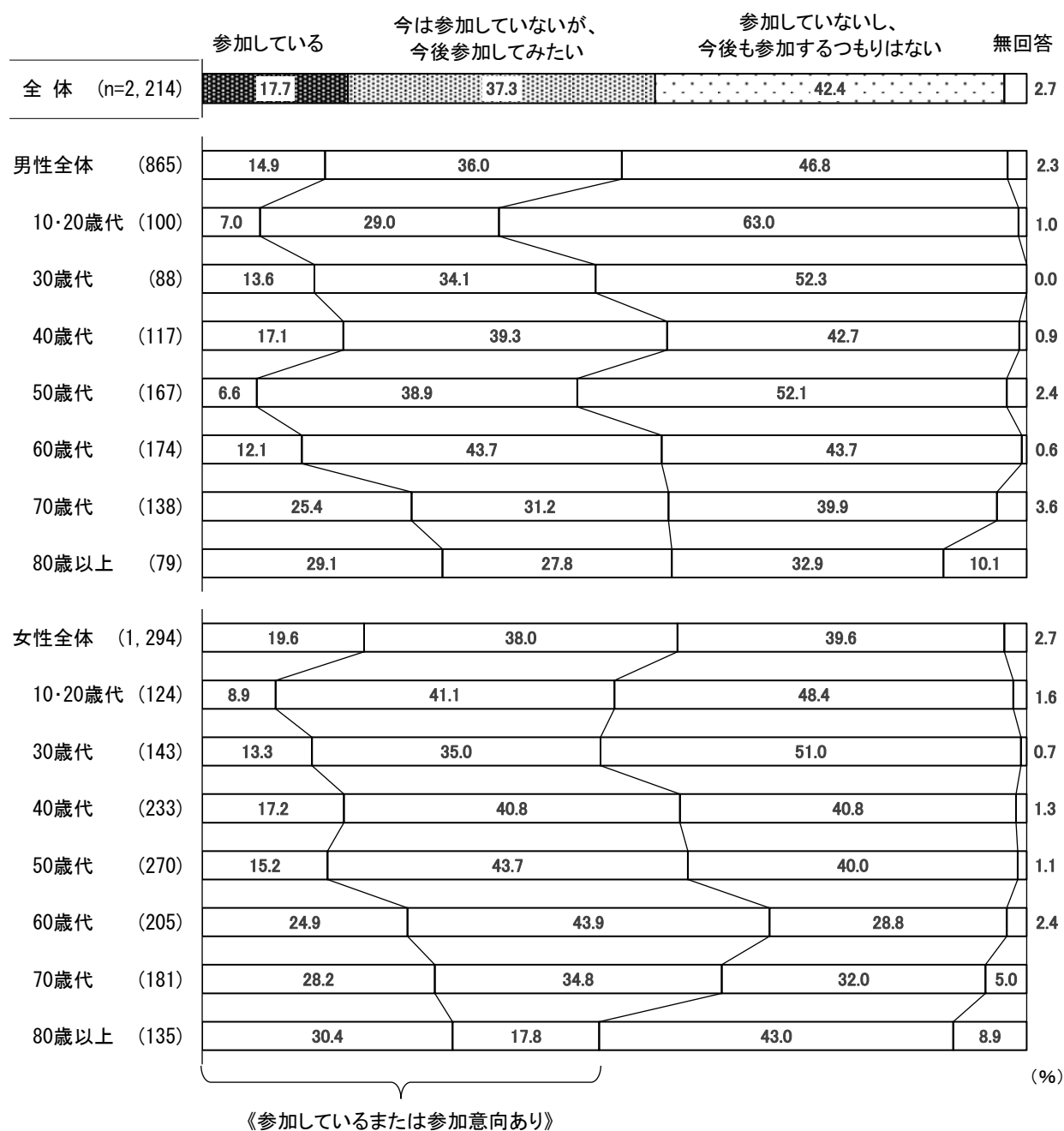
	参加している	今は参加していないが、 今後参加してみたい	参加していないし、 今後も参加するつもりはない	無回答
全 体 (n=2, 214)	17.7	37.3	42.4	2.7
世田谷東部 (318)	17.6	33.6	45.9	2.8
世田谷西部 (279)	16.8	37.3	43.4	2.5
北沢東部 (163)	15.3	39.9	42.3	2.5
北沢西部 (184)	25.0	34.8	35.9	4.3
玉川北部 (211)	16.1	40.8	42.2	0.9
玉川南部 (207)	15.9	37.2	44.9	1.9
玉川西部 (147)	16.3	41.5	39.5	2.7
砧北部 (299)	16.1	37.1	44.5	2.3
砧南部 (118)	28.0	30.5	39.8	1.7
烏山 (268)	16.4	41.8	39.6	2.2

(%)

《参加しているまたは参加意向あり》

地域別にみると、「参加している」は砧南部で3割近く、北沢西部で2割半ば、「今は参加していないが、今後参加してみたい」は烏山、玉川西部で4割を超え、玉川北部でほぼ4割、北沢東部で4割となっている。《参加しているまたは参加意向あり》は全ての地域で5割を超え、北沢西部で6割、砧南部、烏山、玉川西部、玉川北部で6割近くとなっている。（図8-1-3）

図 8 - 1 - 4 地域活動への参加経験・参加意向（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「参加している」は女性の 80 歳以上で 3 割、男性の 80 歳以上でほぼ 3 割、女性の 70 歳代で 3 割近くとなっている。「今は参加していないが、今後参加してみたい」は男性の 60 歳代、女性の 10・20 歳代と 50 歳代、60 歳代で 4 割を超えている。《参加しているまたは参加意向あり》は女性の 60 歳代で 7 割近く、女性の 70 歳代で 6 割を超えている。（図 8 - 1 - 4）

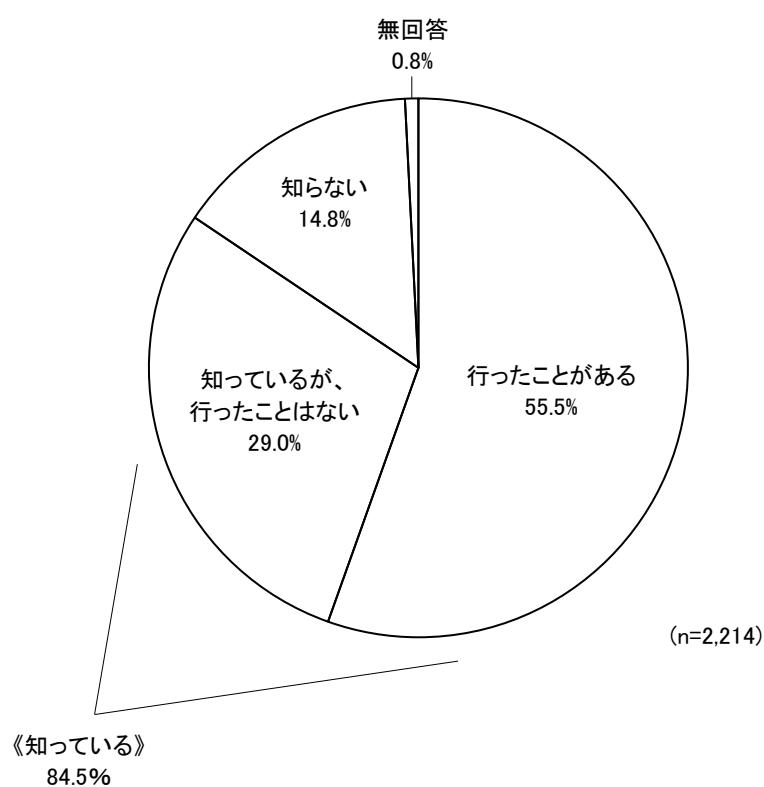
9. 文化活動

(1) 区立の文化施設の認知度

◎ 《知っている》が8割半ば

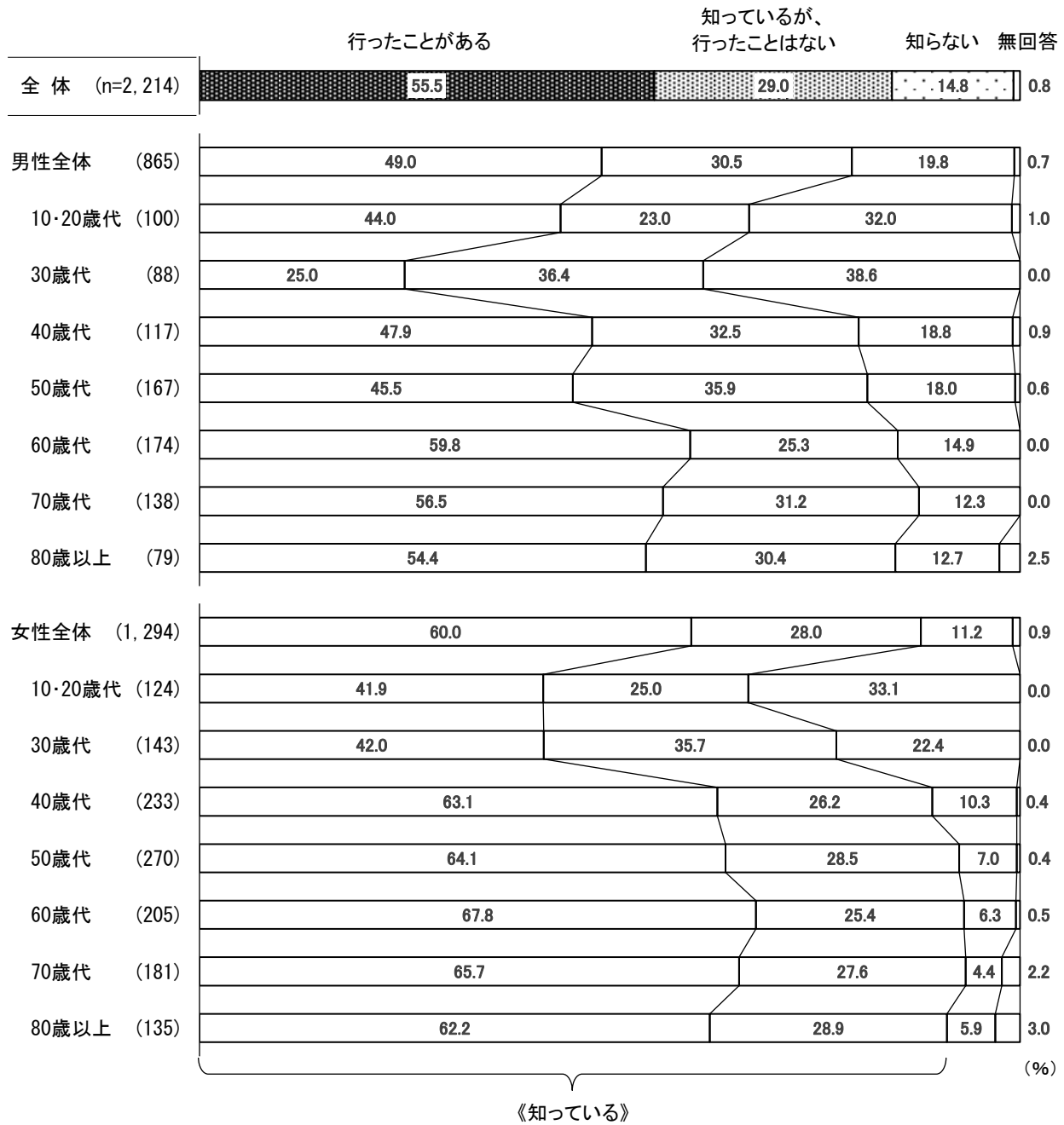
問28 あなたは、区立の文化施設（世田谷美術館、世田谷文学館、世田谷パブリックシアター）をご存知ですか。（○は1つ）

図9-1-1



区立の文化施設の認知度を聞いたところ、「行ったことがある」（55.5%）と「知っているが、行ったことはない」（29.0%）を合わせた《知っている》（84.5%）が8割半ばとなっている。「知らない」（14.8%）は1割半ばとなっている。（図9-1-1）

図 9 - 1 - 2 区立の文化施設の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「行ったことがある」は女性の 40 歳代以上で 6 割台となっている。《知っている》は女性の 50 歳代以上で 9 割を超え、女性の 40 歳代ではほぼ 9 割となっている。一方、「知らない」は男性の 30 歳代で 4 割近く、男性の 10・20 歳代、女性の 10・20 歳代で 3 割を超えている。

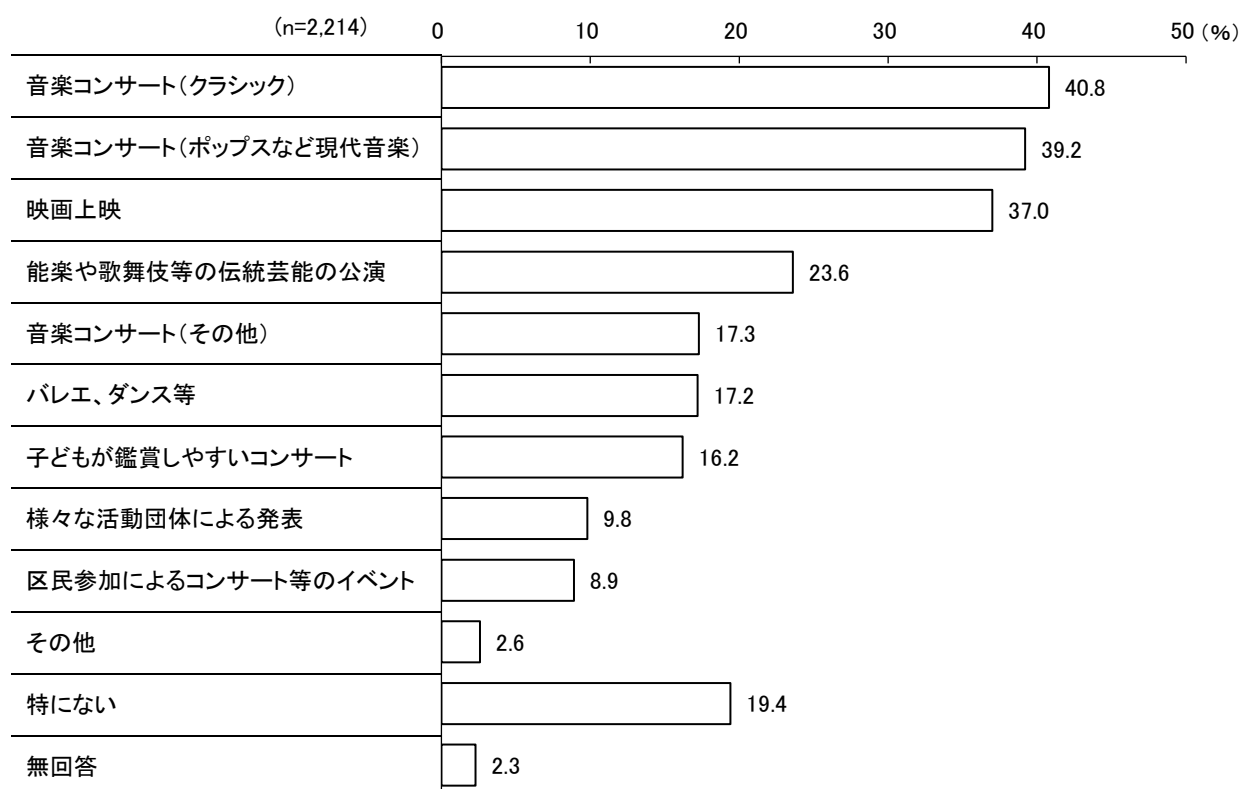
(図 9 - 1 - 2)

(2) イーグレットホールへ行ってみたいと思うイベント

◎「音楽コンサート（クラシック）」と「音楽コンサート（ポップスなど現代音楽）」がほぼ4割

問29 あなたは、新たな文化・芸術の拠点であるせたがやイーグレットホール（世田谷区民会館）でどのようなイベントがあったら行ってみたいと思いますか。（〇はいくつでも）

図9-2-1



せたがやイーグレットホールへ行ってみたいと思うイベントを聞いたところ、「音楽コンサート（クラシック）」（40.8%）と「音楽コンサート（ポップスなど現代音楽）」（39.2%）がほぼ4割と高く、以下、「映画上映」（37.0%）、「能楽や歌舞伎等の伝統芸能の公演」（23.6%）、「音楽コンサート（その他）」（17.3%）、「バレエ、ダンス等」（17.2%）、「子どもが鑑賞しやすいコンサート」（16.2%）などと続く。（図9-2-1）

表 9-2-1 イーグレットホールへ行ってみたいと思うイベント（地域別）

(%)														
		n	音楽 コンサート （クラシック）	音楽 コンサート （ポップスなど現代音楽）	映画 上映	能楽や歌舞伎等の伝統芸能の公演	音楽 コンサート （その他）	バレエ、ダンス等	子どもが鑑賞しやすいコンサート	様々な活動団体による発表	区民参加によるコンサート等のイベント	その他	特 に ない	無 回 答
全 体		2,214	40.8	39.2	37.0	23.6	17.3	17.2	16.2	9.8	8.9	2.6	19.4	2.3
地域別	世田谷東部	318	39.6	39.3	35.2	19.8	18.2	16.0	16.7	10.7	8.2	3.5	18.9	2.5
	世田谷西部	279	40.5	43.4	39.4	24.4	21.5	17.6	16.1	8.6	9.3	3.2	15.8	3.9
	北沢東部	163	35.6	31.3	36.2	23.3	9.8	18.4	15.3	8.0	8.6	1.8	23.3	2.5
	北沢西部	184	50.0	41.3	41.8	22.8	16.8	19.6	10.9	11.4	9.8	1.1	15.2	2.7
	玉川北部	211	42.7	41.2	37.0	23.7	17.1	15.6	17.5	11.8	10.0	2.4	19.0	0.5
	玉川南部	207	31.9	36.7	38.2	28.0	14.5	17.9	15.9	8.7	6.8	2.4	26.6	1.0
	玉川西部	147	42.2	40.8	38.8	23.1	23.1	17.7	19.0	8.8	10.2	2.7	16.3	0.7
	砧北部	299	44.1	41.5	34.1	26.4	15.4	20.4	18.7	9.7	8.4	3.3	18.7	2.3
	砧南部	118	37.3	35.6	33.9	21.2	17.8	13.6	15.3	9.3	12.7	-	23.7	0.8
	烏山	268	42.9	38.4	37.3	23.5	17.9	14.2	15.7	11.2	7.8	2.6	18.3	3.4

地域別にみると、「音楽コンサート（クラシック）」は北沢西部で5割、砧北部で4割半ばとなっている。「音楽コンサート（ポップスなど現代音楽）」は世田谷西部、砧北部、北沢西部、玉川北部で4割を超え、「映画上映」は北沢西部で4割を超えている。一方、「特にない」は玉川南部で3割近く、砧南部、北沢東部で2割を超えている。（表 9-2-1）

表 9-2-2 イーグレットホールへ行ってみたいと思うイベント（性・年齢別）

		(%)												
		n	音楽 コンサート （クラシック）	音楽 コンサート（ポップスなど現代音楽）	映画 上映	能楽や歌舞伎等の伝統芸能の公演	音楽 コンサート（その他）	バレエ、ダンス等	子どもが鑑賞しやすいコンサート	様々な活動団体による発表	区民参加によるコンサート等のイベント	その他	特 に ない	無 回 答
全 体		2,214	40.8	39.2	37.0	23.6	17.3	17.2	16.2	9.8	8.9	2.6	19.4	2.3
性・年 齢 別	男性全体	865	36.0	36.3	35.6	17.0	15.8	8.4	14.8	9.0	8.4	2.9	24.6	2.4
	10・20歳代	100	25.0	41.0	48.0	15.0	9.0	8.0	7.0	8.0	8.0	2.0	29.0	1.0
	30歳代	88	35.2	43.2	37.5	18.2	13.6	10.2	34.1	8.0	2.3	1.1	20.5	1.1
	40歳代	117	32.5	40.2	33.3	12.8	13.7	11.1	36.8	11.1	7.7	5.1	20.5	0.9
	50歳代	167	31.7	37.7	39.5	18.6	16.2	7.2	10.8	4.2	9.0	1.8	24.0	2.4
	60歳代	174	47.7	41.4	35.6	20.1	20.1	10.9	7.5	12.1	11.5	4.0	22.4	1.1
	70歳代	138	37.7	27.5	30.4	18.8	15.2	6.5	9.4	11.6	9.4	2.2	29.7	2.9
	80歳以上	79	36.7	19.0	22.8	11.4	21.5	3.8	5.1	7.6	7.6	3.8	26.6	8.9
	女性全体	1,294	44.2	41.8	38.3	28.1	18.4	23.0	17.2	10.6	9.1	2.4	15.5	2.2
	10・20歳代	124	39.5	46.8	50.0	14.5	14.5	24.2	12.9	6.5	5.6	2.4	12.1	-
	30歳代	143	42.0	51.7	41.3	25.9	16.8	28.0	40.6	8.4	7.7	2.8	8.4	-
	40歳代	233	39.9	43.8	42.1	29.6	17.6	26.6	36.9	12.4	9.0	2.1	12.4	0.9
	50歳代	270	51.1	51.9	42.2	33.0	20.7	24.1	9.6	11.1	7.4	2.6	12.2	0.4
	60歳代	205	55.6	43.9	35.6	37.1	20.5	25.9	7.8	9.8	10.7	1.0	17.6	2.0
	70歳代	181	42.0	32.6	28.7	22.7	19.9	15.5	8.3	10.5	10.5	2.2	21.5	4.4
	80歳以上	135	30.4	13.3	26.7	24.4	15.6	14.8	4.4	14.1	13.3	4.4	26.7	9.6

性・年齢別にみると、「音楽コンサート（クラシック）」は女性の 60 歳代で 5 割半ば、女性の 50 歳代で 5 割を超え、「音楽コンサート（ポップスなど現代音楽）」は女性の 30 歳代と 50 歳代で 5 割を超えている。「映画上映」は若年層が高い傾向にあり、女性の 10・20 歳代で 5 割、男性の 10・20 歳代で 5 割近くとなっている。「子どもが鑑賞しやすいコンサート」は男女とも 30 歳代と 40 歳代が 3～4 割台となっている。（表 9-2-2）

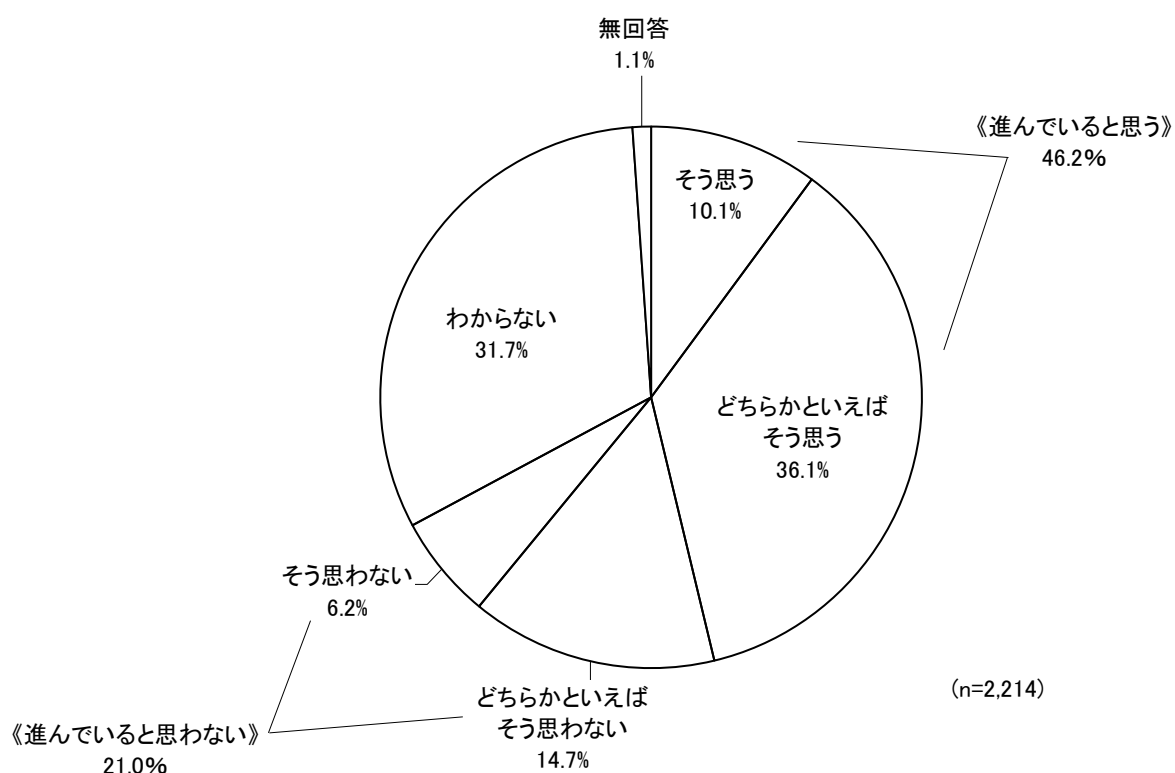
10. 多文化共生

(1) 区の多文化共生社会への進捗状況

◎《進んでいると思う》が4割半ば、《進んでいると思わない》が2割を超える

問30 あなたは、「外国人住民と日本人住民が共に暮らす」という視点からみて、世田谷区は多文化共生が進んでいると思いますか。(○は1つ)

図10-1-1



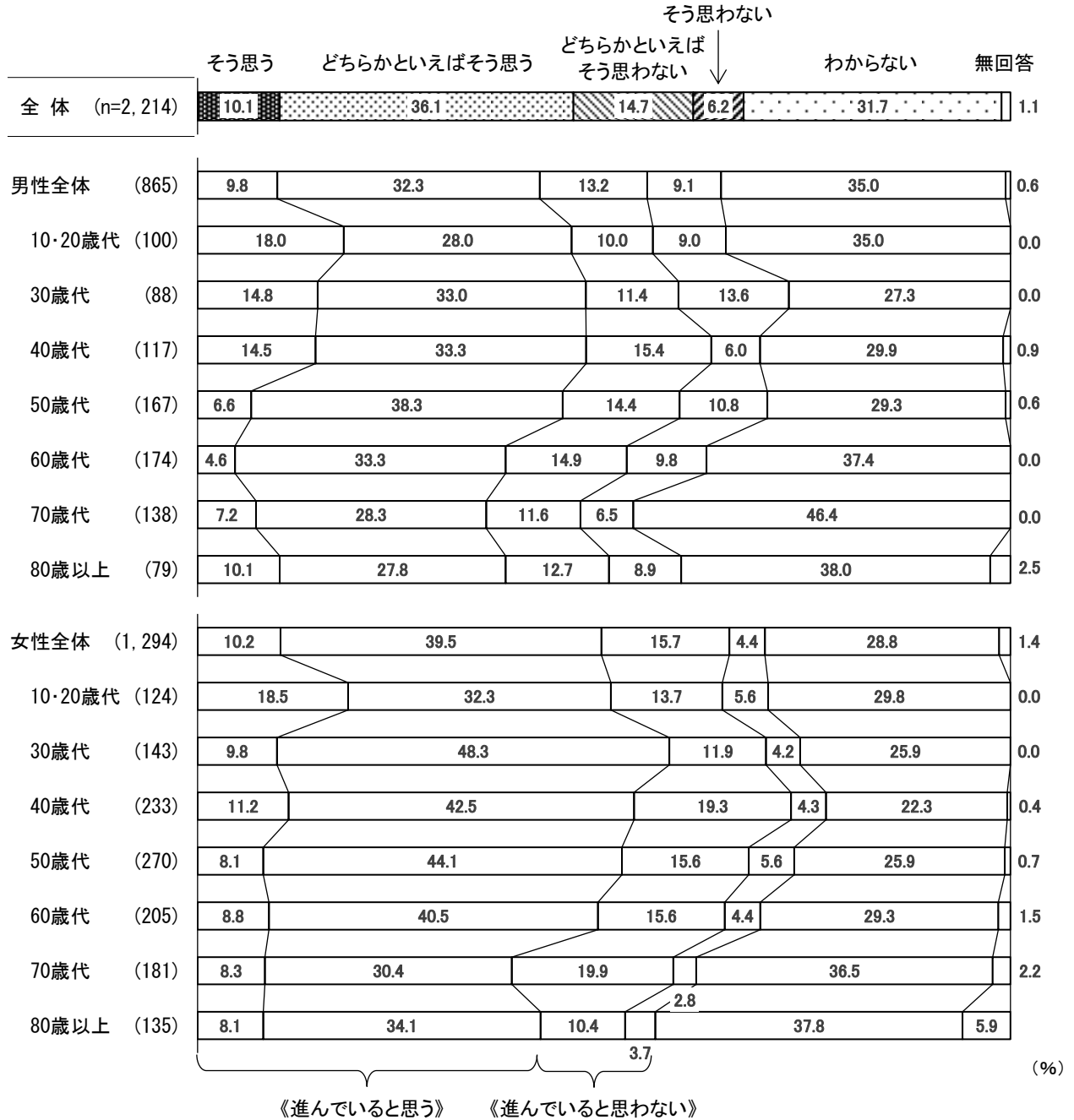
区の多文化共生が進んでいると思うか聞いたところ、「そう思う」(10.1%)と「どちらかといえばそう思う」(36.1%)を合わせた《進んでいると思う》(46.2%)が4割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(14.7%)と「そう思わない」(6.2%)を合わせた《進んでいると思わない》(21.0%)は2割を超えている。(図10-1-1)

図 10-1-2 区の多文化共生社会への進捗状況（地域別）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない ↓	わからない	無回答	
全 体 (n=2,214)	10.1	36.1	14.7	6.2	31.7	1.1	
世田谷東部 (318)	9.4	43.7	12.3	6.0	28.0	0.6	
世田谷西部 (279)	7.9	35.5	16.5	5.4	33.3	1.4	
北沢東部 (163)	16.0	38.0	12.3	6.1	27.6	0.0	
北沢西部 (184)	10.3	33.2	16.3	4.9	32.6	2.7	
玉川北部 (211)	10.0	36.5	18.0	5.2	30.3	0.0	
玉川南部 (207)	9.7	30.9	14.0	7.2	36.2	1.9	
玉川西部 (147)	10.2	41.5	12.9	4.1	31.3	0.0	
砧北部 (299)	7.7	35.5	14.0	9.7	31.8	1.3	
砧南部 (118)	11.9	31.4	12.7	8.5	34.7	0.8	
烏山 (268)	11.2	34.0	15.3	5.2	33.2	1.1	
	《進んでいると思う》				《進んでいると思わない》		(%)

地域別にみると、《進んでいると思う》は北沢東部で5割半ば、世田谷東部、玉川西部で5割を超えている。《進んでいると思わない》は砧北部、玉川北部、世田谷西部、玉川南部、北沢西部、砧南部で2割を超えている。（図10-1-2）

図 10-1-3 区の多文化共生社会への進捗状況（性・年齢別）



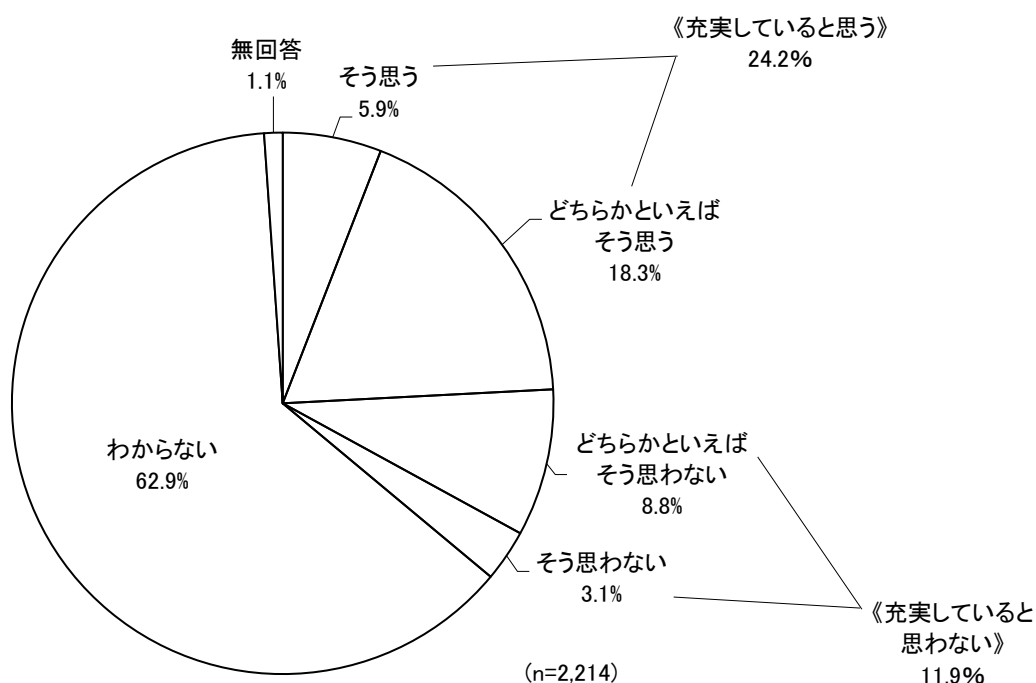
性・年齢別にみると、《進んでいると思う》は女性の30歳代で6割近く、女性の40歳代と50歳代で5割を超え、女性の10・20歳代と60歳代でほぼ5割となっている。《進んでいると思わない》は男性の30歳代と50歳代、60歳代で2割半ばとなっている。（図10-1-3）

（２）外国人等に対する生活支援の充実状況

◎《充実していると思う》が２割半ば、《充実していると思わない》が１割を超える

問３１ 区では、外国人等が安心して地域で生活するために、外国人相談窓口の設置や教育相談室の運営、住宅・就労に関する情報提供など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは、外国人等に対する生活支援が充実していると思いますか。（○は１つ）

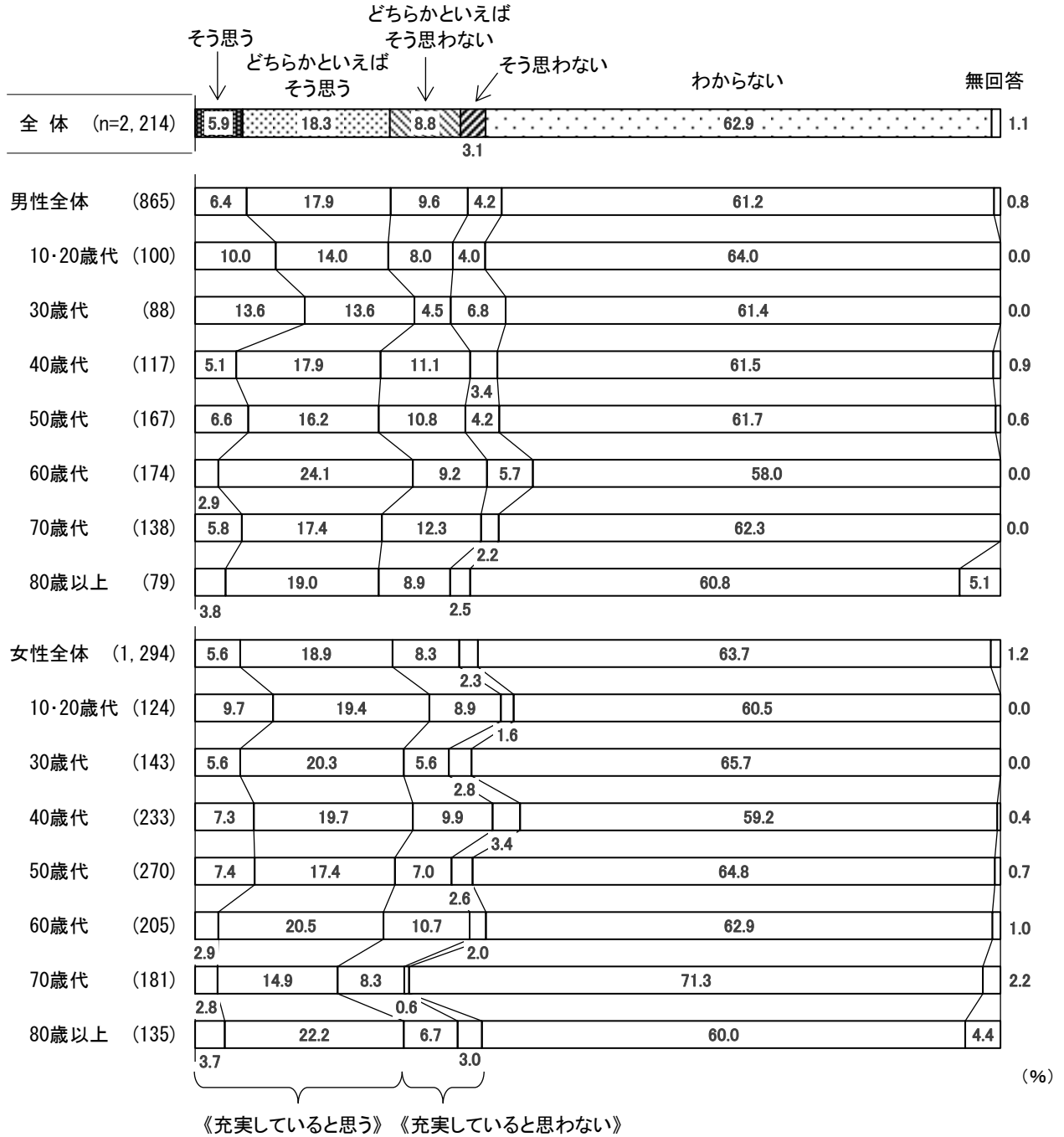
図１０－２－１



外国人等に対する生活支援が充実していると思うか聞いたところ、「わからない」（62.9%）が６割を超えて最も高い。「そう思う」（5.9%）と「どちらかといえばそう思う」（18.3%）を合わせた《充実していると思う》（24.2%）は２割半ば、「どちらかといえばそう思わない」（8.8%）と「そう思わない」（3.1%）を合わせた《充実していると思わない》（11.9%）は１割を超えている。

（図１０－２－１）

図 10-2-3 外国人等に対する生活支援の充実状況（性・年齢別）



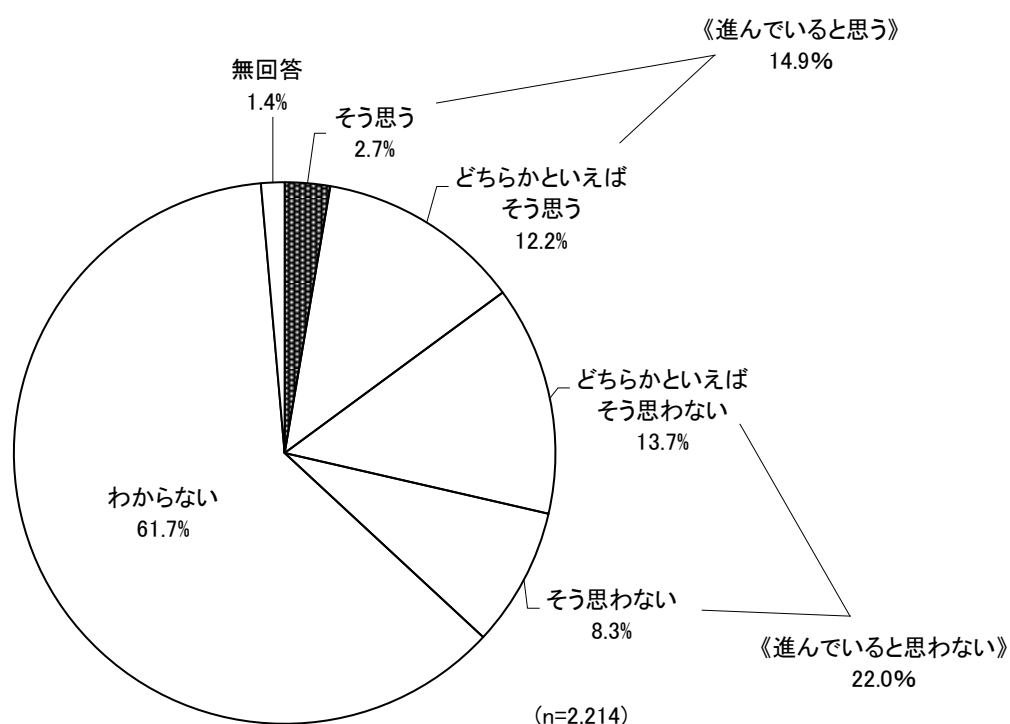
性・年齢別にみると、《充実していると思う》は女性の10・20歳代でほぼ3割、男性の30歳代と60歳代、女性の40歳代で3割近くとなっている。《充実していると思わない》は男性の40歳代～70歳代で1割半ばとなっている。「わからない」は女性の70歳代で7割を超え、男性の10・20歳代、女性の30歳代と50歳代で6割半ばとなっている。（図10-2-3）

（３）外国人等の地域活動への参加の進捗状況

◎《進んでいると思う》が１割半ば、《進んでいると思わない》が２割を超える

問３２ 区では、外国人等が地域住民の一人として地域社会に参加・活躍できるように、地域のおまつりや防災訓練、ボランティア活動などへの参加を促進しています。
あなたは、外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか。（○は１つ）

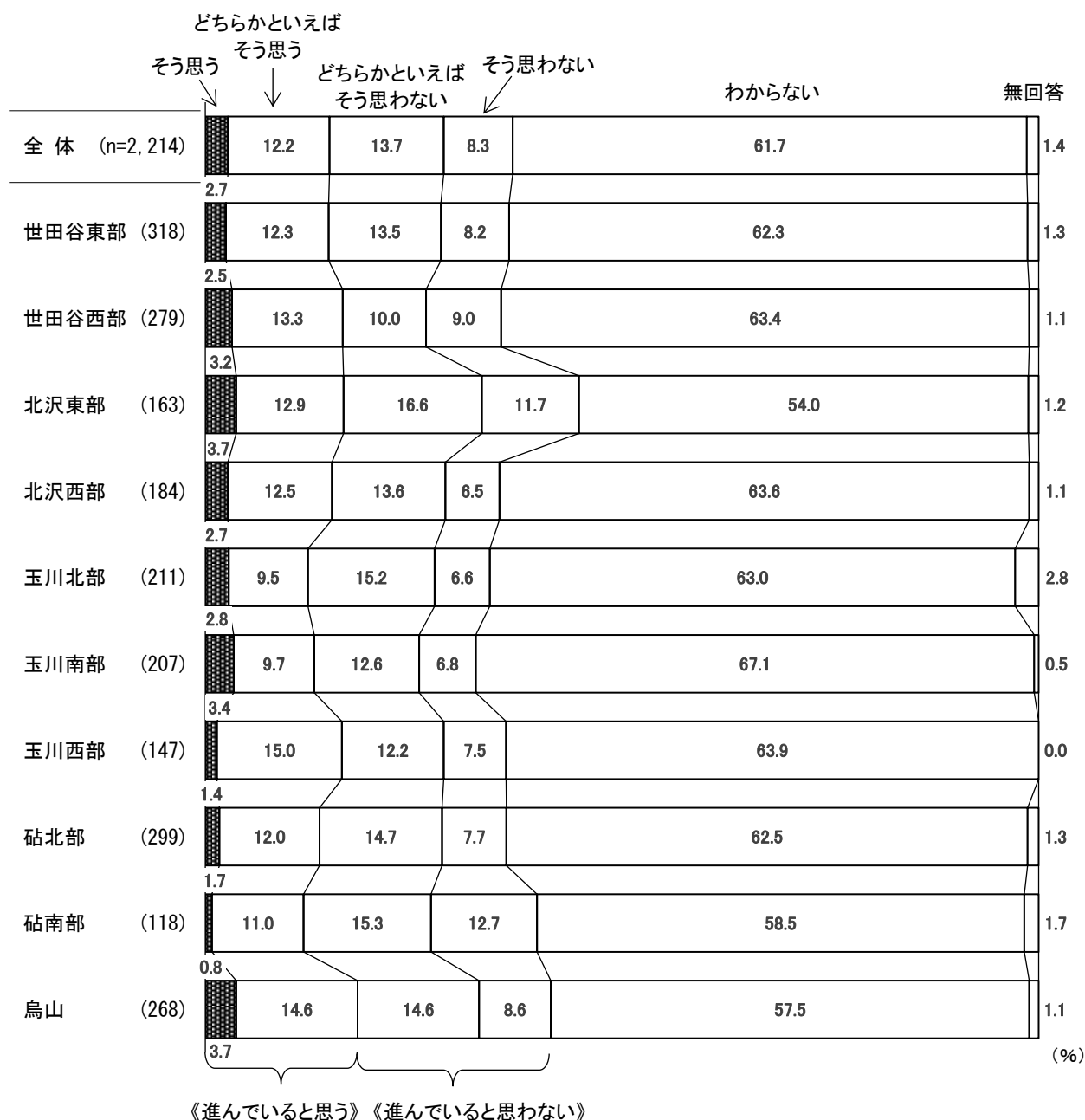
図１０－３－１



外国人等の地域活動への参加が進んでいると思うか聞いたところ、「わからない」（61.7%）が６割を超えて最も高い。「どちらかといえばそう思わない」（13.7%）と「そう思わない」（8.3%）を合わせた《進んでいると思わない》（22.0%）が２割を超え、「そう思う」（2.7%）と「どちらかといえばそう思う」（12.2%）を合わせた《進んでいると思う》（14.9%）は１割半ばとなっている。

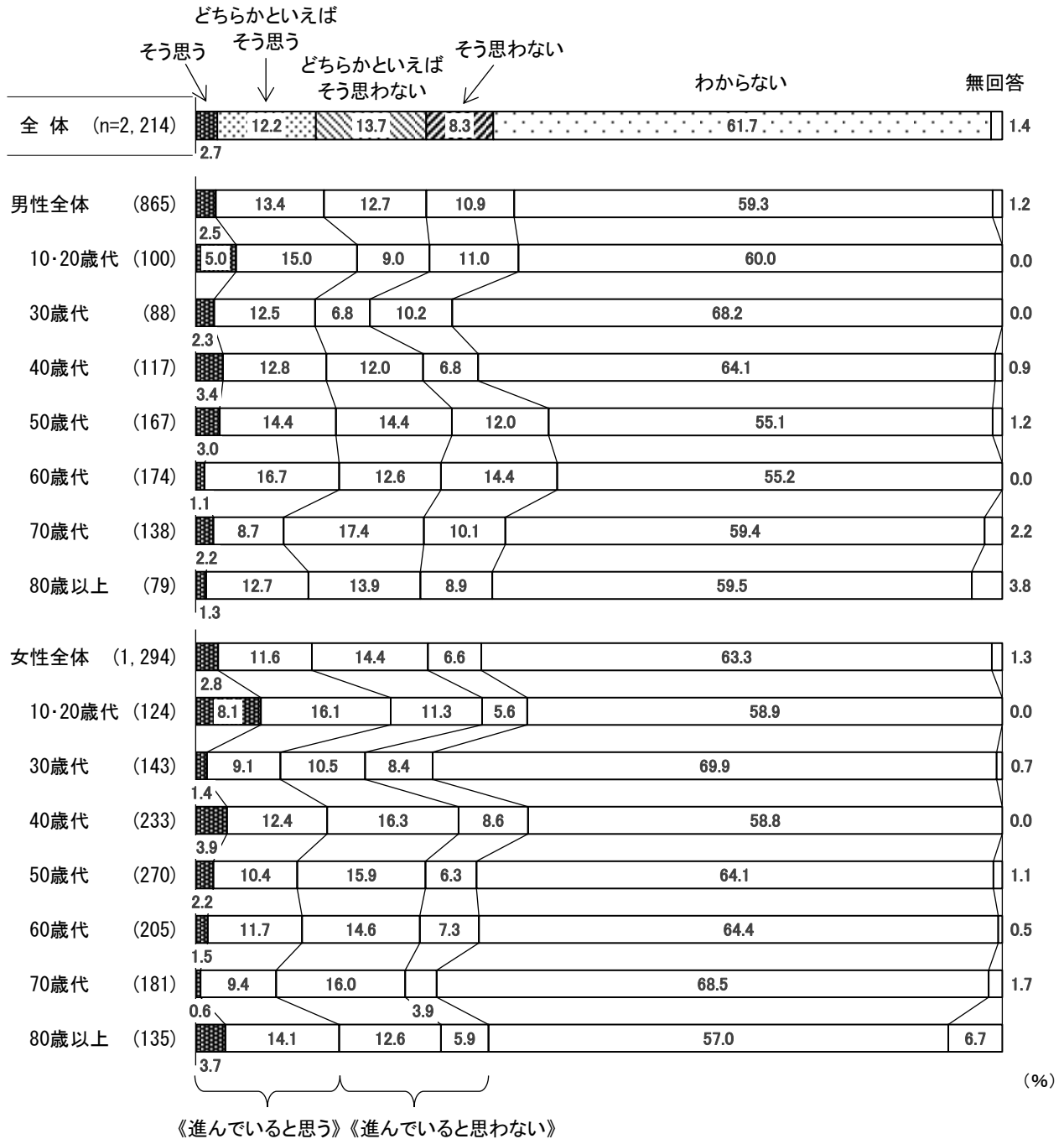
（図１０－３－１）

図 10-3-2 外国人等の地域活動への参加の進捗状況（地域別）



地域別にみると、《進んでいると思う》は烏山、北沢東部、世田谷西部で2割近く、玉川西部、北沢西部、世田谷東部で1割半ばとなっている。《進んでいると思わない》は北沢東部、砧南部で3割近く、烏山、砧北部、玉川北部、世田谷東部で2割を超えている。「わからない」は玉川南部で7割近くとなっている。（図10-3-2）

図 10-3-3 外国人等の地域活動への参加の進捗状況（性・年齢別）



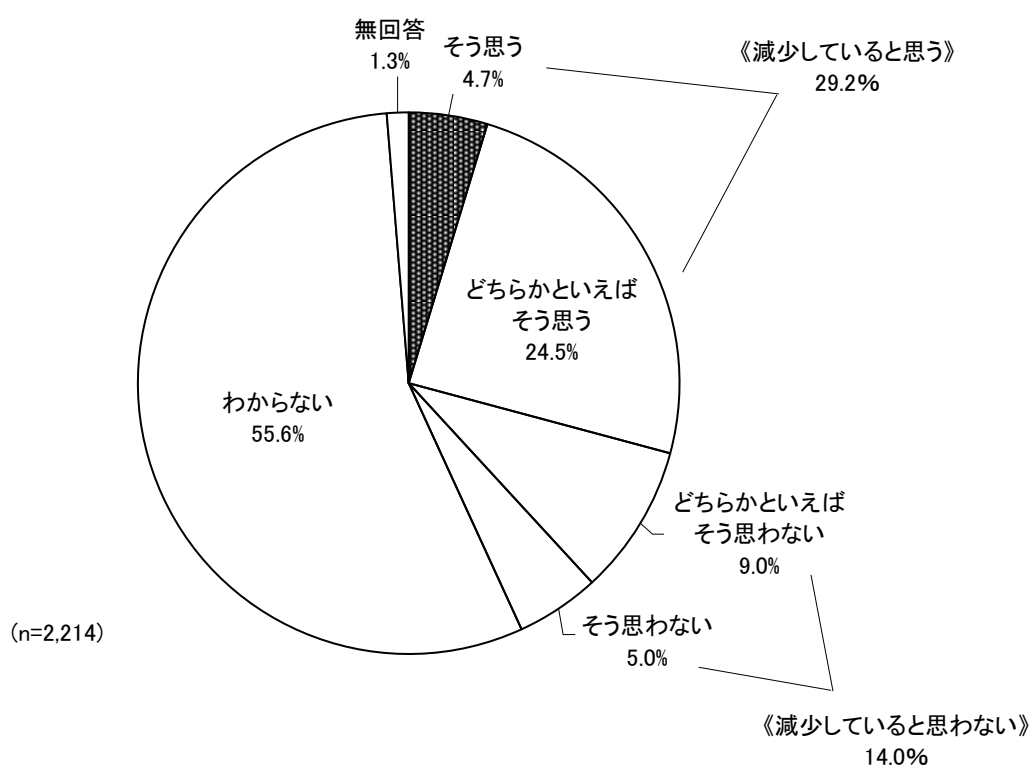
性・年齢別にみると、《進んでいると思う》は女性の10・20歳代で2割半ば、男性の10・20歳代で2割となっている。《進んでいると思わない》は男性の60歳代と70歳代で3割近く、男性の50歳代、女性の40歳代で2割半ばとなっている。「わからない」は女性の30歳代で7割、男性の30歳代、女性の70歳代で7割近くとなっている。（図10-3-3）

(4) 区内の外国人等への偏見や差別の改善状況

◎《減少していると思う》がほぼ3割、《減少していると思わない》が1割半ば

問33 区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか。(○は1つ)

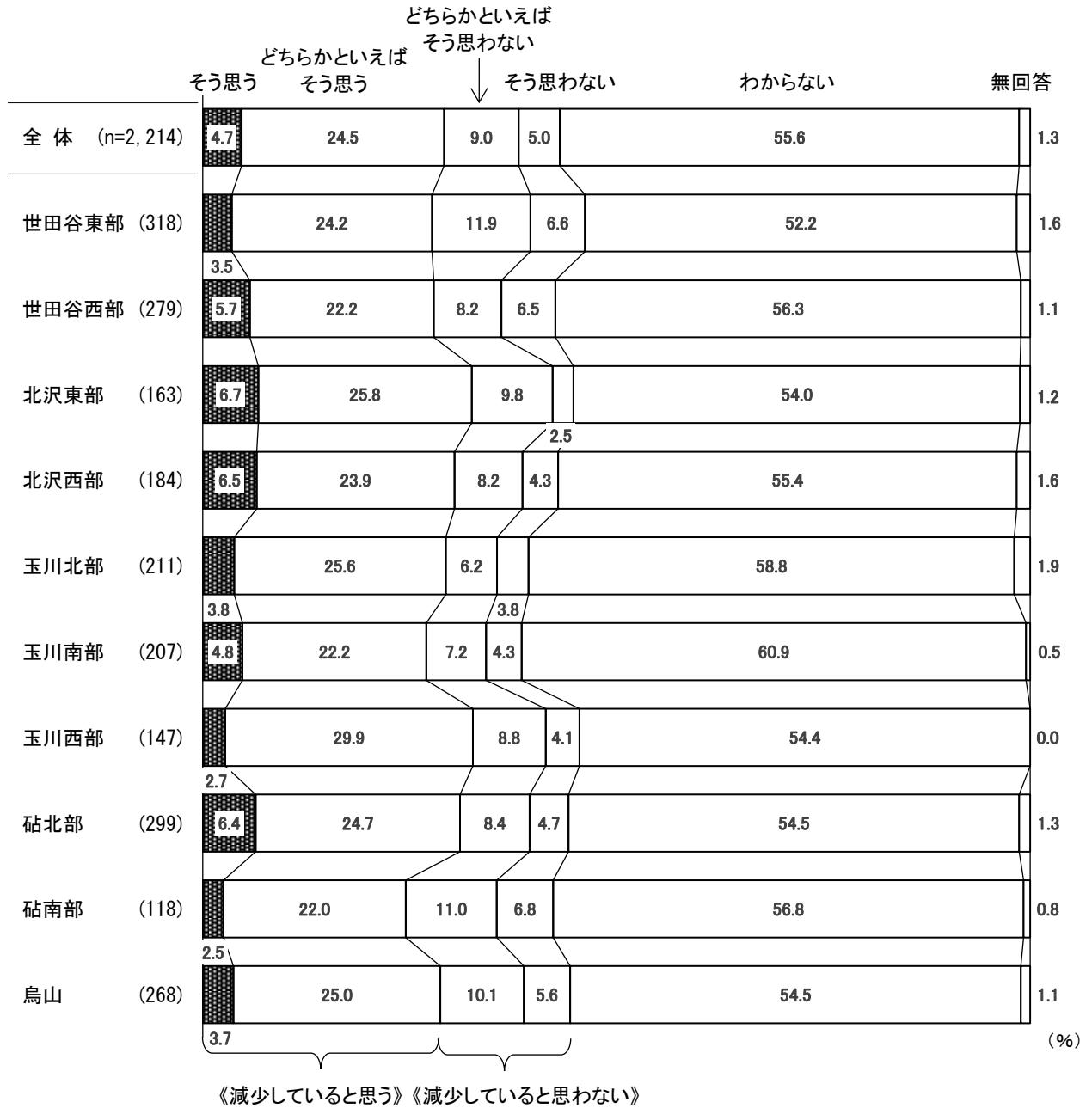
図10-4-1



区内の外国人等に対する偏見や差別が減少していると思うか聞いたところ、「わからない」(55.6%)が5割半ばで最も高い。「そう思う」(4.7%)と「どちらかといえばそう思う」(24.5%)を合わせた《減少していると思う》(29.2%)がほぼ3割、「どちらかといえばそう思わない」(9.0%)と「そう思わない」(5.0%)を合わせた《減少していると思わない》(14.0%)は1割半ばとなっている。

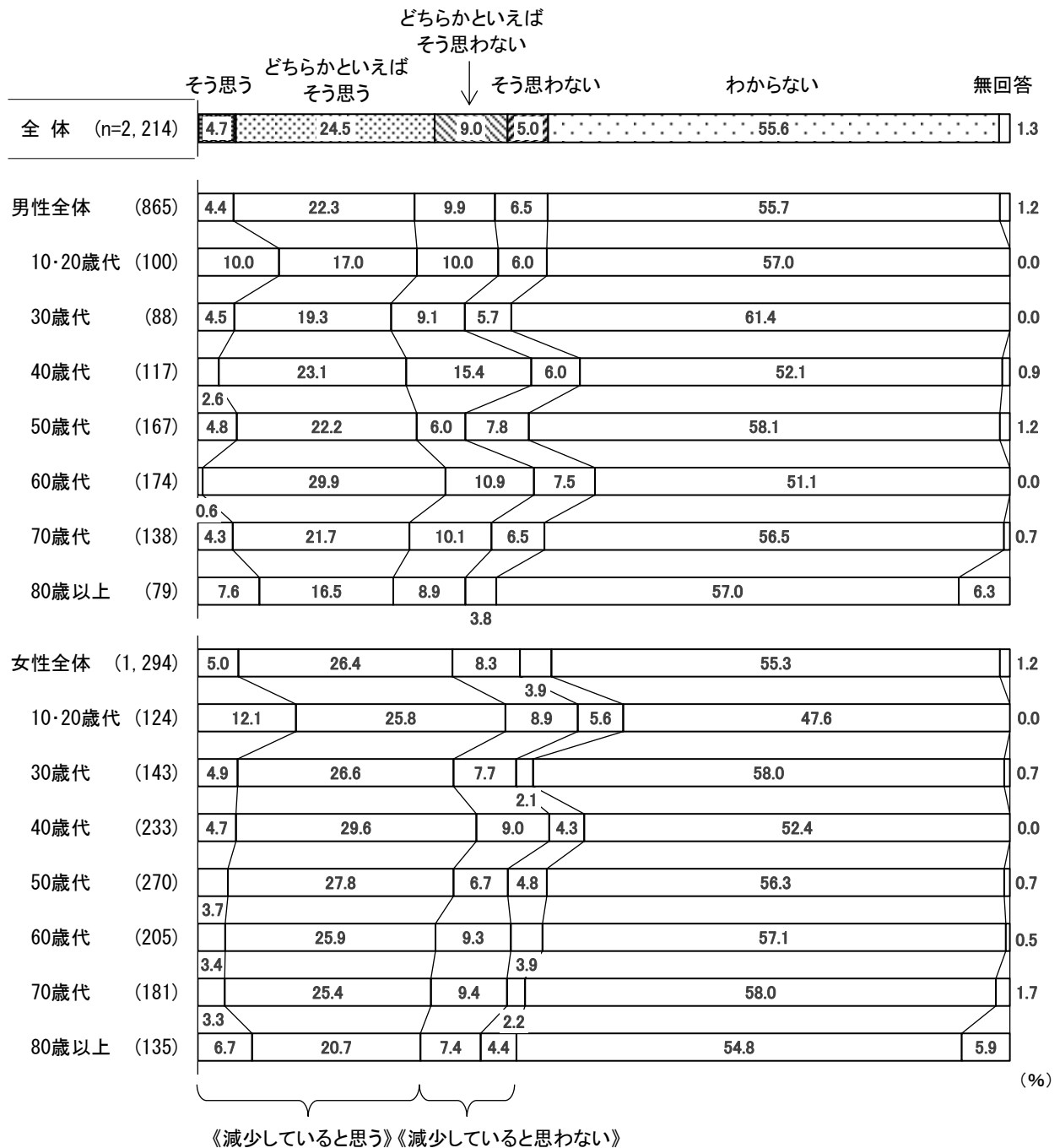
(図10-4-1)

図 10-4-2 区内の外国人等への偏見や差別の改善状況（地域別）



地域別にみると、《減少していると思う》は玉川西部、北沢東部、砧北部で3割を超え、北沢西部で3割、玉川北部でほぼ3割となっている。《減少していると思わない》は世田谷東部、砧南部で2割近く、烏山、世田谷西部で1割半ばとなっている。「わからない」は玉川南部でほぼ6割、玉川北部、砧南部で6割近くとなっている。（図10-4-2）

図 10-4-3 区内の外国人等への偏見や差別の改善状況（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《減少していると思う》は女性の10・20歳代で4割近く、女性の40歳代で3割半ばとなっている。《減少していると思わない》は男性の40歳代で2割を超え、男性の60歳代と70歳代で2割近くとなっている。「わからない」は男性の30歳代で6割を超え、男性の10・20歳代と50歳代、70歳代以上、女性の30歳代と60歳代、70歳代で6割近くとなっている。

(図 10-4-3)

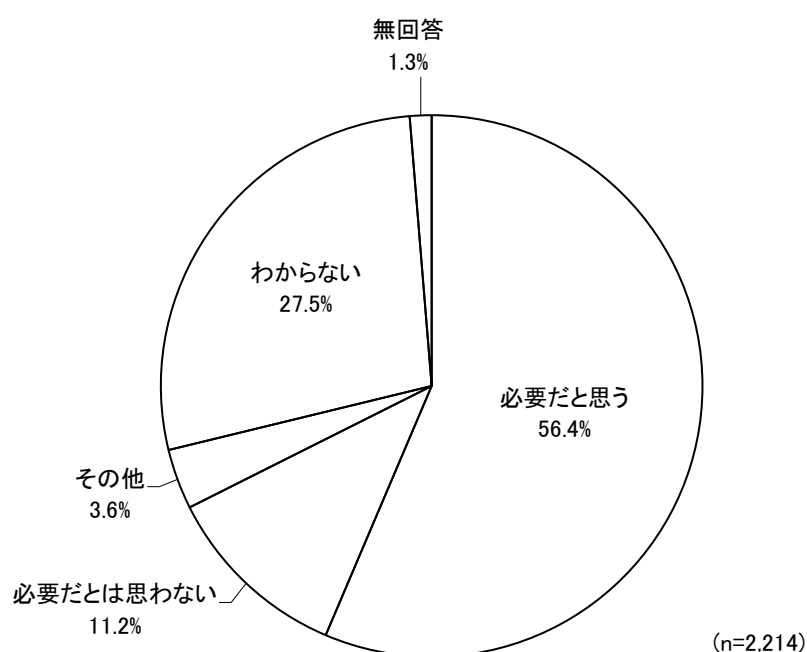
11. 男女共同参画

(1) 性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策の必要性

◎「必要だと思う」が5割半ば

問34 あなたは、性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策について、必要だと思いますか。(○は1つ)

図11-1-1



性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策の必要性を聞いたところ、「必要だと思う」(56.4%)が5割半ばで最も高い。以下、「わからない」(27.5%)、「必要だとは思わない」(11.2%)、「その他」(3.6%)と続く。(図11-1-1)

図 1 1 - 1 - 2 性的マイノリティの方々の人権を守る啓発や施策の必要性（性・年齢別）



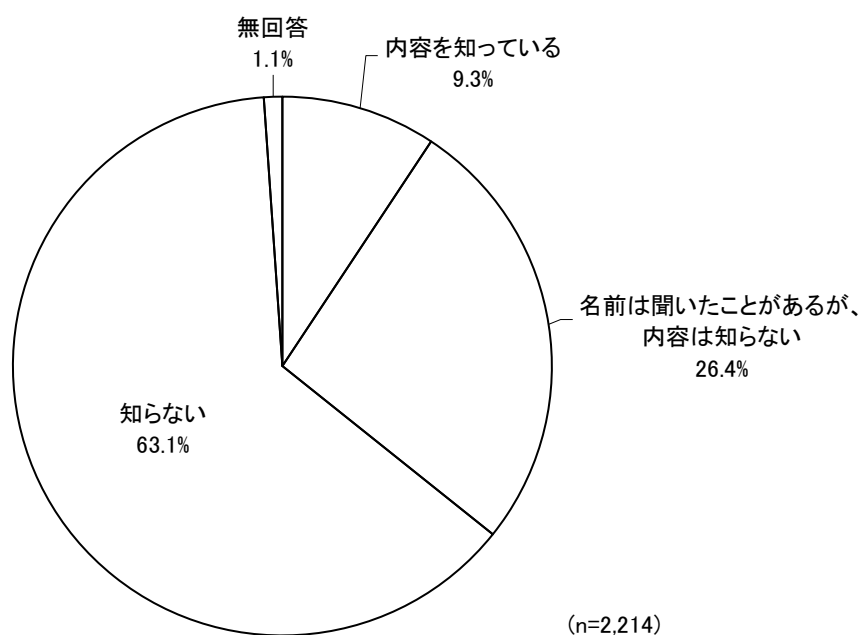
性・年齢別にみると、「必要だと思う」は女性の60歳代で7割近く、女性の10・20歳代で6割半ば、女性の40歳代で6割を超え、女性の70歳代ではほぼ6割、女性の50歳代で6割となっている。「必要だとは思わない」は男性の40歳代以下で2割を超え、男性の50歳代で1割半ばとなっている。
(図 1 1 - 1 - 2)

(2) 「世田谷区パートナーシップの宣誓の取り組み」の認知度

◎「知らない」が6割を超える

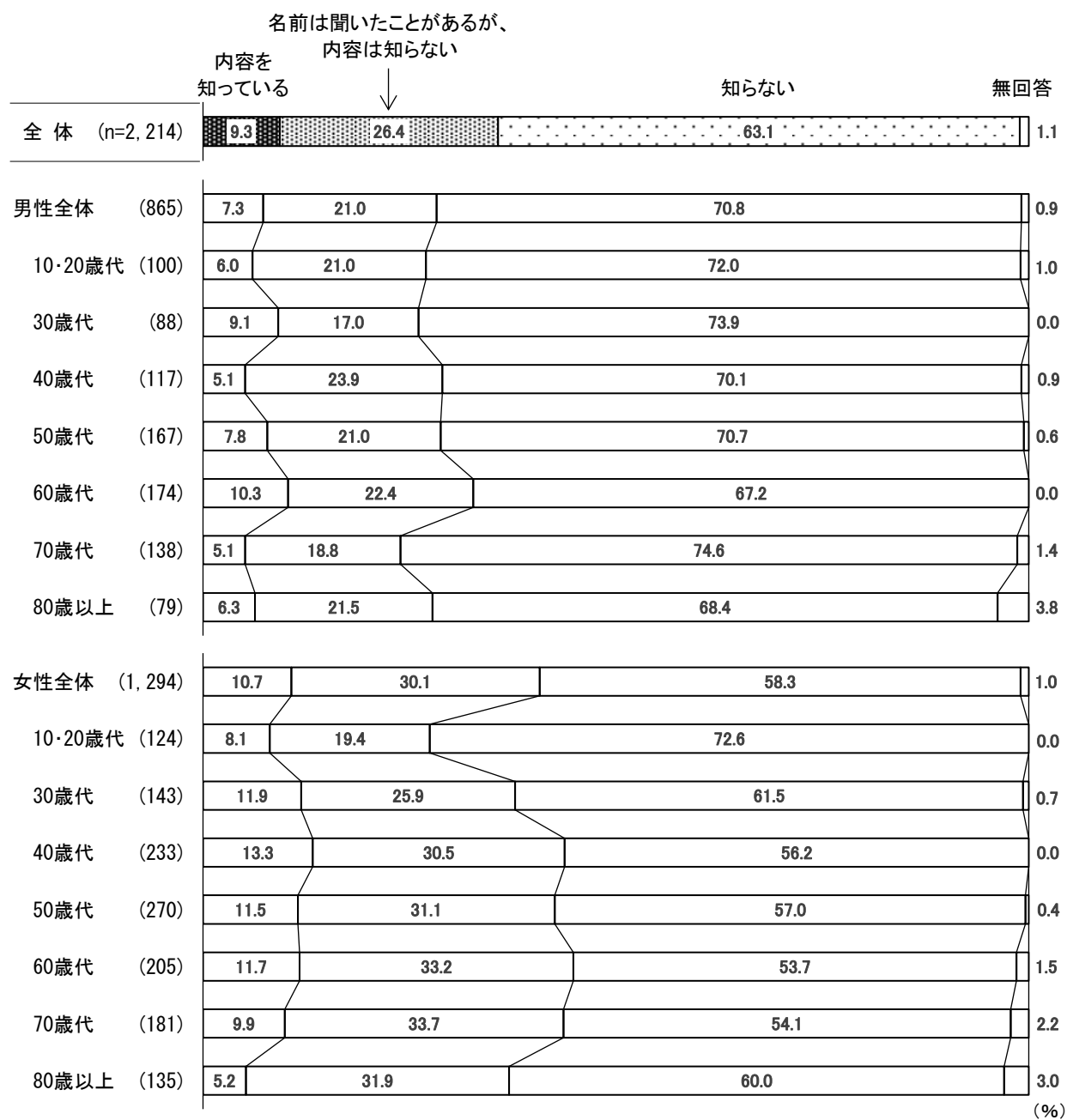
問35 あなたは、「世田谷区パートナーシップの宣誓の取り組み」を知っていますか。
(○は1つ)

図11-2-1



「世田谷区パートナーシップの宣誓の取り組み」の認知度を聞いたところ、「知らない」(63.1%)が6割を超えて最も高い。「名前はあるが内容は知らない」(26.4%)が2割半ば、「内容を知っている」(9.3%)がほぼ1割となっている。(図11-2-1)

図 1 1 - 2 - 2 「世田谷区パートナーシップの宣誓の取り組み」の認知度（性・年齢別）



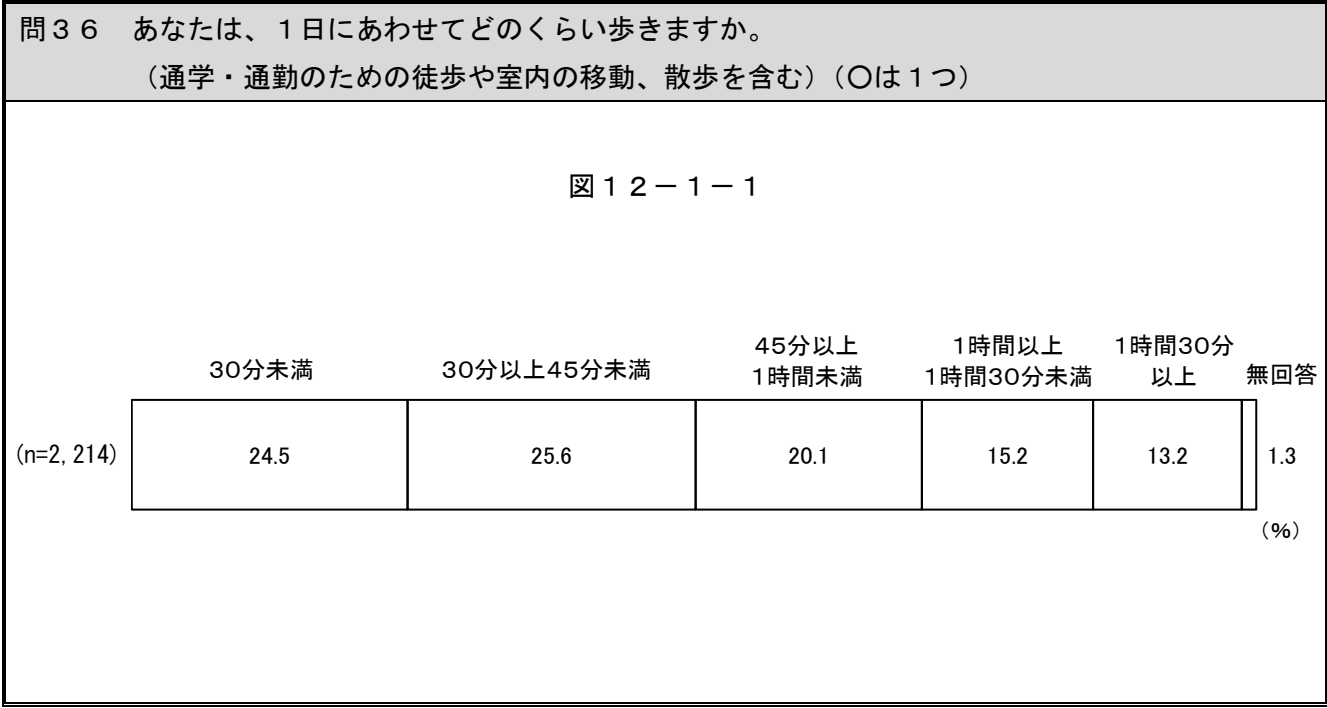
性・年齢別にみると、「内容を知っている」は女性の 30 歳代～60 歳代で 1 割を超えている。「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」は女性の 50 歳代以上で 3 割を超えている。「知らない」は男性の 70 歳代で 7 割半ば、男性の 10・20 歳代と 30 歳代、女性の 10・20 歳代で 7 割を超えている。

(図 1 1 - 2 - 2)

12. 健康づくり

(1) 1日の歩行時間

◎「30分未満」と「30分以上45分未満」が2割半ば



1日の歩行時間を聞いたところ、「30分未満」(24.5%)と「30分以上45分未満」(25.6%)が2割半ばとなっている。以下、「45分以上1時間未満」(20.1%)、「1時間以上1時間30分未満」(15.2%)、「1時間30分以上」(13.2%)と続く。(図12-1-1)

図 1 2 - 1 - 2 1 日の歩行時間（地域別）

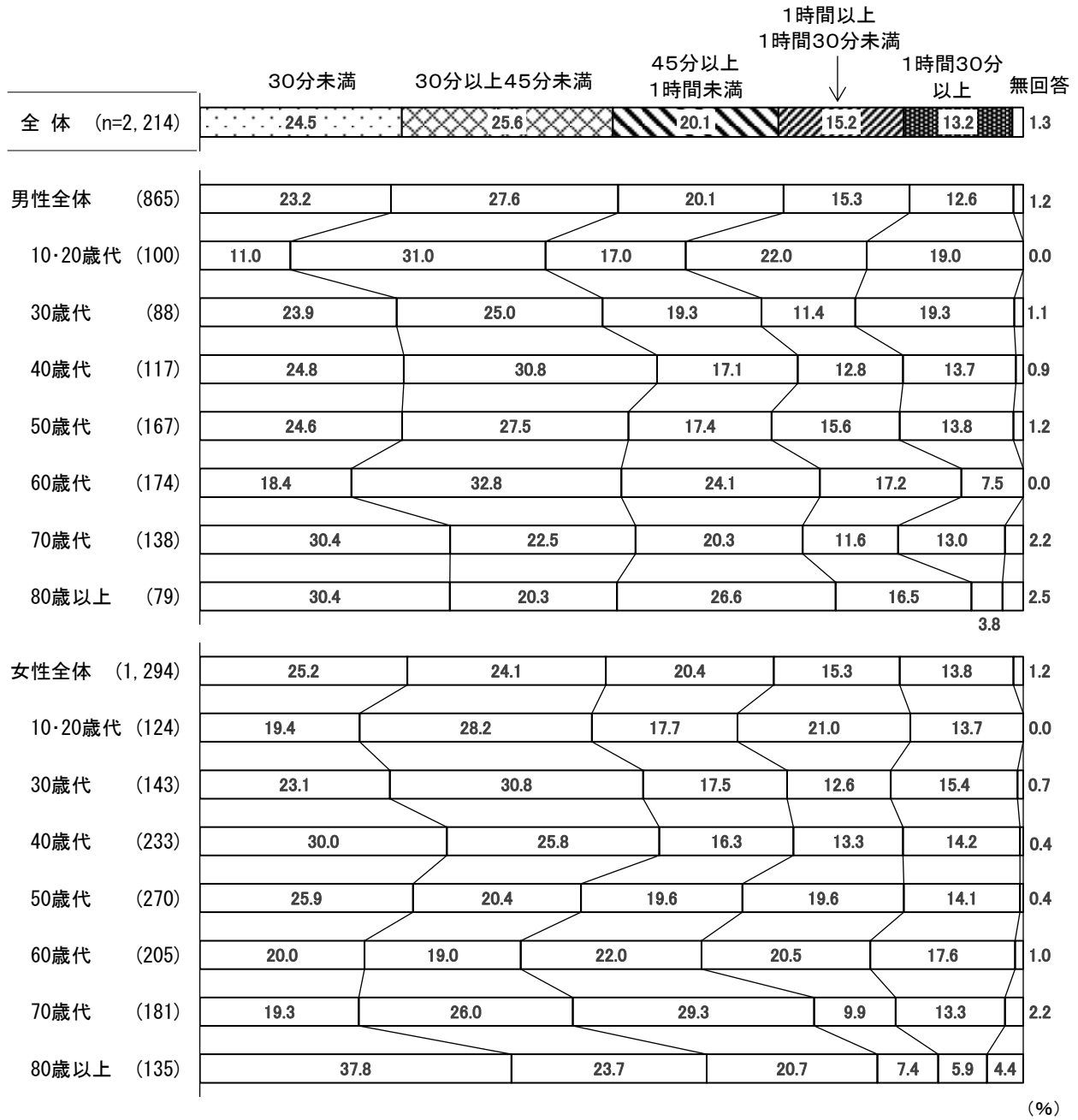
	30分未満	30分以上45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満 ↓	1時間30分 以上	無回答
全 体 (n=2, 214)	24.5	25.6	20.1	15.2	13.2	1.3
世田谷東部 (318)	22.6	29.2	17.9	16.0	12.6	1.6
世田谷西部 (279)	22.2	25.4	20.1	17.9	14.0	0.4
北沢東部 (163)	21.5	29.4	20.2	13.5	14.1	1.2
北沢西部 (184)	28.8	27.2	17.4	15.8	9.2	1.6
玉川北部 (211)	24.6	23.2	22.7	17.1	11.4	0.9
玉川南部 (207)	21.3	28.5	19.8	17.9	12.1	0.5
玉川西部 (147)	19.0	27.9	25.2	15.6	10.2	2.0
砧北部 (299)	31.4	22.4	20.4	11.4	12.7	1.7
砧南部 (118)	28.0	15.3	22.0	11.9	22.0	0.8
烏山 (268)	25.0	24.6	18.7	14.6	16.0	1.1

(%)

地域別にみると、「30 分未満」は砧北部で 3 割を超え、北沢西部、砧南部で 3 割近くとなっている。

「30 分以上 45 分未満」は北沢東部、世田谷東部でほぼ 3 割、玉川南部、玉川西部、北沢西部で 3 割近くとなっている。30 分以上（「30 分以上 45 分未満」＋「45 分以上 1 時間未満」＋「1 時間以上 1 時間 30 分未満」＋「1 時間 30 分以上」）は玉川西部、玉川南部、世田谷西部、北沢東部で 8 割近くとなっている。（図 1 2 - 1 - 2）

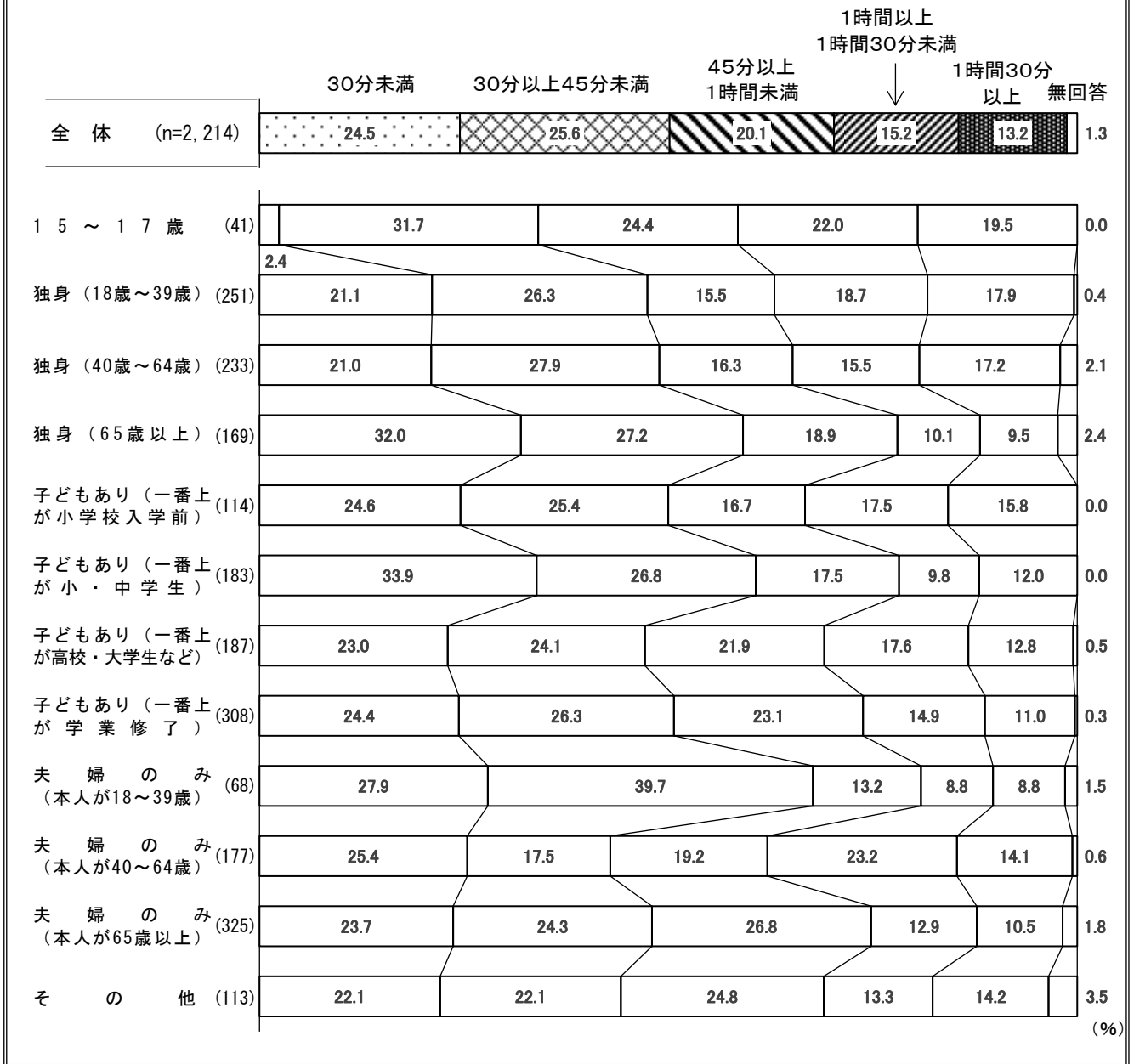
図 1 2 - 1 - 3 1日の歩行時間（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「30分未満」は女性の80歳以上で4割近く、男性の70歳代以上、女性の40歳代で3割となっている。「30分以上45分未満」は男性の10・20歳代、60歳代で3割を超え、男性の40歳代、女性の30歳代でほぼ3割となっている。30分以上（「30分以上45分未満」＋「45分以上1時間未満」＋「1時間以上1時間30分未満」＋「1時間30分以上」）は男性の10・20歳代でほぼ9割、男性の60歳代で8割を超え、女性の10・20歳代と60歳代でほぼ8割となっている。

(図 1 2 - 1 - 3)

図 1 2 - 1 - 4 1 日の歩行時間（ライフスタイル別）



ライフスタイル別にみると、「30 分未満」は独身（65 歳以上）と子どもあり（一番上が小・中学生）で 3 割を超えている。「30 分以上 45 分未満」は夫婦のみ（本人が 18～39 歳）で 4 割、15～17 歳で 3 割を超えている。30 分以上（「30 分以上 45 分未満」＋「45 分以上 1 時間未満」＋「1 時間以上 1 時間 30 分未満」＋「1 時間 30 分以上」）は 15～17 歳で 10 割近く、独身（18 歳～39 歳）、独身（40 歳～64 歳）、子どもあり（一番上が高校・大学生など）で 8 割近くとなっている。（図 1 2 - 1 - 4）

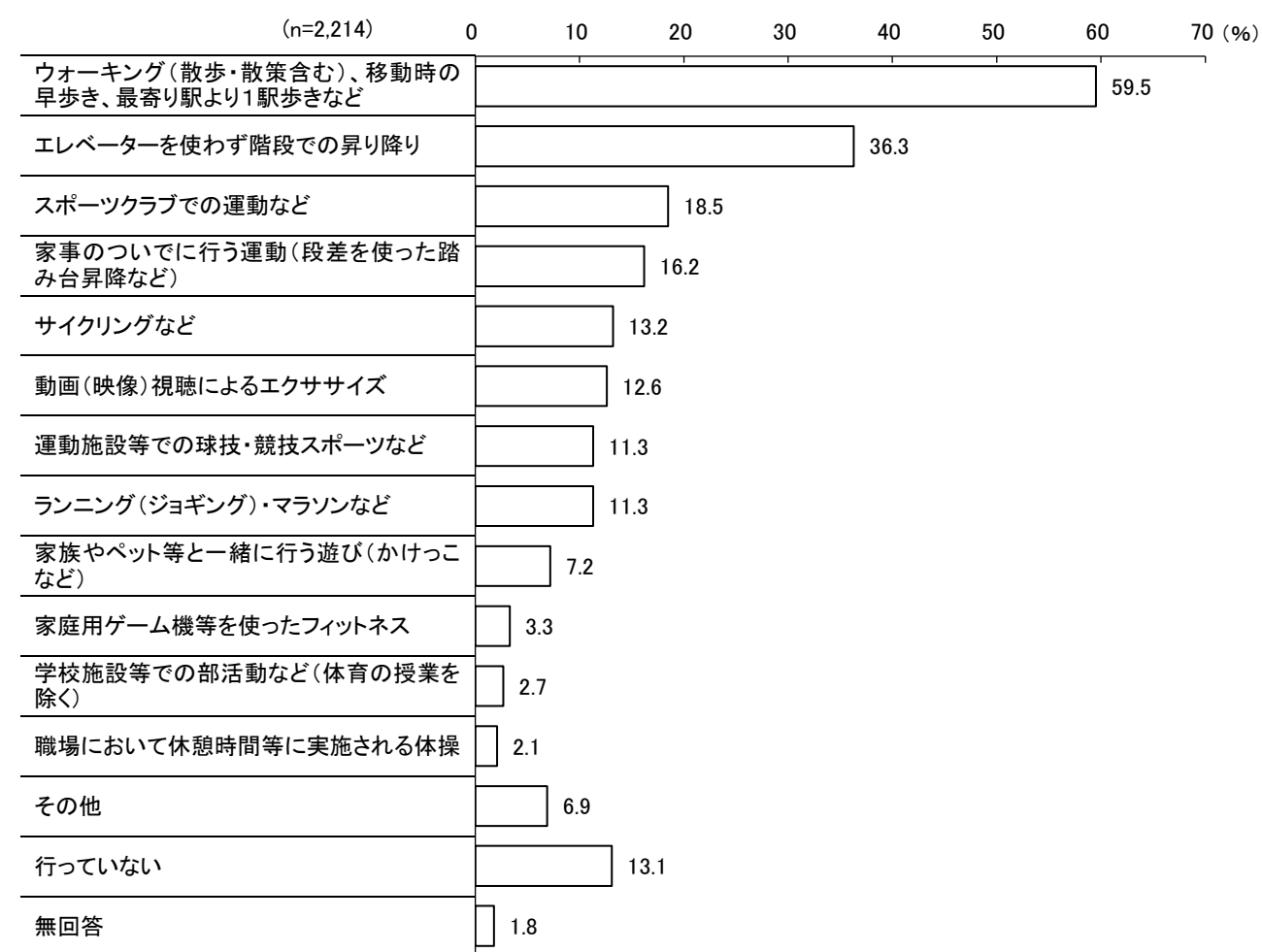
13. スポーツ

(1) この1年間に行ったスポーツや運動

◎「ウォーキング（散歩・散策含む）、移動時の早歩き、最寄り駅より1駅歩きなど」が6割

問37 この中にあなたが、この1年間に実施したスポーツや運動はありますか。
(○はいくつでも)

図13-1-1



この1年間に行ったスポーツや運動を聞いたところ、「ウォーキング（散歩・散策含む）、移動時の早歩き、最寄り駅より1駅歩きなど」（59.5%）が6割で最も高く、以下、「エレベーターを使わず階段での昇り降り」（36.3%）、「スポーツクラブでの運動など」（18.5%）、「家事のついでに行う運動（段差を使った踏み台昇降など）」（16.2%）などと続く。（図13-1-1）

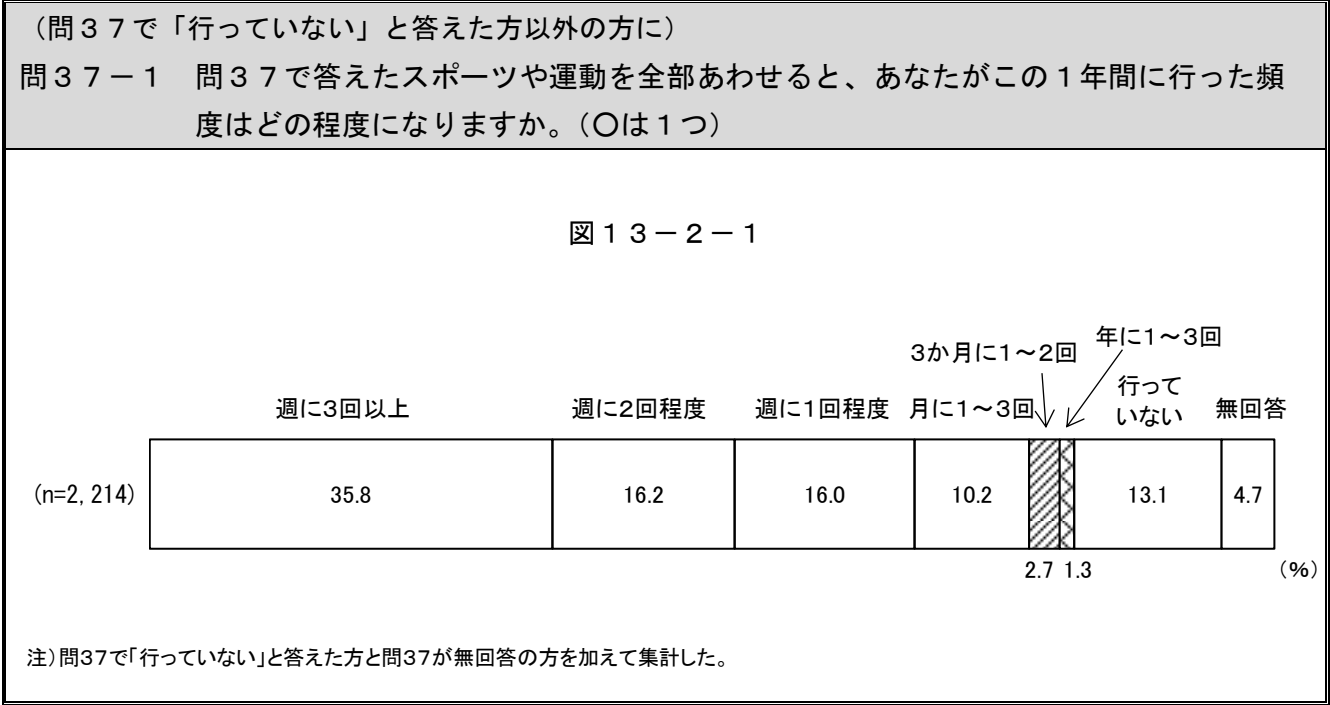
表 13-1-1 この1年間に行ったスポーツや運動（性・年齢別）

		(%)															
		n	ウォーキング（散歩・散策含む）、移動時の早歩き、最寄り駅より1駅歩きなど	エレベーターを使わず階段での昇り降り	スポーツクラブでの運動など	家事のついでに行う運動（段差を使った踏み台昇降など）	サイクリングなど	動画（映像）視聴によるエクササイズ	運動施設等での球技・競技スポーツなど	ランニング（ジョギング）・マラソンなど	家族やペット等と一緒に遊ぶ（かけっこなど）	家庭用ゲーム機等を使ったフィットネス	学校施設等での部活動など（体育の授業を除く）	職場において休憩時間等に実施される体操	その他	行っていない	無回答
全 体		2,214	59.5	36.3	18.5	16.2	13.2	12.6	11.3	11.3	7.2	3.3	2.7	2.1	6.9	13.1	1.8
性・年齢別	男性全体	865	60.5	34.2	16.4	10.5	15.1	6.7	15.7	16.6	6.7	2.9	2.5	2.4	7.2	13.2	2.0
	10・20歳代	100	58.0	46.0	15.0	9.0	20.0	17.0	31.0	36.0	7.0	5.0	16.0	5.0	8.0	10.0	1.0
	30歳代	88	61.4	45.5	14.8	14.8	15.9	10.2	28.4	34.1	14.8	9.1	2.3	1.1	2.3	9.1	－
	40歳代	117	57.3	45.3	18.8	11.1	23.1	11.1	14.5	22.2	12.0	6.0	－	3.4	6.0	7.7	1.7
	50歳代	167	61.7	37.1	21.6	10.8	16.2	6.0	13.8	18.0	7.8	0.6	－	3.6	6.6	12.0	2.4
	60歳代	174	68.4	29.3	19.0	9.2	13.8	2.9	12.1	10.9	4.0	0.6	0.6	1.7	9.8	13.8	－
	70歳代	138	58.7	22.5	13.0	8.0	9.4	1.4	8.0	1.4	2.9	0.7	1.4	1.4	9.4	18.1	3.6
	80歳以上	79	51.9	16.5	6.3	13.9	7.6	2.5	10.1	1.3	－	2.5	1.3	－	3.8	22.8	5.1
	女性全体	1,294	59.3	38.0	20.5	20.1	12.1	16.5	8.3	8.0	7.6	3.7	2.9	1.9	6.8	12.8	1.3
	10・20歳代	124	62.9	46.8	14.5	11.3	16.1	31.5	18.5	20.2	12.9	6.5	22.6	0.8	5.6	7.3	－
	30歳代	143	66.4	42.0	20.3	21.7	16.1	21.7	7.0	14.7	14.0	4.2	－	1.4	7.0	7.7	－
	40歳代	233	58.4	43.3	19.7	22.7	16.3	21.9	8.2	12.9	15.0	6.4	1.3	1.3	7.3	10.7	－
	50歳代	270	67.0	44.1	24.4	18.1	15.2	17.0	7.4	9.3	5.9	3.3	0.7	4.4	4.4	8.5	0.4
	60歳代	205	65.9	39.0	24.4	21.5	8.3	12.2	7.8	1.0	3.9	2.0	1.5	2.4	7.3	11.2	1.5
	70歳代	181	49.2	29.8	22.1	21.0	7.2	7.7	8.8	0.6	1.1	1.1	0.6	0.6	5.5	19.9	1.1
	80歳以上	135	38.5	14.1	11.1	23.0	3.0	5.9	3.0	－	0.7	3.0	－	－	11.9	28.1	8.1

性・年齢別にみると、すべての性・年代で「ウォーキング（散歩・散策含む）、移動時の早歩き、最寄り駅より1駅歩きなど」が最も高く、男性の60歳代、女性の50歳代で7割近く、女性の30歳代と60歳代で6割半ばとなっている。「エレベーターを使わず階段での昇り降り」は女性の10・20歳代で5割近く、男性の40歳代以下、女性の50歳代で4割半ばとなっている。一方、「行っていない」は女性の80歳以上で3割近く、男性の80歳以上で2割を超えている。（表13-1-1）

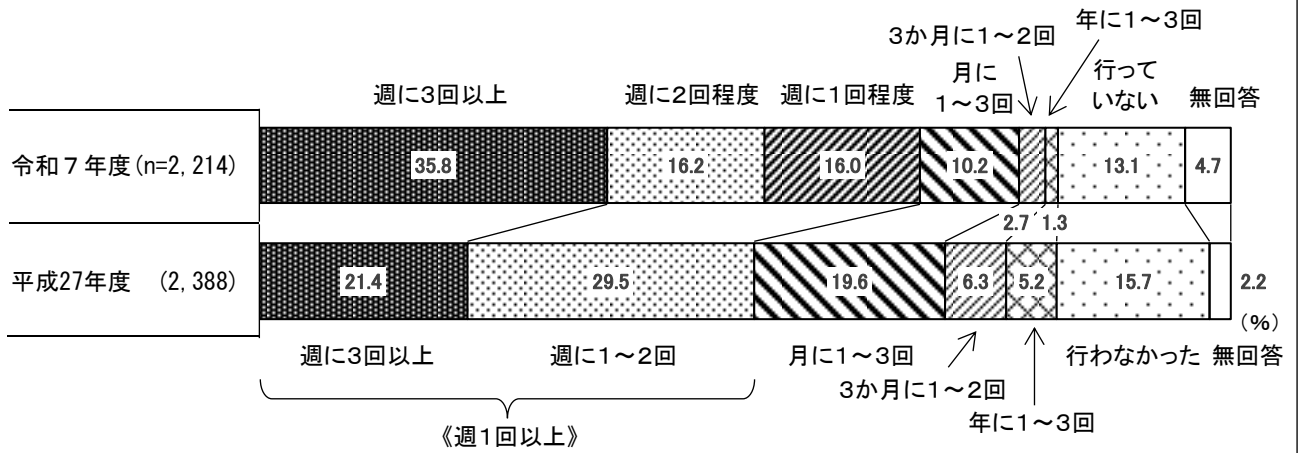
(2) この1年間に行ったスポーツや運動の回数

◎「週に3回以上」が3割半ば



この1年間に行ったスポーツや運動の回数を聞いたところ、「週に3回以上」(35.8%)が3割半ばで最も高く、以下、「週に2回程度」(16.2%)、「週に1回程度」(16.0%)、「行っていない」(13.1%)などと続く。(図13-2-1)

図 1 3 - 2 - 2 この 1 年間に行ったスポーツや運動の回数（時系列）



注) 令和5年度調査から「週に1~2回」を「週に1回程度」「週に2回程度」の2つの選択肢とした。

平成 27 年度からの時系列の変化をみると、「週に 3 回以上」は平成 27 年度（21.4%）から令和 7 年度（35.8%）で増加し、《週 1 回以上》も平成 27 年度（50.9%）から令和 7 年度（68.0%）で増加している。（図 1 3 - 2 - 2）

図 1 3 - 2 - 3 この 1 年間に行ったスポーツや運動の回数（地域別）

	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1～3回	3か月に1～2回	年に1～3回	行っていない	無回答
全 体 (n=2, 214)	35.8	16.2	16.0	10.2	2.7	1.3	13.1	4.7
世田谷東部 (318)	37.1	13.8	15.1	12.3	1.9	0.9	13.2	5.7
世田谷西部 (279)	36.6	20.8	15.1	9.3	2.9	1.4	9.3	4.7
北沢東部 (163)	37.4	15.3	16.0	10.4	3.1	0.6	11.7	5.5
北沢西部 (184)	37.0	14.7	18.5	8.2	1.1	0.5	14.7	5.4
玉川北部 (211)	30.8	18.0	16.1	9.5	2.8	0.5	19.4	2.8
玉川南部 (207)	35.3	15.5	17.9	9.2	3.4	1.4	13.5	3.9
玉川西部 (147)	40.8	17.7	17.7	8.8	1.4	0.7	8.2	4.8
砧北部 (299)	34.4	13.0	15.7	10.7	4.3	3.0	14.0	4.7
砧南部 (118)	38.1	16.1	15.3	6.8	3.4	1.7	15.3	3.4
烏山 (268)	34.7	16.8	15.7	13.4	2.2	1.5	12.7	3.0

（％）

地域別にみると、「週に3回以上」は玉川西部ではほぼ4割、砧南部、北沢東部、世田谷東部、北沢西部、世田谷西部で4割近くとなっている。《週1回以上》（「週に3回以上」＋「週に2回程度」＋「週に1回程度」）は玉川西部で7割半ば、世田谷西部で7割を超え、北沢西部、砧南部で7割となっている。《週1回未満》（「月に1～3回」＋「3か月に1～2回」＋「年に1～3回」＋「行っていない」）は玉川北部、砧北部で3割を超えている。（図13-2-3）

図 1 3 - 2 - 4 この 1 年間に行ったスポーツや運動の回数（性・年齢別）



(%)

性・年齢別にみると、「週に3回以上」は女性の60歳代で5割を超え、男性の60歳代で4割を超え、女性の10・20歳代と70歳代で4割となっている。《週1回以上》は女性の10・20歳代と60歳代で8割近く、男性の60歳代、女性の50歳代で7割半ばとなっている。《週1回未満》は女性の80歳以上で3割半ば、男性の10・20歳代で3割を超えている。（図 1 3 - 2 - 4）

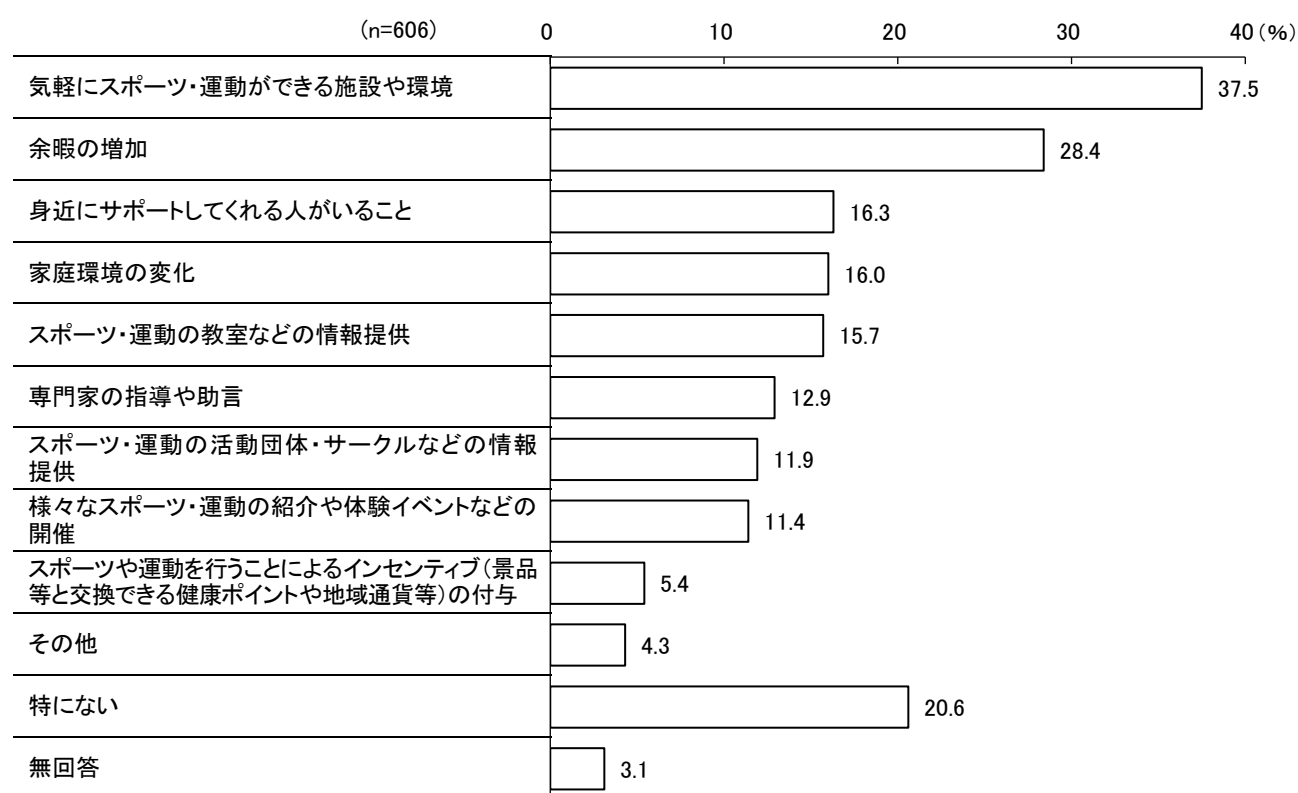
(3) スポーツや運動をより頻繁に行うきっかけ

◎「気軽にスポーツ・運動ができる施設や環境」が4割近く

(問37で「行っていない」と答えた方、または問37-1で「月に1～3回」「3か月に1～2回」「年に1～3回」と答えた方に)

問37-2 あなたは、どのようなきっかけがあればスポーツや運動をより頻繁に行うと思いますか。(〇はいくつでも)

図13-3-1



この1年間にスポーツや運動を「行っていない」または行った回数が「月に1～3回」「3か月に1～2回」「年に1～3回」と答えた方(606人)に、どのようなきっかけがあればスポーツや運動をより頻繁に行うか聞いたところ、「気軽にスポーツ・運動ができる施設や環境」(37.5%)が4割近くで最も高く、以下、「余暇の増加」(28.4%)、「身近にサポートしてくれる人がいること」(16.3%)、「家庭環境の変化」(16.0%)、「スポーツ・運動の教室などの情報提供」(15.7%)などと続く。また、「特になし」(20.6%)がほぼ2割となっている。(図13-3-1)

表 13-3-1 スポーツや運動をより頻繁に行うきっかけ（性・年齢別）

（％）

		n	気軽にスポーツ・運動ができる施設や環境	余暇の増加	身近にサポートしてくれる人がいること	家庭環境の変化	スポーツ・運動の教室などの情報提供	専門家の指導や助言	スポーツ・運動の活動団体・サークルなどの情報提供	様々なスポーツ・運動の紹介や体験イベントなどの開催	スポーツや運動を行うことによるインセンティブ（景品等と交換できる健康ポイントや地域通貨等）の付与	その他	特にない	無回答
全 体		606	37.5	28.4	16.3	16.0	15.7	12.9	11.9	11.4	5.4	4.3	20.6	3.1
性・年齢別	男性全体	245	35.5	27.3	11.0	11.4	14.3	11.4	12.2	11.4	5.3	4.9	25.7	1.2
	10・20歳代	33	45.5	36.4	6.1	9.1	9.1	6.1	15.2	12.1	9.1	-	21.2	-
	30歳代	26	46.2	42.3	11.5	7.7	19.2	19.2	30.8	7.7	3.8	3.8	19.2	-
	40歳代	33	45.5	30.3	15.2	12.1	15.2	9.1	9.1	21.2	15.2	-	15.2	3.0
	50歳代	47	38.3	34.0	8.5	17.0	12.8	17.0	10.6	6.4	6.4	8.5	21.3	-
	60歳代	42	28.6	26.2	4.8	11.9	21.4	11.9	11.9	9.5	2.4	4.8	31.0	-
	70歳代	40	25.0	17.5	10.0	5.0	7.5	7.5	2.5	10.0	-	5.0	50.0	-
	80歳以上	24	20.8	-	29.2	16.7	16.7	8.3	12.5	16.7	-	12.5	12.5	8.3
	女性全体	343	40.2	29.7	20.1	19.0	16.6	13.4	11.7	12.0	5.5	3.8	16.6	4.7
	10・20歳代	28	35.7	21.4	10.7	3.6	10.7	-	7.1	7.1	3.6	-	21.4	10.7
	30歳代	44	47.7	50.0	9.1	27.3	4.5	9.1	11.4	18.2	11.4	2.3	9.1	-
	40歳代	70	44.3	55.7	22.9	34.3	18.6	18.6	11.4	10.0	4.3	2.9	8.6	1.4
	50歳代	60	48.3	36.7	21.7	26.7	20.0	13.3	11.7	16.7	8.3	5.0	8.3	3.3
	60歳代	41	58.5	17.1	26.8	12.2	39.0	19.5	22.0	17.1	7.3	-	9.8	4.9
	70歳代	52	30.8	11.5	15.4	13.5	15.4	13.5	15.4	13.5	3.8	9.6	17.3	5.8
	80歳以上	48	14.6	-	29.2	-	6.3	12.5	2.1	-	-	4.2	47.9	10.4

性・年齢別にみると、「気軽にスポーツ・運動ができる施設や環境」は女性の 60 歳代で 6 割近く、女性の 30 歳代と 50 歳代で 5 割近く、「余暇の増加」は女性の 40 歳代で 5 割半ば、女性の 30 歳代で 5 割となっている。「特にない」は男性の 70 歳代で 5 割、女性の 80 歳以上で 5 割近くとなっている。

（表 13-3-1）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

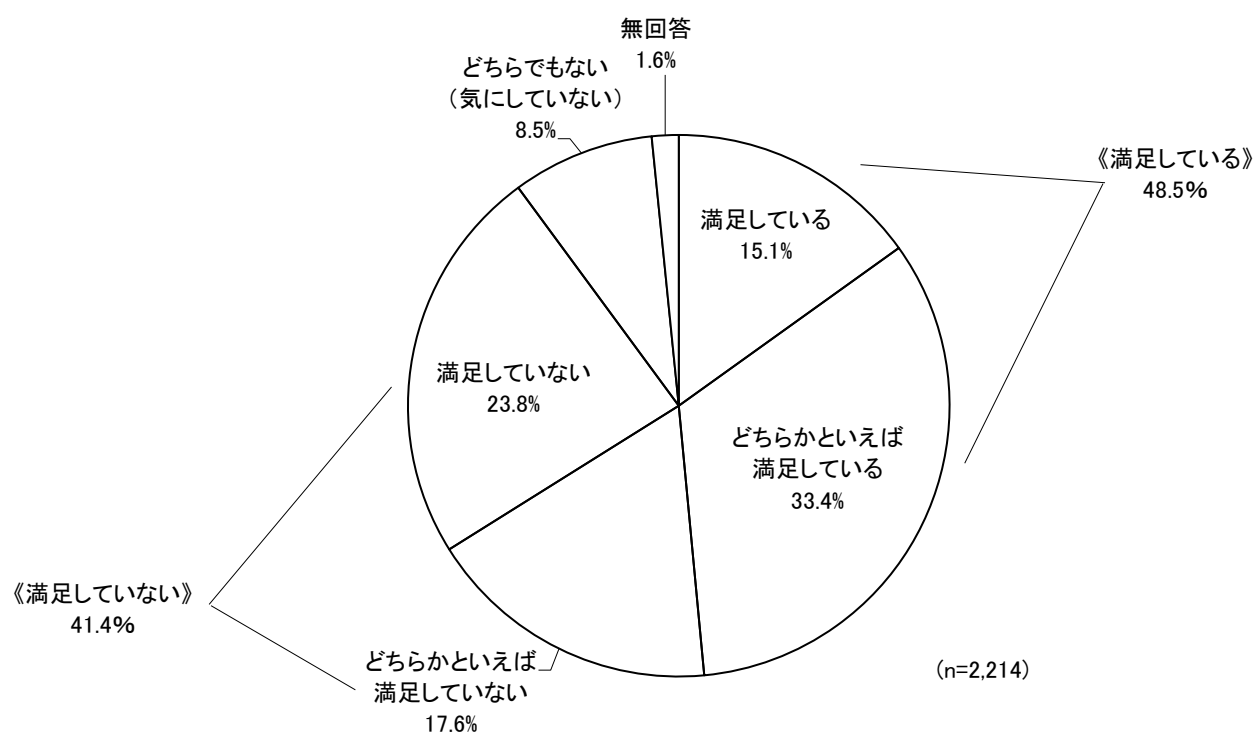
14. たばこマナー

(1) 居住地域におけるたばこマナーの満足度

◎ 《満足している》が5割近く

問38 あなたは、現在お住まいの地域における路上喫煙やポイ捨て等たばこマナーに満足していますか。(○は1つ)

図14-1-1



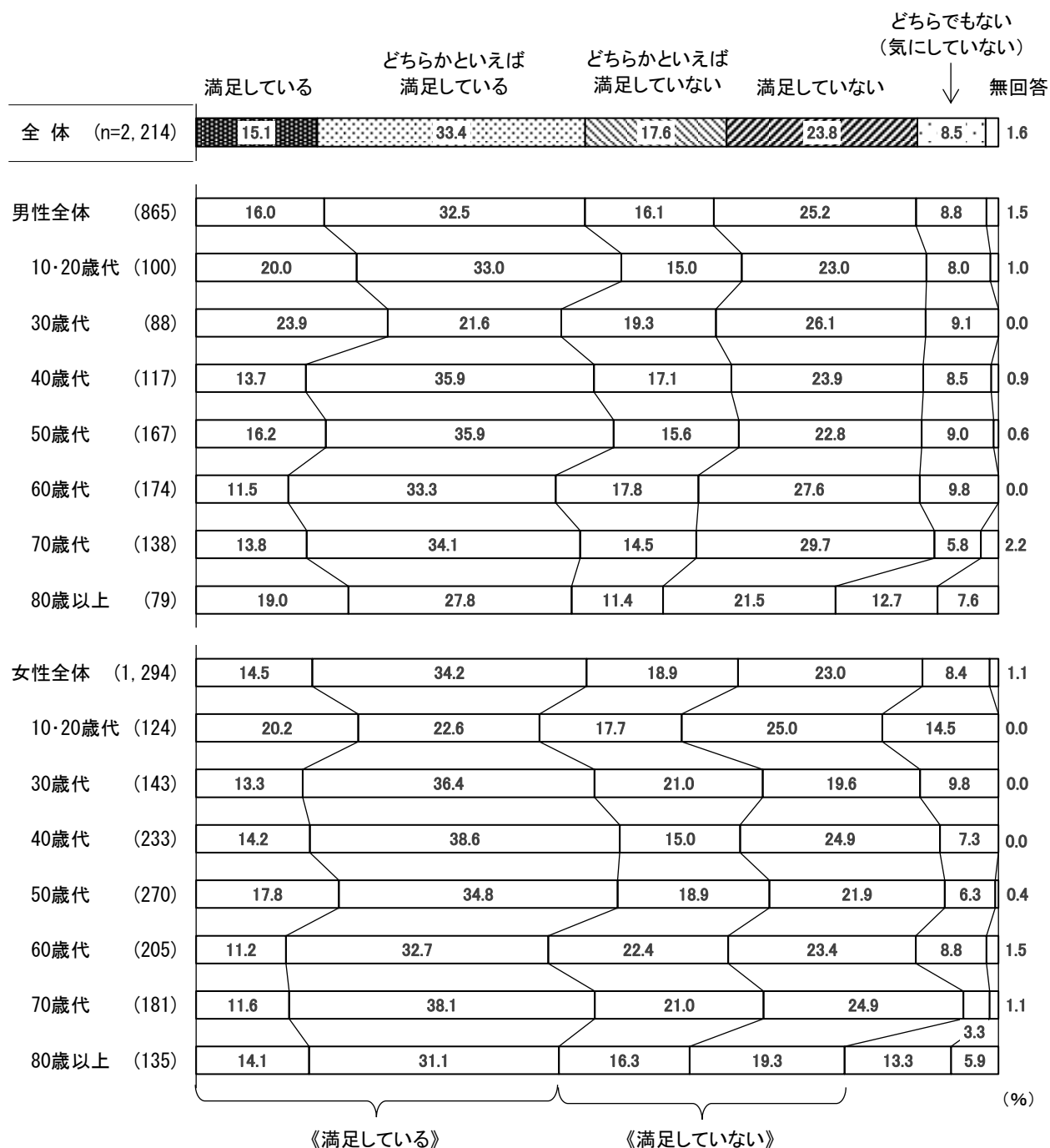
居住地域におけるたばこマナーの満足度を聞いたところ、「満足している」(15.1%)と「どちらかといえば満足している」(33.4%)を合わせた《満足している》(48.5%)が5割近く、「どちらかといえば満足していない」(17.6%)と「満足していない」(23.8%)を合わせた《満足していない》(41.4%)が4割を超えている。(図14-1-1)

図 1 4 - 1 - 2 居住地域におけるたばこマナーの満足度（地域別）

	満足している	どちらかといえば 満足している	どちらかといえば 満足していない	満足していない	どちらでもない (気にしていない) ↓	無回答
全 体 (n=2,214)	15.1	33.4	17.6	23.8	8.5	1.6
世田谷東部 (318)	13.2	30.2	16.0	30.8	7.9	1.9
世田谷西部 (279)	13.6	30.1	19.0	25.1	10.8	1.4
北沢東部 (163)	9.8	24.5	26.4	30.1	5.5	3.7
北沢西部 (184)	10.9	33.7	21.7	25.0	6.5	2.2
玉川北部 (211)	15.6	37.0	19.9	14.2	11.8	1.4
玉川南部 (207)	24.2	31.4	12.1	22.7	7.7	1.9
玉川西部 (147)	16.3	44.2	12.2	20.4	6.8	0.0
砧北部 (299)	15.1	35.5	17.4	23.4	8.0	0.7
砧南部 (118)	16.1	41.5	16.1	15.3	10.2	0.8
烏山 (268)	16.4	31.7	17.2	23.9	9.7	1.1
	《満足している》 《満足していない》				(%)	

地域別にみると、《満足している》は玉川西部ではほぼ6割、砧南部で6割近く、玉川南部で5割半ばとなっている。《満足していない》は北沢東部で5割半ば、世田谷東部、北沢西部で5割近くとなっている。（図14-1-2）

図 1 4 - 1 - 3 居住地域におけるたばこマナーの満足度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《満足している》は男性の10・20歳代と50歳代、女性の40歳代と50歳代で5割を超えている。《満足していない》は男性の30歳代と60歳代、70歳代、女性の60歳代と70歳代で4割半ばとなっている。（図14-1-3）

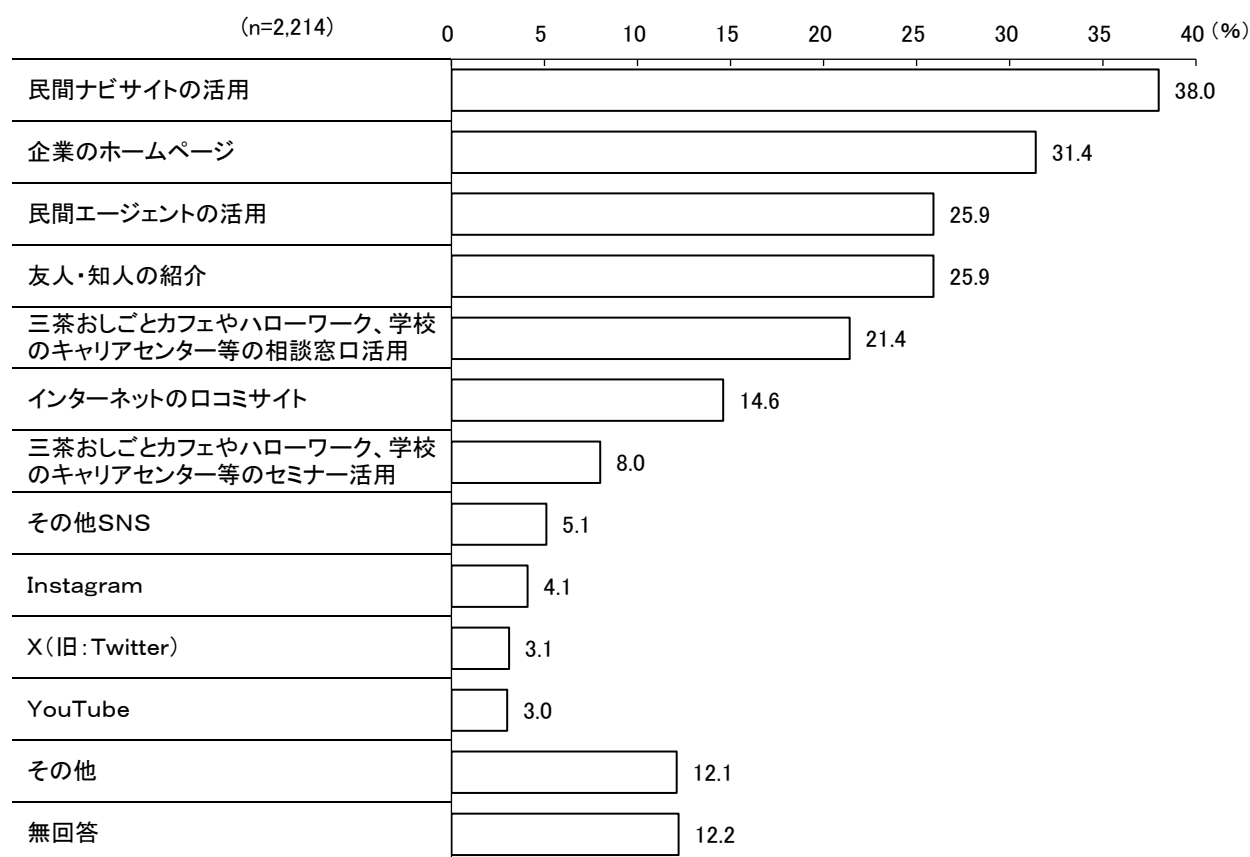
15. 就職活動

(1) 就職活動における情報収集方法

◎「民間ナビサイトの活用」が4割近く

問39 あなたは就職活動（転職活動）しようとするとき、どのように情報収集をしますか（したいですか）。（○はいくつでも）

図15-1-1



就職活動をしようとするときの情報収集方法を聞いたところ、「民間ナビサイトの活用」(38.0%)が4割近くで最も高く、以下、「企業のホームページ」(31.4%)、「民間エージェントの活用」と「友人・知人の紹介」(25.9%)、「三茶おしごとカフェやハローワーク、学校のキャリアセンター等の相談窓口活用」(21.4%)などと続く。(図15-1-1)

表 15-1-1 就職活動における情報収集方法（性・年齢別）

（％）

	n	民間ナビサイトの活用	企業のホームページ	民間エージェントの活用	友人・知人の紹介	三茶おしごとカフェやハローワーク、学校のキャリアアセンター等の相談窓口活用	インターネットの口コミサイト	三茶おしごとカフェやハローワーク、学校のキャリアアセンター等のセミナー活用	その他SNS	Instagram	X（旧Twitter）	YouTube	その他	無回答
全 体	2,214	38.0	31.4	25.9	25.9	21.4	14.6	8.0	5.1	4.1	3.1	3.0	12.1	12.2
性・年齢別	男性全体	865	35.0	32.9	26.7	25.7	18.7	14.1	8.2	6.1	2.3	3.9	12.6	12.1
	10・20歳代	100	54.0	57.0	33.0	28.0	8.0	24.0	7.0	14.0	6.0	13.0	8.0	4.0
	30歳代	88	51.1	42.0	53.4	33.0	9.1	26.1	4.5	12.5	5.7	8.0	2.3	—
	40歳代	117	46.2	46.2	43.6	27.4	14.5	12.0	6.8	7.7	2.6	5.1	6.0	4.3
	50歳代	167	41.3	39.5	34.7	26.9	23.4	16.2	15.0	5.4	1.8	1.8	5.4	6.6
	60歳代	174	31.6	25.3	18.4	26.4	31.0	14.9	8.0	4.0	1.7	2.9	2.3	7.5
	70歳代	138	13.8	15.9	4.3	25.4	21.0	5.1	8.0	2.2	—	—	1.4	26.8
	80歳以上	79	8.9	6.3	5.1	8.9	8.9	1.3	1.3	—	—	—	34.2	43.0
	女性全体	1,294	40.5	30.8	25.7	26.4	23.5	15.1	8.0	4.6	5.3	2.6	11.5	11.6
	10・20歳代	124	41.1	60.5	34.7	30.6	11.3	29.0	8.9	12.9	20.2	12.1	13.7	1.6
	30歳代	143	51.7	46.2	50.3	28.0	16.8	25.2	7.7	8.4	9.1	2.8	4.2	1.4
	40歳代	233	61.4	42.1	44.2	23.2	21.0	20.2	5.6	3.9	9.0	3.4	1.3	2.1
	50歳代	270	58.5	33.7	27.8	27.4	33.3	16.7	8.9	4.1	1.5	1.5	0.7	1.9
	60歳代	205	36.1	22.4	12.7	32.2	39.0	12.7	14.1	2.9	2.0	0.5	2.4	6.3
	70歳代	181	9.9	8.8	3.9	28.2	17.7	1.7	5.0	2.2	0.6	0.6	24.9	27.1
	80歳以上	135	3.7	4.4	3.7	14.1	10.4	1.5	4.4	—	—	—	19.3	54.1

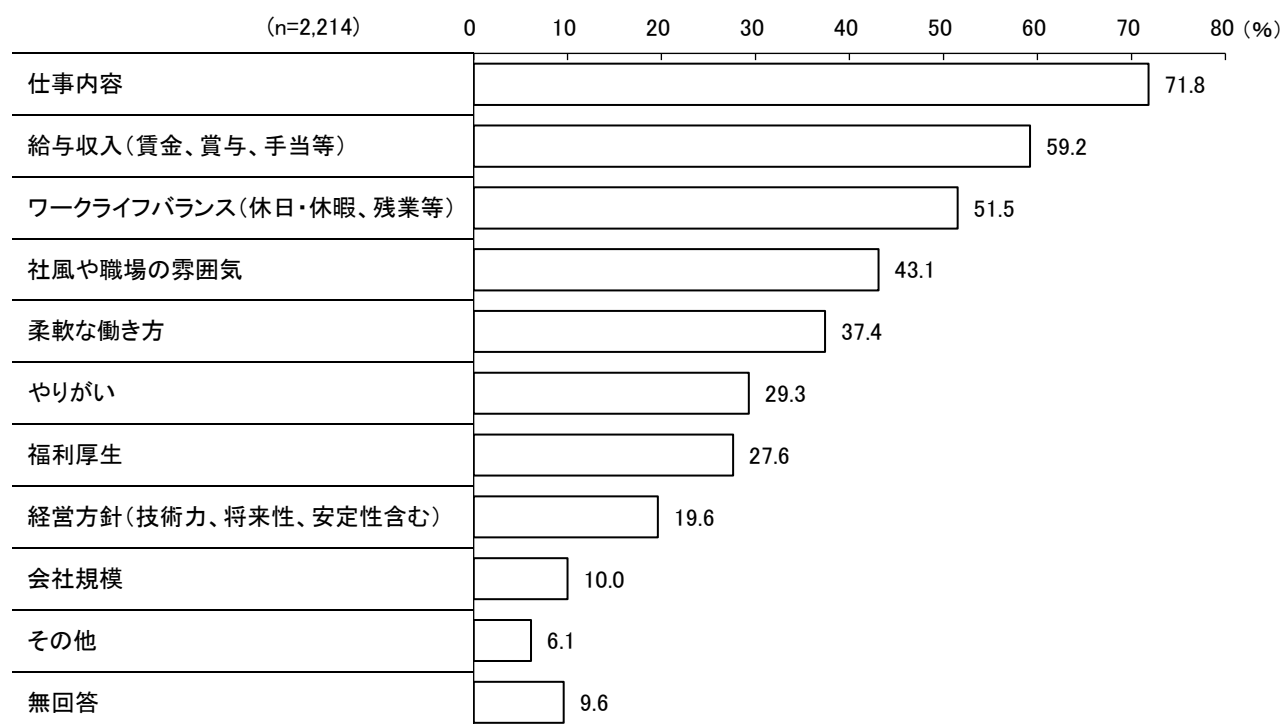
性・年齢別にみると、「民間ナビサイトの活用」は女性の40歳代で6割を超え、女性の50歳代で6割近く、男性の10・20歳代で5割半ば、男性の30歳代、女性の30歳代で5割を超えている。「企業のホームページ」は若年層が高く、女性の10・20歳代ではほぼ6割、男性の10・20歳代で6割近くとなっている。「民間エージェントの活用」は男性の30歳代で5割を超え、女性の30歳代で5割となっている。（表15-1-1）

（２）就職先選びで重視すること

◎「仕事内容」が７割を超える

問４０ あなたは就職活動（転職活動）しようとするとき、就職先選びで重視する（したい）ことは何ですか。（○はいくつでも）

図１５－２－１



就職活動をしようとするときに重視することを聞いたところ、「仕事内容」（71.8%）が７割を超えて最も高く、以下、「給与収入（賃金、賞与、手当等）」（59.2%）、「ワークライフバランス（休日・休暇、残業等）」（51.5%）、「社風や職場の雰囲気」（43.1%）、「柔軟な働き方」（37.4%）などと続く。（図１５－２－１）

表 15-2-1 就職先選びで重視すること（性・年齢別）

(%)													
		n	仕事 内容	給与 収入 （賃金、賞与、 手当等）	ワー クラ イフ バラ ンス （休日・休暇、 残業等）	社風 や職 場の 雰 囲 気	柔軟 な働 き方	やり がい	福利 厚生	経営 方針 （技術力、将来性、 安定性含む）	会社 規模	その他	無回 答
全 体		2,214	71.8	59.2	51.5	43.1	37.4	29.3	27.6	19.6	10.0	6.1	9.6
性・年 齢 別	男性全体	865	69.7	58.2	46.8	36.3	29.5	30.5	27.1	20.5	10.9	5.8	9.4
	10・20歳代	100	80.0	82.0	67.0	52.0	29.0	35.0	46.0	28.0	19.0	2.0	1.0
	30歳代	88	79.5	84.1	71.6	46.6	42.0	37.5	52.3	35.2	22.7	1.1	－
	40歳代	117	79.5	77.8	62.4	41.0	33.3	35.0	26.5	35.9	17.1	3.4	0.9
	50歳代	167	77.8	68.3	58.7	45.5	35.3	31.7	26.3	23.4	8.4	3.0	4.2
	60歳代	174	73.0	51.1	39.7	29.3	27.6	29.9	21.8	12.1	4.6	4.0	6.9
	70歳代	138	58.7	26.8	21.7	26.1	23.9	25.4	14.5	8.0	6.5	11.6	19.6
	80歳以上	79	25.3	17.7	6.3	10.1	12.7	17.7	10.1	6.3	5.1	19.0	41.8
	女性全体	1,294	74.0	60.7	55.3	48.3	42.8	29.1	28.5	19.5	9.4	6.3	9.0
	10・20歳代	124	83.1	81.5	75.0	62.9	50.0	34.7	56.5	36.3	20.2	2.4	0.8
	30歳代	143	80.4	80.4	79.0	60.8	49.7	34.3	53.1	35.0	18.9	2.8	－
	40歳代	233	86.3	82.4	76.4	59.2	54.9	28.3	35.2	25.8	13.3	1.7	0.9
	50歳代	270	86.7	73.3	66.3	61.1	49.3	33.3	26.3	20.4	8.9	4.4	1.1
	60歳代	205	82.0	53.2	48.3	44.9	42.9	36.6	18.5	13.2	4.4	3.4	4.4
	70歳代	181	50.8	24.9	19.3	26.0	30.9	21.0	11.0	5.5	1.7	13.8	23.2
80歳以上	135	31.9	17.8	14.1	11.1	11.1	10.4	8.1	3.7	1.5	18.5	44.4	

性・年齢別にみると、「仕事内容」は男性の10・20歳代、女性の60歳代以下で8割台となっている。「給与収入（賃金、賞与、手当等）」は男性の30歳代で8割半ば、男性の10・20歳代、女性の10・20歳代と40歳代で8割を超え、女性の30歳代で8割となっている。「ワークライフバランス（休日・休暇、残業等）」は女性の30歳代ではほぼ8割、女性の10・20歳代と40歳代で7割半ばとなっている。（表15-2-1）

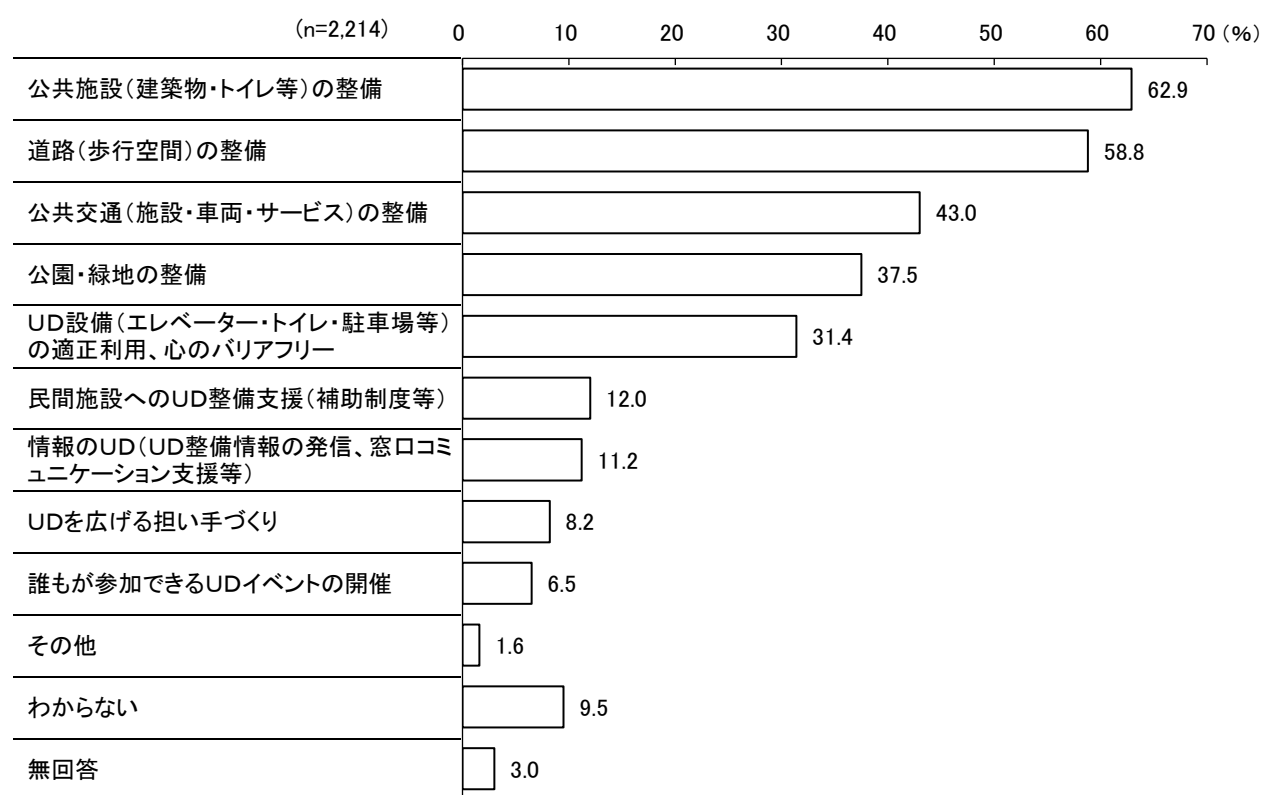
16. 都市デザイン

(1) ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み

◎「公共施設（建築物・トイレ等）の整備」が6割を超える

問41 ユニバーサルデザイン（UD）のまちづくりを進める上で重要だと思う取り組みは何ですか。（〇はいくつでも）

図16-1-1



ユニバーサルデザインのまちづくりを進める上で重要だと思う取り組みを聞いたところ、「公共施設（建築物・トイレ等）の整備」（62.9%）が6割を超えて最も高く、以下、「道路（歩行空間）の整備」（58.8%）、「公共交通（施設・車両・サービス）の整備」（43.0%）、「公園・緑地の整備」（37.5%）、「UD設備（エレベーター・トイレ・駐車場等）の適正利用、心のバリアフリー」（31.4%）などと続く。（図16-1-1）

表 16-1-1 ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み（性・年齢別）

(%)														
		n	公共施設（建築物・トイレ等）の整備	道路（歩行空間）の整備	公共交通（施設・車両・サービス）の整備	公園・緑地の整備	UD設備（エレベーター・トイレ・駐車場等）の適正利用、心のバリアフリー	民間施設へのUD整備支援（補助制度等）	情報のUD（UD整備情報の発信、窓口コミュニケーション支援等）	UDを広げる担い手づくり	誰もが参加できるUDIイベントの開催	その他	わからない	無回答
全 体		2,214	62.9	58.8	43.0	37.5	31.4	12.0	11.2	8.2	6.5	1.6	9.5	3.0
性・年齢別	男性全体	865	61.4	56.4	41.3	39.5	26.8	11.3	11.6	6.6	5.8	2.1	10.6	2.8
	10・20歳代	100	60.0	59.0	40.0	33.0	25.0	13.0	10.0	9.0	7.0	1.0	12.0	1.0
	30歳代	88	53.4	55.7	44.3	51.1	27.3	10.2	13.6	10.2	3.4	3.4	10.2	-
	40歳代	117	65.8	60.7	49.6	43.6	27.4	16.2	11.1	5.1	4.3	1.7	8.5	1.7
	50歳代	167	65.9	61.7	48.5	37.7	26.3	11.4	12.6	6.6	6.6	1.8	8.4	1.2
	60歳代	174	63.2	55.2	39.1	36.8	29.9	10.9	13.2	5.2	4.6	3.4	9.8	1.7
	70歳代	138	63.0	50.7	38.4	40.6	26.1	10.9	11.6	6.5	5.8	0.7	13.0	6.5
	80歳以上	79	50.6	49.4	22.8	38.0	22.8	5.1	6.3	5.1	10.1	2.5	13.9	8.9
	女性全体	1,294	64.8	61.3	45.1	36.8	34.9	12.4	11.1	9.1	7.0	1.3	8.5	2.7
	10・20歳代	124	65.3	58.1	43.5	34.7	37.1	13.7	11.3	6.5	7.3	0.8	13.7	-
	30歳代	143	70.6	60.1	39.9	39.9	38.5	11.2	9.8	7.7	3.5	2.1	8.4	-
	40歳代	233	65.2	60.1	47.2	43.8	35.2	13.3	8.6	7.3	7.3	1.3	6.0	0.9
	50歳代	270	69.6	68.1	56.7	37.0	38.1	13.0	12.6	10.4	7.0	1.5	5.2	0.4
	60歳代	205	66.8	69.3	51.2	38.5	38.0	14.6	14.6	10.2	5.9	0.5	6.8	1.5
	70歳代	181	61.3	58.0	37.0	37.6	30.4	12.7	13.3	11.6	11.6	1.7	7.7	4.4
	80歳以上	135	50.4	45.9	26.7	19.3	23.0	6.7	5.2	8.9	5.9	0.7	18.5	15.6

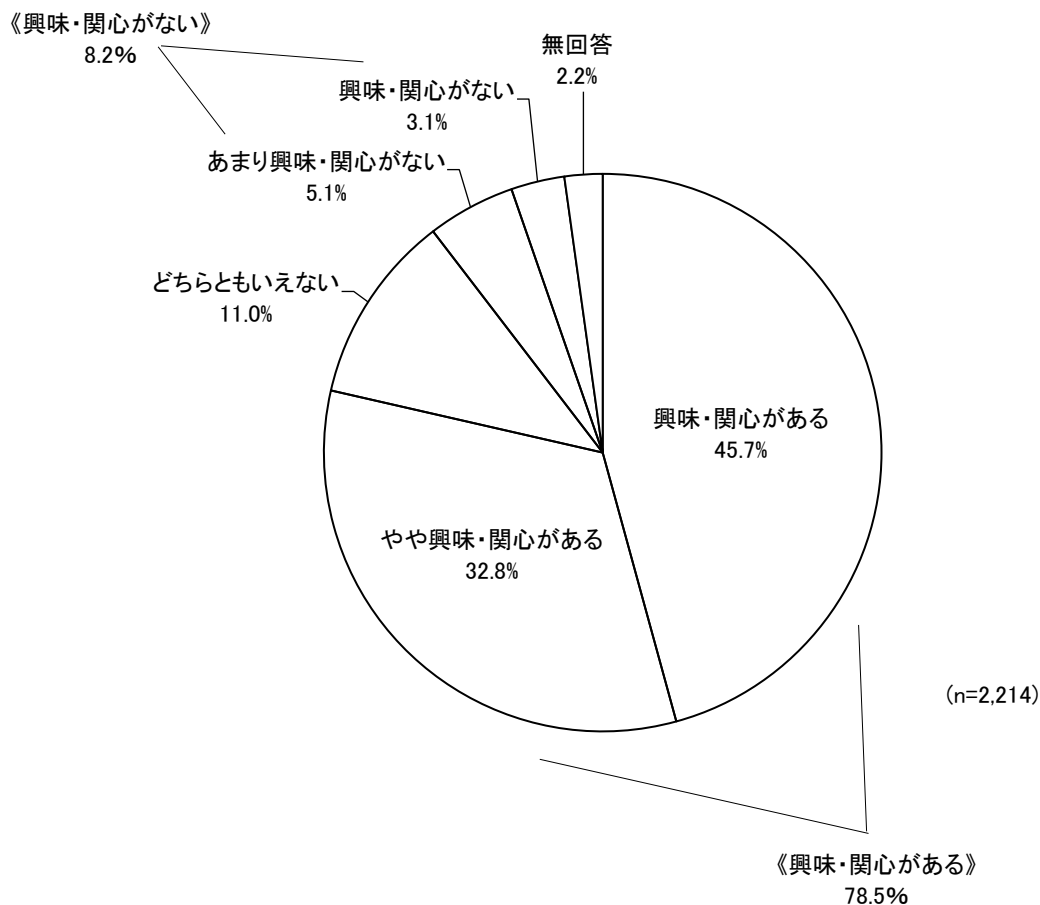
性・年齢別にみると、「公共施設（建築物・トイレ等）の整備」は女性の30歳代でほぼ7割、女性の50歳代で7割、女性の60歳代で7割近くとなっている。「道路（歩行空間）の整備」は女性の60歳代でほぼ7割、女性の50歳代で7割近くとなっている。「公共交通（施設・車両・サービス）の整備」は女性の50歳代で6割近く、女性の60歳代で5割を超え、「公園・緑地の整備」は男性の30歳代で5割を超えている。（表16-1-1）

(2) 区内の風景への興味・関心

◎ 《興味・関心がある》が8割近く

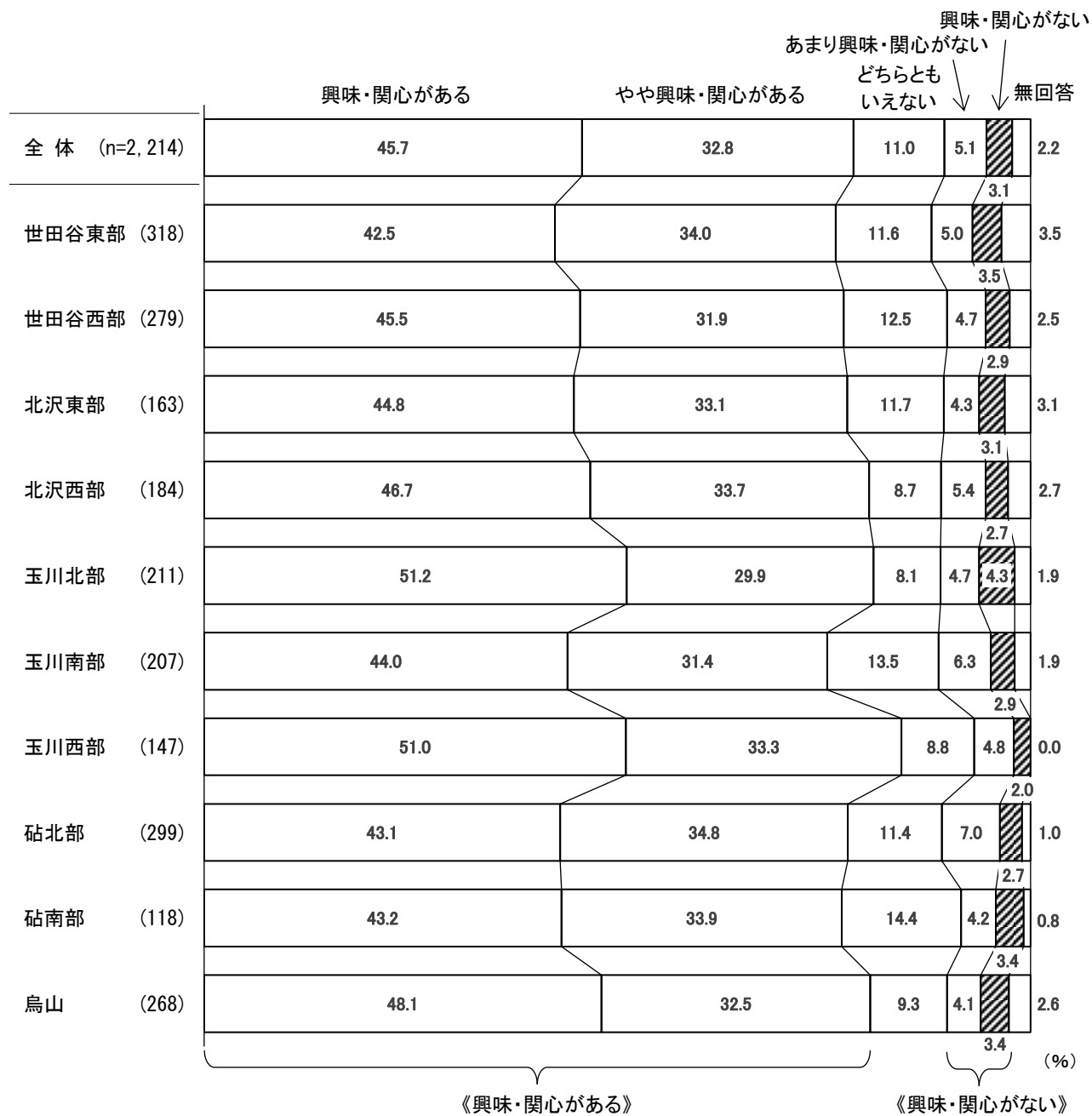
問42 あなたは、区内の風景（景観、景色、眺め、まちなみ等）に興味・関心がありますか。
（○は1つ）

図16-2-1



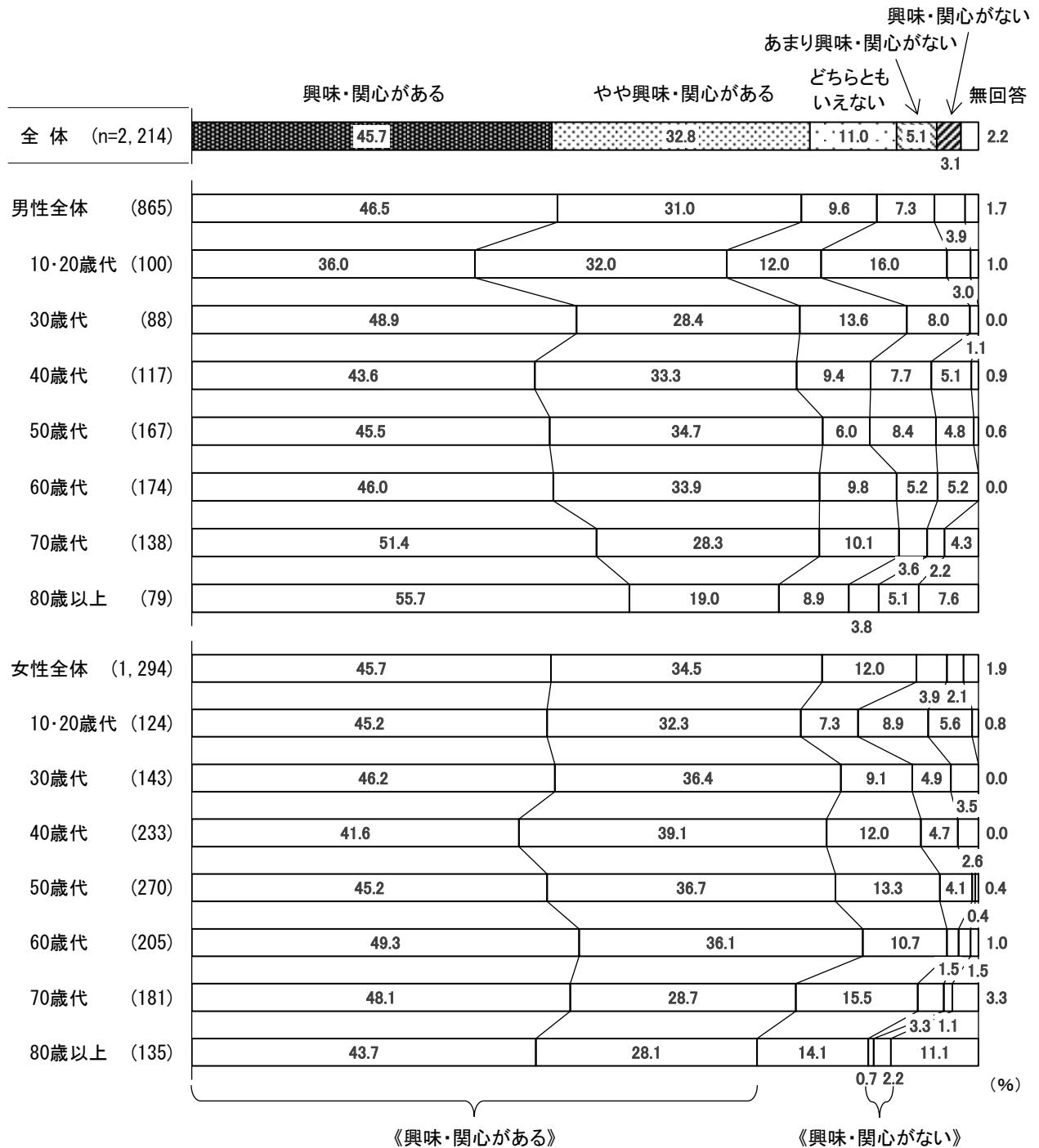
区内の風景に興味・関心があるか聞いたところ、「興味・関心がある」（45.7%）が4割半ばで最も高く、「やや興味・関心がある」（32.8%）を合わせた《興味・関心がある》（78.5%）が8割近くとなっている。「あまり興味・関心がない」（5.1%）と「興味・関心がない」（3.1%）を合わせた《興味・関心がない》（8.2%）は1割未満である。（図16-2-1）

図 1 6 - 2 - 2 区内の風景への興味・関心（地域別）



地域別に見ると、「興味・関心がある」は玉川北部、玉川西部で5割を超えている。《興味・関心がある》は玉川西部で8割半ば、玉川北部で8割を超え、烏山ではほぼ8割、北沢西部で8割となっている。《興味・関心がない》はいずれの地域も1割未満である。（図16-2-2）

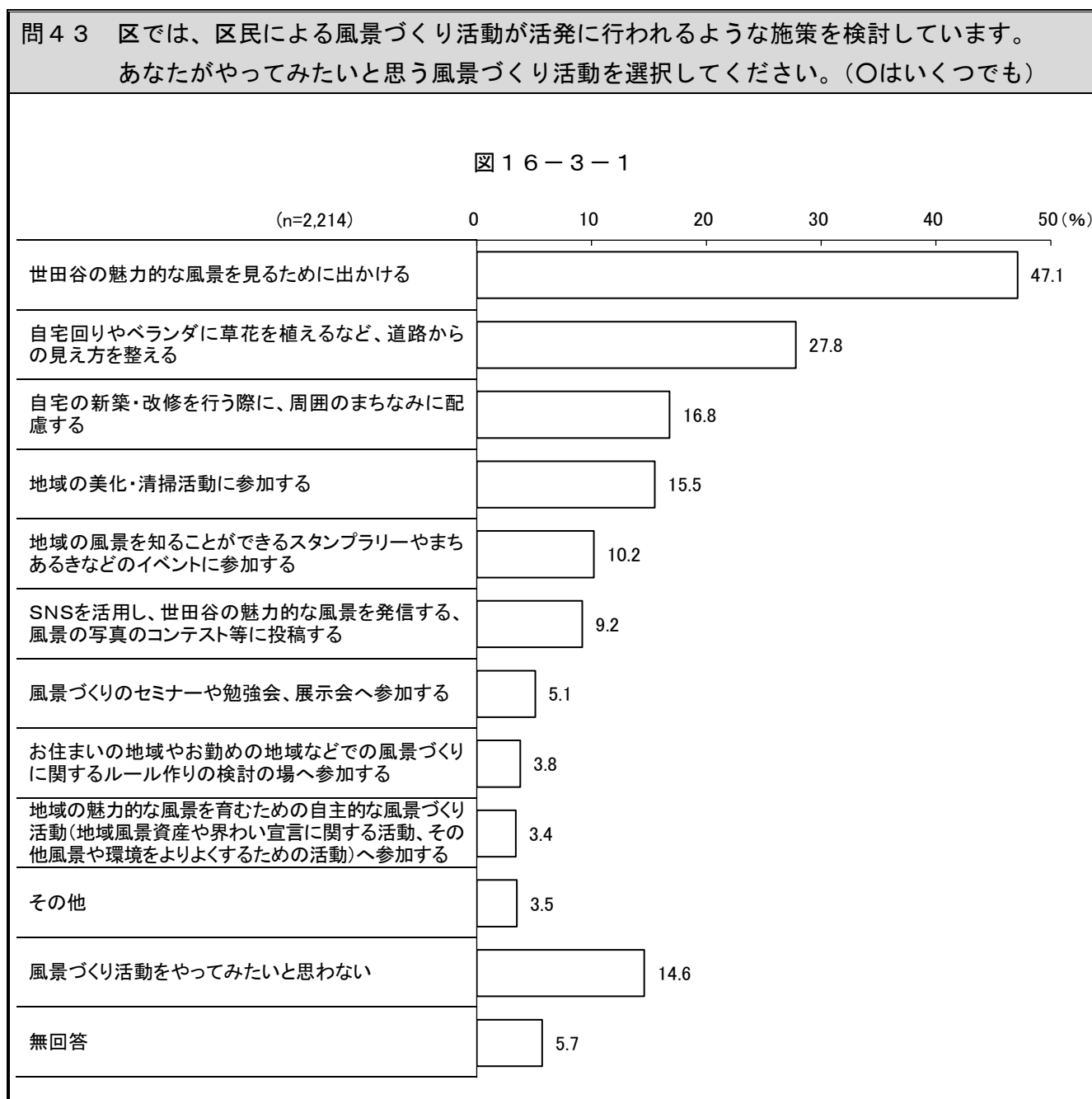
図 1 6 - 2 - 3 区内の風景への興味・関心（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「興味・関心がある」は男性の 80 歳以上で 5 割半ば、男性の 70 歳代で 5 割を超えている。《興味・関心がある》は女性の 60 歳代で 8 割半ば、女性の 30 歳代と 50 歳代で 8 割を超え、女性の 40 歳代でほぼ 8 割、男性の 50 歳代～70 歳代で 8 割となっている。《興味・関心がない》は男性の 10・20 歳代でほぼ 2 割、女性の 10・20 歳代で 1 割半ばとなっている。（図 1 6 - 2 - 3）

(3) やってみたい風景づくり活動

◎「世田谷の魅力的な風景を見るために出かける」が5割近く



やってみたいと思う風景づくり活動を聞いたところ、「世田谷の魅力的な風景を見るために出かける」(47.1%)が5割近くで最も高い。以下、「自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える」(27.8%)、「自宅の新築・改修を行う際に、周囲のまちなみに配慮する」(16.8%)、「地域の美化・清掃活動に参加する」(15.5%)などと続く。「風景づくり活動をやってみたいと思わない」(14.6%)は1割半ばとなっている。(図16-3-1)

表 16-3-1 やってみたい風景づくり活動（性・年齢別）

（％）

	n	世田谷の魅力的な風景を見るために出かける	自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える	自宅の新築・改修を行う際に、周囲のまちなみに配慮する	地域の美化・清掃活動に参加する	地域の風景を知ることができると参加する	SNSを活用し、世田谷の魅力的な風景を発信する、風景の写真のコンテスト等に投稿する	風景づくりのセミナーや勉強会、展示会へ参加する	お住まいの地域やお勤めの地域などでの風景づくりに関するルール作りの検討の場へ参加する	他風景や環境をよりよくするための活動へ参加する	活動（地域風景資産や界隈の宣言に関する活動、その他風景や環境をよりよくするための活動）へ参加する	地域の魅力的な風景を育むための自主的な風景づくり	その他	風景づくり活動をやってみたいと思わない	無回答
全 体	2,214	47.1	27.8	16.8	15.5	10.2	9.2	5.1	3.8	3.4	3.5	14.6	5.7		
性・年齢別	男性全体	865	45.4	24.5	15.8	16.4	7.2	8.9	5.4	4.6	3.2	4.9	18.7	5.2	
	10・20歳代	100	38.0	23.0	12.0	13.0	6.0	14.0	3.0	3.0	2.0	3.0	30.0	2.0	
	30歳代	88	42.0	20.5	13.6	15.9	5.7	18.2	4.5	2.3	2.3	3.4	27.3	1.1	
	40歳代	117	43.6	28.2	18.8	23.9	10.3	6.0	1.7	3.4	0.9	2.6	22.2	1.7	
	50歳代	167	53.3	23.4	18.0	18.6	6.0	10.2	8.4	5.4	5.4	3.0	18.0	4.2	
	60歳代	174	50.0	20.7	14.9	13.2	9.2	9.2	9.2	8.6	3.4	5.7	15.5	3.4	
	70歳代	138	44.2	31.2	17.4	15.9	7.2	4.3	2.2	5.1	3.6	7.2	12.3	10.1	
	80歳以上	79	36.7	25.3	13.9	13.9	2.5	1.3	6.3	-	3.8	10.1	10.1	15.2	
	女性全体	1,294	48.8	30.1	17.8	15.2	12.3	9.4	4.9	3.3	3.4	2.6	11.6	5.2	
	10・20歳代	124	46.8	18.5	9.7	17.7	14.5	16.1	3.2	1.6	1.6	2.4	22.6	4.0	
	30歳代	143	49.0	23.1	16.1	14.7	21.7	16.8	3.5	1.4	2.1	1.4	18.9	-	
	40歳代	233	51.1	27.5	19.3	18.0	9.9	12.4	5.2	4.7	2.6	1.7	11.6	1.3	
	50歳代	270	55.2	32.2	20.0	15.6	14.1	12.6	7.0	4.4	3.7	3.3	10.0	1.5	
	60歳代	205	54.1	30.2	20.0	13.2	9.8	2.9	2.9	2.0	5.9	2.0	8.3	3.4	
	70歳代	181	44.2	39.8	21.0	11.6	11.0	3.3	5.5	4.4	4.4	2.8	7.2	9.4	
	80歳以上	135	30.4	36.3	12.6	16.3	6.7	2.2	4.4	3.0	1.5	4.4	8.1	23.0	

性・年齢別にみると、「世田谷の魅力的な風景を見るために出かける」は女性の 50 歳代と 60 歳代で 5 割半ば、男性の 50 歳代、女性の 40 歳代で 5 割を超え、男性の 60 歳代で 5 割、女性の 30 歳代でほぼ 5 割となっている。「自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える」は女性の 70 歳代で 4 割、女性の 80 歳以上で 3 割半ば、男性の 70 歳代、女性の 50 歳代で 3 割を超え、女性の 60 歳代で 3 割となっている。「風景づくり活動をやってみたいと思わない」は男性の 10・20 歳代で 3 割、男性の 30 歳代で 3 割近くとなっている。（表 16-3-1）

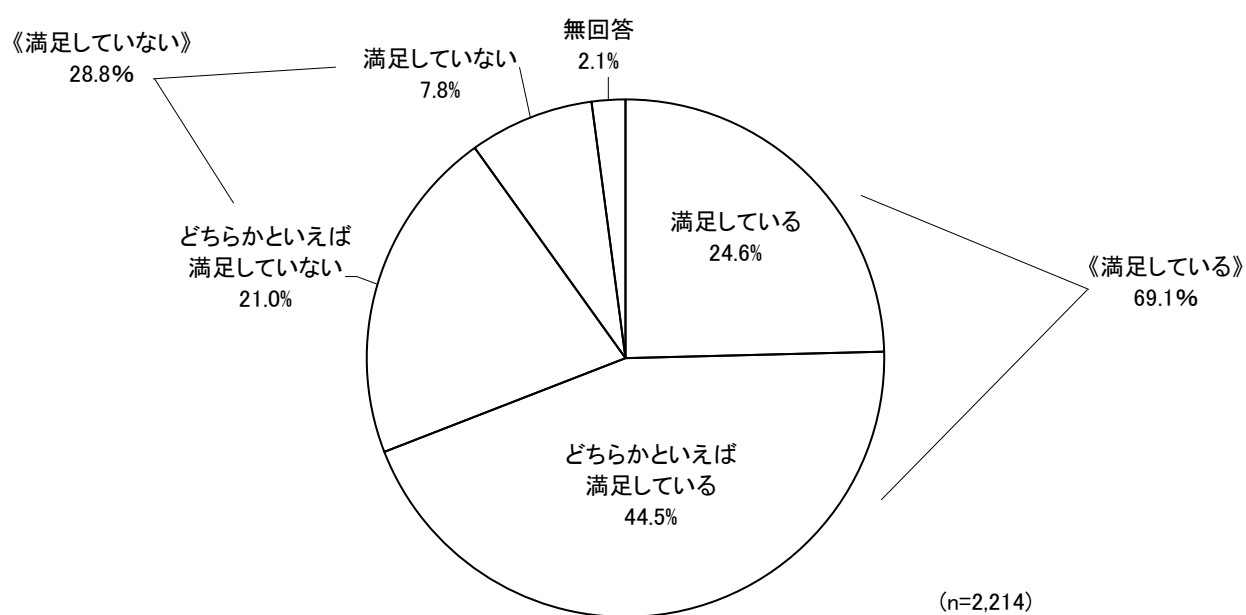
17. 交通

(1) 区の交通手段の満足度

◎ 《満足している》がほぼ7割、《満足していない》が3割近く

問44 あなたは、区内の交通手段（移動手段）に満足していますか。（○は1つ）

図17-1-1



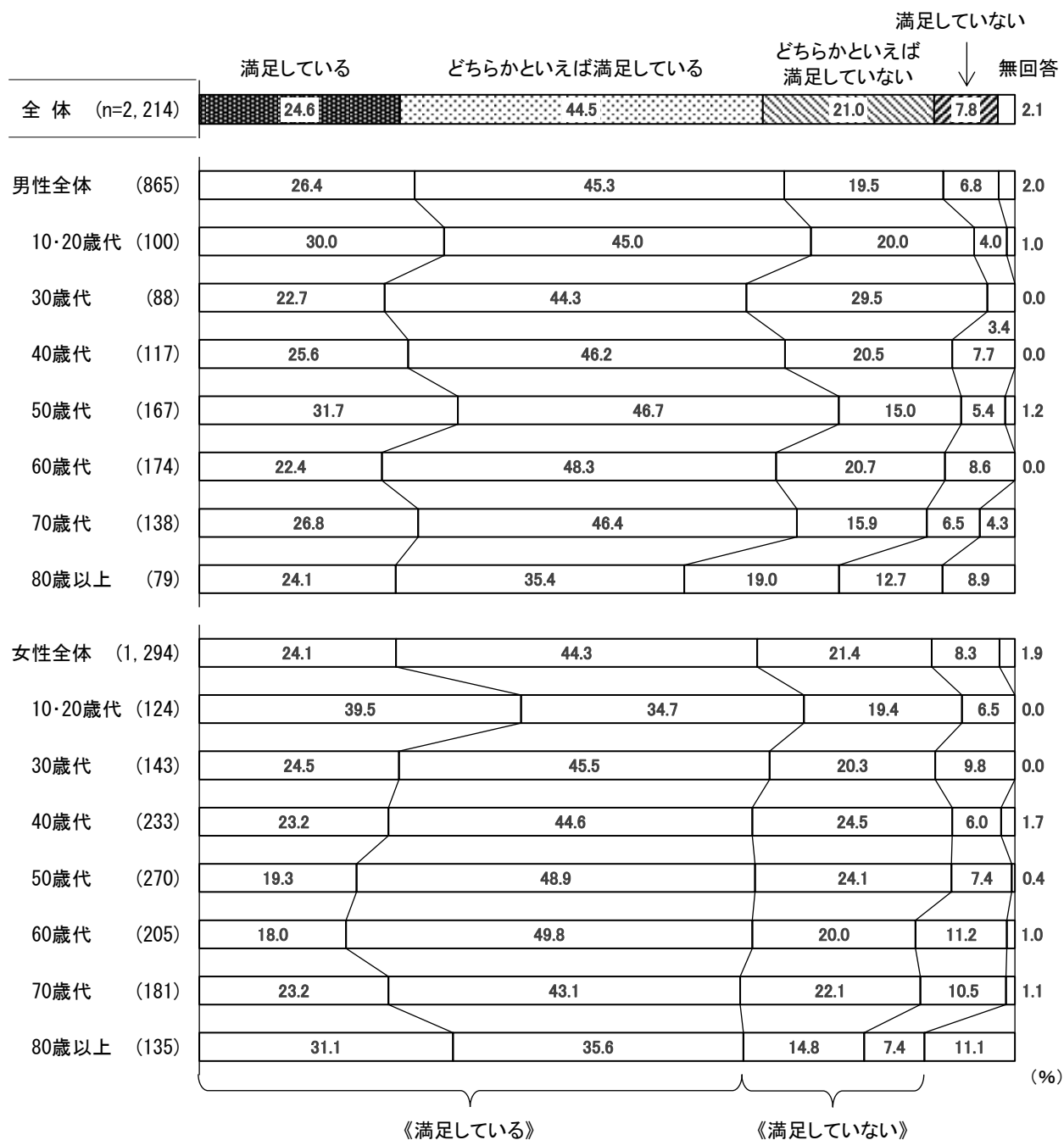
区内の交通手段に満足しているか聞いたところ、「どちらかといえば満足している」（44.5%）が4割半ばで最も高く、「満足している」（24.6%）と合わせた《満足している》（69.1%）がほぼ7割となっている。「どちらかといえば満足していない」（21.0%）と「満足していない」（7.8%）を合わせた《満足していない》（28.8%）は3割近くとなっている。（図17-1-1）

図 1 7 - 1 - 2 区の交通手段の満足度（地域別）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない ↓	無回答
全 体 (n=2, 214)	24.6	44.5	21.0	7.8	2.1
世田谷東部 (318)	33.6	42.1	17.0	3.8	3.5
世田谷西部 (279)	25.1	46.6	17.6	8.2	2.5
北沢東部 (163)	28.2	49.1	16.6	4.3	1.8
北沢西部 (184)	27.2	46.2	19.0	6.0	1.6
玉川北部 (211)	23.7	43.6	22.3	8.5	1.9
玉川南部 (207)	29.5	44.0	17.9	7.2	1.4
玉川西部 (147)	23.8	49.7	19.7	6.8	0.0
砧北部 (299)	16.4	47.5	23.7	10.4	2.0
砧南部 (118)	14.4	39.0	28.0	16.1	2.5
烏山 (268)	20.9	38.4	29.5	9.0	2.2
	(%)				
	《満足している》		《満足していない》		

地域別にみると、「満足している」は世田谷東部で3割を超えている。《満足している》は北沢東部で8割近く、世田谷東部で7割半ばとなっている。《満足していない》は砧南部で4割半ば、烏山で4割近く、砧北部で3割半ばとなっている。（図 1 7 - 1 - 2）

図 17-1-3 区の交通手段の満足度（性・年齢別）



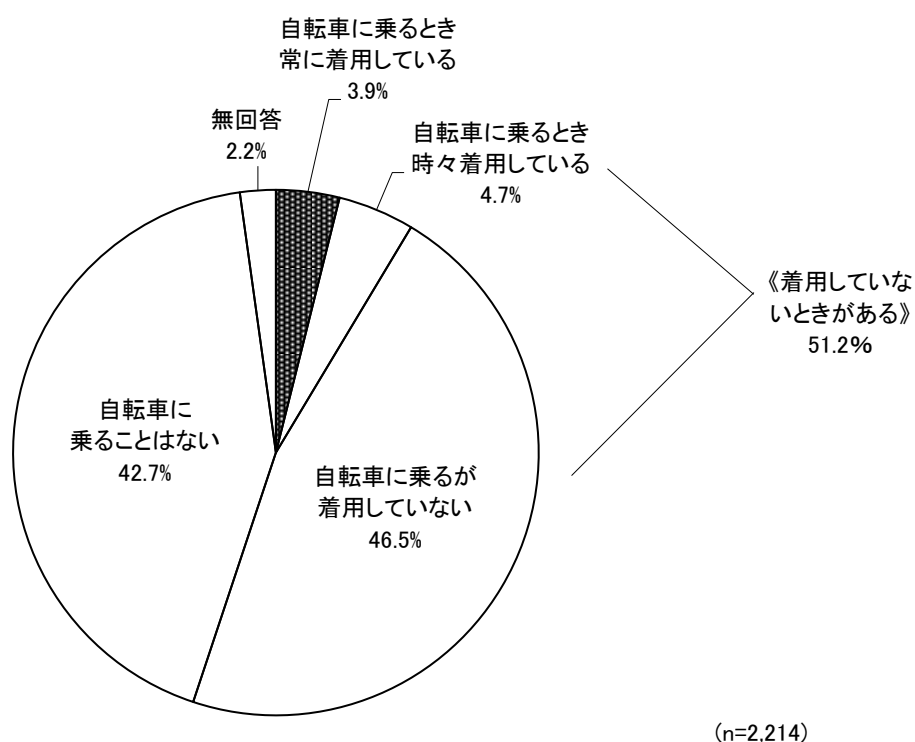
性・年齢別にみると、「満足している」は女性の10・20歳代で4割、男性の50歳代、女性の80歳以上で3割を超え、男性の10・20歳代で3割となっている。《満足している》は男性の50歳代で8割近く、男性の10・20歳代、女性の10・20歳代で7割半ば、男性の40歳代と70歳代で7割を超えている。《満足していない》は男性の30歳代と80歳以上、女性の50歳代～70歳代で3割を超えている。（図17-1-3）

（２）自転車利用時のヘルメット着用状況

◎「自転車に乗るが着用していない」が５割近く

問４５ あなたは、自転車に乗るときヘルメットを着用していますか。（○は１つ）

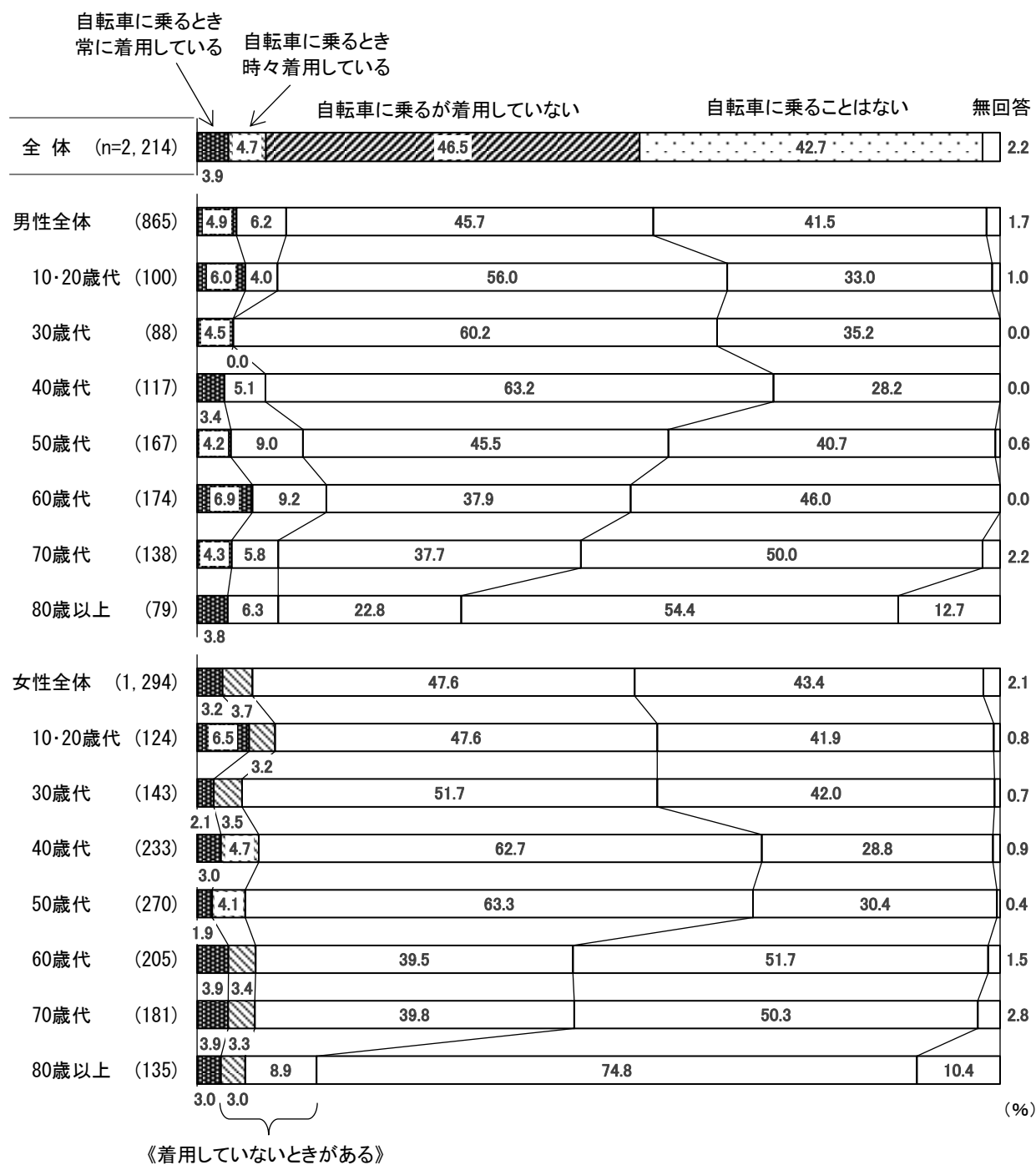
図１７－２－１



自転車に乗るときヘルメットを着用しているか聞いたところ、「自転車に乗るが着用していない」（46.5%）が５割近くで最も高く、「自転車に乗るとき時々着用している」（4.7%）と合わせた《着用していないときがある》（51.2%）は５割を超えている。「自転車に乗るとき常に着用している」（3.9%）は１割未満となっている。「自転車に乗ることはない」（42.7%）は４割を超えている。

（図１７－２－１）

図 17-2-2 自転車利用時のヘルメット着用状況（性・年齢別）



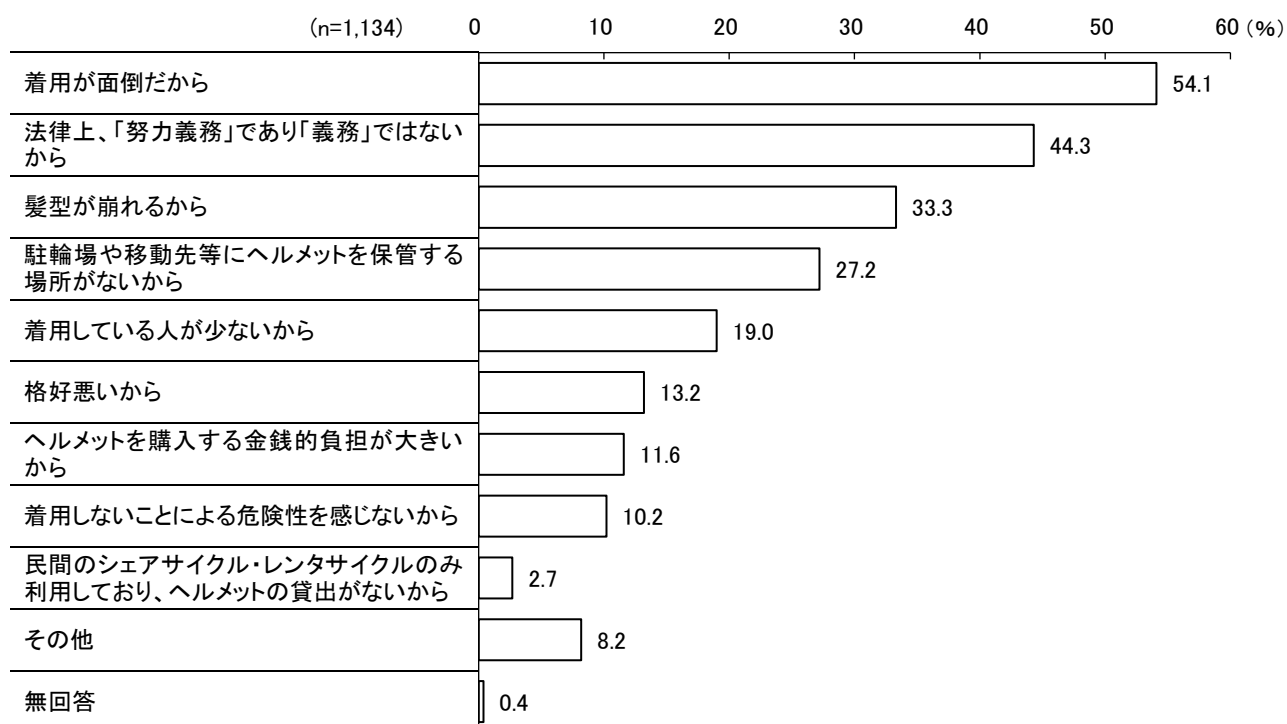
性・年齢別にみると、「自転車に乗るが着用していない」は男性の40歳代、女性の40歳代と50歳代で6割を超え、男性の30歳代で6割、男性の10・20歳代で5割半ばとなっている。「自転車に乗るとき常に着用している」はすべての性・年代で1割未満となっている。（図17-2-2）

(3) ヘルメットを着用しない理由

◎「着用が面倒だから」が5割半ば

(問45で「自転車に乗るとき時々着用している」「自転車に乗るが着用していない」と答えた方に)
問45-1 着用しない理由はどれですか。(〇はいくつでも)

図17-3-1



ヘルメットを「自転車に乗るとき時々着用している」または「自転車に乗るが着用していない」と答えた方(1,134人)に、着用しない理由を聞いたところ、「着用が面倒だから」(54.1%)が5割半ばで最も高く、以下、「法律上、「努力義務」であり「義務」ではないから」(44.3%)、「髪型が崩れるから」(33.3%)、「駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから」(27.2%)、「着用している人が少ないから」(19.0%)などと続く。(図17-3-1)

表 17-3-1 ヘルメットを着用しない理由（性・年齢別）

(%)													
		n	着用が面倒だから	法律上、「努力義務」であり「義務」ではないから	髪型が崩れるから	駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから	着用している人が少ないから	格好悪いから	ヘルメットを購入する金銭的負担が大きいから	着用しないことによる危険性を感じないから	民間のシェアサイクル・レンタサイクルの利用しており、ヘルメットの貸出がないから	その他	無回答
全 体		1,134	54.1	44.3	33.3	27.2	19.0	13.2	11.6	10.2	2.7	8.2	0.4
性・年齢別	男性全体	449	59.0	43.7	22.3	26.1	16.7	10.7	10.5	13.6	2.9	7.6	0.7
	10・20歳代	60	66.7	38.3	30.0	25.0	16.7	28.3	5.0	10.0	5.0	11.7	1.7
	30歳代	53	71.7	52.8	37.7	34.0	24.5	13.2	18.9	15.1	5.7	5.7	－
	40歳代	80	72.5	46.3	28.8	31.3	17.5	8.8	6.3	12.5	3.8	2.5	－
	50歳代	91	60.4	40.7	15.4	18.7	9.9	8.8	9.9	13.2	3.3	5.5	2.2
	60歳代	82	54.9	36.6	19.5	24.4	15.9	3.7	12.2	14.6	－	6.1	－
	70歳代	60	36.7	48.3	13.3	30.0	11.7	6.7	15.0	11.7	－	16.7	－
	80歳以上	23	30.4	52.2	4.3	17.4	39.1	8.7	4.3	26.1	4.3	8.7	－
	女性全体	664	50.9	44.9	40.2	28.3	20.3	15.4	11.9	8.3	2.6	8.6	0.3
	10・20歳代	63	66.7	44.4	54.0	30.2	42.9	28.6	7.9	3.2	9.5	1.6	－
	30歳代	79	46.8	53.2	45.6	20.3	13.9	11.4	10.1	8.9	5.1	8.9	1.3
	40歳代	157	55.4	43.9	38.2	24.8	17.2	17.2	16.6	9.6	1.9	5.7	－
	50歳代	182	51.1	46.7	42.9	34.6	19.2	16.5	12.6	9.3	2.2	9.9	－
	60歳代	88	48.9	39.8	29.5	28.4	18.2	9.1	9.1	5.7	－	10.2	－
	70歳代	78	41.0	41.0	38.5	28.2	21.8	12.8	9.0	10.3	－	12.8	－
	80歳以上	16	25.0	43.8	18.8	18.8	12.5	－	6.3	6.3	－	18.8	6.3

性・年齢別にみると、「着用が面倒だから」は男性の30歳代と40歳代で7割を超え、男性の10・20歳代、女性の10・20歳代で7割近くとなっている。「法律上、「努力義務」であり「義務」ではないから」は男女とも30歳代で5割を超えている。「髪型が崩れるから」は女性の10・20歳代で5割半ば、女性の30歳代で4割半ば、女性の50歳代で4割を超えている。（表17-3-1）

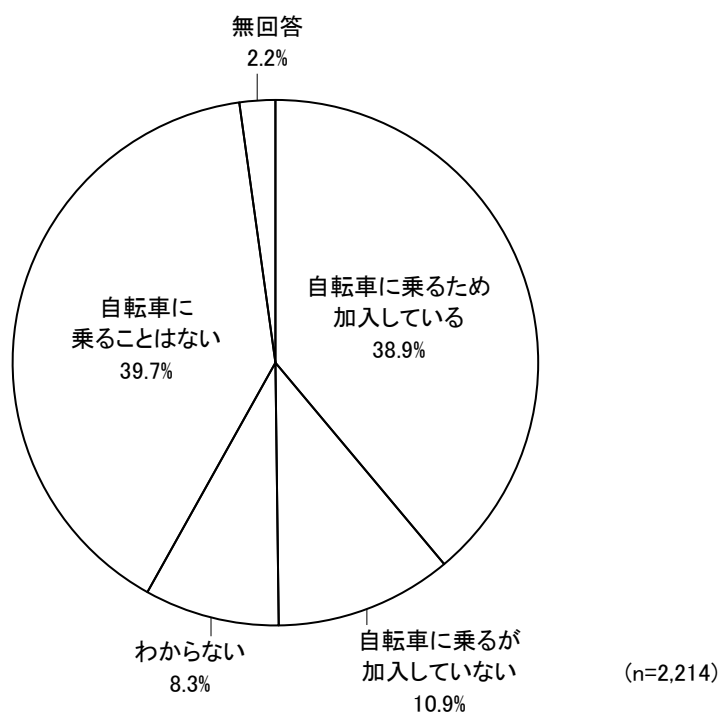
なお、基数(n)が30に満たない層については参考値とする。

（４）自転車損害賠償保険等への加入状況

◎「自転車に乗るため加入している」が４割近く

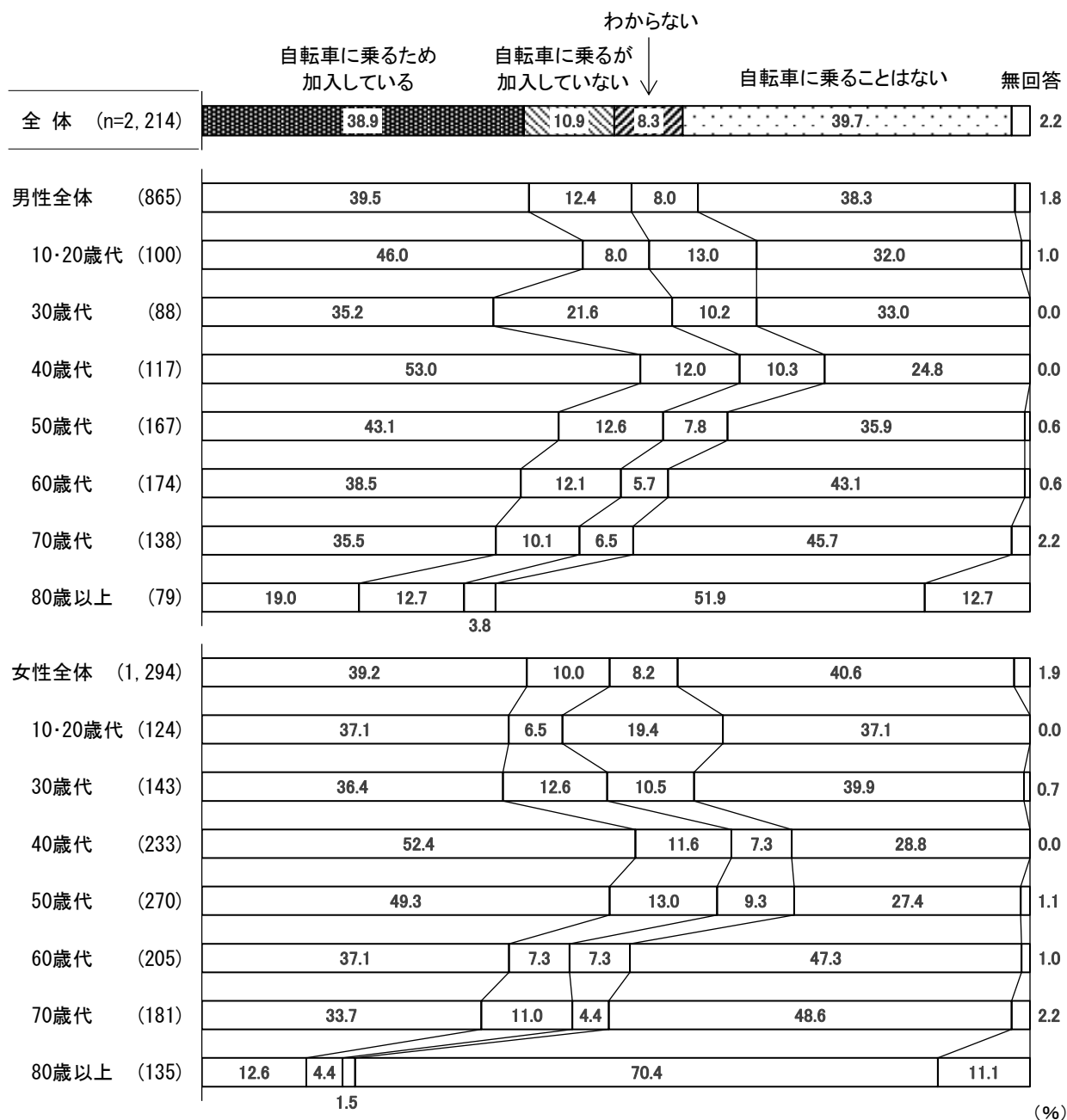
問４６ 自転車に乗る場合は、都の条例により自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられていますが、あなたは、自転車損害賠償保険等に加入していますか。（家族の保険等に加入している場合も含む）（○は１つ）

図１７－４－１



自転車損害賠償保険等へ加入しているか聞いたところ、「自転車に乗ることはない」（39.7％）が４割で最も高い。自転車に乗る中では、「自転車に乗るため加入している」（38.9％）が４割近く、「自転車に乗るが加入していない」（10.9％）がほぼ１割、「わからない」（8.3％）は１割未満となっている。（図１７－４－１）

図 17-4-2 自転車損害賠償保険等への加入状況（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「自転車に乗るため加入している」は男性の40歳代、女性の40歳代で5割を超え、女性の50歳代でほぼ5割、男性の10・20歳代で4割半ばとなっている。「自転車に乗るが加入していない」は男性の30歳代で2割を超えている。「わからない」は女性の10・20歳代でほぼ2割となっている。（図17-4-2）

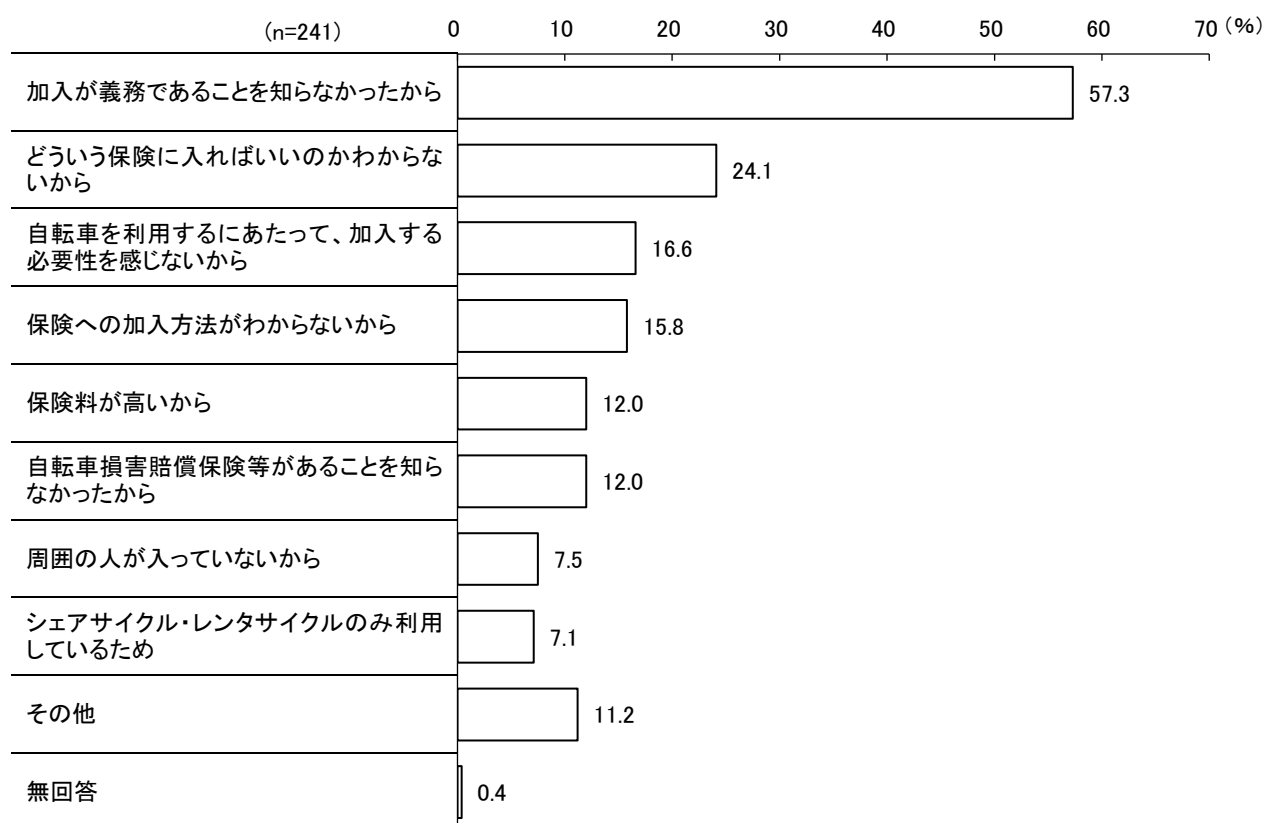
（５）自転車損害賠償保険等へ加入していない理由

◎「加入が義務であることを知らなかったから」が６割近く

（問４６で「自転車に乗るが加入していない」と答えた方に）

問４６－１ 加入していない理由はどれですか。（○はいくつでも）

図１７－５－１



自転車損害賠償保険等へ「自転車に乗るが加入していない」と答えた方（241 人）に、加入していない理由を聞いたところ、「加入が義務であることを知らなかったから」（57.3%）が６割近くで最も高い。以下、「どういう保険に入ればいいのかわからないから」（24.1%）、「自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから」（16.6%）、「保険への加入方法がわからないから」（15.8%）などと続く。（図１７－５－１）

表 17-5-1 自転車損害賠償保険等へ加入していない理由（性・年齢別）

(%)												
		n	加入が義務であることを知らなかったから	どういう保険に入ればいいのかわからないから	自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから	保険への加入方法がわからないから	保険料が高いから	自転車損害賠償保険等があることを知らなかったから	周囲の人が入っていないから	シェアサイクル・レンタサイクルのみ利用しているため	その他	無回答
全 体		241	57.3	24.1	16.6	15.8	12.0	12.0	7.5	7.1	11.2	0.4
性・年齢別	男性全体	107	57.9	26.2	18.7	20.6	13.1	11.2	7.5	6.5	9.3	—
	10・20歳代	8	75.0	12.5	—	—	37.5	—	12.5	12.5	—	—
	30歳代	19	42.1	31.6	36.8	26.3	15.8	—	10.5	21.1	5.3	—
	40歳代	14	64.3	28.6	7.1	21.4	—	28.6	7.1	7.1	14.3	—
	50歳代	21	52.4	19.0	14.3	14.3	28.6	9.5	—	4.8	9.5	—
	60歳代	21	71.4	14.3	23.8	14.3	—	9.5	—	—	14.3	—
	70歳代	14	57.1	35.7	14.3	35.7	7.1	21.4	14.3	—	—	—
	80歳以上	10	50.0	50.0	20.0	30.0	10.0	10.0	20.0	—	20.0	—
	女性全体	130	55.4	22.3	15.4	12.3	11.5	12.3	6.2	6.9	13.1	0.8
	10・20歳代	8	87.5	25.0	12.5	25.0	25.0	—	12.5	25.0	—	—
	30歳代	18	61.1	16.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	16.7	—	—
	40歳代	27	59.3	22.2	14.8	18.5	14.8	14.8	—	7.4	11.1	—
	50歳代	35	34.3	28.6	17.1	8.6	17.1	14.3	11.4	5.7	22.9	—
	60歳代	15	66.7	6.7	26.7	—	—	13.3	—	—	6.7	6.7
	70歳代	20	65.0	10.0	15.0	20.0	10.0	15.0	10.0	—	25.0	—
	80歳以上	6	33.3	66.7	16.7	—	—	—	—	—	—	—

性・年齢別にみると、「加入が義務であることを知らなかったから」は男性で6割近く、女性で5割半ばとなっている。「どういう保険に入ればいいのかわからないから」は男性で2割半ば、女性で2割を超えている。「自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから」は男性で2割近く、女性で1割半ば、「保険への加入方法がわからないから」は男性でほぼ2割、女性で1割を超えている。（表17-5-1）

基数(n)が30に満たない層については参考値とする。

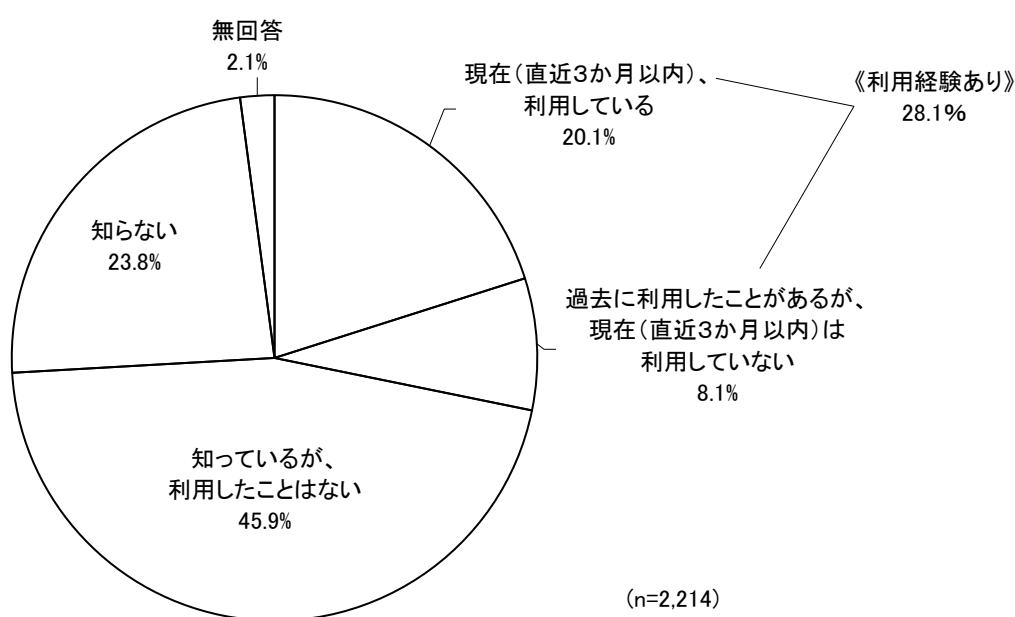
18. せたがや Pay

(1) せたがや Pay の認知・利用度

◎「知っているが、利用したことはない」が4割半ば

問47 せたがや Pay を知っていますか。また、利用したことがありますか。(○は1つ)

図18-1-1



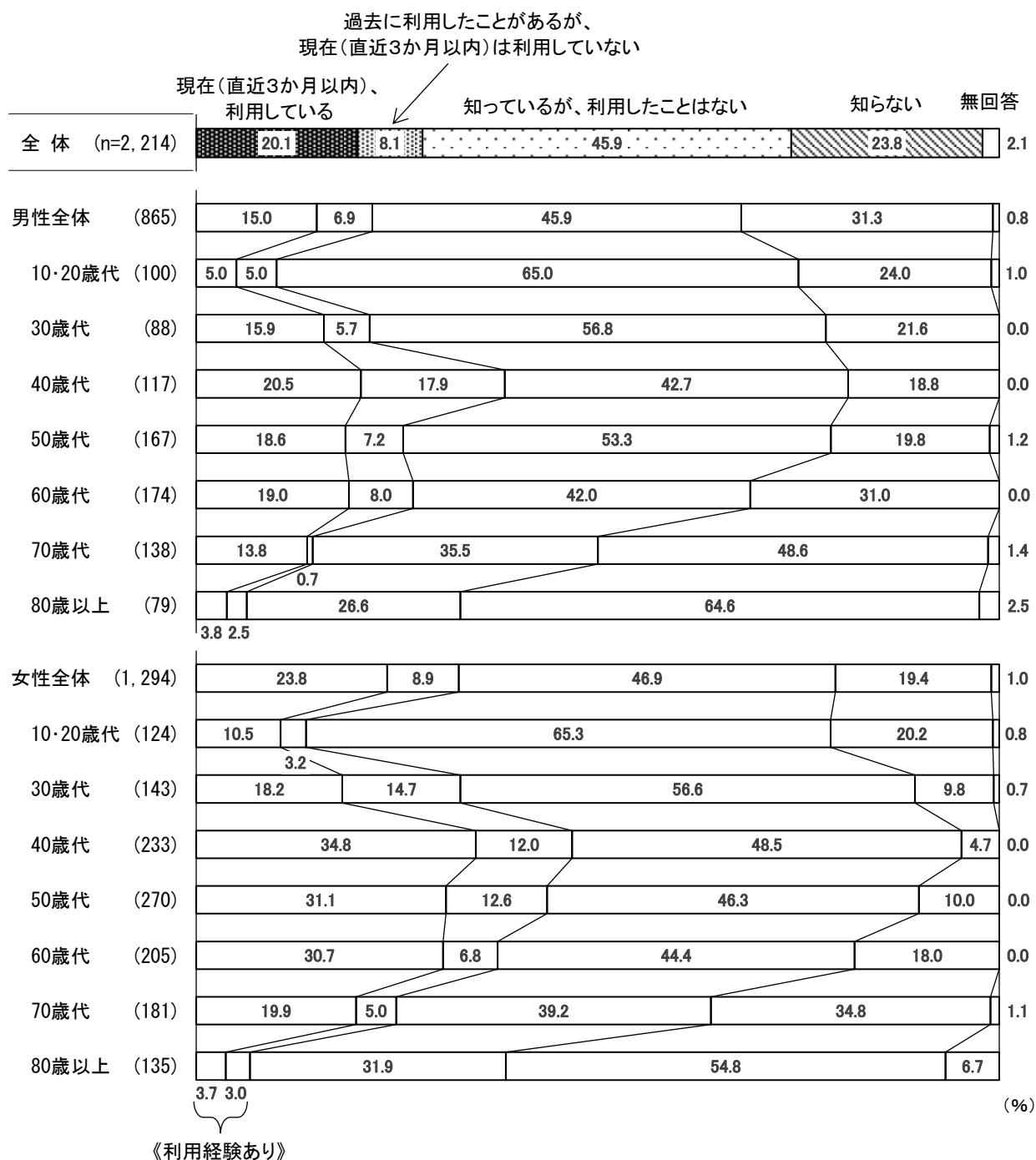
せたがや Pay の認知・利用度を聞いたところ、「知っているが、利用したことはない」(45.9%)が4割半ばで最も高い。「知らない」(23.8%)は2割を超え、「現在(直近3か月以内)、利用している」(20.1%)と「過去に利用したことがあるが、現在(直近3か月以内)は利用していない」(8.1%)を合わせた《利用経験あり》(28.1%)は3割近くとなっている。(図18-1-1)

図 18-1-2 せたがや Pay の認知・利用度（地域別）

	過去に利用したことがあるが、 現在（直近3か月以内）は利用していない		知っているが、利用したことはない	知らない	無回答
	現在（直近3か月以内）、 利用している				
全 体 （n=2,214）	20.1	8.1	45.9	23.8	2.1
世田谷東部 （318）	13.8	6.0	52.8	24.2	3.1
世田谷西部 （279）	24.0	8.2	46.6	19.4	1.8
北沢東部 （163）	15.3	9.8	42.3	30.7	1.8
北沢西部 （184）	31.0	6.0	41.8	17.9	3.3
玉川北部 （211）	21.8	10.0	43.6	23.7	0.9
玉川南部 （207）	11.1	6.8	40.1	40.1	1.9
玉川西部 （147）	15.0	8.8	50.3	25.9	0.0
砧北部 （299）	24.7	9.7	47.8	16.7	1.0
砧南部 （118）	18.6	8.5	41.5	29.7	1.7
烏山 （268）	22.0	7.8	46.6	20.9	2.6
《利用経験あり》					(%)

地域別にみると、「知っているが、利用したことはない」は世田谷東部で5割を超え、玉川西部で5割となっている。《利用経験あり》は北沢西部で4割近く、砧北部で3割半ば、世田谷西部、玉川北部で3割を超えている。一方、「知らない」は玉川南部で4割、北沢東部でほぼ3割、砧南部で3割となっている。（図18-1-2）

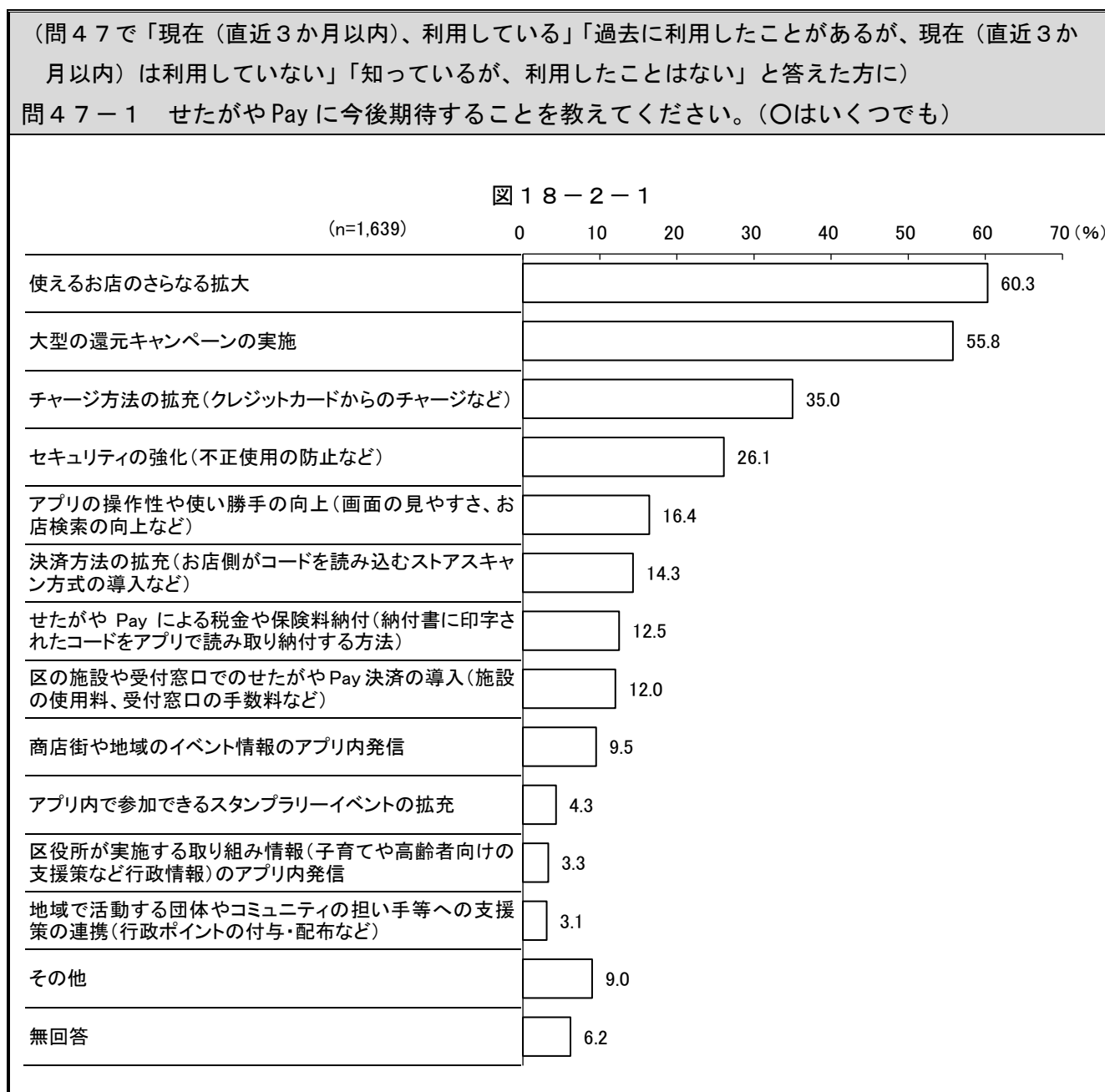
図 18-1-3 せたがや Pay の認知・利用度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「知っているが、利用したことはない」は若年層が高く、男女とも10・20歳代で6割半ば、30歳代で6割近くとなっている。《利用経験あり》は女性の40歳代で5割近く、女性の50歳代で4割を超え、男性の40歳代、女性の60歳代で4割近くとなっている。一方、「知らない」は男性の80歳以上で6割半ば、女性の80歳以上で5割半ばとなっている。（図18-1-3）

(2) せたがや Pay に期待すること

◎「使えるお店のさらなる拡大」が6割



せたがや Pay を「現在(直近3か月以内)、利用している」または「過去に利用したことがあるが、現在(直近3か月以内)は利用していない」または「知っているが、利用したことはない」と答えた方(1,639人)に、せたがや Pay に今後期待することを聞いたところ、「使えるお店のさらなる拡大」(60.3%)が6割で最も高く、以下、「大型の還元キャンペーンの実施」(55.8%)、「チャージ方法の拡充(クレジットカードからのチャージなど)」(35.0%)、「セキュリティの強化(不正使用の防止など)」(26.1%)などと続く。(図18-2-1)

表 18-2-1 セタがや Pay に期待すること（性・年齢別）

(%)

		使えるお店のさらなる拡大	大型の還元キャンペーンの実施	チャージ方法の拡充（クレジットカードからのチャージなど）	セキュリティの強化（不正使用の防止など）	アプリの操作性や使い勝手の向上（画面の見やすさ、お店検索の向上など）	決済方法の拡充（お店側がコードを読み込むストアスキャン方式の導入など）	セタがや Pay による税金や保険料納付（納付書に印字されたコードをアプリで読み取り納付する方法）	（施設の施設や受付窓口でのセタがや Pay 決済の導入（施設の使用料、受付窓口の手数料など）	商店街や地域のイベント情報のアプリ内発信	アプリ内で参加できるスタンプラリーイベントの拡充	区役所が実施する取り組み情報（子育てや高齢者向けの支援策など行政情報）のアプリ内発信	地域で活動する団体やコミュニティの担い手等への支援策の連携（行政ポイントの付与・配布など）	その他	無回答
	n														
全 体	1,639	60.3	55.8	35.0	26.1	16.4	14.3	12.5	12.0	9.5	4.3	3.3	3.1	9.0	6.2
性・年齢別	男性全体	587	59.1	55.2	33.9	23.5	15.7	16.7	13.8	12.8	10.6	4.6	3.7	3.7	5.8
	10・20歳代	75	57.3	60.0	32.0	17.3	14.7	14.7	6.7	5.3	6.7	9.3	4.0	4.0	5.3
	30歳代	69	66.7	69.6	40.6	13.0	7.2	15.9	18.8	20.3	13.0	4.3	2.9	5.8	4.3
	40歳代	95	61.1	67.4	36.8	25.3	15.8	17.9	15.8	9.5	12.6	3.2	1.1	2.1	—
	50歳代	132	60.6	54.5	37.9	25.8	14.4	18.2	16.7	15.9	15.2	5.3	3.0	3.0	6.1
	60歳代	120	62.5	54.2	35.0	25.8	20.8	15.0	11.7	12.5	8.3	4.2	4.2	5.8	5.8
	70歳代	69	53.6	33.3	20.3	30.4	14.5	18.8	13.0	14.5	5.8	1.4	4.3	1.4	13.0
	80歳以上	26	30.8	23.1	23.1	19.2	26.9	15.4	7.7	3.8	7.7	3.8	15.4	3.8	11.5
	女性全体	1,030	61.1	56.6	35.9	27.4	16.7	13.0	11.7	11.7	9.0	4.2	3.0	2.6	6.2
	10・20歳代	98	60.2	61.2	46.9	21.4	17.3	12.2	11.2	13.3	11.2	4.1	3.1	3.1	5.1
	30歳代	128	55.5	73.4	45.3	21.9	15.6	10.9	14.1	13.3	10.9	5.5	3.1	1.6	5.5
	40歳代	222	57.7	61.7	41.9	23.4	12.6	11.3	14.9	13.1	8.1	4.1	2.3	3.2	3.2
	50歳代	243	70.0	60.5	35.4	30.0	15.2	16.5	12.3	12.3	9.1	4.9	2.5	2.1	3.3
	60歳代	168	67.3	50.6	32.1	39.3	22.0	14.9	11.3	11.9	10.7	4.8	3.0	3.6	4.8
	70歳代	116	51.7	38.8	20.7	25.9	20.7	11.2	5.2	7.8	6.9	2.6	4.3	1.7	14.7
	80歳以上	52	50.0	26.9	13.5	19.2	13.5	7.7	7.7	3.8	3.8	—	5.8	3.8	23.1

性・年齢別にみると、「使えるお店のさらなる拡大」は女性の 50 歳代で 7 割、男性の 30 歳代、女性の 60 歳代で 7 割近くとなっている。「大型の還元キャンペーンの実施」は女性の 30 歳代で 7 割を超え、男性の 30 歳代で 7 割、男性の 40 歳代で 7 割近くとなっている。「チャージ方法の拡充（クレジットカードからのチャージなど）」は女性の 10・20 歳代で 5 割近く、女性の 30 歳代で 4 割半ばとなっている。（表 18-2-1）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

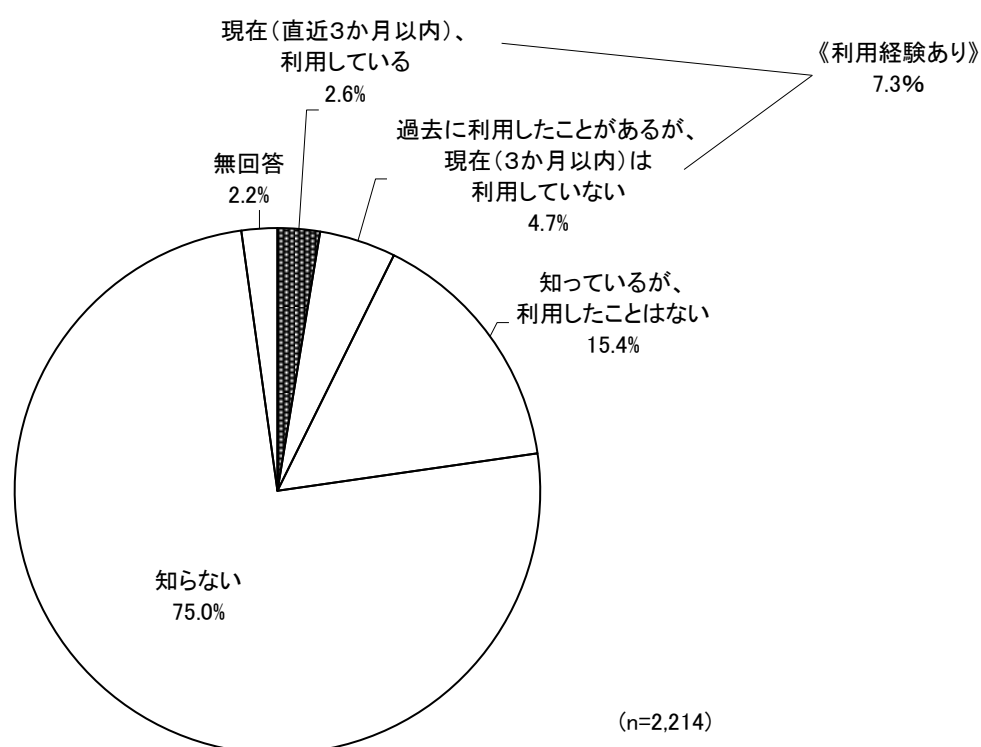
19. 図書館

(1) 「図書館ブックボックス」の認知・利用度

◎「知らない」が7割半ば

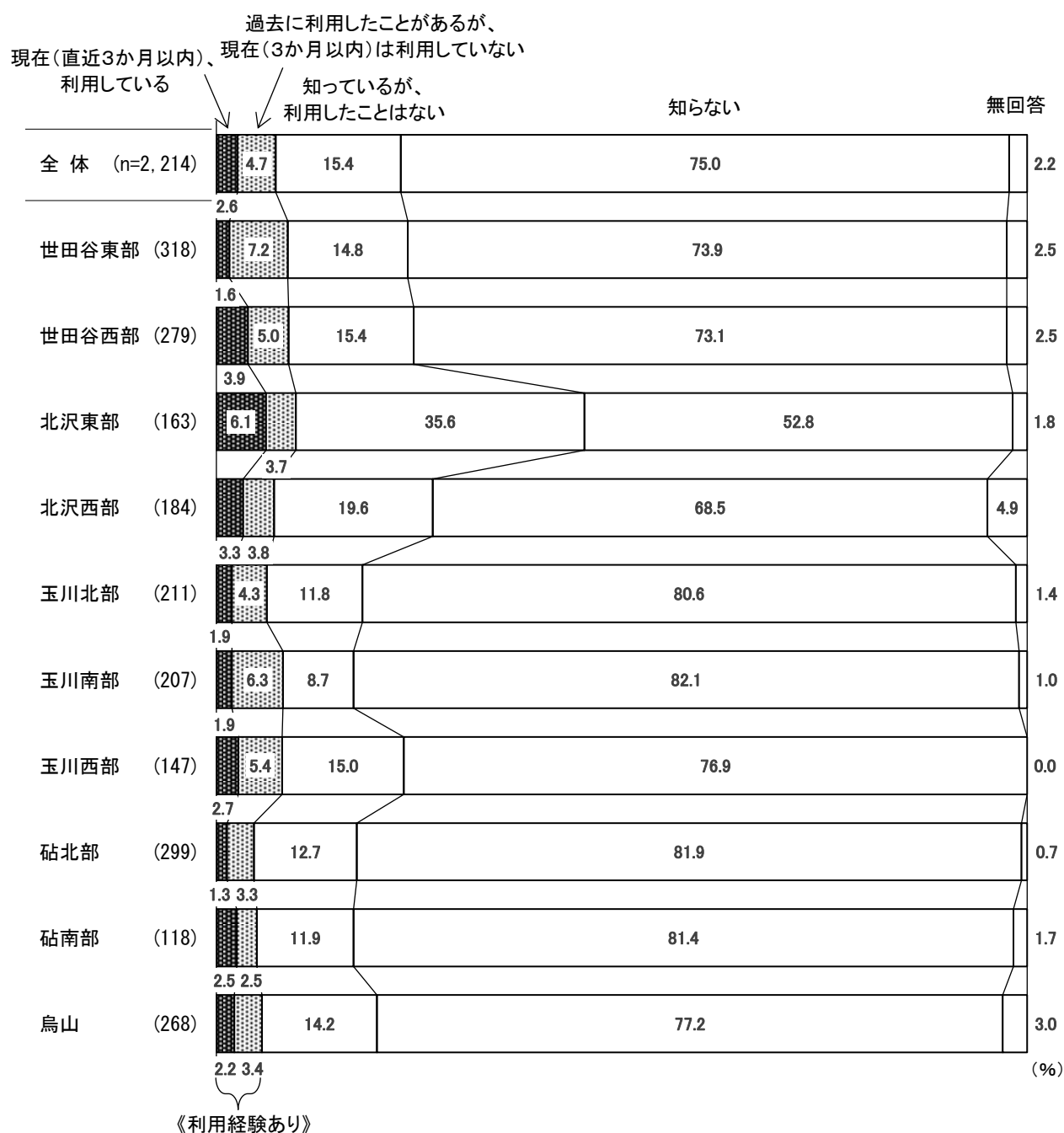
問48 「図書館ブックボックス」を知っていますか。また、利用したことがありますか。
(○は1つ)

図19-1-1



「図書館ブックボックス」の認知・利用度を聞いたところ、「知らない」(75.0%)が7割半ばで最も高い。「知っているが、利用したことはない」(15.4%)が1割半ば、「現在(直近3か月以内)、利用している」(2.6%)と「過去に利用したことがあるが、現在(3か月以内)は利用していない」(4.7%)を合わせた《利用経験あり》(7.3%)は1割未満となっている。(図19-1-1)

図 1 9 - 1 - 2 「図書館ブックボックス」の認知・利用度（地域別）



地域別にみると、「知っているが、利用したことはない」は北沢東部で3割半ば、北沢西部で2割、世田谷西部、玉川西部、世田谷東部、烏山で1割半ばとなっている。《利用経験あり》は北沢東部で1割となっている。「知らない」は玉川南部、砧北部、砧南部で8割を超えている。

(図 1 9 - 1 - 2)

図 19-1-3 「図書館ブックボックス」の認知・利用度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「知っているが、利用したことはない」は女性の60歳代でほぼ2割、男性の60歳代で2割、女性の70歳代と80歳以上で2割近くとなっている。《利用経験あり》は女性の10・20歳代で1割を超え、女性の30歳代でほぼ1割、男性の80歳以上で1割となっている。「知らない」は男性の30歳代と50歳代で8割を超え、男性の10・20歳代と40歳代で8割となっている。

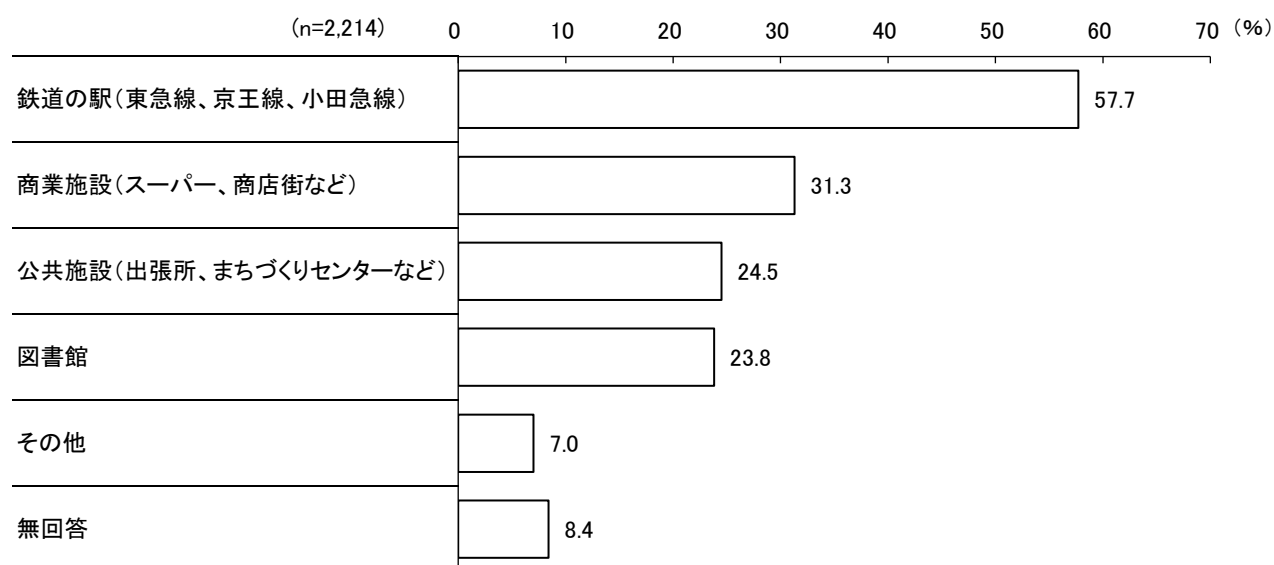
(図 19-1-3)

(2) 「図書館ブックボックス」があれば利用したい場所

◎「鉄道の駅（東急線、京王線、小田急線）」が6割近く

問49 図書館ブックボックスが設置されていたら利用したいと思う場所は、次のどれですか。
(○はいくつでも)

図19-2-1



図書館ブックボックスが設置されていたら利用したいと思う場所を聞いたところ、「鉄道の駅（東急線、京王線、小田急線）」（57.7%）が6割近くで最も高い。以下、「商業施設（スーパー、商店街など）」（31.3%）、「公共施設（出張所、まちづくりセンターなど）」（24.5%）、「図書館」（23.8%）、「その他」（7.0%）と続く。（図19-2-1）

表 19-2-1 「図書館ブックボックス」があれば利用したい場所（地域別）

		(%)						
		n	鉄道の駅 (東急線、京王線、小田急線)	商業施設 (スーパー、商店街など)	公共施設 (出張所、まちづくりセンターなど)	図書館	その他	無回答
全 体		2,214	57.7	31.3	24.5	23.8	7.0	8.4
地域別	世田谷東部	318	48.7	32.1	26.1	18.2	11.0	9.7
	世田谷西部	279	54.5	29.4	19.0	35.1	4.3	7.9
	北沢東部	163	63.8	31.3	27.0	16.0	4.3	9.8
	北沢西部	184	70.1	30.4	21.2	20.1	2.2	7.1
	玉川北部	211	47.9	31.8	23.7	26.1	11.4	8.1
	玉川南部	207	53.1	31.9	23.7	30.4	6.8	7.7
	玉川西部	147	62.6	38.8	27.9	17.0	8.8	6.8
	砧北部	299	64.2	27.4	24.4	22.4	7.0	7.0
	砧南部	118	55.1	33.1	29.7	27.1	3.4	10.2
	烏山	268	62.3	33.6	27.6	24.3	7.5	7.5

地域別にみると、「鉄道の駅（東急線、京王線、小田急線）」は北沢西部で7割、砧北部で6割半ば、北沢東部、玉川西部、烏山で6割を超えている。「商業施設（スーパー、商店街など）」は玉川西部で4割近く、「公共施設（出張所、まちづくりセンターなど）」は砧南部で3割、「図書館」は世田谷西部で3割半ば、玉川南部で3割となっている。（表19-2-1）

表 19-2-2 「図書館ブックボックス」があれば利用したい場所（性・年齢別）

		(%)						
		n	鉄道の駅 （東急線、京王線、小田急線）	商業施設 （スーパー、商店街など）	公共施設 （出張所、まちづくりセンターなど）	図書館	その他	無回答
全 体		2,214	57.7	31.3	24.5	23.8	7.0	8.4
性・年齢別	男性全体	865	54.7	27.1	25.4	25.2	9.5	8.4
	10・20歳代	100	70.0	21.0	20.0	35.0	11.0	4.0
	30歳代	88	67.0	31.8	15.9	18.2	14.8	3.4
	40歳代	117	61.5	36.8	23.1	17.9	7.7	4.3
	50歳代	167	61.7	31.1	26.3	23.4	5.4	8.4
	60歳代	174	55.2	24.7	31.0	24.1	12.6	4.6
	70歳代	138	35.5	21.0	28.3	31.2	6.5	18.1
	80歳以上	79	30.4	22.8	27.8	27.8	11.4	15.2
	女性全体	1,294	60.8	34.9	24.7	23.7	5.5	6.4
	10・20歳代	124	74.2	29.8	11.3	26.6	6.5	2.4
	30歳代	143	72.0	39.2	18.9	18.2	5.6	3.5
	40歳代	233	65.7	36.1	24.5	24.5	6.0	2.1
	50歳代	270	70.0	42.2	23.7	26.3	4.8	2.6
	60歳代	205	62.9	38.0	32.2	23.9	2.9	2.4
	70歳代	181	43.6	28.7	29.8	26.5	4.4	11.6
	80歳以上	135	30.4	23.0	27.4	16.3	8.9	27.4

性・年齢別にみると、「鉄道の駅（東急線、京王線、小田急線）」は女性の10・20歳代で7割半ば、女性の30歳代で7割を超え、男性の10・20歳代、女性の50歳代で7割となっている。「商業施設（スーパー、商店街など）」は女性の50歳代で4割を超え、女性の30歳代でほぼ4割、男性の40歳代、女性の60歳代で4割近くとなっている。「公共施設（出張所、まちづくりセンターなど）」は男性の60歳代、女性の60歳代で3割を超え、女性の70歳代で3割、「図書館」は男性の10・20歳代で3割半ば、男性の70歳代で3割を超えている。（表19-2-2）

世 田 谷 区 民 意 識 調 査 2 0 2 5

令和 7 年 9 月 発行（広報印刷物登録番号 No. 2 3 9 6）

発 行 世田谷区政策経営部広報広聴課
〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4 丁目 21 番 27 号
電話：0 3（5 4 3 2）2 0 1 4
ファクシミリ：0 3（5 4 3 2）3 0 0 1

実 施 株式会社アダムコミュニケーション
〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 1 丁目 8 番 17 号
 ブライトコアビル新館 6 階
電話：0 3（6 8 4 7）5 7 5 7
ファクシミリ：0 3（6 8 4 7）5 7 5 6